C9PA V6 650
A9PA V6 650

取扱説明書

目次 A-5ページ

安全にお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
🚫	**絵表示の例：**この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

安全上のご注意

⚠警告

自動車の運転中に地点登録・地点検索などの操作をしないでください。このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させ、パーキングブレーキをかけてから行ってください。

⚠注意

ナビゲーションによるルート案内時は、実際の交通規則に従って走行してください。

安全走行のために

⚠ 警告

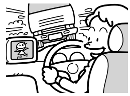
運転中に操作をしない

運転者は運転中に本機の操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作を行うときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。

運転中に画像を注視しない

運転者は運転中に、画像を注視しないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。

運転中にテレビやビデオを見ない

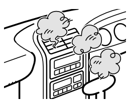


運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させて、サイドブレーキをかけてください。テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。

故障のまま使用しない

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。故障したときは、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

異常のまま使用しない



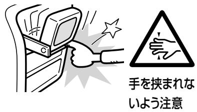
万一、内部に異物が入った・水がかかった・煙が出る・変なにおいがするなど異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

本機に水や異物を入れない

本機の内部に水や異物を入れないでください。発煙・発火・感電の原因となります。

⚠ 注意

モニターの開閉時に手や指をはさまれないように注意する



モニターの開閉や角度調整時に手や指、衣服をはさまれないように注意してください。

使用時以外はディスクを取り出す

ディスクを本機内に入れたまま長期間放置しておくと、高温などのためにディスクを傷める原因となります。

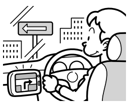
エンジンを停止したまま長時間使用しない

エンジンを停止したまま長時間ご使用になると、車のバッテリー上がりの原因となります。

適正な音量や明るさで使用する

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。また、画面は適切な明るさでご使用ください。

実際の交通規制に従って走行する



ナビゲーションによるルート案内時も、必ず実際の交通規則に従って走行してください。ナビゲーションによるルート案内だけに従って走行しますと実際の交通規制に反する場合があり、交通事故の原因となります。

液晶パネルが割れたときは内部の液体には絶対触れない

パネル内部の液体に触れてしまうと、皮膚の炎症などの原因となります。

- 万一口に入った場合は、すぐにうがいをして医師にご相談ください。
- 目に入ったり皮膚に付着した場合は、清浄な水で充分に洗浄した後、医師にご相談ください。

液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えない

液晶パネルが破損し、ケガの原因となります。

⚠警告

走行中に運転者がナビゲーションの画面に気を取られたり、操作に迷ったりすると、大変危険です。交通の状況、歩行者などに十分注意しながら運転してください。

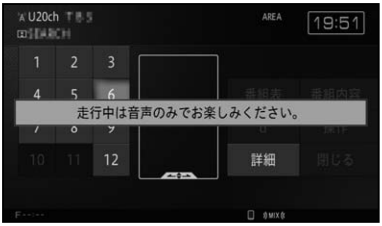
走行中はナビゲーションの操作をしない

走行中に運転者が操作するのは、絶対におやめください。

走行中に制限される機能の操作は

安全な場所に車を止めてから操作してください。
ルート探索の設定などの複雑な操作は、安全のため、走行中にはできないように設計されています。（操作しようとすると、「走行中は操作できません」とメッセージが表示されます。）
また、本機は、安全のため走行中にテレビなどの映像を見ることができないようになっています。（走行中は、以下のようなメッセージが表示されます。）また、一部のメニュー操作はできません。

（例）テレビを見ようとしたとき



操作はエンジンをかけたままで

エンジンを止めて本機を操作すると、車のバッテリー上がりの原因となります。本機の操作はエンジンをかけたままで行ってください。

交通規則に従って走行する

ルート探索をすると、自動的にルート/音声案内が設定されます。曜日、時刻規制などの交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると、設定されたルートが通れないなど交通規制に反する場合があります。運転の際は必ず実際の交通標識に従ってください。

なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。

画面に表示される情報は実際と異なる場合があります。

ナビゲーションの画面に表示される情報や建物や道路などの形状は実際と異なる場合があります。

目　次

はじめに

基本操作

ナビゲーション基本操作

検索

ルート

登録・編集操作

各種情報の利用

ナビゲーションの設定

通信機能を使う

通信による渋滞情報を利用する

オーディオ基本操作

放送を受信する

音楽ディスクを使う

映像ディスクを使う

MSV（ミュージックサーバー）を使う

SDカード/ USBメモリーを使う

iPodを使う

Bluetooth Audioを使う

WALKMAN®を使う

iPhoneまたはスマートフォンのアプリケーションを使う

その他の機器を使う

オーディオの設定

カメラ機能を使う

携帯電話を使う

パソコンリンクソフト

その他の操作

付録

本書の見かた

本書の表記のしかた

表記	意味
!	注意マーク 操作を行う状況において注意していただきたいことや、本製品の性能を維持する上で注意していただきたいことについて説明しています。
(メモアイコン)	メモ 操作する上で注意すべきことやヒント、便利な使いかたなどについて説明します。
戻る	タッチキーを表します。 例：戻る にタッチする
←ワイプ	ワイプ操作を表します。例えば左へのワイプ操作を「←ワイプ」と表記します。
メニュー	ナビゲーション本体についているボタンを表します。 例： メニュー を押す
→斜体	参照していただきたい本文タイトルやページ、または他の説明書を導きます。 例：*→「場所を探す」(D-1)*
長く押す／ 長くタッチする	「ピッ」と音がするまで押す（タッチする）ことを示します。
押し続ける／ タッチし続ける	押している（タッチしている）間だけ動作していることを示します。

メモ

- 本書では、SDメモリーカード、SDHCメモリーカードを総称して「SDカード」と表記しています。
- 本書では、iPod、iPhoneを総称して「iPod」と表記しています。
- 本書で使っているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 本書に記載している製品名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。

お読みください

お客様へのご注意

- 走行中に運転者がナビゲーションの操作をすると、画面に気を取られたり操作に迷ったりし、思わぬ重大な事故を招く恐れがあり大変危険です。運転者がナビゲーションの操作をする場合は、必ず車を安全な場所に停車してから行ってください。
- 運転中の本機の音声は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- 本機には交通規制データが収録されていますが、交通規制の変更などにより、実際の標識や交通規制と異なる場合があります。ナビゲーションによるルート案内や右左折などの音声案内時でも、必ず実際の標識や交通規制に従って走行してください。交通事故や道路交通法違反となることがあります。
- 緊急施設（病院、消防署、警察署など）の検索やルート案内については、本機に依存せず、各施設に直接ご確認ください。
- 本機は、パーキングブレーキの ON/OFF を検知して、走行中にテレビなどの映像を見ることができないようになっています。
- ナビゲーションの操作やディスクを出し入れするときは、車を安全な場所に停車させ、車のセレクトレバーをＮ（ニュートラル）かＰ（パーキング）位置にし、パーキングブレーキをかけてから行ってください。
- 本機のモニター部が開く際にカップホルダーに入れたジュースなどの容器が干渉する場合があります。
- アドバンストキーが装着されている車では、アドバンストキーを本機に近づけると作動しなくなる場合がありますので、十分に注意してください。

本機の操作について

本機は、タッチパネルと本体のボタンで操作します。車両にステアリングオーディオスイッチが装備されている場合は、ステアリングオーディオスイッチで本機の基本 AV 機能を操作することができます。

3Dハイブリッドセンサーの自動学習について

本機は初期学習（取付要領書の「初期学習のしかた」参照）を開始した後、走行を重ねるごとに、３Ｄハイブリッドセンサーの自動学習が進み、測位の精度が高まっていきます。

車のバッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンをかけていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

メモ

- 環境保護のため、必要以上の停車中のアイドリングは避けましょう。

バッテリー端子を外した場合の再設定について

整備などでバッテリー端子を外した場合、各機能の設定が出荷状態に戻っている場合があります。必要に応じて再設定してください。

通信機器について

本機に接続可能な通信機器は、Bluetooth に対応した携帯電話などの Bluetooth 機器です。

液晶画面について

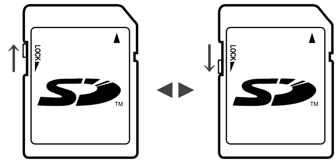
液晶画面は、構造上きれいに見える角度が限られています。はじめてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、見る角度に合わせて黒の濃さを調整してください(→ *B-10*)。また、液晶画面の明るさを変更することができます。お好みに応じて調整してください。(→ *Z-11*)

SDメモリーカードについて

- 本文中では、SDメモリーカードおよびSDHCメモリーカードを、便宜上「SDカード」と表記しています。
- 本機は、SDカードおよびSDHCカード（最大32 GB）に対応しています。
- すべてのSDカードの動作を保証するものではありません。
- SDカードへのアクセス中は、SDカードを抜かないでください。また、車のキースイッチ位置を変更しないでください。データが破損する恐れがあります。そのような行為において破損した場合、補償できません。
- SDカードは寿命があります。普通に使用していても正常に書き込みや消去などの動作をしなくなる場合があります。
- お持ちのパソコンで認識しているSDカードが、まれに本機で認識しない場合があります。この場合、SDカードの不具合によっては、専用のフォーマットツールでフォーマットすることにより認識する場合があります。また、パソコンの標準機能でフォーマットをするとSD非準拠のフォーマットになるため、データの書き込み、あるいは読み出しが出来ないなどの不具合が発生することがありますので、専用フォーマットソフトでフォーマット作業を実行することが推奨されています。
ただし、フォーマットした場合は、SDカードに記録されたデータが全て消失します。フォーマットの際は、必ずSDカードデータのバックアップを作成してから行ってください。
SDカード のフォーマットソフトウェアは、SDアソシエーションの以下ホームページより入手できます。
https://www.sdcard.org/jp/
- フォーマット作業によるSDカードの不具合修復を弊社が保証するものではありません。また、本作業により、SDカードのデータ消失並びに、その他損害が発生した場合は、弊社として責任を負えません。フォーマットソフトの説明書などをよくお読みになり、あくまで、お客様の判断・責任のもとでフォーマット作業は実行してください。

データの保護について

- バックアップされていない大切なデータなどが保存されているときは、ライトプロテクト（書き込み防止）スイッチをスライドしてLOCKしてください。なお、本機からデータを書き出す場合や、地図SDカードはLOCKしないでください。



書き込み、消去可能　　書き込み、消去不可

USBメモリーについて

- 本機は、最大16GBのUSBメモリーに対応しています。
- すべてのUSBメモリーの動作を保証するものではありません。
- USBメモリーへのアクセス中は、USBメモリーを抜かないでください。また、車のキースイッチ位置を変更しないでください。データが破損する恐れがあります。そのような行為において破損した場合、補償できません。
- USBメモリーは寿命があります。普通に使用していても正常に書き込みや消去などの動作をしなくなる場合があります。
- 接続するUSBメモリーによっては、ラジオにノイズの影響を与えることがあります。
- パーティションを作ったUSBメモリーは使用できません。
- USBメモリーのフォーマット形式はFAT16/32に対応しています。これ以外のフォーマット形式は使用できません。
- 使用するUSBメモリーによっては、本機が正しく認識できない場合があります。また、曲を正しく再生できない場合があります。
- USBハブを使用しての接続には対応していません。
- USBメモリー以外（ハードディスク、USB扇風機など）は接続しないでください。
- 付属のUSBケーブルにお客様のケーブルを接続してご使用される場合、接続するケーブルは3m以内でご使用ください。

地図SDカードについて

地図SDカードには、地図データや本機を動作させせるためのプログラムおよび各種データベースなどが収録されています。パソコンに接続してもファイルは見られません。パソコンでデータを書き込んだり、フォーマットツールなどでフォーマットしないでください。本機が起動しなくなります。地図データやプログラムの更新の際には、必ずパソコンリンクソフト「NAVI OFFICE 2」をご利用ください。

お客様の登録されたデータについて

- 本機の地図データ更新および修理において、お客様が登録したデータの保証については、ご容赦ください。
- ナビゲーションに登録されたメモリダイヤル・各種機能設定などの内容は、事故や故障・修理その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

著作権

- 本機に収録されたデータおよびプログラムの著作権は、弊社および弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータおよびプログラムの全部または一部を複製、改変、解析などをすることはできません。

セキュリティ機能について

本機は、パスワードによるセキュリティ機能（盗難抑止機能）を内蔵しています。出荷時はセキュリティ機能は動作しておりません。必要に応じてセキュリティ機能を設定してください。→*「セキュリティ設定をする」（H-25）*

パソコンリンクソフトのご案内

パソコンリンクソフト「NAVI OFFICE 2」をパソコンにインストールしてお使いいただくと、最新の地図データや本機の更新プログラムを取得したり、MSV（ミュージックサーバー）内の楽曲情報の取得や編集をすることができます。詳しくは*「パソコンリンクソフトを使う」（→Y-1）*をご覧ください。

その他

- 製品の性能改善などを目的として、本機には動作履歴情報（測位結果など）を記録する機能があります。動作履歴情報にお客様の個人情報は含まれません。また、この情報は当社指定の拠点および当社指定の業務委託先でのみ解析ができる仕組みになっており、お客様の同意をいただけた場合に限り使用いたします。
- 弊社は、本機がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。その場合における変更前の本製品の改造、またはお取り換えのご要望には応じかねます。
- 実際の本機の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 本書で使っている画面例は、実際の画面と異なる場合があります。

ユーザー登録について

セキュリティロック、リアルタイムプローブ渋滞情報などのご利用には、事前にユーザー登録が必要です。下記の手順に従って、ご登録手続きをお願いいたします。

メモ

- 登録時に、ご購入証明書に記載されている内容が必要になります。ご購入証明書をお手元にご用意ください。
- 本書で使用している画面例は、実際の画面と異なることがあります。

1 インターネットに接続可能なパソコンで下記URLにアクセスする

https://entry.air-agent.jp/navigation/MZD/

メモ

- パソコンリンクソフト「NAVI OFFICE 2」のアップデートマネージャー（Y-3）のメニューからも登録できます。

2 お使いのナビゲーションを選択する

メモ

- ご購入証明書などで機種名をご確認のうえ選択してください。

▼

以降は画面に従ってユーザー登録を行ってください。

メモ

- ニックネームとパスワードは、セキュリティロックやリアルタイムプローブ渋滞情報などのご利用時に必要な情報です。下記に控えておかれることをお勧めします。
- ニックネーム：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
- パスワード：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
- ユーザー登録後の内容確認や抹消、パスワード忘れに関しては、裏表紙に記載のパイオニア相談窓口へお問い合わせください。

地図の更新方法について

本製品の地図データは、パソコンリンクソフト「NAVI OFFICE 2」*(→ Y-6)*を使って無料で最新版に更新することができます。

サービス期間と更新時期について

- 本サービスは、2017 年 10 月 31 日までの予定です。
- 最終データは、2016 年 12 月の全更新版および 2017 年 4 月の差分更新版となります。

更新時期と配信内容

種類	データの内容	提供時期
全更新	各種高速道路データ 渋滞予測データ 固有音声データ イラストデータ ランドマークデータ 通常地図 詳細市街地図 ドライブデータ 検索データ 本機の更新プログラム	6月、12月
差分更新	道路差分データ 地点情報差分データ 本機の更新プログラム	2月、4月、 8月、10月

地図更新案内について

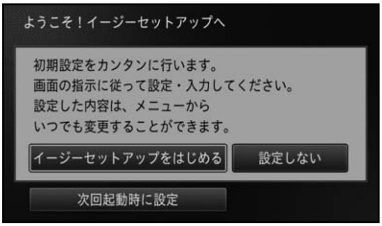
2014 年 1 月 1 日から 2017 年 12 月 31 日までの間、年 1 回地図更新についてのお知らせを、音声と画面に表示されるメッセージにて案内します。毎年 1 月 1 日以降の最初の起動時に 1 回案内します。機能設定で、案内の ON/OFF を設定できます。*(→ H-31)*
パソコンリンクソフトを使って全更新を実施すると、以降は案内しなくなります。

イージーセットアップ

本機の基本的な設定を、画面の指示に従って簡単に行うことができます。
ご購入後、本機をはじめてお使いになるときは、自動的にイージーセットアップが起動します。設定した内容は、あとから変更することもできます。

イージーセットアップをはじめる

1 イージーセットアップをはじめるにタッチする



▼

以下の順に設定を行います。

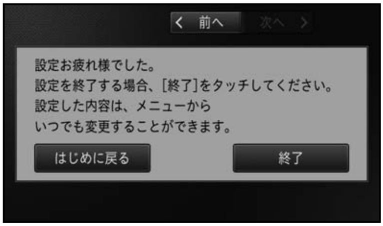
音量設定→自宅設定→ETC取付状態設定→カスタム設定→Bluetooth設定→Linkwithモード接続機器設定→車両情報設定→ユーザー設定

それぞれの画面の指示に従って設定してください。

メモ

- あとで設定したい場合は、次回起動時に設定にタッチしてください。次回起動時もイージーセットアップが起動します。また、本機の起動時以外にも設定・編集メニュー（→C-2）からイージーセットアップをはじめることもできます。
- 設定しないにタッチすると、イージーセットアップを行わず、地図画面を表示します。

2 イージーセットアップ終了画面まで進んだら、終了にタッチする



イージーセットアップ画面について

終了
イージーセットアップを終了します。

次へ＞
設定内容を保存し、次の画面を表示します。

＜前へ
設定をやり直す場合など、一つ前の画面を表示します。

イージーセットアップ進捗バー
イージーセットアップがどこまで進んでいるか確認できます。

イージーセットアップで設定できる項目

音量設定

ナビゲーションの案内音量、操作音量、および電話の受話音量、着信音量、送話音量の調整を行います。

ナビゲーションタブ設定画面

電話タブ設定画面

自宅設定

自宅を登録できます。

ETC 取付状態設定

車にETC車載器を取り付けているかいないかを設定できます。

メモ

- ルート案内中は、設定できません。

カスタム設定

カスタムボタン(→B-1)に割り当てたい機能を設定できます。

メモ

- 本機に別売のサイドカメラまたはフロントカメラを接続し、ONに設定した場合は、カスタム設定に関わらず、カスタムボタンを押すと、サイドカメラ映像、またはフロントカメラ映像を表示します。OFFに設定すると、カスタム設定で割り当てた機能を再び使うことができます。

Bluetooth 設定

本機にBluetooth機器を登録できます。

Linkwith モード接続機器設定

本機にスマートフォン(Android)またはiPhone を接続し、本機の画面にAndroidまたはiPhoneの機能を表示して使用する設定ができます。

車両情報設定

車両の大きさや車種などを設定して、駐車場の検索、有料道路の料金案内などに利用することができます。

メモ

- ルート案内中や、ハイウェイモードの場合は、「有料道路料金区分」の設定はできません。

ユーザー設定

使用中ユーザーのユーザーアイコン、ユーザー名、案内音量、操作音量、地図の表示などを設定できます。

テレビを見るための準備

本機をご購入後、はじめてテレビをご覧になるときは、miniB-CAS カードの装着や受信可能なチャンネルを探して本機に登録する作業(チャンネルスキャン) が必要です。

メモ

- miniB-CASカードを挿入するときは、カードを落とさないようにご注意ください。
- miniB-CASカードを挿入するときは、金色端子部に触れないでください。接触不良の原因となりテレビが視聴できなくなる場合があります。
- チャンネルスキャンは、テレビの電波を受信しやすい場所で行ってください。(地下駐車場などでは電波を受信しない場合があります。)
- 車のバッテリーを外したときや、設定初期化(*→「設定を初期状態に戻す」(H-36)*) したときにもチャンネルスキャンが必要です。

1 車のエンジンをかける

2 [⏏] (オープン/イジェクトボタン)を押す

3 SDカード挿入 にタッチする

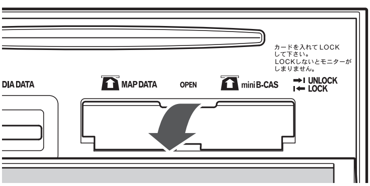
▼

画面モニターが開きます。

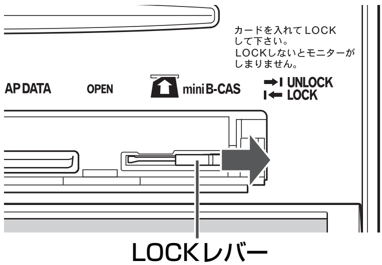
注意

- **画面モニターの開閉を手動または工具を使って無理に行わないでください。画面モニターに強い力が加わると故障することがあります。**
- **画面モニターの開閉をするときに、物を挟まないようにご注意ください。物が挟まってしまったときは、挟まった物を取り除いてから開閉してください。**

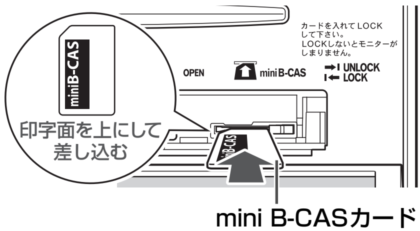
4 スロットカバーを開ける



5 LOCKレバーをUNLOCK位置までスライドする



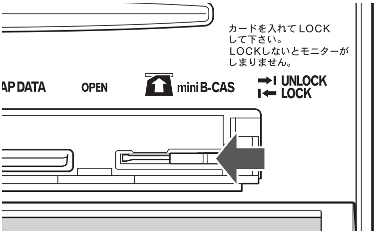
6 miniB-CASカードを奥まで差し込む



注意

- miniB-CAS カードには IC が内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたりなどして、IC 部を傷つけないようにご注意ください。

7 LOCKレバーをLOCK位置までスライドする



8 スロットカバーを閉じる

9 [⏏]（オープン/イジェクトボタン）を押す

▼

画面モニターが閉じます。

メモ

- 画面モニターが閉じない場合は、LOCKレバーがLOCK位置になっていない可能性があります。LOCKレバーの位置をご確認ください（LOCKレバーの位置が正しくないまま[⏏]（オープン/イジェクトボタン）を押すと、LOCKレバーを正しい位置に促す旨のメッセージと音声が案内されます）。
- 地上デジタルテレビ放送では、miniB-CASカードがないと視聴できません。視聴中は、必ず付属のminiB-CASカードを本機に装着してください。
- miniB-CASカードは、常時装着した状態で使用してください。
- miniB-CASカードの取り扱いについては、カードが貼ってある台紙をご覧ください。

10 [メニュー] を押し、**AUDIO** にタッチする

▼

AUDIO画面が表示されます。

11 **TV** にタッチする

12 画面にタッチする

▼

シンプル操作タッチキーが表示されます。

13 **詳細** にタッチする

▼

操作タッチキー 1が表示されます。

14 スキャン に長くタッチする

▼

▼

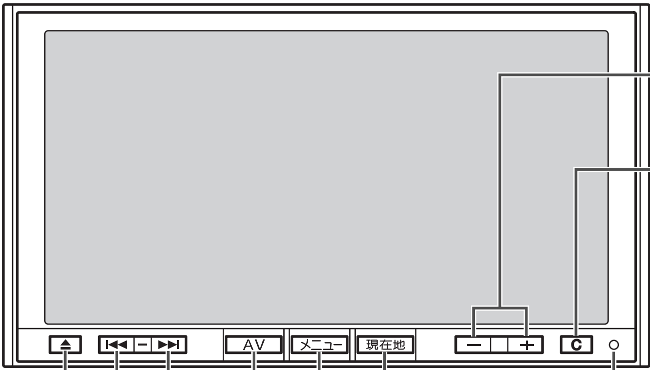
チャンネルスキャンが終了すると、テレビ画面が表示されます。

miniB-CASカードを取り外すときは

何らかの理由によりminiB-CASカードを本機から取り外したあとは、必ずLOCKレバーをLOCKの位置まで戻してください。miniB-CASカードが挿入されていない状態でも、LOCKレバーをLOCK位置にしないと画面モニターを閉じることができません（LOCKレバーの位置が正しくないまま ⏏（オープン/イジェクトボタン）を押すと、LOCKレバーを正しい位置に促す旨のメッセージと音声が案内されます）。

各部の名称とはたらき

ナビゲーション本体（画面モニターを閉じた状態）



音量調整ボタン*（→B-5）*
音量を調整します。

カスタムボタン*（→H-29）*
サイドカメラ、フロントカメラ、バックカメラの映像画面は、カスタムボタンを押して、設定条件に合わせて切り換えることができます。それ以外の場合は、お好みの機能を割り当てて実行することができます。

セキュリティ LED
セキュリティ機能が動作している場合は、点滅表示させせることができます。*（→H-27）*

現在地ボタン*（→B-9,C-5）*
現在地画面を表示します。
長く押すと一時的に画面を消すことができます。

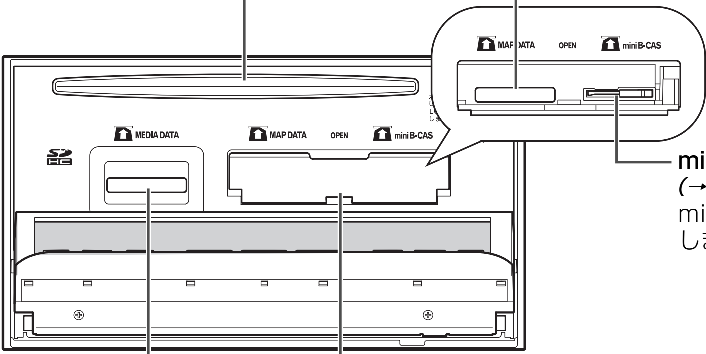
メニューボタン*（→C-1,Z-11）*
トップメニューを表示します。
長く押すと画質調整画面を表示します。

AVボタン*（→B-8,K-1）*
ナビ画面の場合は、AVソース画面に切り換えます。
AVソース画面の場合は、AUDIOメニューを表示します。
長く押すとAVソースをON/OFFにすることができます。

I◀◀ ／ ▶▶Iボタン*（→L-1,4,6,M-1,3,N-2,6,O-5,P-2,Q-4,R-2,S-2）*
トラックのダウン／アップや早戻し／早送りなどのオーディオ操作を行います。

オープン / イジェクトボタン*（→B-10,12,13,14）*
ディスクやSDカードの出し入れ、画面モニターの角度調整を行うための操作画面を表示します。

ナビゲーション本体（画面モニターを開いた状態）



ディスク挿入口*（→B-12）*
CDやDVDなどを挿入します。

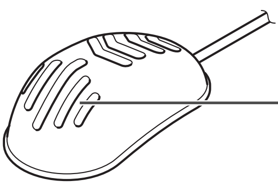
地図SDカードスロット
地図データが収録されたSDカードが挿入されています。
地図更新時以外は地図SDカードを抜かないでください。

miniB-CASカード挿入口
（→A-22）
miniB-CASカードを挿入します。

SDカードスロット*（→B-13）*
SDカードを挿入します。

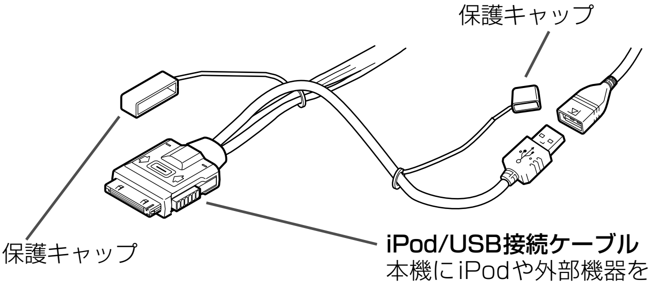
スロットカバー

ハンズフリー用マイク



ハンズフリー用マイク
本機にBluetooth機器を接続して、ハンズフリー通話を行う場合は、ハンズフリー用マイクに向かって話します。

iPod/USB接続ケーブル

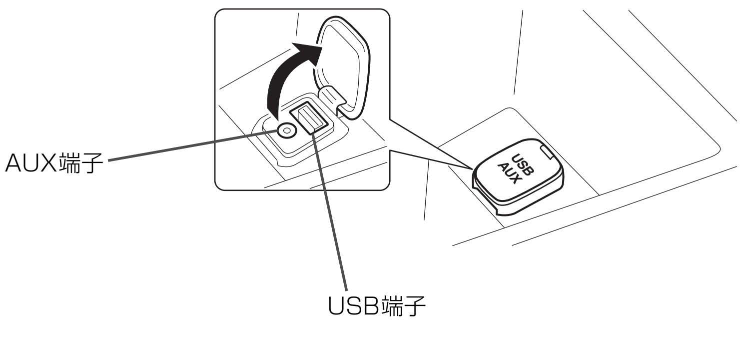


iPod/USB接続ケーブル
本機にiPodや外部機器を接続する場合に使用します。
iPodを接続していないときは、保護キャップをかぶせた状態にしてください。

メモ

- iPodと、USBメモリ、WALKMAN®は同時接続できません。
- 本機と接続することによって、iPodのバッテリーを充電することができます。
- iPod/USB接続ケーブルのUSB端子にお手持ちのスマートフォンやWALKMAN®に適合するケーブルを接続することによって、スマートフォンやWALKMAN®を充電することができます。
- USBボックス装着車の場合、iPod/USB接続ケーブルは使用できません。

USBボックス（USBボックス装着車のみ）



メモ

- USBボックス装着車では、USBボックスのUSB/AUX端子を利用します。接続する機器に付属の接続ケーブルを使用してください。
- USBボックス装着車にiPodを接続するには、iPodに付属のDock - USBケーブルが必要です。その場合、iPodビデオは使用できません。また、iPhone 4/4Sの場合、Linkwithモードは使用できません。

現在地画面のタッチキー

渋滞タッチキー *(→J-2)*
渋滞情報を取得していてルート案内中の場合は、渋滞情報を表示します。ルート案内中でない場合は、規制情報を表示します。
また、長くタッチすると専用サーバーに接続して渋滞情報を取得します。詳しくは*「オンデマンドVICS情報・リアルタイムプローブ渋滞情報を利用する」(→J-1)*をご覧ください。

ビュータッチキー *(→C-8)*
地図の表示方法や向きを選んだり、一方通行のマークやロゴマークの表示・非表示を設定できます。
また地図上に表示される文字の拡大や地図スケールの登録なども行うことができます。

広域/詳細タッチキー
(→C-8)
地図の表示範囲をおおまかな表示で拡大(広域)したり、精密な表示で縮小(詳細)したりできます。

情報ウィンドウタッチキー
タッチするごとに現在地情報(市区町村名)とAV情報(AVソース名や再生中タイトル名など)を切り換えます。

ユーザーアイコンタッチキー
パーソナライズ設定*(→H-36)*で設定したユーザー名とアイコンを表示します。(ナビ機能設定により、非表示にすることもできます。)
タッチすると、パーソナライズ機能を利用できます。パーソナライズ機能について、詳しくは*「パーソナライズ機能を利用する」(→Z-4)*をご覧ください。

かんたん目的地検索タッチキー
検索項目を絞り込んだ目的地メニューを表示します。(ナビ機能設定により、非表示にすることもできます。)
詳しくは*「かんたん目的地検索で探す」(→D-7)*をご覧ください。

音量を調整する

音量調整方法を説明します。本機のボタンを操作すると、出力中の音声（電話の受話音、着信音、再生中のオーディオの音声など）の音量を調整できます。

注意

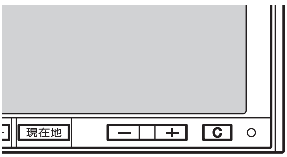
- **車外の音が聞こえにくいと、交通事故の原因となります。安全運転をさまたげないように適度な音量でお使いください。**

メモ

- AVソースごとの音量の差を調整することもできます。詳しくは*「ソースレベルアジャスター」(→V-4)*をご覧ください。
- ナビゲーションの案内音量と操作音量、電話の送話音量は、音量設定メニューのみで調整できます。*(→H-15)*
- 電話使用時などに、自動的にオーディオの音を消したり小さくしたりすることもできます。詳しくは*「消音設定」(→V-5)*をご覧ください。
- カスタム設定*(→H-29)*で「MUTEをON/OFFする」を割り当てている場合は、C（カスタムボタン）を押すごとにオーディオの音量を消したり元に戻したりできます。
- ステアリングオーディオスイッチ装着車では、ステアリングオーディオスイッチで音量の調整ができます。

音量を調節する

1 音量調整ボタンを押す



＋側	音量が大きくなります。
－側	音量が小さくなります。

メモ

- 本設定は、音量設定の着信音量、受話音量と連動しています。*(→H-15)*
  - 電話着信中：着信音量の調節ができます。
  - 通話中：受話音量の調節ができます。

基本操作

本機の基本操作について説明します。

タッチパネルで操作する

画面上に表示されるマークや項目（操作タッチキー）に直接指で触れる（タッチする）ことで操作することができます。

操作例：

終了	現在開いているメニューなどを終了して元の画面に戻ります。
戻る	現在開いているメニューなどの画面を1つ前の画面に戻します。

フリック操作

画面に触れた指を上下左右に払うような操作を「フリック操作」といいます。
指を払った方向に地図やリストが移動します。

例：ナビ機能設定画面

フリック反応エリア

メモ

- 地図のフリック操作は、機能設定*(→H-2)*の「地図スクロール操作」で「フリックスクロール」を選択したときに操作可能です。
- フリック反応エリアは、表示された画面によって異なります。

ドラッグ操作

画面に触れたまま指を動かす操作を「ドラッグ操作」といいます。
はじめにタッチした地図上の地点が指の動きに従って移動します。

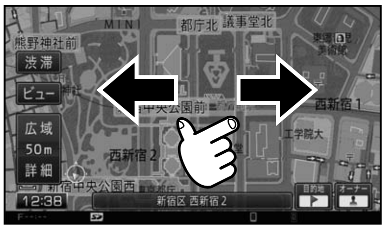
メモ

- 機能設定*(→ H-2)*の「地図スクロール」で「フリックスクロール」を選択したときに操作できます。

ピンチアウト・ピンチイン操作

2本の指を画面に触れたまま押し広げるように開く操作を「ピンチアウト」、つまむように閉じる操作を「ピンチイン」といいます。
地図画面でピンチアウトすると地図が拡大し、ピンチインすると地図が縮小します。

ピンチアウト



ピンチイン

> **メモ**
> - 機能設定(→ H-2)の「地図スクロール」で「フリックスクロール」を選択したときに操作できます。

ワイプ操作

画面に触れた指を上下左右に動かして、基本的な機能を操作することができます。

1 ワイプ反応エリアをタッチする

例：交差点案内図

▼

ワイプ操作ガイド画面が表示されます。

> **メモ**
> - ワイプ操作可能なエリアに、ワイプ枠を表示することができます。(→H-30)

2 そのまま指を離さずに、行いたい操作の方向へ指をスライドして離す

▼

選んだ機能が動作します。
ワイプ操作が可能な機能と画面は以下のとおりです。操作内容について、詳しくは各ページの*「ワイプで操作する場合」*をご覧ください。

ナビゲーション機能

- 交差点案内図 *(→E-10)*
- 渋滞考慮オートリルート *(→E-15)*
- 通行止め考慮オートリルート*(→E-16)*

オーディオ機能

- 交通情報*(→L-4)*
- CD *(→M-1)*
- ROM *(→M-3)*
- DVDビデオ *(→N-2)*
- DVD-VR *(→N-7)*
- ラジオ（FM/AM）*(→L-1)*
- TV *(→L-6)*
- SD/USB *(→P-2)*
- iPod *(→Q-4)*
- Bluetooth Audio *(→R-2)*
- VTR *(→U-5)*
- AUX（USBボックス装着車）*(→U-1)*
- WALKMAN® *(→S-2)*
- HDMI *(→U-3)*
- MSV *(→0-6)*

携帯電話機能

- 電話着信中 *(→X-2)*

> **メモ**
> - ワイプ反応エリアは、表示された画面によって異なります。
> - ワイプ反応エリア内であれば、画面のどこをタッチしてもワイプ操作を行えます。

ボタンで操作する

本機のボタンを使って、画面の切り換え、メニュー画面の表示、オーディオの操作などを行うことができます。

ステアリングオーディオスイッチで操作する

ステアリングオーディオスイッチ装着車では、ステアリングオーディオスイッチで次の操作ができます。（車種によってボタンは異なります。）

⏮ ／ ⏭	トラックのダウン／アップや早戻し／早送りなどのオーディオ操作を行います。
VOL＋/VOL－	音量調整を行います。
MODE	AVソースを切り換えます。長く押すと、AVソースをOFFにします。
MUTE	MUTEをON/OFFします。

純正ナビゲーションシステム用パネルで操作する

車両に搭載されている純正ナビゲーションシステム用パネルで次の操作ができます。

VOL＋/VOL－	音量調整を行います。
⏮ ／ ⏭	トラックのアップ／ダウンや早送り／早戻しなどのオーディオ操作を行います。
MODE	AVソースを切り換えます。長く押すと、AV ソースをOFFにします。
MUTE	MUTEをON/OFFします。
⏏	画面モニターが閉じている場合は、モニターが一段階ずつ傾き、最大角度に達すると最小角度に戻ります。長く押すと全開します。 画面モニターが半開の場合は、モニターが前回の状態まで傾きます。長く押すと全開します。 画面モニターが全開の場合は、モニターが前回の状態まで傾きます。
NAVI	現在地画面を表示します。
MENU	設定・編集メニューのナビゲーションタブを表示します。長く押すと、オーディオタブを表示します。
ZOOM－	地図を一段階縮小して表示します。
ZOOM＋	地図を一段階拡大して表示します。
PHONE	電話の着信時は応答します。長く押すと、着信を拒否できます。また、通話中に長く押すと、電話を切ることができます。

画面の切り換えかた

ナビゲーション画面とAVソース画面を切り換える

ナビゲーション画面（地図画面）とAVソース画面（オーディオ画面）をワンタッチで切り換えることができます。

1 ナビゲーション画面で AV を押す

▼

現在選択されているAVソースの画面が表示されます。

2 AVソース画面で 現在地 を押す

▼

ナビゲーション画面が表示されます。

メモ

- AVソース画面を表示している状態でも、以下の情報が割り込み表示される場合があります。
  - VICS緊急情報の自動表示 *(→G-4)*
  - 交差点案内図 *(→E-10)*
- AVソース画面への割り込み表示（交差点案内表示のみ）は、ON／OFFすることができます。
  →「機能設定をする」(H-1)

画面を一時的に消す（ナビスタンバイ）

夜間、画面がまぶしい場合など、一時的に画面を消すことができます。

1 現在地 を長く押す

▼

画面が一時的に消えます。

メモ

- ナビスタンバイ中に画面にタッチすると、元の画面に戻ります。また、現在地 を押すとナビスタンバイを解除して現在地画面を表示します。メニュー ボタンを押すとナビスタンバイ画面を解除してメニュー画面を表示します。AV を押すとナビスタンバイを解除してAVソース画面を表示します。
- ナビスタンバイ中は、ナビゲーションの音声案内も出力されません。オーディオの音声は出力されます。
- カメラ機能 *(→W-1)* を使用中は、一時的にナビスタンバイモードを解除します。カメラ機能の使用が終了した時点で、自動的にナビスタンバイモードに戻ります。
- ナビスタンバイは本機の電源をOFF/ON（エンジンスイッチをOFF/ON）しても解除されません。
- 地上デジタルテレビの緊急警報放送を受信した場合は、ナビスタンバイモードは解除されます。

画面モニターの角度を調整する

画面モニターを見やすい角度に調整して記憶させることができます。

1 [⏏]（オープン/イジェクトボタン）を押す

2 [－]または[＋]にタッチする

＋	画面モニターが一段階ずつ開きます。
－	画面モニターが一段階ずつ閉じます。

メモ

- 調整した画面モニターの角度は本機に記憶され、本機の電源をOFF/ON（エンジンスイッチをOFF/ON）しても自動的に調整した角度になります。別の角度にしたい場合は、再度調整してください。

注意

- **画面モニターの角度調整を手動または工具を使って無理に行わないでください。画面モニターに強い力が加わると故障することがあります。**
- **画面モニターの角度調整をするときに、物を挟まないようにご注意ください。物が挟まってしまったときは、挟まった物を取り除いてから調整してください。**

画面モニターの角度調整をするときは、指などを挟まれないようにご注意ください。特にお子様にはご注意ください。ケガの原因となることがあります。

リスト画面の操作

操作中に表示されるリスト画面の共通操作について説明します。

基本的なリストの操作

ページ送り 1画面ずつ移動します。	[▲]／[▼]にタッチする（タッチし続けると、連続で移動します。）
タブ送り タブ付きリストでは選んだタブのリストに切り換わります。	タブ（例：[ルート・案内]）にタッチする

メモ

- リスト画面では、リストを上下にフリック操作してもページ送りができます。

50音タブの操作

行送り リストを行送りすることができます。 (例:あ→か→さ→た→な)	タブ([あ]～[わ])にタッチする
音送り リストを音送りすることができます。 (例:あ→い→う→え→お)	タブ(例：[あ])に繰り返しタッチする

サイドマップ表示時の50音タブの操作

あかさたな送り	▶▶にタッチする
リストを次ページに送ることができます。	(例: あかさたな→はまやらわ)

メモ

- 前ページのリストに戻るには、◀◀にタッチします。
- サイドマップについては、*「サイドマップについて」(→C-14)*を参照してください。

テキストスクロール

スクロール	▶にタッチする
テキストを右にスクロールすることができます。	(◀にタッチすると、テキストが元の位置に戻ります。)

ポップアップメニューの操作

ポップアップメニューは、選んだ項目に選択肢がある場合に表示されます。

チェックリストの操作

チェックリストで、項目のチェックボックス■にタッチすると、☑(チェックマーク)が表示され、選択中であることを示します。もう一度項目のチェックボックスにタッチすると☑が消え、選択が解除されます。

インジケーター付リストの操作

インジケーター付リストでは、項目を選ぶとリスト右側のインジケーターが点灯し、選択中であることを示します。もう一度項目を選ぶとインジケーターが消灯し、選択が解除されます。

ディスクの出し入れ

注意

- 画面モニターの開閉を手動または工具を使って無理に行わないでください。画面モニターに強い力が加わると故障することがあります。
- 画面モニターの開閉をするときに、物を挟まないようにご注意ください。物が挟まってしまったときは、挟まった物を取り除いてから開閉してください。
- 8cm ディスクには対応しておりません。また、アダプタを装着した 8cm ディスクも絶対に使用しないでください。

指のケガに注意

画面モニターを開閉するときは、指などを挟まれないようにご注意ください。特にお子様にはご注意ください。ケガの原因となることがあります。

ディスクの入れかた

1 **⏏(オープン/イジェクトボタン)を押す**

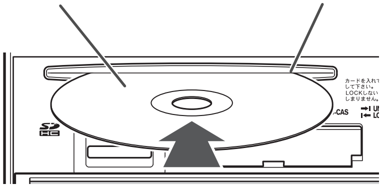
2 **ディスク挿入にタッチする**

▼

画面モニターが開きます。

3 **ディスクを差し込む**

レーベル面を上にする　　ディスク挿入口



▼

ディスクを途中まで差し込むと自動的に引き込まれ、画面モニターが閉じます。

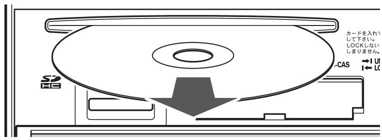
ディスクの取り出しかた

1 **⏏(オープン/イジェクトボタン)を押す**

2 **ディスクイジェクトにタッチする**

▼

画面モニターが開き、ディスクが自動的に押し出されます。



メモ

- ディスクが途中まで押し出された状態でもう一度⏏(オープン/イジェクトボタン)を押すと、ディスクが自動的に引き込まれ、画面モニターが閉じます。

3 **ディスクを取り出し、⏏(オープン/イジェクトボタン)を押す**

▼

画面モニターが閉じます。

SDカードの出し入れ

メモ

- miniSD™ カード、microSD™カードには、市販されている専用のアダプタが必要となります。
- 音楽ファイルや映像ファイルが保存されたSDカードは左側のMEDIA DATAスロットに入れてください。
- 地図SDカードの抜き差しについては、*「地図SDカードの更新を行う」(→Y-6)*をご覧ください。

注意

- 本機で使用しているときに SD カードのデータが消失しても、消失したデータの補償についてはご容赦ください。
- 画面モニターの開閉を手動または工具を使って無理に行わないでください。画面モニターに強い力が加わると故障することがあります。
- 画面モニターの開閉をするときに、物を挟まないようにご注意ください。物が挟まってしまったときは、挟まった物を取り除いてから開閉してください。
- SD カードの出し入れを無理に行うと、本機や SD カードが破損する恐れがあります。ご注意ください。
- SD カードの挿入口には、SD カード以外のものを挿入しないでください。コインなどの金属物を挿入した場合、内部回路が破損し故障の原因となります。
- 安全のため、走行中は SD カードの出し入れはしないでください。

指のケガに注意

画面モニターを開閉するときは、指などを挟まれないようにご注意ください。特にお子様にはご注意ください。ケガの原因となることがあります。

SDカードの入れかた

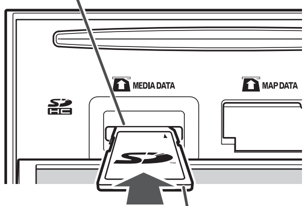
1 ⏏（オープン/イジェクトボタン）を押す

2 SDカード挿入 にタッチする

▼

画面モニターが開きます。

3 "カチッ"と音がするまでSDカードを差し込む



4 ⏏（オープン/イジェクトボタン）を押す

▼

画面モニターが閉じます。

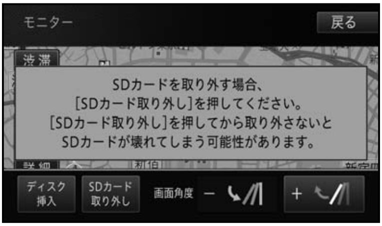
注意

- SD カードが完全に挿入されていない状態で [⏏]（オープン / イジェクトボタン）を押すと画面モニターを閉じることができません。また、その際に SD カードの正しい挿入を促すメッセージと音声が案内されます。確実に SD カードを挿入してから [⏏]（オープン / イジェクトボタン）を押してください。

SDカードの取り出しかた

1 [⏏]（オープン / イジェクトボタン）を押す

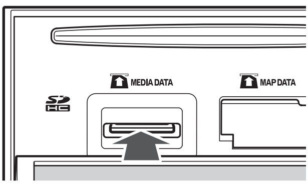
2 SDカード取り外し にタッチする



▼

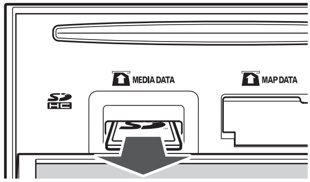
画面モニターが開きます。

3 "カチッ" と音がするまでSDカードを押し込んで離す



▼

SDカードが押し出されます。



4 SDカードをまっすぐ引き抜く

5 [⏏]（オープン / イジェクトボタン）を押す

▼

画面モニターが閉じます。

注意

- SD カードを完全に取り出していない状態で [⏏]（オープン / イジェクトボタン）を押さないでください。カードを破損させるおそれがあります。また、SD カードは中央部をゆっくりと押して、まっすぐ取り出してください。
- 取り出した SD カードは、専用ケースに入れるなどして、保管してください。また、誤ってお子様が飲み込むなどのことが無いように、保管場所にもご配慮ください。

文字の入力操作

「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

場所の名前や電話番号などを登録するときは、文字や数字を入力します。ここでは、メニュー操作中に表示される、文字や数字の入力操作のしかたについて説明します。

メモ

- 英字、数字、カタカナ、ひらがな、漢字、記号、URLが入力できます。
- 項目によっては、使用できる文字の種類が制限されることがあります。
- 本機は、文字入力変換システムに、株式会社ジャストシステムの「ATOK®」を使用しています。

文字入力の方法を切り換える

本機の文字入力は、2種類の方法（キーボード方式と携帯電話方式）から選んで行うことができます。

1 または にタッチする

タッチするごとに以下のように切り換わります。

キーボード方式

▲
▼

携帯電話方式

文字の入力操作の流れ

一般的な文字の入力操作の流れは、次のようになります。

文字の種類を切り換える → 文字を入力する → 無変換、変換を行う → 文字入力を終了する

文字の種類を切り換える

1 文字の種類にタッチする

▼

文字の種類が切り換わります。

メモ

- 漢字変換入力をするには、**かな** にタッチします。
- カタカナ入力をするには、一度ひらがな入力に切り換えたあと、**カナ** にタッチします。

文字を入力する

基本操作

キーボード方式で入力する場合

1 入力したい文字にタッチする

携帯電話方式で入力する場合

1 入力したい文字が表示されるまで、キーをタッチする

入力例 1: にほん

な に2回タッチする →「に」
は に5回タッチする →「にほ」
わ に3回タッチする →「にほん」

入力例 2: おおた

あ に5回タッチする →「お」
I▶ にタッチする →「お＿」
あ に5回タッチする →「おお」
た に1回タッチする →「おおた」

全角・半角を切り換える

カタカナ、英字、数字、記号の場合は全角・半角を切り換えることができます。

1 全角 または 半角 にタッチする

▼

全角または半角に切り換わります。

濁点、半濁点、大文字／小文字を切り換える

ひらがなやカタカナの場合は、選んだ文字により濁点・半濁点を追加したり、小文字に切り換えることができます。

1 ゛゜小文字 にタッチする

▼

タッチするごとに、カーソル左側の文字が以下のように切り換わります。

小文字 → **濁点** → **半濁点** → 元の文字に戻る

例1: ツ　　ツ → ッ → ヅ → ツ
例2: ハ　　ハ → バ → パ → ハ

アルファベットの大文字／小文字を切り換える

アルファベット入力中は、大文字／小文字を切り換えることができます。

1 大/小文字 にタッチする

▼

タッチするごとに、大文字と小文字が切り換わります。

カーソル位置を動かす

1 画面右上の ◀I ・ I▶ にタッチする

▼

タッチした分だけカーソルの位置を移動することができます。

メモ

- 文字入力中の場合、カーソルは同じ色で表示されている文字の範囲内で動かすことができます。
- 検索中の入力画面の場合は、◀I · I▶ でカーソルを移動させることはできません。
- 漢字変換中の場合は、変換する文字の範囲を変更できます。

文字を削除する

1 削除したい文字の右側にカーソルを移動させ、削除 にタッチする

▼

タッチするごとに、カーソルの左側の文字が1文字ずつ削除されます。カーソルが左端にある場合は、右端の文字が削除されます。必要な分だけ文字を削除して、入力をやり直します。

メモ

- 削除 に長くタッチすると、全ての文字を一度に削除することができます。

スペースを空ける

1 スペースを空けたい文字の右側にカーソルを移動させ、スペース にタッチする

▼

タッチした分だけスペースが挿入されます。

文字を挿入する

1 文字を挿入したい場所の右側にカーソルを移動させる

▼

カーソルの位置に文字を挿入することができます。

メモ

- カーソルは、同じ色で表示されている文字の範囲内で動かすことができます。

無変換、変換を行う

ひらがなをそのまま入力したり、ひらがなを漢字やカタカナなどに変換します。変換は、入力した文字に応じて表示される変換候補から選択（予測変換機能）することができます。

無変換入力をする

1 ひらがなで文字を入力し、無変換 にタッチする

▼

ひらがなで入力されます。

変換入力をする

1 ひらがなで文字を入力する

2 変換 にタッチし、確定 または 全確定 にタッチする

メモ

- 変換 にタッチしたあとに 次候補 にタッチすると、変換候補一覧が表示されます。変換したい文字にタッチすると入力できます。
- ◀ または ▶ にタッチすると、変換する文字の範囲を変更できます。

▼

変換した文字で入力されます。

予測変換をする

1 ひらがなで文字を入力する

▼

入力された文字に応じた変換候補が表示されます。

2 変換候補にタッチする

▼

文字が入力されます。

メモ

- 表示された変換候補に該当する文字がない場合は、一覧 にタッチすると変換候補の一覧を表示して選ぶことができます。一覧を閉じるには 閉じる にタッチしてください。

文字入力を終了する

1 入力終了 にタッチする

URLの入力について

URLの入力が必要な場合は、自動的にURL入力画面が表示されます。必要に応じて、文字の種類を切り換えて入力してください。

B 基本操作

かな漢字変換できる記号

学術記号

読み	記号
いこーる	＝
ごうどう	≡
だいなり	＞
しょうなり	＜
ばつ	×
ふとうごう	≠ ＜ ＞ ≦ ≧ ≪ ≫
ぷらす/たす	＋
まいなす/ひく	－
ぷらすまいなす	±
むげん/むげんだい	∞
なぜならば	∵
ゆえに	∴
かける	×
わる	÷

ギリシア文字

読み	記号
あるふぁ/あるふぁー	Α α
いーた	Η η
いおた	Ι ι
いぷしろん	Ε ε
うぷしろん	Υ υ
おーむ/おめが	Ω ω
おみくろん	Ο ο
かい/きー	Χ χ
かっぱ	Κ κ
がんま/がんまー	Γ γ
くしー/ぐざい	Ξ ξ
しーた	Θ θ
じーた	Ζ ζ
しぐま	Σ σ
たう	Τ τ
でるた	Δ δ
にゅー	Ν ν
ぱい/ぴー	Π π
ふぁい/ふぃー	Φ φ
ぷさい/ぷしー	Ψ ψ
べーた	Β β
みゅー	Μ μ
らむだ	Λ λ
ろー	Ρ ρ

括弧

読み	記号
かっこ	‘’ “” （） 〔〕 ［］ ｛｝ 〈〉 《》 「」 『』 【】

記号・マーク

読み	記号
くろぼし	★
くろまる	●
しろぼし	☆
しろまる	○
さんかく	△ ▲ ▽ ▼
しかく	◇ ◆ □ ■
ずけい	☆ ★ ○ ● ◎ ◇ ◆ □ ■ △ ▲ ▽ ▼
まる	○ ● ◎
にじゅうまる	◎
ひしがた	◇ ◆
ほし	☆ ★
おす	♂
めす	♀
ゆうびん	〒

単位

読み	記号
えん	￥
おんぐすとろーむ	Å
せっし	℃
せんと	¢
たんい	° ′ ″ ℃ ￥ ＄ ¢ £ ％
ど	° ℃
どる	＄
ぱーせんと	％
ぱーみる	‰
びょう	″
ふん	′
ぽんど	£

点

読み	記号
だくてん	゛
てん	、 ， … ‥
はんだくてん	゜
まる	。 ．

矢印

読み	記号
やじるし	→ ← ↑ ↓

その他

読み	記号
あすたりすく/あすてりすく	＊
あっとまーく	＠
あんぱさんど	＆
おんぷ	♪
から/ないし	～
こめ/ほし	※
しゃーぷ	＃
しゃせん	／ ＼
せくしょん	§
だがー	†
だぶるだがー	‡
ふらっと	♭

ナビゲーションの基本操作

メニューの操作

本機のいろいろな機能を使うには、はじめにトップメニューを表示させせます。

1 [メニュー] を押す

▼

トップメニューが表示されます。

トップメニュー

情報	渋滞情報や本機のシステム情報など、各種情報の操作を行う情報メニュー *(→C-1)* を表示します。
AUDIO	AVソースを選択するためのAUDIOメニュー *(→K-1)* を表示します。
目的地	目的地や場所を探すための目的地メニュー *(→C-2)* を表示します。
設定・編集	ナビゲーション機能の設定やオーディオ設定など、各種設定・編集に関する設定・編集メニュー *(→C-2)* を表示します。
携帯電話	携帯電話機能を使うためのメニューを表示します。*(→X-2)*
Linkwith	Linkwith機能を利用するためのメニューを表示します。*(→T-5)*
ルート編集	ルートの編集や消去などを行うメニューを表示します。*(→E-17)*

情報メニュー

渋滞情報や本機のシステム情報など、各種情報の操作を行うメニューです。

渋滞情報	渋滞情報の確認や情報取得を行います。*(→G-5,6,7)*
システム情報	センサー学習の状況や本機に接続された機器の情報を確認できます。*(→G-11,12,14)*
バージョン情報	本機に収録された地図データなどのバージョンやクーポン情報を確認できます。*(→G-14)*
エコマネージャー	エコスコア履歴や平均エコゲージ履歴の確認を行うためのメニューを表示します。*(→Z-1)*
画像表示	SDカードに保存された画像を確認できます。*(→G-15)*
天気予報	天気予報データを取得します。*(→I-1)*
ETC利用履歴	本機に別売のETC車載器を接続したときに表示され、ETCの利用履歴を確認できます。*(→U-6)*

目的地メニュー

目的地や場所の検索方法を選択するメニューです。

名称	目的地の名称を入力して検索します。*(→D-1)*
ジャンル	目的地のジャンルを指定して検索します。*(→D-2)*
周辺施設	自車周辺施設のジャンルを指定して検索します。*(→D-3)*
住所	目的地の住所を入力して検索します。*(→D-4)*
電話番号	目的地の電話番号を入力して検索します。*(→D-5)*
登録地	登録済みの地点から目的地を選んで検索します。*(→D-5)*
自宅	自宅までのルートを探索します。*(→C-21)* 自宅が未登録の場合は自宅の登録を行います。*(→C-21)*
検索履歴	過去に検索した地点から目的地を選んで検索します。*(→D-6)*
通信コンテンツ	通信を利用して、価格の安いガソリンスタンドを探したり、空いている駐車場などを検索します。*(→I-2,3,4,5)*
マップコード	目的地のマップコードを入力して検索します。*(→D-6)*

メモ

- 通信機能をお使いになる場合は、本機にBluetooth（DUNプロファイル）に対応した携帯電話を接続する必要があります。*(→H-7)*

設定・編集メニュー

ナビゲーション機能の設定やオーディオ設定など、各種設定・編集に関するメニューです。

ナビゲーションタブ

ナビデータ編集	登録地や走行軌跡などのデータの編集や消去を行います。*(→F-3,6,7,8)*
ナビ機能設定	ナビゲーション機能の設定を行います。*(→H-1)*
音量設定	ナビゲーションの案内音量や操作音量などの調整を行います。*(→H-15)*
システム設定	セキュリティ設定やカメラの入力設定、カスタムボタンの設定などを行います。*(→H-16,25,28,29,30,31,32,33,34,35,U-7,10,Z-12)*
車両情報設定	車両情報の設定を行います。設定した内容が、駐車場や有料道路の料金案内などに反映されます。*(→H-21)*
自車位置補正	自車位置の修正や走行中の道路種別の切り換えを行います。*(→H-24)*

C ナビゲーション基本操作

オーディオタブ

オーディオ設定	オーディオ機能の設定を行います。*(→V-1)*
ソース別設定	各AVソース別に機能の設定を行います。*(→L-14,N-11,O-3,4,P-4,Q-5,U-2,4)*
映像画面時計表示	TV等の映像画面に時計を表示するかどうかを設定します。*(→K-3)*

電話・通信タブ

Bluetooth設定	Bluetoothの機器登録を行います。*(→H-8)*
音量設定	ハンズフリー時の受話・着信・送話音量の調整を行います。*(→H-15)*
携帯電話データ編集	携帯電話のメモリダイヤルの読み込みや消去、発着信履歴の消去を行います。*(→X-5)*
リアルタイムプローブ設定	リアルタイムプローブを利用するための設定を行います。*(→J-4)*
NaviCon連携/Linkwith設定	iPhoneまたはスマートフォンをLinkwithモードで使うための設定を行います。*(→T-1,2,3,8,9)*

メンテナンスタブ

項目設定	消耗品の交換時期のお知らせ設定を行います。*(→G-8)*
詳細設定	交換時期のお知らせの自動通知設定や設定項目内容の全消去、全更新を行います。*(→G-9)*
販売店設定	販売店情報の設定を行います。*(→G-9)*

共通設定

イージーセットアップ	画面の案内に従って、本機の基本設定を行います。*(→H-17)*
パーソナライズ設定	地図表示や音量設定などをユーザーごとに登録、切り換えて使用できます。*(→H-36)*
設定初期化	設定された機能を工場出荷時の状態に戻します。*(→H-36)*

ショートカットメニューの操作

地図を動かしたり場所を探したあとに自動的に表示されるメニューを、ショートカットメニューといいます。ルート探索や地点登録、詳細情報の表示などを行うことができます。

1 地図をスクロールまたは場所を探す(→D-1)

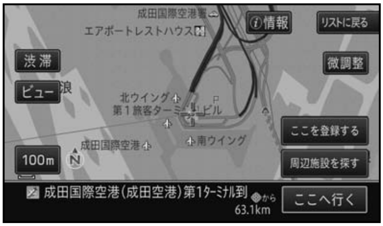
▼

十字カーソルの位置や地図の表示状況によって、それぞれに応じたショートカットメニューが表示されます。

スクロール画面のとき

情報	表示した場所に詳細情報のデータが収録されている場合は、詳細情報を表示します。*(→D-8)* 詳細情報が複数ある場合は、詳細情報を表示する場所を選択する画面が表示されます。
ここを登録する	現在のカーソル位置を本機に登録することができます。*(→F-1)*
周辺施設を探す	カーソル位置周辺の施設をジャンルを選んで検索することができます。*(→D-3)*
ここへ行く	十字カーソル位置を目的地として、ルート探索を行います。*(→E-1)*

検索結果画面のとき



情報	検索した場所に詳細情報のデータが収録されている場合は、詳細情報を表示します。*(→D-8)*
ここを登録する	検索した場所を本機に登録することができます。*(→F-1)*
周辺施設を探す	検索した場所周辺の施設をジャンルを選んで検索することができます。*(→D-3)*
ここへ行く	検索した場所を目的地として、ルート探索を行います。*(→E-1)*

メモ

- 検索したあとに地図をスクロールさせると **検索地点に戻る** が表示されます。タッチすると、スクロールする前の地点に戻ります。

地図画面の操作

ナビゲーションの地図表示には、自分の車(自車)の現在地を表示する「現在地画面」と見たい場所を表示する「スクロール画面」があります。

現在地画面を表示する

どの画面を表示していても、すばやく現在地画面に戻ることができます。

1 現在地 **を押す**

▼

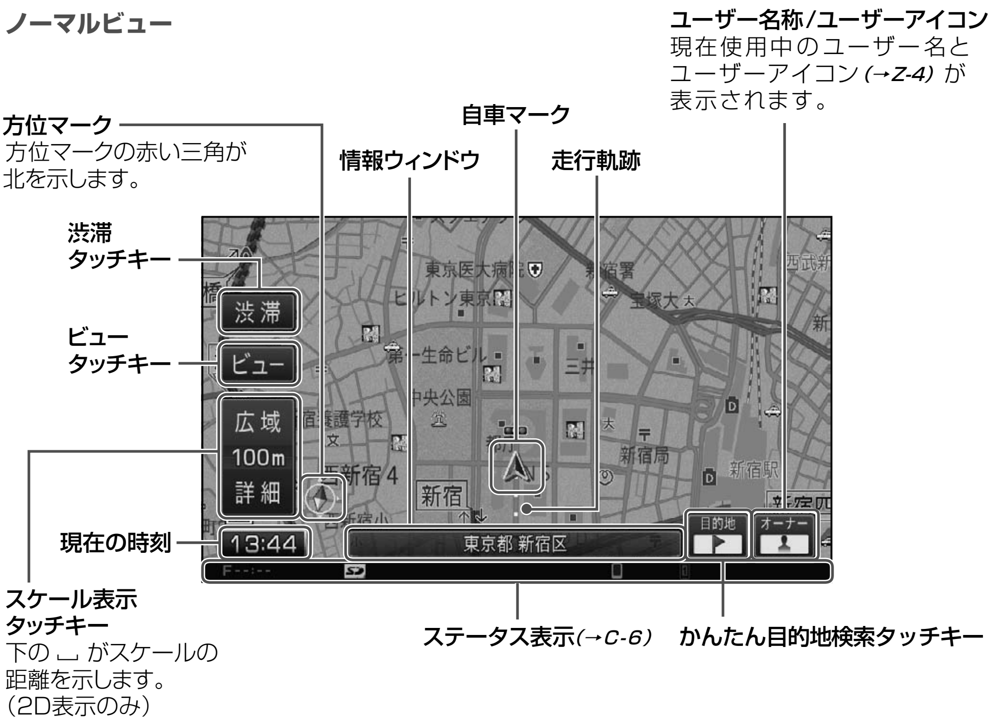
現在地の地図が表示されます。

メモ

- 現在地画面を表示している状態で 現在地 を押すと、登録した地図スケール *(→C-14)* に切り換わります(登録スケールで表示している場合は動作しません)。

現在地画面の見かた

ノーマルビュー



メモ

- 本機をはじめて使うときや、長期間使っていなかったときなどは、現在地を表示するまでに5分程度かかることがあります。
- 自車マークは、実際の現在地からずれる場合があります。
- 走行軌跡は、今までに通った約250km分の走行軌跡が表示できます。通常は白、車の速度が5km/h未満のときは赤、5km/h以上20km/h未満のときは橙の点で表示されます。
- 情報ウィンドウは、タッチするごとに現在地情報とAV情報（AVソース名、再生中タイトル名など）を切り換えます。現在地情報の表示項目（市区町村名、走行道路名、緯度経度）は、あらかじめ設定しておくことができます。→*「機能設定をする」(H-1)*
- 情報ウィンドウが「市区町村名」「走行道路名」の場合は、地図スケール表示が100m以上のときに市区町村名まで表示されます。10m ～ 50mの詳細市街地図を表示中は、市区町村名、住所名、丁目まで表示されます。場所によっては表示されないところもあります。
- 現在の時刻は、GPS衛星からの情報に基づいて表示しています。時刻の変更はできません。

ステータス表示について

地図画面の下部には、本機の状態がアイコンで表示されます。

	本機内蔵のFM多重チューナーや、本機に接続したビーコンユニットまたはDSRCユニットで受信したVICS情報の渋滞情報提供時刻が表示されます。→*「VICS情報を利用する」(G-1)*
	リアルタイムプローブまたはオンデマンドVICSから受信した渋滞情報提供時刻が表示されます。→*「オンデマンドVICS情報・リアルタイムプローブ渋滞情報を利用する」(J-1)*
	本機に接続したETCユニットまたはDSRCユニットに挿入したETCカードの状態が表示されます。 －有効期限内のETCカード挿入時： －有効期限が切れたETCカード挿入時：
	本機に挿入されたSDカードを認識している場合に表示されます。データの読み込み中や消去中は処理中を示すアイコンが表示されます。

	本機のプログラムなどを更新している場合に、更新中マークと進捗状況が表示されます。
	天気予報を取得している場合に、取得した天気予報マークと予報時刻が表示されます。
	iPhoneまたはスマートフォンとNaviCon連携している場合に表示されます。
	音楽CDからMSV（ミュージックサーバー）へ録音中に表示されます。
	音声MixがONのときに表示されます。
	Bluetooth設定でハンズフリー1またはハンズフリー2に設定された機器が接続されている場合に、それぞれの電池残量と電波状態が表示されます。※1

※1 スマートフォンの機種によっては、電波状況を正確に表示できない機種があります。

地図を動かす（スクロール）

地図上の見たい場所に地図を動かします。

1 地図上の見たい方向にタッチする

▼

タッチした場所が中心となるように地図が動きます（タッチスクロール）。

メモ

- 画面にタッチしたまま指を動かしスクロールすることもでき、画面中央のカーソルから離れた場所にタッチするほど、スクロールする速度が速くなります。ただし、走行中はタッチした場所までしかスクロールできません。
- 8方向矢印表示中またはシティマップ *（→C-9）* の場合、走行中にスクロール操作を行うことはできません。
- 指を動かした方向に地図を動かす「フリックスクロール」を選択することもできます。*→「機能設定をする」（H-2）*

2 位置を微調整したい場合は、微調整にタッチしてから、微調整したい方向の矢印（8方向）にタッチする

▼

▼

矢印にタッチするごとに、地図が少しずつ動きます。
もう一度 微調整 にタッチすると、8方向の矢印が消えます。

メモ

- 微調整の操作は、地図の表示モードがノーマルビューの場合のみ可能です。

スクロール画面の見かた

ノーマルビュー

地図のスケールを変える

10m ～ 500kmの範囲で地図のスケールを変えることができます。

1 詳細 または 広域 にタッチする

詳細	より詳しい地図が表示されます。表示される範囲は狭くなります。
広域	より広い範囲で地図が表示されます。細い道路などは表示されません。

メモ

- **詳細** や **広域** にタッチするごとに、10m、25m、50m、100m、200m、500m、1km、2km、5km、10km、20km、50km、100km、200km、500kmとスケール表示が変わります。
- **詳細** や **広域** にタッチし続けると、スケールが段階的に変わります（フリーズーム）。ただし、走行中は安全のためフリーズームの操作はできません。
- 地図上でピンチアウト/ピンチインしてスケールを変えることもできます。

地図の表示方法を変える

さまざまな状況に応じて地図の表示方法を変えることができます。

1 ビュー にタッチする

2 表示形式 にタッチする

3 地図の表示方法にタッチする

メモ

- ハイウェイモードは、有料道路走行中のみ選択できます。

表示方法の種類

ノーマルビュー

通常の地図（2Dの地図）で表示されます。

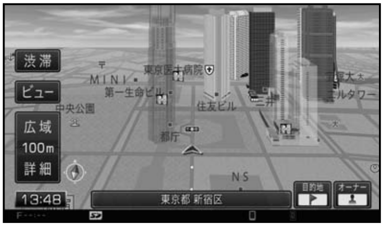
詳細市街地図収録エリア*（→付-26）*では、10m～50mスケールのときに詳細な市街地図が表示されます（シティマップ）。

メモ

- シティマップの境界付近では自動的に通常地図に表示が切り換わります。シティマップの境界を表示させることもできます。その場合、境界付近ではシティマップのみ表示され、境界の外側は何も表示されません。
- シティマップ表示およびシティマップ境界表示は、ON/OFFできます。→*「機能設定をする」（H-1）*

スカイビュー

上空から見ているような地図（3Dの地図）が表示されます。



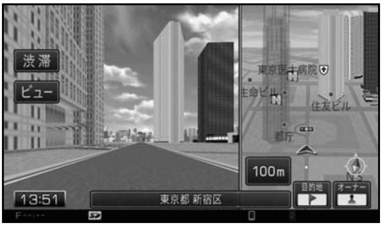
詳細市街地図収録エリアでは、10m～50mスケールのときに立体的な市街地図が表示されます（スカイシティマップ）。

メモ

- スカイシティマップではスケールが50mまで、スカイビューでは200mまで、立体ランドマーク（3Dマーク）が表示されます。
- スカイシティマップの境界付近では自動的に通常地図に表示が切り換わります。スカイシティマップの境界を表示させることもできます。その場合、境界付近ではスカイシティマップのみ表示され、境界の外側は何も表示されません。
- スカイシティマップ表示およびシティマップ境界表示は、ON/OFFできます。→*「機能設定をする」（H-1）*

ドライバーズビュー

ドライバーの目線から見たような地図が表示されます。

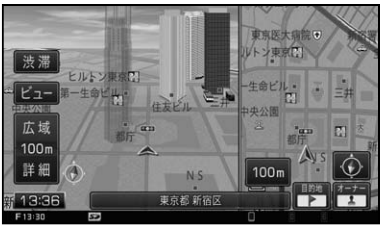


メモ

- ドライバーズビューでは、オートアングルチェンジ機能により、案内地点に近づくと視点が低い位置から高い位置に自動的に変化します。
- オートアングルチェンジは、ON/OFFできます。→*「機能設定をする」(H-1)*

ツインビュー

地図画面を２分割で表示します。



エコ情報表示

地図画面とエコ情報画面を同時に表示します。エコゲージやエコスコアの確認ができます。エコ情報表示については、*「エコマネージャーを使う」(→Z-1)*をご覧ください。

ハイウェイモード

有料道路走行時の専用画面です。

前方の有料道路施設までの距離や料金、予想到着（通過）時刻、分岐方向などが表示されます。ハイウェイモードについては、*「ハイウェイモードについて」(→C-17)* をご覧ください。

ロゴマークの表示設定をする

さまざまな施設のロゴマークを地図上に表示させることができます。

1 **ビュー** – **ロゴマーク表示設定** **にタッチする**

2 **ロゴマークを表示させたいジャンルにタッチする**

▼

現在地画面が表示され、選んだ施設のロゴマークが表示されます。

メモ

- ロゴマーク表示設定には、あらかじめ４種類のジャンルが登録されています。ロゴマークを他のジャンルから選択したり（→C-11）、登録されたジャンルを変更する（→C-11）こともできます。

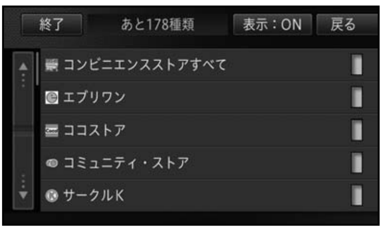
他のジャンルから選択する

1 ビュー − ロゴマーク表示設定 にタッチする

2 全リスト にタッチする

3 ロゴマークを表示させたいジャンルにタッチする

4 ロゴマークを表示させたい施設にタッチする



▼

選ばれた施設のインジケーターが点灯し、引き続き選ぶことができます。

メモ

- インジケーターは、複数選択した場合も点灯します。
- 再度施設にタッチすると、インジケーターが消灯し、選択が解除されます。
- 他の施設を選ぶには、戻る にタッチして手順 3 の画面に戻り、手順 3 · 4 を繰り返してください。

5 現在地 を押す

▼

現在地画面が表示され、選んだ施設のロゴマークが表示されます。

ロゴマーク表示設定をカスタマイズする

ロゴマーク表示設定にあらかじめ登録されたジャンルを変更します。

1 ビュー − ロゴマーク表示設定 にタッチする

2 カスタマイズ にタッチする

3 変更したいジャンルにタッチする

4 **ロゴマークを表示させたいジャンルにタッチする**

5 **ロゴマークを表示させたい施設にタッチする**

ロゴマークを非表示にする

選んだロゴマークの表示を地図上から消すには、以下のようにします。

1 **ビュー** **－** **ロゴマーク表示設定** **にタッチする**

2 **表示：ON** **にタッチする**

▼

選んだロゴマークが地図上から消えます。

メモ

- ロゴマークを再び表示するには、**表示：OFF** にタッチします。

地図の向きを変える

2Dの地図表示の向きはヘディングアップとノースアップがあります。2Dの地図は、ノーマルビュー、ツインビュー、エコ情報表示で表示できます。

工場出荷時は「ヘディングアップ」です。

1 **ビュー** **－** **設定** **にタッチする**

2 **地図の向きにタッチする**

▼

地図の向きが切り換わります。

ヘディングアップ
「進行方向」が常に上になるように、地図が自動的に回転します。

ノースアップ
「北」が常に上になるように表示されます。

C ナビゲーション基本操作

文字の拡大表示をON/OFFする

地図画面上に表示される地名や施設名の文字を拡大表示することができます。

工場出荷時は「OFF」です。

1 **ビュー** − **設定** − **地図の文字拡大表示** **にタッチする**

▼

タッチするごとに文字拡大表示のON/OFFが切り換わります。

100mスケール一方通行表示をON/OFFする

50mスケール以下で表示される一方通行マークを、100mスケール時でも表示させることができます。

工場出荷時は「OFF」です。

1 **ビュー** − **設定** − **100mスケール一方通行表示** **にタッチする**

▼

タッチするごとに100mスケール一方通行表示のON/OFFが切り換わります。

メモ

- ハイウェイモードのサイドマップの場合は、表示できません。
- 地図のスケールを100m以外に設定している場合、ONに設定すると自動的に100mスケールに切り換わります。

周辺検索で表示させたロゴマークを消去する

周辺検索 *(→D-3)* で表示させたロゴマークを消去できます。

1 ビュー – 設定 – 周辺検索結果消去 にタッチする

▼

ロゴマークが消去されます。

メモ

- *「ロゴマークの表示設定をする」(→C-10)* で表示させたロゴマークは消去されません。*「ロゴマークを非表示にする」(→C-12)* を参照して非表示に設定してください。

スケールを登録する

それぞれの地図の表示方法ごとに、スケールを登録することができます。 現在地 を押すと、地図画面が登録したスケールで表示されます。

1 地図画面を登録したいスケールで表示する

2 ビュー – 設定 – スケール登録 にタッチする

▼

確認のメッセージが表示されます。

3 はい にタッチする

サイドマップについて

ハイウェイモード表示および場所を探すリスト画面、情報画面などを表示している場合は、画面右側に地図画面が表示されます(サイドマップ)。

メモ

- リストの基本的な操作については、*「基本的なリストの操作」(→B-10)*をご覧ください。
- サイドマップ画面の操作については、*「サイドマップ画面の操作」(→C-15)*をご覧ください。

ハイウェイモード

ハイウェイモードでは、現在地またはスクロール先の施設の地図がサイドマップに表示されます。

周辺検索リスト画面

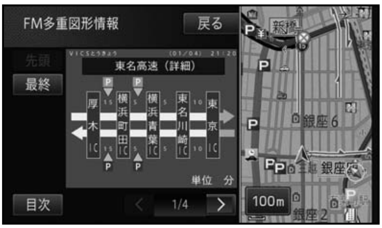
周辺を探す場合などのリスト画面では、選択されている施設を中心にして候補のロゴマークがサイドマップに表示されます。

候補表示画面

候補表示画面では、選択されている施設を中心にした地図がサイドマップに表示されます。

情報画面

VICSの図形情報や文字情報画面では、情報画面とともに自車位置周辺の地図がサイドマップに表示されます。



サイドマップ画面の操作

サイドマップ付きリスト画面では、選択されているリスト項目の位置が、サイドマップに表示されます。

情報	選択している場所の詳細情報（→D-8）を表示することができます。
ここへ行く	選択している場所を目的地としてルート探索（→E-1）を行います。

メモ

- スケール表示（**100m**など）にタッチすると、スケールを変更することができます。
- ハンズフリー通話をするには、あらかじめBluetoothに対応した携帯電話を本機に登録しておく必要があります。（→H-7）

セーフティインフォメーション

状況に応じて安全運転のための各種案内が行われます。

有料道注意地点・県境案内	• ここからおよそ○キロ先までは、十分運転に注意してください。 • この先、右からの合流があります。ご注意ください。 • この先、左からの合流があります。ご注意ください。 • この先、合流があります。ご注意ください。 • ○○県に入ります。
踏切案内	この先踏切です。ご注意ください。

右左折専用レーン案内	• およそ300m先、右折専用レーンがあります。ご注意ください。 • およそ300m先、左折専用レーンがあります。ご注意ください。 • およそ300m先、右折専用および左折専用レーンがあります。ご注意ください。
リフレッシュ案内	そろそろ2時間になります。休憩しませんか？
ライト点灯案内	まもなく日が暮れます。ライトの確認をしてください。
eスタート案内	急発進です。安全運転を心がけましょう。

メモ

- 有料道注意地点・県境案内は、有料道路を走行中のみ行われます。
- 踏切案内は走行方向を予測して案内しているため、走行ルート、右左折での進路変更によって近くに踏切があれば案内される場合があります。また、道路形状により案内が遅れる、または案内されない場合があります。
- 日没時刻になっても、すでにライトを点灯している場合は、ライト点灯案内は行われません。
- それぞれの案内についてはON/OFFできます。→*「機能設定をする」(H-1)*
- 以下のような条件等の場合は、案内されない場合や実際の状況と異なる案内をすることがあります。実際の交通状況や交通規則・標識などに従って運転してください。
  - －自車位置が正しく表示されていないとき
  - －表示されている地図と実際に走行中の道路状況が異なるとき

eスタート案内について

発進開始から約5秒後までに速度が41 km/h以上を検知すると、急発進の警告メッセージと音声で案内されます。

メモ

- eスタート案内はON/OFFできます。→*「機能設定をする」(H-1)*

走行中表示される画面について

信号機が近づくと

進行方向に対して、約300m以内の信号機のマークが最大5カ所まで表示されます。

有料道路を走行すると

有料道路を走行すると、自動的にハイウェイモードに切り換わります（オートハイウェイモード）。

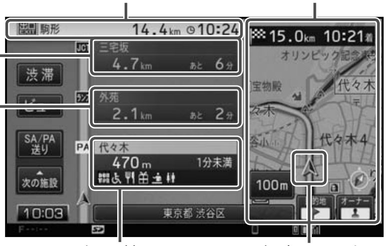
メモ

- オートハイウェイモードは、ON/OFF できます。→「機能設定をする」(H-1)
- 一部表示対象外の有料道路もあります。
- 手動でハイウェイモードに切り換えるには、有料道路走行中にビュー切り換えメニューで「ハイウェイモード」を選びます。→「地図の表示方法を変える」(C-8)

ハイウェイモードについて

ハイウェイモードでは、現在向かっているインターチェンジやサービスエリアまでの距離、および施設情報などを確認できます。また、車の走行に合わせて、自動的に次の施設情報に切り換わります。本線上や分岐先の施設情報も、見ることができます。

ハイウェイモード現在地画面の見かた



メモ

- ハイウェイモードのサイドマップの地図方位はヘディングアップ固定となります。
- ハイウェイモードでは、それぞれの施設の種類(IC/PA/SA/JCT/ランプ/料金所/スマートIC)と施設名および現在地からの距離と予想到着(通過)時刻が表示されます。
- 次の施設には、施設のサービス情報(→C-19)と料金(通過または有料道路から降りた際に精算する施設の場合)が表示されます。サイドマップの地図部分にタッチすると、現在地や選択中の施設付近の地図を表示させることができます。
- **SA/PA送り** にタッチすると、サービスエリアやパーキングエリアだけを順に送ることができます。
- 次の施設にイラスト情報が収録されている場合は、次の施設を選択するとイラストが表示されます。
- 次の施設に分岐先路線がある場合は、分岐先を選択することができます。
- VICS情報を取得している場合は、VICS情報(→G-1)が表示されます。
- ルート案内中は、有料道路出口のおよそ1km手前になると有料道路出口の案内が表示され、出口を通過すると自動的にハイウェイモードは解除されます。
- **ビュー** にタッチすると、他の地図表示を選んで切り換えることができます。また、他の地図表示からハイウェイモードに戻すと、右画面は直前の地図表示のアングルで表示されます。(例えば直前の地図表示がスカイビューの場合、ハイウェイモードの右画面は3Dで表示されます。)

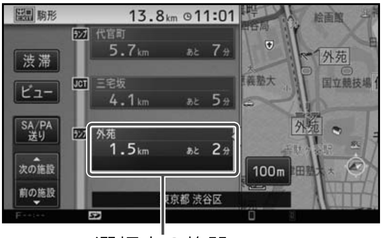
料金表示について

- 有料道路上でルートを設定した場合は、料金が表示されない場合があります。
- 料金非対応路線の場合は「*****」、料金非対応路線が含まれる場合は「○○円以上」と表示されます。
- 料金表示が可能なのは、都市高速、都市間高速、一部の有料道路です。→「有料道路料金データについて」(付-32)
- 料金表示は、車両情報設定により、中型車、普通車、軽自動車に切り換えられます。→「車両情報を設定する」(H-21)
- 各種ETC 割引料金については対応していません。

先の施設情報を見る

ハイウェイモード中は、施設を先送りさせて先の施設情報を見ることができます。

1 次の施設、前の施設にタッチして、表示させたい施設を選ぶ



選択中の施設

メモ

- 先の施設に直接タッチして、その施設を選択することもできます。
- サイドマップ*(→C-14)*には選択中の施設周辺の地図が表示されます。
- ルート案内中は、ルートに沿って施設が送られます。
- 選択中の施設にタッチすると、選択中の施設周辺の地図を表示させることができます。地図表示した施設は、検索履歴*(→D-6)*に登録されます。
- 選んだ施設にイラスト情報が収録されている場合は、イラストが表示されます。
- 選んだ施設に分岐先路線がある場合は、分岐先を選択する画面が表示されます。
- 100施設先まで見ることができます。
- 現在地 を押すと、ハイウェイモードの現在地画面が表示されます。

分岐施設の分岐先の情報を見るには

ルートが設定されていない場合は、走行中の路線に沿った施設情報を見ることができます。
ルートの有無に関係なく途中にジャンクションがある場合は、分岐先を選んで先の情報を見ることができます。

1 ジャンクションを選んで施設名にタッチする

2 見たい分岐先にタッチし、決定にタッチする

メモ

- 地図 にタッチすると、分岐施設がある地点の地図を表示します。確認後、戻る にタッチすると、分岐先を選ぶメニュー画面に戻ります。

▼

分岐先の路線が表示されます。

C ナビゲーション基本操作

サービスエリアやパーキングエリアで表示される情報

	店舗情報
	身障者用トイレ
	レストラン
	ショッピングコーナー
	ハイウェイオアシス
	ドッグラン
	仮眠休憩所
	スナックコーナー
	インフォメーション
	ハイウェイ情報ターミナル
	風呂
	ファクシミリ
	郵便ポスト
	キャッシュサービス
	トイレ

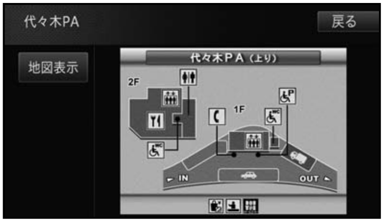
メモ

- 店舗情報は、施設への到着予想時刻と営業時間が考慮され、利用できる施設（例:）と利用できない施設（例:）が区別されて表示されます。（営業時間考慮表示）
- 同時に表示される情報は8個までです。9個以上の情報がある場合は、上表の並び順に優先表示され、9個目以降は表示されません。
- 隔週定休日、不定期な休日および不定期な営業時間には対応していません。また実際の営業時間とは異なる場合があります。

施設のイラスト表示について

SAやPAなどの施設にタッチしたときに、施設のイラスト情報が収録されている場合に表示されます。

▼



メモ

- 地図表示 にタッチすると、SAやPAがある地点の地図を表示します。
- 分岐施設が併設されている場合は、路線選択 にタッチして分岐先の情報を見ることができます。

渋滞情報表示について

渋滞情報を取得している場合は、自車位置に最も近い混雑状況（渋滞または混雑）および規制情報が近い順に3件まで画面に表示されます。

メモ

- 施設間で交通規制があるときは、渋滞情報マーク（→*G-3*）が表示されます。

有料道路の料金所に近づくと

ETCレーン案内表示がONに設定されている場合は、ETCレーンがある本線上の料金所、または出口料金所に近づくと、ETCレーン案内が表示されます。

メモ

- ETCレーン案内表示はON/OFFできます。→*「機能設定をする」(H-1)*
- ETCレーン案内表示は、実際の看板と異なる場合があります。
- 地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。
- イージーセットアップ *(→H-17)* のETC取付状態設定で、「車に取り付けている」に設定した場合は、自動的にETCレーン案内表示の設定が「ON」になります。

自宅へ帰る

自宅を登録すると、全国どこへ出かけていてもかんたんな操作で自宅までのルート案内を行うことができます。

自宅を登録する

自宅を登録しておくと、簡単な操作で自宅へのルート探索ができます。

1 自宅に車を止め、ナビゲーション画面で メニュー を押し、目的地 – 自宅 – はい にタッチする

▼

自宅が登録されます。

メモ

- 自宅を新規に登録すると、「自宅」という名前と自宅マークが自動的に入力されます。
- 自宅以外の場所に停車しているときは、*「場所を探す」(→D-1)* を参照して自宅の場所を探してください。
- イージーセットアップ *(→H-17)* で登録することもできます。
- 場所を探して登録するときに、自宅として登録することもできます。*→「場所を登録する」(F-1)*
- 自宅の位置は変更できます。*→「自宅の登録内容を編集する」(F-6)*
- すでに自宅が登録済みの場合は、登録済みの自宅を削除 *(→F-6)* してから行ってください。場所を登録する操作およびイージーセットアップで自宅を登録し直す場合は、自宅を上書きできます。

自宅までルート探索する

登録した自宅を目的地として、ルート探索を行います。

1 メニュー を押し、目的地 – 自宅 にタッチする

▼

自宅までのルートが探索されます。ルートを選んで 案内開始 にタッチするか、走行を開始すると、ルート案内が開始され、状況に応じて画面と音声でルート案内が行われます。自宅に近づくとルート案内は終了します。

メモ

- カスタム設定 *(→H-29)* で「自宅へ帰る」を割り当てている場合は、C（カスタムボタン）を押して操作することもできます。この場合探索されるルートは1本となり、探索が終了すると自動的にルート案内が開始されます。
- 他の場所へのルート案内中は、自宅へのルート案内に変更するかしないかの確認メッセージが表示されます。

場所を探す

ナビゲーションの操作は場所(行き先、立寄地などの目的地)を探すことから始まります。目的地の地図を表示させることができれば、そこまでのルートを設定したり、詳細情報を見たりすることができます。

メモ

- 検索した場所によっては、表示された地図が目的地を中心にしたピンポイントの地図ではない場合があります。その場合は、ピンポイントでない旨のメッセージが表示され、代表地点の地図が表示されます。
- 施設を検索した場合、検索後はそのままスクロールせずに目的地に設定してください。例えば高速道路上の施設を検索後にスクロールさせて目的地に設定すると、一般道路上が目的地になる場合があります。
- 自然を対象とした検索では、周囲に道路がないポイントが表示されることがあります。このような場所では、地図をスクロールして近くの道路上に目的地を設定してください。周囲の道路がない場所を目的地にすると、ルート探索できないことがあります。
- 検索した場所(施設)に駐車場データが収録されている場合、その施設の駐車場を目的地として案内する場合があります。(駐車場ポイントリンク)

地図で探す

地図上で探すことができます。

1 地図をスクロールさせて、目的の場所に十字カーソルを合わせる

以降の操作は、ショートカットメニューの操作*(→C-4)*を参照してください。

名称で探す

宿泊施設やレジャー施設など、各種施設の名称で探すことができます。

1 メニュー を押し、目的地 ー 名称 にタッチする

2 施設の名称を入力し、候補表示 にタッチする

ジャンル	ジャンルによる絞り込みができます。
エリア	都道府県による絞り込みができます。
最近探したワード	入力した文字に応じて検索履歴から名称候補が表示されます。一覧 にタッチすると、名称候補一覧が表示されます。

メモ

- カタカナと漢字は入力できません。カタカナや漢字を含む施設を探すときは、すべてひらがなで入力します。
- ひらがな、ローマ字、数字は、混ぜて入力することはできません。
- 名称はわかっている部分だけ入力して、検索することができます(キーワード検索)。
- 濁音(゛)や半濁音(゜)の入力は省略できます。また、促音(ょ)などは(よ)などで代用できます。
- 名称は20文字目まで入力できます。
- 検索方法は、入力した文字数に最も近い文字数の施設を表示します。
- 絞り込まれている場合の件数は、入力した文字の横に表示されます。
- 入力中に絞り込まれた名称の候補をもとに、次に続く可能性のある文字のみが入力可能になります(スマートスペラー)。
- 入力された内容や絞り込み条件によっては、検索の結果、該当するデータが無い旨のメッセージが表示される場合があります。

3 目的の施設にタッチする

近い順	自車位置から近い順に並べ替えます。
50音順	五十音順に並べ替えます。

4 地図 にタッチする

▼

施設付近の地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作*(→C-4)*を参照してください。

ジャンルで探す

ジャンルタブから各種施設を探すことができます。

タブで絞り込めるジャンル

- 車・交通
- 買う
- 生活
- 遊ぶ・泊まる
- 食べる

1 メニュー を押し、目的地 ー ジャンル にタッチする

2 絞り込むジャンルのタブにタッチし、さらに絞り込むジャンルにタッチする

3 検索方法を選んでタッチする

周辺で探す	自車位置周辺の施設を検索します。
＋周辺で探す	スクロール位置周辺の施設を検索します。
エリア指定	エリアを絞り込んで検索できます。
路線順(駅・高速道路施設のみ)	路線別に絞り込んで検索できます

D 検索

メモ

- 表示される検索方法は、選んだジャンルによって異なります。

4 目的の施設にタッチする

5 地図 にタッチする

▼

施設付近の地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作（→*C-4*）を参照してください。

周辺施設を探す

ガソリンスタンドやレストランなど、現在地やルート周辺、スクロール先周辺の施設を最大50件まで探すことができます。

メモ

- ショートカットメニュー（→*C-4*）の 周辺施設を探す にタッチして操作することもできます。

1 メニュー を押し、目的地 － 周辺施設 にタッチする

2 ジャンルにタッチする

3 詳細ジャンルがある場合は、ジャンルを絞り込む

4 目的の施設にタッチする

周辺	自車周辺の施設を検索します。
周辺 （ルート案内中のみ）	案内中のルート周辺の施設を検索します。
周辺	目的地周辺の施設を検索します。

メモ

- スクロール位置から操作した場合は、周辺、周辺および周辺は表示されません。
- 駐車場、ATM、コンビニ、ガソリンスタンド、ファミリーレストラン、ファストフードを検索すると、営業時間が考慮され、現在利用できる施設（例：）と利用できない施設（例：）が区別されて表示されます。（営業時間考慮検索）
- 隔週定休日、不定期な休日および不定期な営業時間には対応していません。また実際の営業時間とは異なる場合があります。
- コンビニでは、酒（酒）・タバコ（ﾀﾊﾞｺ）を取り扱う店がわかるように表示されます。
- ファストフードでは、ドライブスルー（）対応の店がわかるように表示されます。
- 、酒、ﾀﾊﾞｺ、は一部表示されない施設もあります。
- 駐車場は、*「車両情報を設定する」（→H-21）*の「駐車制限」を考慮して検索されます。利用できない駐車場は（P不可）と表示されます。（実際の車両設定と異なる場合があります）
- 駐車場の詳細選択でデパート提携駐車場を検索することもできます。
- ルート案内中で自車がルート上にあるときは、ルート周辺を優先して検索します。自車の周辺で探す場合は 周辺 にタッチします。

• ルート周辺で探す場合は、案内中のルート前方両側約200m以内、前方約30km以内の範囲から検索されます。自車周辺またはスクロール位置で探す場合は、自車位置またはスクロール位置の半径約10kmの範囲から検索されます。半径約10kmの範囲内に施設が見つからなかった場合は、半径約30kmの範囲から検索されます。

5 **地図** にタッチする

▼

選んだ施設を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。

また検索した施設のロゴマークが、地図上に表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作 *(→C-4)* を参照してください。

ロゴマークの表示を消去するには

1 「周辺施設を探す」(→D-3)の手順 2 で **結果消去** にタッチする

▼

ロゴマークが消去されます。

メモ

• 現在地画面で **ビュー** − **設定** − **周辺検索結果消去** にタッチしてもロゴマークを消去できます。
• 本機の電源をOFF（エンジンスイッチをOFF）にしてもロゴマークを消去できます。

住所で探す

住所や地名で探すことができます。

1 **メニュー** を押し、**目的地** − **住所** にタッチする

2 都道府県名、市区町村名、地名の順にタッチする

3 リストから番地を選んでタッチする

メモ

• **主要部** にタッチすると、選んだ地域の代表地点の地図が表示されます。
• **番地入力** にタッチすると、番地を入力して指定することができます。
• 番地直接入力の場合で、番地を入力しないで **入力終了** にタッチすると、丁目または住所名の代表地点が検索されます。
• 住所に大字・小字を含む場合は、それぞれを入力します。

▼

入力した住所を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作 *(→C-4)* を参照してください。

D 検索

電話番号で探す

行き先の電話番号を入力して探すことができます。

1 メニュー を押し、目的地 ー 電話番号 にタッチする

2 電話番号を入力する

▼

電話番号を全桁入力すると自動的に検索を始めます。自動的に検索を開始しない場合は、入力終了 にタッチします。

メモ

- 市外局番と市内局番は必ず入力してください。
- 10桁まで入力できます（090、080、070、050で始まる電話番号は11桁まで入力できます）。
- ダイヤルQ２（0990-○○）、携帯電話、短縮ダイヤルは、対象外です。ただし、該当する電話番号が登録地点に登録されている場合は検索できます。

▼

該当する地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作*(→C-4)*を参照してください。

登録地から探す

登録した場所のリストから探すことができます。

1 メニュー を押し、目的地 ー 登録地 にタッチする

2 目的の場所にタッチし、地図 にタッチする

メモ

- 並べ替え にタッチすると、以下のポップアップメニューが表示されます。タッチするとリストを並べ替えることができます。

呼出日時順	登録または呼び出しの日時順に並べ替えます。
近い順	自車位置またはスクロール地点から近い順に並べ替えます。
2Dマーク順	マークごとに並べ替えます。

▼

選んだ登録地を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作*(→C-4)*を参照してください。

検索履歴から探す

過去に検索した場所や目的地とした場所、ハイウェイモード中に地図表示した施設から探すことができます。

1 **メニュー を押し、目的地 ー 検索履歴 にタッチする**

2 **目的の施設(履歴名)にタッチし、地図 にタッチする**

▼

選んだ場所を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作*(→C-4)*を参照してください。

マップコードから探す

マップコードを入力することで、その地点をすばやく呼び出すことができます。

メモ

- マップコードは、日本全国さまざまな場所の位置データを最大13桁(拡張マップコードの場合)の数字で特定するものです。住所などでは特定することが困難な場所もマップコードでは特定することができます。

1 **メニュー を押し、目的地 ー マップコード にタッチする**

2 **マップコードを入力する**

▼

13桁目を入力すると自動的に検索を始めます。自動的に検索を開始しない場合は、**入力終了** にタッチします。

▼

該当する地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作*(→C-4)*を参照してください。

D 検索

かんたん目的地検索で探す

地図画面からの操作で、検索項目を絞り込んだ目的地メニューを使って、簡単に探すことができます。

1 地図画面でかんたん目的地検索タッチキーにタッチする

2 検索方法を選んでタッチする

名称	名称で探す *(→D-1)* の手順 2 ～手順 4 を参照してください。
住所	住所で探す *(→D-4)* の手順 2 ～手順 3 を参照してください。
電話番号	電話番号で探す *(→D-5)* の手順 2 を参照してください。
自宅	自宅までのルートが探索されます。**案内開始** にタッチするか、パーキングブレーキを解除すると、ルート案内が開始され、状況に応じて画面と音声でルート案内が行われます。自宅に近づくとルート案内は終了します。

詳細情報を見る

目的地メニューを使って探した場所については、その場所の情報が収録されている場合に限り詳細情報を表示することができます。

メモ

- 利用した目的地メニューの項目によって、表示できる詳細情報の内容が異なります。

1 目的地メニューを使って場所を探す（→C-2）

2 情報 にタッチする

3 情報を確認する

電話番号／住所／名称／ジャンル／周辺施設から探した場合：

次ページ	次のページに切り換えます。
地図	地図画面が表示されます。
ここへ行く	表示した地点までのルートを探索します。
発信	収録または登録されている電話番号に電話をかけます。*（→X-4）*

メモ

- 詳細情報には、施設のアイコンが表示されます。
  駐車場あり：P
  ATMあり：ATM
  お酒の取り扱い（コンビニ）：酒
  タバコの取り扱い（コンビニ）：タバコ
  ドライブスルー（ファストフード）：
  上記アイコンは、一部表示されない施設もあります。

登録地／検索履歴から探した場合：

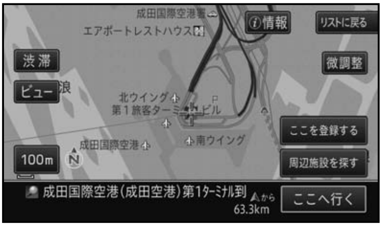
発信	収録または登録されている電話番号に電話をかけます。*（→X-4）*
地図	地図画面が表示されます。

ルートを探索する

探した場所を「目的地」として設定すると、現在地から目的地までのルートが探索され、ルート案内開始画面が表示されます。

1 場所を探す（→D-1）

2 **ここへ行く** にタッチする



メモ

- 目的地の近くに有料道路があるときは、[一般道路] か [有料道路] を確認する画面が表示される場合があります。その場合はどちらかを選んでください。
- すでにルートが設定されている場合は、探した場所を目的地にするか立寄地にするかのポップアップ画面が表示されます。**目的地** にタッチすると、現在の目的地を消去し、新しい目的地を行き先としてルートを探索します。**立寄地** にタッチすると、目的地はそのままで、探した場所に立ち寄るルートを探索します。

▼

ルート案内開始画面が表示されます。

ルート プロフィール	出発地から行き先までの間に通る道路名や区間距離、有料道路の料金（有料道路を使用する場合）などの情報を確認できます。*(→E-3)*
詳細ルート設定	立寄地指定*(→E-4)*、乗降IC指定*(→E-5)*、出発地指定*(→E-7)*ができます。
他のルート（探索ルートが複数の場合）	現在選ばれているルートとは異なる探索条件のルートを選ぶことができます。*(→E-3)*
ルート地図（探索ルートが1本のみの場合）	立寄地などを指定して、探索されたルートが 1 本のみの場合、ルート全体が 1 画面におさまるように表示されます。*(→E-4)* ルート地図画面では、地図のスクロール *(→C-7)* とスケール変更 *(→C-8)* ができます。
案内開始	現在選ばれているルートで案内を開始します。

メモ

- 走行を開始することで、案内を開始させることもできます。
- 最初に表示されるルートは、「ルート探索基準」*(→H-3)*、「有料道路使用条件」*(→H-3)*の探索条件に従ったルートになります。
- 立寄地や乗降ICを指定した場合、探索されるルートは1本のみとなります。
- 目的地付近に到着すると、ルート案内は自動的に終了します。
- 一度設定されたルートは、ルート案内中の休憩などで本機の電源をOFF（エンジンスイッチをOFF）にしても消えません。目的地付近に到着し本機の電源をOFF（エンジンスイッチをOFF）にするか、手動でルート消去の操作を行うと消えます。

ルート案内開始画面の見かた

探索条件
現在選ばれているルートの探索条件が表示されます。

ルート表示
現在選ばれているルートが概略表示されます。

IC（インターチェンジ）表示
利用する有料道路の最初のICと最後のICが表示されます。

メニュー表示

（距離）
選ばれているルートの総距離が表示されます。

（所要時間）
機能設定 *(→H-1)* で設定した到着予想時刻速度を元に計算した所要時間が表示されます。

（料金）
利用する有料道路の料金区分と料金が表示されます。

（推定燃料費）
使用する燃料費が推定で表示されます。

メモ

- ルート案内開始画面は、ノースアップ *(→C-12)* となります。
- 渋滞情報 *(→J-2)* が取得できている場合は、渋滞を考慮した所要時間が表示されます。渋滞予測情報を考慮する場合は、渋滞予測情報も合わせて考慮した所要時間が表示されます。
- 料金区分と料金表示は、*「イージーセットアップをする」(→H-17)* により設定された車種や *「車両情報を設定する」(→H-21)* により設定された「有料道路料金区分」の料金で表示されます。
- 推定燃料費は、車両情報で車両情報の各項目と、燃料単価を設定している場合のみ表示されます。ただし、燃料単価のみ設定している場合は、平均的な車両情報に基づいて算出します。表示される燃料費はあくまでも推測値であり、実際の燃料費とは異なります。*→「車両情報を設定する」(H-21)*
- 表示される料金は、各種ETC割引料金に対応していません。
- 料金非対応路線を含むルートの場合は、「○○円以上」と表示されたり、「不明」と表示されることがあります。
- サービスエリアなどの有料道路施設を行き先とした場合、料金が表示されないことがあります。

ルートプロフィールで確認する

1 ルートプロフィール にタッチする(→E-1)

▼

ルートの情報がルートプロフィールとして表示されます。

2 案内開始 または 戻る にタッチする

メモ

- ルート編集メニュー(→E-17)からの操作では、案内開始 は表示されません。

他のルートを選ぶ

6ルート地図から選ぶ

1 他のルート にタッチする(→E-1)

2 6ルート地図 にタッチする

3 1 〜 6 の番号でルートを選び 案内開始 にタッチする

地図スクロール	スクロール確認画面(→E-3)でスケール変更と地図のスクロールができます。

メモ

- 最大6本の候補ルートから選ぶことができます（候補ルートが同じになる場合もあります）。
- 現在選ばれているルートの探索条件は画面に表示されます。
- 推奨ルートは必ずしも最短時間になるルートとは限りません。
- 燃料単価(→ H-23)を設定している場合、ルート探索結果の中から最も燃料消費量の少ないルートをエコルート（ECO）として表示させることができます。

スクロール確認画面の操作

スクロール確認画面では、地図のスクロール(→C-7)とスケール変更(→C-8)ができます。

また、候補切換にタッチするごとに、ルートが切り換わり、案内開始にタッチすると選んだルートで案内を開始します。

6ルートリストから選ぶ

1 他のルートにタッチする（→E-1）

2 6ルートリスト にタッチする

3 ルートを選択してタッチする

メモ

- 距離、所要時間、料金、または推定燃料費が最も少ないルートが項目ごとにハイライトされます。ただし、料金は、「0円」、「○○円以上」、「不明」の場合はハイライトされません。

ルート地図を表示する

1 ルート地図にタッチする（→E-1）

2 案内開始または戻るにタッチする

ルート地図画面では、地図のスクロール（→C-7）とスケール変更（→C-8）ができます。

詳細ルート設定をする

立寄地を追加する

ルート上に立寄地を追加して、立寄地を経由するルートを案内させることができます。

メモ

- すでに案内中のルートがある場合は、ショートカットメニュー（→C-4）でここへ行くにタッチすると、目的地にするか立寄地にするかのポップアップメニューが表示されます。立寄地にタッチして、立寄地を追加することができます。
- 立寄地の追加を行うと、その時点で通過済みの立寄地はすべて自動的に削除されます。

E ルート

1 詳細ルート設定 – 立寄地指定 にタッチする（→E-1）

2 追加 にタッチする

3 場所を探して（→D-1）立寄地を決め、決定 にタッチする

メモ

- 立ち寄る順番に指定します。
- あとから順番を並べ替えることもできます。

4 探索開始 にタッチする

追加	さらに立寄地を追加します。
削除	立寄地を削除します。
並べ替え – オート	ルート全体の総距離が短くなるように並べ替えます。
並べ替え – マニュアル	立ち寄る順番を指定して並べ替えます。

メモ

- さらに立寄地を追加するときは、手順 2 ～ 3 の操作を繰り返します。
- 立寄地は最大5カ所まで指定することができます。
- 乗降ICを指定 *（→E-5）* した地点は並べ替えられません。

▼

指定した立寄地に立ち寄るルートが1本だけ探索され、案内開始画面 *（→E-1）* が表示されますので、案内開始 にタッチします。

乗降IC（インターチェンジ）を指定する

有料道路を使うルートを設定した場合は、入口と出口のインターチェンジを指定することができます。

メモ

- 指定できるインターチェンジは、最初に探索されたルートの最初の入口、最後の出口、またその入口/出口の前後3施設の計7施設から選択することができます。複数の有料道路を使用するルートの場合、途中のインターチェンジは、変更できません。
- 並べ替えや立寄地の追加または削除を行うと、指定した乗降ICは解除されます。
- スマートIC考慮ルート探索が機能している場合は、スマートICを乗降ICとして指定することもできます。*→「スマートICを考慮したルート探索」(E-7)*

1 **詳細ルート設定** － **乗降IC指定** にタッチする（→E-1）

2 **入口IC指定** または **出口IC指定** にタッチする

3 **入口または出口となるインターチェンジにタッチする**

▼

指定したインターチェンジを通るルートが探索されます。

メモ

- ジャンクション（JCT）を選ぶと、分岐先の有料道路のインターチェンジリストが表示されます。

乗降 IC 指定を解除するには

1 **「乗降IC（インターチェンジ）を指定する」（→E-5）の手順 2 で 指定解除 にタッチする**

2 **入口・出口** ／ **入口のみ** ／ **出口のみ** にタッチする

3 **はい** にタッチする

▼

乗降IC指定を解除して、ルートが探索されます。

出発地を指定する

指定した出発地からルートを探索することができます。

1 詳細ルート設定 ー 出発地指定 にタッチする(→E-1)

2 場所を探して(→D-1)出発地を決め、決定 にタッチする

▼

指定した場所を出発地としたルートが探索されます。

出発地を解除するには

1 「出発地を指定する」(→E-7)の手順 1 で 出発地指定解除 にタッチする

2 はい にタッチする

▼

出発地指定を解除して、ルートが探索されます。

ルート探索機能について

学習ルート探索

出発地、立寄地、目的地付近でよく使う道を考慮してルート探索を行います。

メモ

- 学習ルート探索はON/OFFできます。→*「機能設定をする」(H-1)*
- 学習したルートを表示する機能はありません。
- 学習した道が必ず使われるとは限りません。
- よく使う道が無くなってしまったときや変更した場合などは、学習ルートを消去*(→F-7)*してから新しいルートを学習させてください。ただし、消去を行うと学習したすべてのルートが消去されますのでご注意ください。

スマートICを考慮したルート探索

スマートICとは、ETC専用の簡易インターチェンジのことをいいます。スマートIC考慮ルート探索が「ON」に設定されている場合は、スマートICを乗降ICの対象としてルート探索を行います。

メモ

- スマートIC考慮ルート探索は、ON/OFFできます。→「機能設定をする」(H-1)
- すでに案内中のルートがある場合は、設定変更できません。
- スマートICに営業時間がある場合は、営業時間を考慮したルート探索を行います。スマートICの営業時間は、時間規制(→E-8)と同様に考慮されます。
- スマートICは施設管理者の都合で閉鎖される場合があります。この場合はルート案内の対象となっていても実際には利用できませんのでご注意ください。
- イージーセットアップ(→H-17)のETC取付状態設定で、「車に取り付けている」に設定した場合は、自動的にスマートIC考慮ルート探索の設定が「ON」になります。

リアルタイム交通情報を考慮したルート探索

VICS情報やリアルタイムプローブ渋滞情報によるリアルタイム交通情報を取得している場合、交通情報をもとに渋滞や交通規制を考慮してルート探索を行います。

メモ

- リアルタイム交通情報考慮ルート探索は、ON/OFFできます。→「機能設定をする」(H-1)
- 渋滞情報を取得していないときは、FM多重放送による規制情報のみが考慮されます。
- 必ずしも実際の渋滞を避けるルートになるとは限りません。

渋滞予測情報を考慮したルート探索

本機に予め内蔵されている渋滞予測情報を考慮してルート探索を行います。

メモ

- 渋滞予測情報考慮ルート探索は、ON/OFFできます。→「機能設定をする」(H-1)
- 必ずしも実際の渋滞を避けるルートになるとは限りません。

時間規制を考慮したルート探索

通行規制の地域や時刻を考慮したルート探索を行います。

メモ

- 目的地によっては、時間規制考慮ルート探索の結果、探索できない場合があります。その場合はメッセージが表示され、規制を無視するか無視しないかを選ぶことができます。
- 時間・曜日・月日の条件付きで時間規制考慮ルート探索を行う場合は、探索開始時刻を基準に考慮します。

ルート誘導・案内

ルート案内中の表示や音声案内について説明します。

ルート案内中の現在地画面

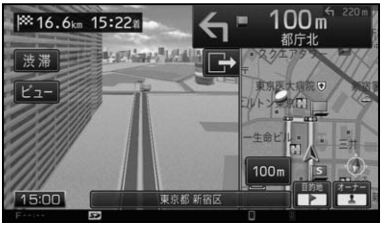
メモ

- 案内中のルートは、一般道が緑色で有料道路は青色で道塗り表示されます。また、出発地付近、立寄地付近、目的地付近は細街路まで探索され、細街路はピンク色で表示されます。場所によっては道塗りされない場合もあります。
- 到着予想時刻には、*「機能設定をする」(→H-1)* で設定した到着予想時刻速度が反映されます。またVICS情報も考慮されます。表示される時刻はあくまでも推測時刻で実際の到着時刻とは異なります。
- 目的地までの距離と到着予想時刻の表示は、*「機能設定をする」(→H-1)*の「道のり·到着予想時刻表示」を「立寄地」とすることで、立寄地までの距離と到着予想時刻の表示に変更することができます。
- ルートインフォメーションには、次の案内地までの距離と曲がる方向および交差点名が表示されます。また、上側にさらにその先の案内地までの距離と曲がる方向が表示されます。交差点によっては、交差点名が"案内地"と表示される場合があります。
- 案内地に近づく(一般道:約700m、有料道:約2km)と、交差点案内表示には次の案内地のレーン情報、方面看板(一般道走行中)が表示されます。情報の無い交差点では表示されません。
- 「レーン情報表示」は、誘導中のレーンが緑色で表示されます。通行が推奨される誘導レーンは緑色に白の矢印で表示されます。有料道路走行中のレーン情報表示は青色で表示されます。
- ルート探索については、*「ルートに関する注意事項」(→付-24)*を参照してください。

案内地に近づくと

案内地の手前約300m（シンプルガイド時は500m）に近づくと、交差点案内表示の画面に切り換わり、曲がる方向が表示されます。

ドライバーズビュー（工場出荷時の設定）



拡大図

アローガイド

メモ

- 交差点案内表示は、ドライバーズビュー／拡大図／アローガイドの変更ができます。*→「機能設定をする」(H-1)*
- 「アローガイド」では、案内対象の交差点に情報がある場合、信号機マークが表示されます。また、次の案内地の情報がある場合は、画面上部に表示されます。
- 交差点案内表示は、AVソース画面を表示している状態でも割り込み表示される場合があります。
- AVソース画面への交差点案内表示割り込み表示はON/OFFできます。*→「機能設定をする」(H-1)*
- 交差点案内表示中は、 が表示されタッチすると、交差点案内を消すことができます。再度、交差点案内を表示したいときは にタッチします。

ワイプで操作する場合：

交差点案内表示は、ワイプ操作で表示を切り換えることができます。ワイプの操作方法については、*「ワイプ操作」(→B-7)* をご覧ください。

→ワイプ	案内表示を解除します。
↓ワイプ	次の案内地を表示します。

案内地のイラスト表示

進行方向に立体交差になる側道がある場合や、交差点イラストのデータが収録されている場合は、交差点案内図の代わりに立体的に描画されたイラストが表示されます。

交差点イラスト

立体交差イラスト

都市高速道路の入口に近づくと

ルート上の都市高速道路入口の手前約300mに近づくと、イラストが表示されます。

メモ

- 一部の都市高速入口において、イラストが表示されないことがあります。
- 都市高速入口の直前に案内地点がある場合には、イラストが表示されないことがあります。

有料道路の分岐に近づくと

ルート上の有料道路分岐の手前約2kmに近づくと、ルートの進行方向の方面名称を表示します。

メモ

- 地点によりデータが収録されていない場合は、表示されません。

また都市高速・都市間高速では分岐の手前約1kmに近づくと、イラストが表示されます。場所によっては、実際の分岐地点に設置されている方面看板をイメージしたリアルなイラストが表示される場合があります。

メモ

- 地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。

有料道路の入口や出口の料金所に近づくと

本機に別売のETC車載器を接続していて、かつETCの情報が受信できている場合は、ETCの利用可否と料金が音声案内されます。また、料金についてはメッセージ表示も行います。

種類	案内例
料金案内	料金は、〇〇円です。
ETC料金案内	料金は、〇〇円でした。 ETC利用料金が〇〇円割引されました。

メモ

- ETCの料金表示は、現在地画面の場合のみ表示されます。
- ETCレーン案内表示機能については（→C-20）をご覧ください。

有料道路の出口や料金所を通過すると

ルート上の有料道路の出口や料金所を通過後に分岐情報がある場合は、進行方向を示すイラストが表示されます。

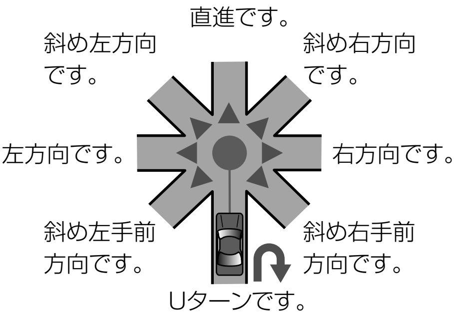
メモ
- 地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。

音声による誘導・案内

ルート走行中は、運転の状況や車の速度に応じて、きめ細かく音声案内が行われます。

進行方向案内

進行方向（8方向）は、音声で以下のように案内されます。



種類	案内例
側道案内	およそ〇〇m先、側道を左方向です。
有料道路入口･出口案内	およそ〇〇m先、左方向、入口です。
有料道路料金所案内	およそ〇〇km先、料金所です。
ランドマーク音声案内	まもなく左方向です。〇〇が目印です。
スマートIC案内	その先、スマートICです。実際の案内標識に従ってお進みください。
レーン案内	およそ〇〇m先、右方向です。右折レーンがあります。
料金案内	料金は、〇〇円です。
信号機ジャスト案内	この信号を左です。

メモ
- 右方向や左方向などの案内だけではうまく案内できない地点においては、走行すべきレーンなども案内します。
- 誘導される右左折の方向は、実際の道路の形状とは合わない場合があります。
- 本機のETC情報案内機能を利用するには、本機に別売のETCユニットまたはDSRCユニットを接続する必要があります。
- ETC情報案内は、情報提供施設からの情報により案内が行われます。
- 信号機ジャスト案内はON/OFFできます。→*「機能設定をする」(H-1)*
- 一般道シンプルガイドがONになっているときは、信号機ジャスト案内をON/OFFすることはできません。→*「機能設定をする」(H-1)*

E ルート

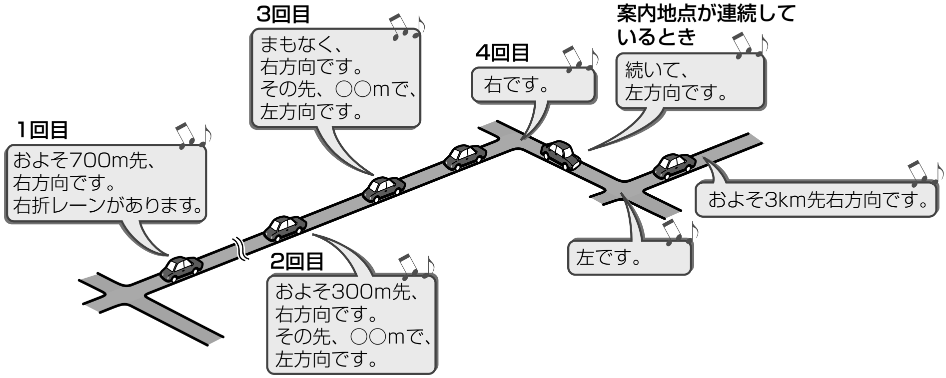
一般道路走行時の案内

車の速度に合わせ、交差点の手前で最大４回、音声案内が流れます。また、そのタイミングに合わせて交差点案内が表示されます。

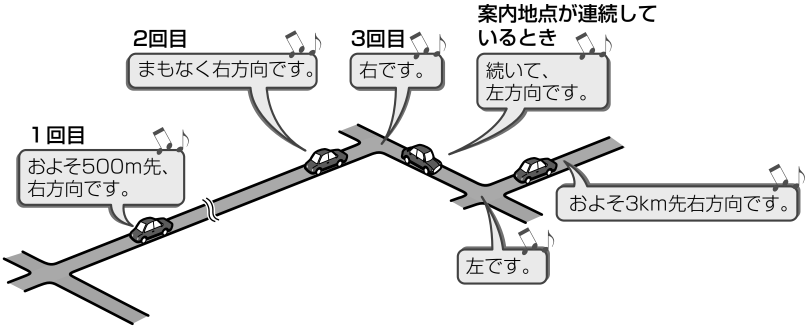
メモ

- 音声案内の回数や内容をシンプルにすることができます。→「機能設定をする」(H-1)

通常時



シンプルガイド時

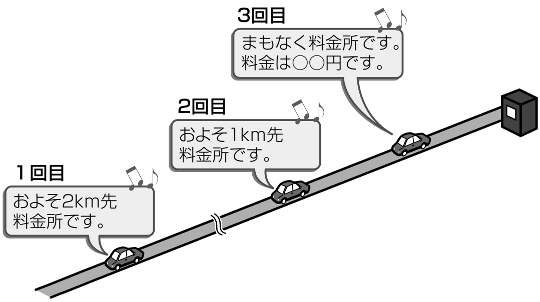


立寄地に近づいたら

立寄地の約300m手前に近づくと、「まもなく立寄地点です。」と音声案内が流れます。

有料道路走行時の案内

車の走行に合わせ、分岐や出口、料金所の手前で最大3回、音声案内が流れます。また、そのタイミングで方面名称や分岐イラスト(→*E-11*)などが表示されます。



メモ

- 料金表示は、車両情報設定により、中型車、普通車、軽自動車に切り換えられます。*→「車両情報を設定する」(H-21)*
- 料金案内では、有料道路に入る前にルートを設定した入口から出口までの料金が案内されます。有料道路に入ってからルートを設定した場合は、料金案内が実際と異なったり、料金が案内されないことがあります。
- 表示される料金は、各種ETC割引料金に対応していません。

ルート案内中の操作と機能

ルート案内中にできる操作と、いろいろな機能を説明します。

ルートから外れたときに自動的にルートを再探索する

案内中のルートから外れた場合、自動的にルートを再探索します（オートリルート）。

メモ

- ドライバーが意図的にルートを外れたのか、道を間違えたのかを内部で判断し、全ルート再探索または復帰ルート再探索を行います（インテリジェントリルート）。

状況に応じて新しいルートを提案する

新しいルートが見つかると、「渋滞考慮オートリルートを行いました」または「新しい候補ルートが見つかりました」と音声案内が流れ、元のルートと新しいルートを表示します（渋滞考慮オートリルート）。

1 **新ルート** または **元ルート** にタッチする

▼

選んだルートでルート案内が再開されます。

ワイプで操作する場合：

ルート選択は、ワイプ操作で選択することができます。ワイプの操作方法については、*「ワイプ操作」(→B-7)*をご覧ください。

←ワイプ	元ルートで案内します。
→ワイプ	新ルートで案内します

メモ

- 渋滞考慮オートリルートはON/OFFできます。*→「機能設定をする」(H-1)*
- 渋滞考慮オートリルートの案内が行われてから、一定区間を走行する間に新ルートまたは元ルートの選択がされなかった場合は、機能設定の「渋滞考慮オートリルート自動決定ルート」の設定に従い自動的に決定されます。渋滞考慮オートリルート自動決定ルートの設定は変更できます。*→「機能設定をする」(H-1)*
- ビーコンユニットによるVICS情報 *(→G-1)*、DSRCユニットによる5.8GHz VICS情報 *(→G-1)* または、リアルタイムプローブ渋滞情報 *(→ J-1)* を取得している場合は、渋滞情報が考慮されます。
- 案内地付近や案内地が連続している場合は、機能しない場合があります。
- 新しい候補ルートは、元のルートより所要時間、または距離が増加するルートが提示されることがあります。
- 渋滞情報や規制情報の更新による渋滞考慮オートリルートが行われた場合、必ずしも提案されたルートが実際の渋滞を避けるルートになるとは限りません。

ルート上に通行止めが発生した場合

ルート上に通行止めが発生した場合は、「ルート上に通行止めが発生したため、新ルートで案内します」と音声案内と画面表示され、新ルートのみの案内となります。**確認**にタッチしてください（通行止め考慮オートリルート）。

ワイプで操作する場合：

通行止め案内は、ワイプ操作で確認することができます。ワイプの操作方法については、*「ワイプ操作」(→B-7)*をご覧ください。

↓ワイプ	通行止め案内を確認し、新ルートで案内します。

ルート上の渋滞情報を案内させる

ルート上に発生したVICSの渋滞・規制情報を地図や音声で案内させることができます。

メモ

- VICS情報が取得できないときなどは働かないことがあります。
- 音声では、例：“およそ3km先、1kmの渋滞が発生しています。通過に5分ほどかかります。”と案内されます。

渋滞オートガイド

ルート上に発生した渋滞情報を自動的に音声で案内します。

メモ

- 渋滞オートガイドは、ON/OFFできます。*→「機能設定をする」(H-1)*
- 案内中のルートが無い場合は、案内されません。

渋滞チェック

渋滞 にタッチすると、ルート上に発生している渋滞情報を地図表示と音声案内で確認することができます。

▼

メモ

- **渋滞** にタッチするごとに、最大5カ所先の情報まで順に案内させることができます。
- 案内中のルートが無い場合は、自車周辺の規制情報のみを表示・案内します。
- 渋滞の長さが50m未満で通過所要時間が3分未満の場合は、案内されません。
- 渋滞情報がないときや渋滞情報を受信していないときは、“この先しばらく渋滞情報はありません”とアナウンスされます。
- **渋滞** に長くタッチすると、専用サーバーから渋滞情報を取得することができます。*(→J-2)*

ルートを編集する

設定したルートを確認したり、立寄地や出発地、乗降ICなどを指定したり、ルートを編集することができます。

メモ

- ルートプロフィールでのルート確認や立寄地や出発地、乗降ICの指定は、ルート案内開始画面（*→E-1*）でも行うことができます。

1 [メニュー] を押し、**ルート編集** にタッチする

▼

ルートの編集メニュー画面が表示されます。

ルート確認	設定したルートを確認することができます。*(→E-17,18)*
詳細ルート設定	立寄地の追加など、ルートを詳細に設定することができます。*(→E-18)*
立寄地送り	登録された立寄地に立ち寄る必要が無くなった場合などは、立寄地を通過済みとして、ルートを探索し直すことができます。*(→E-18)*
ルート消去	案内中のルートを消去することができます。*(→E-19)*

メモ

- カスタム設定（*→H-29*）で「ルート編集画面を表示する」を割り当てている場合は、[C]（カスタムボタン）を押して操作することもできます。

ルートプロフィールで確認する

ルートプロフィール（*→E-3*）でルートを確認することができます。

1 **ルート確認** – **ルートプロフィール** にタッチする（→E-17）

▼

以降の操作方法は、*「ルートプロフィールで確認する」（→E-3）*をご覧ください。

デモ走行で確認する

出発地から行き先までのルートを擬似走行させて、ルートを確認できます。

1 **ルート確認** − **デモ走行** にタッチする（→E-17）

▼

メモ

- デモ走行中は、画面左側に **デモ中** が表示されます。タッチすると、デモ走行終了の確認メッセージが表示されます。終了する場合は **はい** にタッチします。
- デモ走行を中止するには、**ルート確認** − **デモ走行終了** にタッチします。
- デモ走行は、終了させるまで繰り返し行われます。

条件を変えてルートを再探索させる

案内中のルートの探索条件を一時的に変えて、再探索することができます。ただし、通過済みの立寄地は、ルートを再探索しても考慮されません。
「立寄地指定」、「乗降IC指定」、「出発地指定」の操作方法は、*「ルートを探索する」−「詳細ルート設定をする」（→E-4）*と同様です。

1 **詳細ルート設定** − **ルート再探索** にタッチする

2 **探索条件を変更して** **探索開始** **にタッチする**

メモ

- 上記探索条件の変更は一時的なもので、機能設定（*→H-1*）には反映されません。

立寄地を通過済みにする

1 **立寄地送り** にタッチする（→E-17）

▼

次の立寄地を通過済みにして、ルートが探索されます。

ルートを消去する

ルート案内を中止したい場合は、設定したルートを消去します。

1 **メニュー を押し、ルート編集にタッチする**

2 **ルート消去 にタッチする**

3 **はい にタッチする**

▼

ルートが消去されます。

メモ

- 消去したルートを元に戻すことはできません。

場所を登録する

自宅や友人宅などの覚えておきたい場所を登録しておくと、ルート設定などの操作が簡単になります。

メモ

- ユーザーごとに自宅を除いて400地点まで登録できます。自宅は全ユーザー共通で1地点登録できます。
- 登録地の名称やマークは変更することができます。→*「登録地の登録内容を編集する」(F-3)*

場所を登録する

探した場所やドライブで訪れた場所を登録しておくと、次回そこへ行くときに簡単にルートを探索することができます。

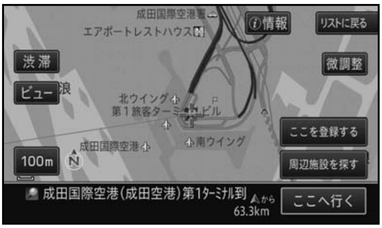
また、登録した場所へ電話をかけたり近づくと自動的に音を鳴らすこともできます。

1 場所を探す（→D-1）

▼

探した場所の地図上にショートカットメニューが表示されます。

2 **ここを登録する** にタッチする



メモ

- 走行中は、手順 2 の操作後に地点が登録されます。手順 3 の画面は表示されません。

3 登録方法を選んでタッチする

4 **入力終了** にタッチする

メモ

- ジャンルリスト検索などで呼び出した施設などを登録する場合、その施設に電話番号のデータがあれば、自動的にその番号が登録されます。
- 手順 4 で登録する名称を変えることができます。→*「文字の入力操作」(B-16)*

選べる登録方法について

登録方法	登録内容
「検索施設名称」で登録する	「探した場所の施設名称」
「ここの地名」で登録する	「探した場所の地名」
「自宅」で登録する	「自宅」
「会社」で登録する	「会社」
「実家」で登録する	「実家」
「友達の家」で登録する	「友達の家」
「おじいちゃんの家」で登録する	「おじいちゃんの家」
「おばあちゃんの家」で登録する	「おばあちゃんの家」
「おじさんの家」で登録する	「おじさんの家」
「おばさんの家」で登録する	「おばさんの家」
「田舎」で登録する	「田舎」
「ふるさと」で登録する	「ふるさと」
「彼女の家」で登録する	「彼女の家」
「彼氏の家」で登録する	「彼氏の家」
名前をつけて登録する	お好みの名前をつけて登録することができます。

登録地を編集する

登録地に関する情報（名称、電話番号、マーク、効果音、位置）を変更することができます。

1 **メニュー を押し、設定・編集 － ナビゲーション － ナビデータ編集 にタッチする**

2 **登録地編集 にタッチする**

▼

登録地の編集メニュー画面が表示されます。

編集	登録時に設定された内容を編集することができます。*(→F-3)*
消去	登録地を消去することができます。*(→F-4)*
全消去	すべての登録地を消去します。

登録地の登録内容を編集する

1 **編集 にタッチする（→F-3）**

2 **登録内容を編集したい地点にタッチし、決定 にタッチする**

メモ

- 並べ替え にタッチすると、以下のポップアップメニューが表示されます。タッチするとリストを並べ替えることができます。

呼出日時順	登録または呼び出しの日時順に並べ替えます。
自車位置から近い順	自車位置から近い順に並べ替えます。
2Dマーク順	マークごとに並べ替えます。

3 **変更したい項目にタッチする**

名称	変更したい名称を20文字まで入力できます。

電話番号	電話番号を入力します。電話番号を設定しておくと、電話番号からその場所を検索できるようになります。また、携帯電話を接続していれば、その場所に電話をかけられます。
2Dマーク	地図上に表示される登録地の2Dマークを変更します。
効果音	登録地に近づいたときに鳴らす効果音の設定ができます。
位置修正	登録地の位置を修正します。

4 **［現在地］を押す**

▼

地図画面に戻ります。

登録した場所の名称を地図上に表示させる

2Dマークリスト上の ▪ マークを選ぶと、マークに加え登録した場所の名称も地図上に表示されます（プライベートマッピング）。

▼

プライベートマッピング

効果音の鳴りかた

- 効果音の設定された登録地が自車から約500m以内に近づくと効果音が鳴ります。
- 自車から約500m以内に登録地が複数ある場合は、近いものから効果音が鳴ります。
- 一度効果音が鳴ると、30分経過するか本機の電源を入れ直さないと（エンジンをかけ直さないと）効果音は鳴りません。
- 登録地の効果音よりも、ルート、VICSの音声案内が優先されます。

登録地を消去する

1 **消去 にタッチする（→F-3）**

メモ

- **全消去** にタッチすると、*F-5*手順 **4** の確認画面を表示して登録地をすべて消去します。

2 **消去したい登録地のチェックボックスにタッチする**

▼

選んだ登録地には、チェックマーク ☑ が付き、引き続き選ぶことができます。

全選択	すべての登録地が選択状態になります。
全解除	選択状態の登録地をすべて解除します。

F 登録・編集操作

メモ

- **並べ替え** にタッチすると、以下のポップアップメニューが表示されます。タッチするとサイドメニューが表示されます。

呼出日時順	リストを呼出日時順に並べ替えます。
自車位置から近い順	リストを自車位置から近い順に並べ替えます。
2Dマーク順	マークの種類ごとに並べ替えます。

3 **消去** にタッチする

▼

確認メッセージが表示されます。

4 **はい** にタッチする

▼

登録地が消去されます。

メモ

- 詳細情報から消去することもできます。→*「詳細情報を見る」(D-8)*

自宅を編集する

自宅に関する情報（名称、電話番号、マーク、効果音、位置）の変更や自宅の消去ができます。

1 **メニュー を押し、設定・編集－ナビゲーション－ナビデータ編集にタッチする**

2 **自宅編集にタッチする**

▼

自宅の編集メニュー画面が表示されます。

編集	登録時に設定された内容を編集することができます。*（→F-6）*
消去	自宅を消去することができます。*（→F-6）*

自宅の登録内容を編集する

1 **編集にタッチする（→F-6）**

2 **変更したい項目にタッチする**

名称	変更したい名称を20文字まで入力できます。
電話番号	電話番号を入力します。電話番号を設定しておくと、携帯電話を接続していれば、自宅に電話をかけられます。
2Dマーク	地図上に表示される自宅の2Dマークを変更します。
効果音	自宅に近づいたときに鳴らす効果音の設定ができます。
位置修正	自宅の位置を修正します。

自宅を消去する

1 **消去にタッチする（→F-6）**

▼

確認メッセージが表示されます。

2 **はいにタッチする**

▼

自宅が消去されます。

その他のデータを編集する

本機に保存されたいろいろな機能のデータを消去することができます。

検索履歴を消去する

場所を探すと、探した場所が自動的に検索履歴として100件まで保存されていきます。
次の手順で検索履歴を消去することができます。

1 **メニュー を押し、設定・編集 – ナビゲーション – ナビデータ編集 にタッチする**

2 **検索履歴消去 にタッチする**

3 **消去したい検索履歴のチェックボックスにタッチする**

▼

選んだ検索履歴には、チェックマーク☑が付き、引き続き選ぶことができます。

全選択	すべての検索履歴が選択されます。
全解除	選択されている検索履歴すべてを解除します。または解除したい検索履歴を選んでも解除できます。

4 **消去 にタッチする**

▼

確認メッセージが表示されます。

5 **はい にタッチする**

▼

選んだ検索履歴が消去されます。

ルートの学習内容を消去する

本機は、よく使用する道を学習しており、ルート探索時に学習した道を優先的に使用します。→*「学習ルート探索」(E-7)*
よく使用する道を変更した場合などは、学習ルートを消去してから再学習を行います。

メモ

- すべての学習ルートが消去されますのでご注意ください。

1 **メニュー を押し、設定・編集 – ナビゲーション – ナビデータ編集 にタッチする**

2 **学習ルート消去 にタッチする**

▼

確認メッセージが表示されます。

3 はい にタッチする

▼

学習ルートが消去されます。

走行軌跡を消去する

地図画面に表示される走行軌跡を消去することができます。

メモ

- 走行軌跡を自動的に消去させることもできます。→「機能設定をする」(H-1)

1 メニュー を押し、設定・編集 − ナビゲーション − ナビデータ編集 にタッチする

2 走行軌跡消去 にタッチする

▼

確認メッセージが表示されます。

3 はい にタッチする

▼

走行軌跡が消去されます。

VICS情報を利用する

VICS情報を受信し、渋滞情報や規制情報などを確認することができます。
車載のアンテナでFM-VICS情報（VICSセンターから提供）を受信でき、別売のビーコンユニットによるVICS情報（VICSセンターから提供）、別売のDSRCユニットによる5.8GHz VICS情報（ITSスポットを通じ、道路事業者などが提供）を受信できます。

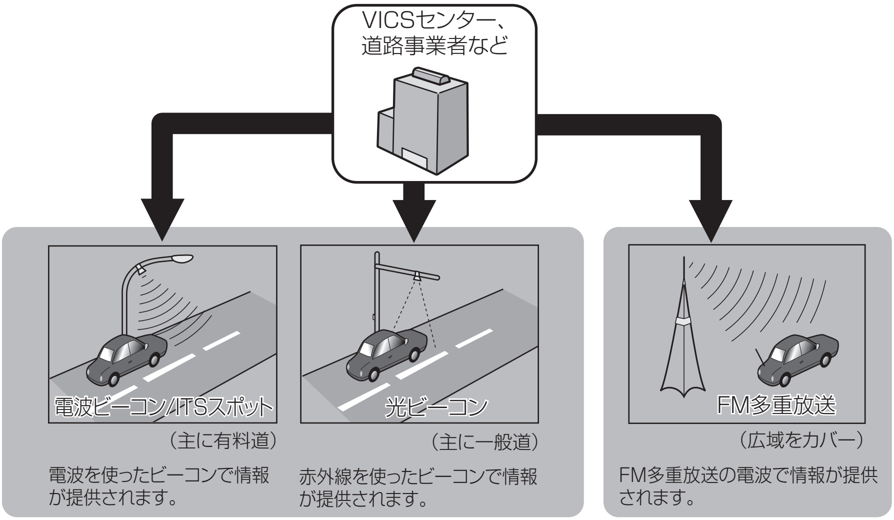
メモ

- 通信を必要とする渋滞情報に関しては、*「オンデマンドVICS情報・リアルタイムプローブ渋滞情報を利用する」（→J-1）*をご覧ください。
- 一定周期で情報が更新されるため、情報が集まるまで時間がかかります。
- 放送時間は、放送局によって異なります。VICSセンター情報などで確認してください。

VICS情報とは

VICS（Vehicle Information & Communication System：道路交通情報通信システム）とは、最新の交通情報をドライバーに伝えるための通信システムです。

VICS情報を受信すると、渋滞や事故、交通規制などの最新情報をナビゲーションの地図上に表示できます。また、簡単な地図イラストや文字で見ることもできます。



ビーコンとは、道路脇に一定間隔で設置された、VICS情報を送信する装置です。設置された場所周辺の交通情報がここから送信されます。本機に別売のVICS用ビーコンユニットやDSRCユニットを接続すると、ビーコンによるVICS情報を受信できます。

本機に内蔵のVICS/FM多重チューナーで、FM多重放送によるVICS情報を受信できます。

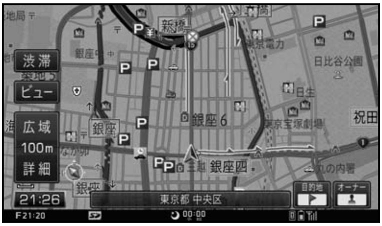
VICS情報の表示形態

VICS情報には、レベル1からレベル3までの3種類の表示形態があります。ドライバーはVICSセンターから提供される、次のような道路交通情報を活用できます。

●渋滞情報（順調情報も含む）
●旅行時間情報　●交通障害情報
●交通規制情報　●駐車場情報

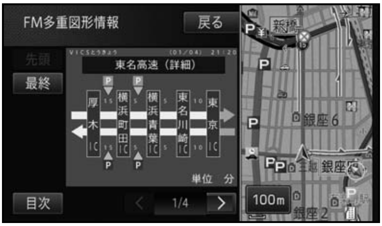
レベル 3: 地図

ナビゲーションの地図上に道路交通情報が直接表示されます。



レベル 2: 簡易図形

簡単な地図イラストなどで道路交通情報が表示されます。



レベル 1: 文字

文字で道路交通情報が表示されます。

メモ

- 情報提供側の問題により、文字化けやネットワーク障害などのエラーメッセージが表示されることがあります。

G 各種情報の利用

地図上でVICS情報を見る

レベル３（地図）の表示形態では、VICSセンターから受信した道路交通情報が、渋滞の道塗りやVICS情報マークで地図上に表示されます。

有料道路への表示

渋滞	赤色に青い縁取り
混雑	橙色に青い縁取り
順調	明るい青に青い縁取り
規制区間表示	黄色に黒い縁取り
入口閉鎖・通行止め	黒

一般道路への表示

渋滞	赤色に白い縁取り
混雑	橙色に白い縁取り
順調	明るい青に白い縁取り
規制区間表示	黄色に黒い縁取り
通行止め	黒

VICSレベル３情報提供時刻表示

F	FM多重放送によるVICS情報提供時刻
B	ビーコンやITSスポットからの情報による情報提供時刻
黄色	黄色情報を受信してから５分未満の状態
青色	情報を受信してから５分以上30分未満経過した状態
--: --	情報を受信していない、または受信後30分以上経過した状態（受信開始時、または情報が受信できなくなって30分以上経過した場合、VICS情報は消去される。）

メモ

- 本機の電源をON（エンジンスイッチをON）にしてから受信したVICS情報が表示されるまで、時間がかかることがあります。
- 希望するエリアの放送が受信できないときは、放送局を切り換えてください。*→「放送局を選ぶ」(G-6)*
- VICS情報提供時刻表示は、最新のデータが提供された時刻です。
- 渋滞 にタッチすると、ルート案内中はルート上前方の渋滞や規制の情報を、ルート案内中でない場合は自車周辺の規制情報を地図表示と文字情報および音声案内でお知らせします。*(→E-16)*
- ルート上に発生したVICSの渋滞・規制情報を文字表示や音声で案内させることができます。*(→E-16)*
- 別売のDSRCユニットが接続されていて、ITSスポットからの情報を受信した場合は、ビーコン情報と同様に表示され、情報提供時刻の先頭に「B」が表示されます。

VICSマークの種類

VICS情報により、次のようなマークも地図上に表示されます。

マーク	内容	マーク	内容
	大型通行止め		故障車
	作業		路上障害
	チェーン規制		凍結
	進入禁止		入口制限
	通行止め・閉鎖		事故
	工事中		入口閉鎖
	片側交互通行		対面通行
	車線規制		徐行
	速度規制（数字は制限速度）		
	気象		行事
	災害		火災
	区間旅行時間		
	駐車場閉		原因なし
	駐車場（空き：青、混雑：橙色、満車：赤、不明：黒）		

「VICSレベル３情報提供時刻表示」の内容

FM多重放送によるVICS情報提供時刻が表示されます。
別売のVICS用ビーコンユニットやDSRCユニットを接続している場合は、FM多重放送、ビーコンVICS情報、ITSスポット情報のうち、最新の情報提供時刻のみが表示されます。

一度に受信・表示できる情報

ビーコンやITSスポットからのVICS情報とFM多重放送からのVICS情報は同時に表示されます。同じ道の情報がビーコンやITSスポットとFM多重放送から提供された場合は、最新の情報が表示されます。

提供時刻の表示に時間がかかるときは

受信中の放送局の受信感度を確認してください。→*「放送局を選ぶ」(G-6)*

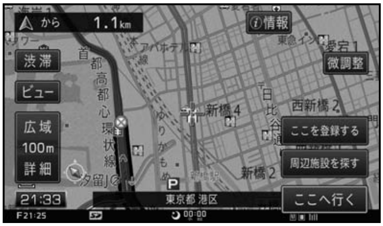
２つの放送エリアが重なる地域を走行しているときは

本機は、現在地周辺のVICS情報（道塗り情報）と別のエリア（隣接する都道府県など）のVICS情報を同時に表示することができます。したがって、県境などの放送エリアが重なる地域を走行しても、必要な情報を見ることができます。

VICS情報マークの詳細を見る

地図上に表示されているVICS情報マークの詳細な情報を確認できます。

1 VICSマークに十字カーソルを合わせ、情報 にタッチする



▼

メモ

- カーソル位置に情報が複数ある場合は、表示する情報を選択する画面が表示されます。

緊急情報の自動表示

緊急情報を受信した場合、自動的にその内容が表示されます。

VICSの文字・図形情報を見る

文字や図形のVICS情報を表示させることができます。

1 メニュー を押し、情報 にタッチする

2 渋滞情報 にタッチする

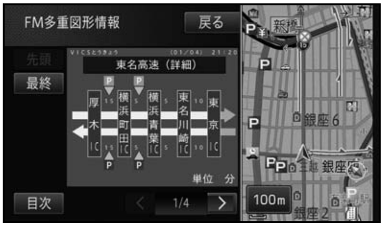
3 表示させたい情報にタッチする

図形情報	レベル2(簡易図形)の広域情報を表示します。
文字情報	レベル1(文字)の広域情報を表示します。
センター情報	VICSセンターからの情報を表示します。

4 見たい情報の番号にタッチする

メニューに表示されている情報番号と同じ番号を選びます。渋滞や交通規制などに関する情報が表示されます。

▼



メモ

- 全情報画面が複数のページにおよぶときは、< 、> にタッチすると、ページを送ります。先頭 / 最終 にタッチすると、先頭ページ/最終ページが表示されます。
- すべての情報が取得されていないときは、現在取得している情報の先頭ページ、または最終ページが表示されます。
- 目次 にタッチすると、VICSメニューに戻ります。
- 選局 にタッチすると、FM多重放送の放送局を選ぶことができます。→「放送局を選ぶ」(G-6)
- カスタム設定(→H-29)で「VICS図形情報画面を表示する」を割り当てている場合は、C (カスタムボタン)を押して操作することもできます。

ビーコン情報を表示・再生する

別売のVICS用ビーコンユニットまたはDSRCユニットを接続して、ビーコンおよびITSスポットから受信した情報の履歴がリスト表示されます。履歴情報は、あとからでも表示できます。ITSスポットからの情報は音声情報の再生も可能です。

メモ

- 「ビーコン情報」は、情報があるときに選択できます。

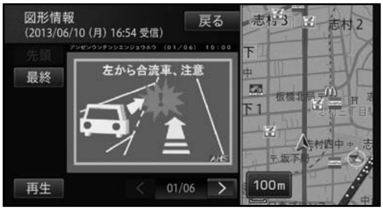
1 メニュー **を押し、** **情報** **にタッチする**

2 **渋滞情報** **にタッチする**

3 **履歴情報** **にタッチする**

4 **表示させたい情報にタッチする**

▼



図形	図形および静止画情報を表示します。
文字	文字情報を表示します。
再生	音声情報を再生します。
停止	音声情報の再生を停止します。

放送局を選ぶ

VICS情報をFM多重放送から受信するときは、最も受信感度の良い放送局を選びます。

1 メニュー **を押し、** **情報** **にタッチする**

2 **渋滞情報** **にタッチする**

3 **放送局選択** にタッチする

4 放送局を探す方法にタッチする

オート	自車位置に応じてVICS放送局が自動的に選択されます。
リスト	放送局リストから選びます。
シーク	**＋**、**－**にタッチして、周波数の自動チューニングを行います。受信可能な放送局を受信したところで止まります。

放送局の受信状態の確認について

渋滞情報画面では、受信中の放送局名、周波数、受信状態などが表示されます。

受信状態表示は、受信感度が高い場合「High」、受信感度が低い場合「Low」と表示されます。

車両メンテナンスを利用する

お車の消耗品の交換時期などを設定しておくと、交換時期が近づいたことをお知らせするメッセージを表示することができます。

車両メンテナンスでは、以下の消耗品があらかじめ設定されています。必要に応じて、「任意入力１」「任意入力２」を利用して、消耗品を任意に設定することができます。

消耗品項目

エンジンオイル交換、オイルフィルター交換、タイヤローテーション、タイヤ交換、クリーンフィルタ交換、バッテリー交換

1　メニュー を押し、設定・編集 － メンテナンス にタッチする

▼

メンテナンスタブが表示されます。

項目設定	消耗品の交換時期のお知らせを走行距離と使用期間から設定できます。
詳細設定	交換時期のお知らせを自動通知するかしないかの設定や設定項目内容の全消去、全更新を行います。
販売店設定	販売店情報の入力や消去ができます。販売店情報が設定済みの場合は、目的地や立寄地に設定したり、販売店に電話をかけることもできます。

消耗品の交換時期を設定する

1　項目設定 にタッチする

2　項目を選んでタッチする

メモ

- すでにお知らせされた項目については本機の電源をOFF/ON（エンジンスイッチをOFF/ON）にすると、お知らせ済みマークが付きます。
- 任意入力１ または 任意入力２ を選ぶと、メニューの項目名を手入力して設定することができます。

3　お知らせ距離 または お知らせ日 にタッチする

例：エンジンオイル交換

お知らせ距離	お知らせする走行距離（km）を入力して設定します。
お知らせ日	お知らせする日付を入力して設定します。
更新	最新の設定に更新します。
設定クリア	全ての設定を未設定状態にします。

メモ

- 前の画面に戻るには、**戻る**にタッチします。
- **更新**は、**お知らせ距離**または**お知らせ日**が設定されると選択できます。
- お知らせ日の更新は、お知らせ日を設定した日と、お知らせする予定だった日から更新間隔を月単位で決め、更新を行った日にその更新間隔をプラスして設定します。
  例：お知らせ日を5ヶ月後に設定した場合
  1月1日（設定日）　→　6月1日（更新日）
  5月1日　→　10月1日
  （お知らせ予定日）　（お知らせ予定日）

詳細設定をする

1 **詳細設定**にタッチする

2 項目を選んで設定する

自動通知設定	本機起動時に交換時期のお知らせをするかしないかの設定を行います。
設定全消去	設定したお知らせ時期の項目をすべて消去します。
自動全更新	お知らせ時期が過ぎた項目をすべて更新します。

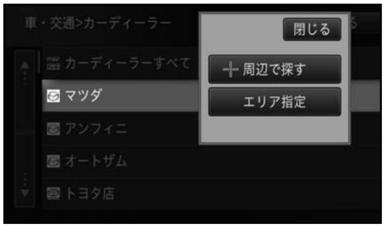
販売店設定をする

販売店未設定の場合、最初に検索機能を使用して販売店情報を取得することで登録を行います。

1 **販売店設定**にタッチする

2 販売店を探す

例：「ジャンルで探す」→「車・交通」→「カーディーラー」→「マツダ」→「周辺で探す」



3 販売店を選んで**ここで決定**にタッチする

▼

販売店が設定されます。

発信	登録された販売店の電話番号に電話をかけます。

ここへ行く	販売店を目的地または立寄地に設定します。
販売店名	販売店名を入力して設定します。
位置	販売店の位置を修正します。
電話番号	販売店の電話番号を入力して設定します。
販売店情報の消去	販売店の情報を消去します。

お知らせ確認画面

車両メンテナンスを設定した期日になると、本機の電源をON（エンジンスイッチをON）にすると、次のようなお知らせのメッセージが表示されます。

メモ

- お知らせメッセージは、次回表示しないにタッチすると、次の期日になるまで表示されなくなります。次回表示するにタッチすると、次の期日に更新するまで毎回表示されます。
- 次の期日に更新するには、消耗品の交換時期を設定する画面で更新にタッチします。（→G-8）

その他の情報の利用

本機の持ついろいろな機能の情報を見たり、利用することができます。

シリアルナンバー / デバイスナンバーを確認する

1 メニュー **を押し、情報 ー システム情報 にタッチする**

▼

メモ

- シリアルナンバーは、修理時などに使用します。
- デバイスナンバーは、有料バージョンアップ時に使用します。

センサー学習状況を見る

センサーの学習状況を確認できます。

1 メニュー **を押し、情報 ー システム情報 にタッチする**

2 **センサー学習状況 にタッチする**

▼

トリップメーター / 車速パルス数

現在本機が認識しているトリップ数、パルス数が表示されます。

メモ

- トリップメーター または 車速パルス数 にタッチすると積算された数字をリセットすることができます。

センサー学習

現在の走行モード（「3Dハイブリッド」、「簡易ハイブリッド」または「センサー初期学習中」）が表示されます。

メモ

- センサー学習 にタッチすると、オールリセット と 距離学習リセット が表示されます。オールリセット にタッチすると、センサー学習をすべてリセットすることができます。距離学習リセット にタッチすると、距離学習のみリセットすることができます。本体の取り付け位置または角度を変更した場合や別車両へ載せ換えた場合は、オールリセット にタッチしてください。また、距離精度が悪い場合には、距離学習リセット にタッチしてください。
- オールリセット、または距離学習リセットを行った場合、エコマネージャー *(→Z-1)*で計測したエコゲージやエコスコアの情報も一旦リセットされます。

前後G / 回転速度計

現在本機が認識している前後Gの強さがバーで、左右の回転速度が扇で表示されます。

傾斜計

現在本機が認識している上下の傾きが道路の傾きで表現されます。

距離 / 方位 / 傾斜（3D）の学習度

距離・方位（左右方向の回転）・傾斜に関して、どの程度学習結果が蓄積されたかが表示されます。バーが右端に達すると、学習の度合が最高であることを表します。

注意

- **走行状態の確認は必ず同乗者が行い、運転者は運転に専念してください。**

メモ

- 学習度およびトリップメーター、車速パルス数は本機の故障、修理などにより、クリアされることがあります。また、本機の状態によっては、積算されない場合があります。
- センサー未学習の状態では、パルス数以外の表示は意味を持ちません。
- 傾斜（3D）学習度が表示されないときは、車速パルスが正しくカウントされていません。車速信号入力が正しく接続されていないことが考えられます。販売店にご相談ください。

接続状態を確認する

各機器の接続状態、信号の状態などを確認できます。

1 **メニュー を押し、情報 － システム情報 にタッチする**

2 **接続状態 にタッチする**

▼

メモ

- <前ページ / 次ページ> で画面を切り換えられます。
- 正しく表示されない場合は、販売店にご相談ください。

GPS アンテナ

GPSアンテナの接続状態が表示されます。正しく接続されているときは「OK」、接続されていない場合は「未接続」と表示されます。その右側に表示されているアンテナのイラストはGPSアンテナの受信状態を確認できます。電波の受信しやすい見晴らしの良い場所で２本以上バーが表示されていれば良好です。その右側には、現在の測位状態（3次元測位／２次元測位／未測位 ）と受信中の衛星の数が表示されます。橙色の衛星マークは測位に使用している衛星の数、黄色の衛星マークは捕捉中の衛星の数を示します。３つ以上の衛星の電波を受信すると現在地の測位が可能になります。

車速パルス
現在本機が認識している車速パルスの数が表示されます。停車中の場合は「0」が表示されます。車を走行させると、速度に応じて「ピッ」という発信音がして、数字とともにバー表示が変化します。
車速パルスの確認は、安全な場所で、低速（5km/h程度）で行ってください。

取付位置
本機の設置状態が表示されます。正しく設置されているときは「OK」と表示されます。「振動許容範囲外」または「取付角度許容範囲外」と表示されたときは、販売店にご相談ください。

バック信号
バック信号入力の接続状態が表示されます。シフトレバーを「R」(リバース)の位置にすると「HIGH」と「LOW」の表示が入れ換わります。ブレーキペダルを踏んだままシフトレバーを操作し、正しく表示されることを確認してください。この接続は、車の前進/後退を判断するためのものです。
※接続しないと前進後退を正しく検知できないことがあるため、自車位置がずれる場合があります。また、別売のバックカメラを接続している場合は、シフトレバーを「R」（リバース）の位置にしても自動的にバックカメラの映像に切り換えることができません。

パーキングブレーキ
パーキングブレーキの状態が表示されます。パーキングブレーキがかかっているときは「ON」、解除されているときは「OFF」と表示されます。ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキを操作し、正しく表示されることを確認してください。

イルミネーション
イルミ電源の状態が表示されます。車のスモールライトが点灯しているときは「ON」、消灯しているときは「OFF」と表示されます。

電源電圧
車のバッテリーから本機に供給されている電源電圧が表示されます。エンジンをかけた状態で11 V～ 15 Vの範囲にあれば正常です。なお、最大で±0.5 V程度の誤差があるため、この表示は参考値です。

Bluetooth 機器 1 ～ 3
Bluetooth接続された機器の名称とBDアドレス、使用プロファイル名が表示されます。またナビ本体とBluetooth機器間の電波状態がイラスト表示されます。

ETC/DSRC ユニット
ETCユニット（別売）またはDSRCユニット（別売）の接続状態が表示されます。必ずセットアップしてから確認してください。正しく接続されている場合は「OK」、接続されていない場合は「未接続」、エラーが発生した場合はエラー番号が表示されます。

ETC 車載器番号
車載器管理番号（ETC/DSRC共通）が表示されます。

カード有効期限
挿入されているETCカードの有効期限が表示されます。

ビーコンユニット
VICS用ビーコンユニット（別売）の接続状態が表示されます。正しく接続されているときは「OK」、接続されていない場合は「未接続」と表示されます。

SDカード情報を確認する

本機に挿入されているSDカードの内容を確認することができます。

1 **メニュー を押し、情報 ー システム情報 にタッチする**

2 **SDカード情報 にタッチする**

▼

▼

空き領域の割合、使用可能情報（収録可能曲数）などが表示されます。

メモ

- 本機にはSDカードのフォーマット機能はありません。専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットしてください。フォーマットをすると、SDカードに記録されたデータがすべて消去されます。必ずデータのバックアップを行ってください。フォーマットソフトは、SDアソシエーションの、以下のホームページから入手できます。
https://www.sdcard.org/jp/

データバージョンを確認する

本機に収録された地図データや検索データのバージョン、有料更新の情報などを確認することができます。

1 **メニュー を押し、情報 にタッチする**

2 **バージョン情報 にタッチする**

▼

地図データ

地図データのバージョンが確認できます。

検索データ

検索データのバージョンが確認できます。

市街地図データ

市街地図データのバージョンが確認できます。

SDカード内の画像を表示する

本機に挿入したSDカード内の画像ファイルを表示することができます。

注意

- **SDカードの出し入れは、決められた手順で行ってください。**→*「SDカードの出し入れ」(B-13)*
異なる手順で出し入れを行うと、SDカードに保存したデータが破損する場合があります。

メモ

- JPEG、BMP形式のファイルを表示することができます。
- 6MBまでのファイルを表示できます。
- フォルダーやファイル名が長すぎる場合、画像を表示できません。

1 SDカードを挿入する (→B-13)

2 メニュー を押し、情報 にタッチする

3 画像表示 にタッチする

▼

画像ファイルが検索され、リスト表示されます。

リスト項目	タッチした画像をリスト項目の背景に表示します。
スライドショー実行	スライドショーを開始します。
画像切換時間	スライドショーの表示時間（1枚あたりの映写時間）を設定します。
全画面表示	選んだ画像を全画面で表示します。

メモ

- 最大400ファイルまでリスト表示できます。
- スライドショー実行中画面または全画面表示からリスト表示に戻るには、画面にタッチします。

スライドショーの画像切換時間を設定する

スライドショーで表示される画像の1枚の表示時間を設定します。
工場出荷時は「5秒」です。

1 画像切換時間 にタッチする (→G-15)

▼

タッチするごとに、以下のように切り換わります。

5秒 → 10秒 → 30秒 → 1分 → 5分 → 5秒に戻る

メモ

- スライドショーは、ルートフォルダーから8階層目までのフォルダー内の画像を最大400枚まで表示できます。

機能設定をする

用途やお好みに応じて設定を変更することにより、ナビゲーションを使いやすくすることができます。
ナビゲーションの設定項目は、機能ごとに次の３つのメニューに分類されています。

- 地図表示 *(→H-2)*
- ルート・案内 *(→H-3)*
- 渋滞情報 *(→H-6)*

1 **メニュー を押し、設定・編集 − ナビゲーション にタッチする**

2 **ナビ機能設定 にタッチする**

3 **設定を変更したい項目にタッチする**

メモ

- 分類タブにタッチすると、機能の先頭からリストを表示させることができます。

4 **設定内容にタッチする**

▼

設定内容が変更されます。引き続き設定項目を選んで変更することができます。

5 **設定を終了する場合は、現在地 を押す**

設定内容の詳細

地図表示

＊は工場出荷時の設定です。

オートハイウェイモード

「ON」＊	自動的にハイウェイモードにします。
「OFF」	自動的にハイウェイモードにしません。

シティマップ

「ON」＊	市街地図が表示されます。
「OFF」	通常の地図が表示されます。

スカイシティマップ

「ON」＊	スカイビューの3D地図に、建物を立体的にしてシティマップを表示します。
「OFF」	スカイビューの3D地図に、建物を通常（平面的に）にしてシティマップを表示します。

シティマップ境界表示（シティマップON時に選択可）

「ON」	シティマップの境界を画面に表示します。
「OFF」＊	シティマップの境界を画面に表示せず、通常画面に切り換えます。

地図色切換

「時刻連動」＊	日没/日出時刻連動で画面の配色が切り換わります。
「イルミ連動」	スモール灯のON/OFFで画面の配色が切り換わります。
「昼色固定」	常に昼画面のままです。
「夜色固定」	常に夜画面のままです。

走行軌跡表示

「ON」＊	走行軌跡が表示されます。
「OFF」	走行軌跡は表示されません。

走行軌跡自動消去

「自宅付近」	自宅で登録した場所から約100m以内の地点で本機の電源をOFF（エンジンスイッチをOFF）にすると、走行軌跡が自動的に消去されます。
「電源オフ時」	本機の電源をOFF（エンジンスイッチをOFF）にすると走行軌跡が自動的に消去されます。
「OFF」＊	走行軌跡は自動消去しません。

2D（ノーマルビュー）固定スクロール

「ON」	スクロール中、画面をノーマルビューに固定します。
「OFF」＊	スクロール中、画面をノーマルビューに固定しません。

地図スクロール操作

「フリックスクロール」	地図スクロールの操作方法をフリックスクロールに設定します。
「タッチスクロール」＊	地図スクロールの操作方法をタッチスクロールに設定します。

現在地情報の表示

「市区町村名」*	現在地が市区町村名で表示されます。
「走行道路名」	現在地が走行道路名で表示されます。（道路名がない場合は市区町村名が表示されます。）
「緯度経度」	現在地が緯度経度で表示されます。

かんたん目的地ボタン表示

［ON］＊	かんたん目的地検索タッチキーが表示されます。
［OFF］	かんたん目的地検索タッチキーは表示されません。

ユーザーアイコンボタン表示

「ON」*	現在地画面にユーザーアイコンボタンを表示します。
「OFF」	現在地画面にユーザーアイコンボタンを表示しません。

ルート・案内

＊は工場出荷時の設定です。

ルート探索基準

「推奨」*	信号機の数が少なく、右左折の量も適度な通りやすいルートが探索されます。
［エコ優先］	燃料消費量が少なくなるようなルートが探索されます。
［幹線優先］	幹線道路を優先してルートが探索されます。

有料道路使用条件

「標準」*	有料道路が標準的な基準でルート探索されます。
「回避」	有料道路を回避したルートが探索されます。

フェリー航路使用条件

「標準」*	フェリー航路が標準的な基準でルート探索されます。
「優先」	フェリー航路を優先的にルート探索されます。
「回避」	フェリー航路を回避したルートが探索されます。

学習ルート探索

「ON」*	学習したルートを考慮します。
「OFF」	学習したルートを考慮しません。

リアルタイム交通情報考慮探索

「ON」*	リアルタイム交通情報を考慮してルートが探索されます。
「OFF」	リアルタイム交通情報は考慮されません。

渋滞予測情報考慮探索

「ON」*	渋滞予測情報を考慮してルートが探索されます。
「OFF」	渋滞予測情報は考慮されません。

スマートIC考慮ルート探索※1※2

「ON」	スマートICを利用するルートが探索されます。
「OFF」*	スマートICを利用しないルートが探索されます。

渋滞考慮オートリルート

「ON」*	渋滞情報を考慮して、オートリルートを行います。
「OFF」	渋滞情報を考慮したオートリルートが働きません。

渋滞考慮オートリルート自動決定ルート

「元ルート」*	元ルートを選択します。
「新ルート」	新ルートを選択します。

道のり・到着予想時刻表示

「目的地」*	目的地までの距離と到着予想時刻が表示されます。
「立寄地」	次の立寄地までの距離と到着予想時刻が表示されます。

到着予想時刻速度（一般道）

「20km/h」	平均速度20km/hとして到着予想時刻が計算されます。
「30km/h」*	平均速度30km/hとして到着予想時刻が計算されます。
「40km/h」	平均速度40km/hとして到着予想時刻が計算されます。
「50km/h」	平均速度50km/hとして到着予想時刻が計算されます。
「60km/h」	平均速度60km/hとして到着予想時刻が計算されます。

到着予想時刻速度（有料道）

「60km/h」	平均速度60km/hとして到着予想時刻が計算されます。
「80km/h」*	平均速度80km/hとして到着予想時刻が計算されます。
「100km/h」	平均速度100km/hとして到着予想時刻が計算されます。

交差点案内表示

「ドライバーズビュー」*	ドライバーの目線で見ているような地図画面とともに交差点情報が表示されます。
「拡大図」	平面的な交差点拡大図が表示されます。
「アローガイド」	案内地までの距離（数値と矢印）と交差点名の情報が強調され表示されます。

ETC レーン案内表示※3

「ON」*	有料道路の料金所付近でETCレーン案内が表示されます。
「OFF」	ETCレーン案内は表示されません。

オートアングルチェンジ

「ON」*	ドライバーズビューで地図画面を低い視点から高い視点に変化させながら表示します。
「OFF」	ドライバーズビューで地図画面を低い視点に固定して表示します。

信号機ジャスト案内

「ON」*	信号機ジャスト案内を行います。
「OFF」	信号機ジャスト案内を行いません。

一般道シンプルガイド

「ON」	一般道のルート案内を距離と方向だけの音声案内にします。
「OFF」*	通常の一般道のルート案内をします。

AV画面への割り込み

「交差点案内図」	AV画面表示中に交差点拡大図を割り込ませて表示します。
「ビーコン/DSRC」	AV画面表示中にビーコン割り込み情報を表示します。（VICS用ビーコンユニット接続時）
「新旧ルート選択」	AV画面表示中に新旧ルート選択画面を割り込ませて表示します。

H ナビゲーションの設定

Linkwithモードへの割り込み

「交差点案内図」　Linkwithモード表示中に交差点拡大図を割り込ませて表示します。
「ビーコン/DSRC」　Linkwithモード表示中にビーコン割り込み情報を表示します。（VICS用ビーコンユニット接続時）
「新旧ルート選択」　Linkwithモード表示中に新旧ルート選択画面を割り込ませて表示します。

有料道注意地点・県境案内

「ON」*　案内されます。
「OFF」　案内されません。

踏切案内

「ON」*　案内されます。
「OFF」　案内されません。

右左折専用レーン案内

「ON」*　直進レーンの前方で、右折または左折レーンに変化する地点があることを案内します。
「OFF」　右左折専用レーンについて案内しません。

リフレッシュ案内

「ON」*　案内されます。
「OFF」　案内されません。

ライト点灯案内

「ON」*　案内されます。
「OFF」　案内されません。

eスタート案内

「ON」*　案内されます。
「OFF」　案内されません。

パーキングブレーキアラート

「ON」*　案内されます。
[OFF]　案内されません。

ビーコン即時表示（ビーコンユニットまたはDSRCユニットが接続されている場合）

「文字・図形・音声」*　受信したビーコン情報を文字・図形・音声で即座に表示します。
「文字・図形」　受信したビーコン情報を文字・図形で即座に表示します。
「図形」　受信したビーコン情報を図形で即座に表示します。
「OFF」　受信したビーコン情報を表示しません。

渋滞オートガイド

「ON」*　ルート上の渋滞情報が自動で音声案内されます。
「OFF」　ルート上の渋滞情報は自動では音声案内されません。

※1　ルート案内中でないときのみ設定できる機能です。
※2　イージーセットアップの「ETC取付状態設定」が「車に取り付けている」のときは自動的に「ON」になります。
「車に取り付けていない」のときは自動的に「OFF」になります。
※3　イージーセットアップの「ETC取付状態設定」を行うと、自動的に「ON」になります。

渋滞情報

＊は工場出荷時の設定です。

渋滞情報表示対象道路

「有料道・一般道」＊	有料道路・一般道路の渋滞情報が表示されます。
「有料道のみ」	有料道路の渋滞情報のみが表示されます。
「一般道のみ」	一般道路の渋滞情報のみが表示されます。
「表示しない」	渋滞情報は表示されません。

渋滞情報表示※1

「ON」＊	道塗り表示されます。
「OFF」	道塗り表示されません。

順調表示※2

「ON」	渋滞情報をもとに、交通が順調な道路が道塗り表示されます。
「OFF」＊	順調表示はされません。

規制表示※1

「ON」＊	交通規制の渋滞情報マークと規制区間が表示されます。
「OFF」	交通規制の渋滞情報マークと規制区間は表示されません。

駐車場マーク表示※1

「ON」＊	駐車場の渋滞情報マークが表示されます。
「OFF」	駐車場の渋滞情報マークは表示されません。

区間旅行時間表示

「ON」＊	区間旅行時間マークを地図上に表示します。
「OFF」	区間旅行時間マークを表示しません。

※1　「渋滞情報表示対象道路」が「表示しない」以外のときに設定できる機能です。

※2　「渋滞情報表示対象道路」が「表示しない」以外のとき、かつ「渋滞情報表示」が「ON」のときに設定できる機能です。

Bluetooth設定をする

本機の通信機能やハンズフリー機能、Bluetooth Audio機能、NaviCon連携およびLinkwith機能をお使いになるには、Bluetooth設定（ペアリング）が必要です。

メモ

- 最大５台のBluetooth機器を登録でき、機能別に同時に３台まで接続できます。Bluetooth機器の切り換えかたや削除の方法は*「Bluetooth機器の切り換えと、使用する機能を設定する」（→H-11）*をご覧ください。
- 本機の通信機能をご利用になるには、DUNプロファイル*（→H8）*に対応した携帯電話とBluetooth接続を行い、プロバイダ設定*（→H10）*を行ってください。
- Bluetooth Audio*（→R-1）*をお使いになる場合も、あらかじめ本機にBluetooth Audio機器を登録しておく必要があります。
- AVプロファイルを持つBluetooth対応携帯電話を登録した場合、Bluetooth Audioの優先接続機器として設定されます。詳しくは*「Bluetooth Audioの操作のしかた」（→R-1）*をご覧ください。
- イージーセットアップ*（→H-17）*で設定することもできます。

Bluetooth機器使用上のご注意

- 本機は、Bluetooth対応の携帯電話などのBluetooth機器に対応しています。携帯電話接続ケーブルなどを使っての接続はできませんので、ご注意ください。
- Bluetooth に対応した携帯電話でも、機種によっては本機との接続に制限がある場合があります。詳しくは、販売店にご相談ください。
- 本機は、以下のBluetoothプロファイルに対応しています。

プロファイル名	用途
HFP (HandsFreeProfile)	ハンズフリー通話
OPP (ObjectPushProfile)	電話帳転送
PBAP (Phone Book Access Profile)	電話帳、発着信履歴転送
DUN (DialupNetworking Profile)	データ通信
A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)	オーディオデータ転送
AVRCP (Audio/Visual Remote Control Profile)	AV機器のリモコン機能
SPP (Serial Port Profile)	Linkwith/NaviCon連携

- 携帯電話の「ダイヤルロック」「オートロック」などのロック機能を解除してから接続してください。

Bluetoothの設定を行う

1 **メニュー を押し、設定・編集 － 電話・通信 にタッチする**

2 **Bluetooth設定 にタッチする**

3 **設定する項目を選んでタッチする**

機器登録	Bluetooth接続するBluetooth機器を本機に登録します。あらかじめBluetooth機器のBluetooth設定をONにしてください。*(→H-9)*
機器変更	登録したBluetooth機器の切り換えと、機器ごとに使用する機能を設定できます。*(→H-11)*
接続先プロバイダ変更	プロバイダ設定*(→H-12)*することで、お客様のBluetooth携帯電話（DUNプロファイル対応）で通信機能をご利用になれます。
機器削除	登録した携帯電話を削除できます。*(→H-12)*
パスキー	本機のパスキーを変更することができます。工場出荷時のパスキーは「1111」です。*(→H-14)*

電波発射	本機からの電波発射をON/OFFすることができます。*(→H-14)*
携帯電話接続確認案内	携帯電話の接続がされない場合の案内をON/OFFすることができます。*(→H-14)*

Bluetooth機器を登録する

1 **機器登録** にタッチする (→H-8)

メモ

- Bluetooth Audioが再生中の場合、再生が中断されます。また確認のメッセージが表示されますので、中断して登録を行う場合は **はい** を、中断したくない場合は **いいえ** を選んでください。
- すでにBluetooth機器が５台登録されている場合は、登録済みリストを表示し、削除確認のメッセージが表示されます。削除するBluetooth機器を選んで **はい** にタッチし、選んだBluetooth機器の削除に成功すると手順 **2** の画面が表示されます。

▼

周辺のBluetooth機器を自動的に探します。検索は最大20秒間行われ、10機器まで発見できます。

▼

Bluetooth機器が見つかると、リスト表示されます。
お使いのBluetooth機器によっては本機からの検索で見つからない場合があります。その場合は、 **相手機器から登録する** にタッチして、Bluetooth機器の登録メニューから本機を登録してください。詳しくは、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

2 登録するBluetooth機器にタッチする

3 本機またはBluetooth機器を操作してペアリングを行う

メモ

- Bluetooth機器を最初に登録する際は、接続相手を特定するため、ペアリング操作が必要です。ペアリング方法はお使いのBluetooth機器によって異なります。本機またはBluetooth機器の画面表示に従ってペアリングしてください。
- Bluetooth機器に本機を登録（機器登録・機器認証）する方法については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本機は、ハンズフリー通話、ダイヤルアップ通信、メモリダイヤル転送※、Bluetooth Audioに対応しています。
  ※お使いのBluetooth機器によっては、各機能に対応していない場合があります。

▼

登録完了のメッセージが表示されます。

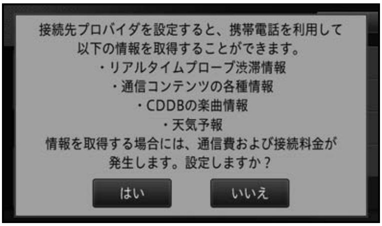
4 確認 にタッチする

▼

登録したBluetooth機器のプロファイルによっては以下の設定が続けて行えます。

プロバイダ設定

登録したBluetooth機器でデータ通信する際に使用するプロバイダを設定します。



メモ

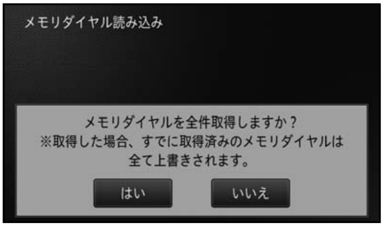
- 「NTT docomo（FOMAパケット）」を選択する場合は、NTTドコモが提供する有料インターネットサービスプロバイダ「mopera U」のご契約が必要です。詳しくは、ドコモインフォメーションセンターへお問い合わせください。

Bluetooth Audio 使用確認

登録したBluetooth機器でBluetooth Audio機能を使用するかしないかを選びます。

メモリダイヤル読み込み

登録したBluetooth機器のメモリダイヤルを本機に読み込むことができます。



メモ

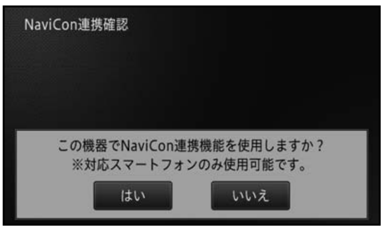
- 登録したBluetoothによりメモリダイヤルの読み込みに制限がある場合があります。詳しくはBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

ハンズフリー機器接続設定

登録したBluetoothをハンズフリー電話およびデータ通信に利用するか、ハンズフリー電話のみに利用するかを設定します。

NaviCon 連携確認

登録したBluetooth機器でNaviCon連携を使用するかしないかを選びます。



Linkwith モード使用確認

登録したBluetooth機器でLinkwithモードを使用するための設定をします。
登録したBluetooth機器のOSを選びます。

登録したBluetooth機器がiPhoneの場合は、接続方法を選びます。

▼

設定完了のメッセージが表示されます。

5 確認 にタッチする

Bluetooth機器の切り換えと、使用する機能を設定する

登録したBluetooth機器の切り換えと、機器ごとに使用する機能を設定できます。

メモ

- Bluetooth Audioを使用中にBluetooth機器の切換操作を行うと、Bluetooth Audioの再生が中断されます。
- 現在動作中（発着信中/通話中/電話帳転送待ち）のBluetooth機器は選択できません。動作終了後に操作してください。

1 機器変更 にタッチする （→H-8）

2 切り換えるBluetooth機器にタッチする

3 機能を選んでタッチし、決定 にタッチする

ハンズフリー 1（電話＋通信）	ハンズフリー通話およびデータ通信で使用します。
ハンズフリー 2（電話のみ）	ハンズフリー通話で使用します。
Bluetooth Audio	Bluetooth Audioで使用します。
NaviCon連携	NaviCon連携で使用します。
Linkwithモード（Android用）	Android機器をLinkwithモードでHDMI接続にて使用します。

Linkwithモード（iPhone用）	iPhoneをLinkwithモードでHDMI接続にて使用します。

メモ

- 「ハンズフリー１（電話＋通信）」に設定した場合は Hands-Free1、「ハンズフリー２（電話のみ）」に設定した場合は Hands-Free2、「Bluetooth Audio」に設定した場合は AUDIO のアイコンが表示されます。
- 「NaviCon連携」に設定した場合は、NaviCon が、「Linkwithモード」に設定した場合は Linkwith が表示されます。
- 「Bluetooth Audio」および「ハンズフリー１（電話＋通信）」に設定すると、AVソースをBluetooth Audioに切り換えたときに自動的に接続される優先接続機器となります。

Bluetooth機器を削除する

メモ

- 選んだBluetooth機器が動作中(通話中／データ通信中)の場合は削除できません。動作終了後に操作してください。
- **iPod/Linkwithコネクタ選択** *(→Q-5)* で、iPhoneを **USB接続** に設定して使用する場合は、Linkwithモード（iPhone用）の項目をOFFにしてください。

1 **機器削除** **にタッチする(→H-8)**

2 **削除するBluetooth機器にタッチする**

3 **はい** **にタッチする**

プロバイダを変更する

メモ

- プロバイダ設定することで、Bluetooth携帯電話（DUN プロファイルに対応）で通信機能をご利用になれます。
- プロバイダを設定するには、通信に使用する機器の設定 *(→H-11)* を「ハンズフリー１（電話＋通信）」に設定して、Bluetooth接続する必要があります。

1 **接続先プロバイダ変更** **にタッチする(→H-8)**

2 **接続するBluetooth機器のタイプに合わせたプロバイダにタッチする**

メモ

- 「NTT docomo（FOMAパケット）」を選択する場合は、NTTドコモが提供する有料インターネットサービスプロバイダ「mopera U」のご契約が必要です。詳しくは、ドコモインフォメーションセンターへお問い合わせください。

その他プロバイダ	ご希望の接続先がプロバイダリストにない場合や、プロバイダの設定値が変更された場合は、手動で設定を行います。*(→H-13)*
プロバイダ設定初期化	通信機能をお使いにならない場合（電話機能のみを使用するなど）、プロバイダの設定を初期化して未設定にします。

手動で接続先の設定を行う

1 その他プロバイダ にタッチする （→H-12）

2 設定項目を順に選び、設定内容を入力または選択する

設定できる項目と内容は以下のとおりです。

項目	設定内容
「接続先名称」	プロバイダの名称
「接続先電話番号」	アクセスポイントの電話番号
「ID」	プロバイダ入会時に発行された接続ID
「パスワード」	プロバイダ入会時に発行された接続パスワード
「プライマリDNS」	プライマリDNSのIPアドレス
「セカンダリDNS」	セカンダリDNSのIPアドレス
「Proxyサーバー」	「使う」、「使わない」
「Proxyサーバー名」	Proxyサーバーの名称
「ポート番号」	Proxyサーバーのポート番号

＊上記はプロバイダより指定されたものをお使いください。

メモ

- パスワードを入力すると、他人に読み取られないように“＊”で表示されます。
- プライマリDNSとセカンダリDNSのIPアドレスは3桁ずつ入力し、3桁未満の数字には、数字の前に「0」を付けて3桁にしてください。
  例：192. 168. 2. 255の場合は、
  「192.168. 002. 255」と入力する。
- セカンダリDNSは、プロバイダから指示されているときのみ入力してください。
- Proxy（プロキシ）サーバーを使用する場合は、使う を選択してください。
- 「Proxyサーバー名」「ポート番号」の設定は、「Proxyサーバー」を「使う」に設定した場合にできるようになります。Proxyサーバー名とポート番号は、加入したプロバイダへお問い合わせください。
- Proxyサーバー名にIPアドレスを直接入力するときに、「2」などを入力する場合は、数字の前の「00」を入れないで直接「2」を入力してください。
  例：192. 168. 2. 255の場合は、そのまま
  「192. 168. 2. 255」と入力する。

3 終了 にタッチする

パスキーを変更する

1 **パスキー** **にタッチする** **（→H-8）**

2 **変更するパスキーを入力し、** **入力終了** **にタッチする**

電波発射をON/OFFする

1 **電波発射** **にタッチする** **（→H-9）**

2 **ON** **または** **OFF** **にタッチする**

ON	電波発射を行います。
OFF	電波発射を行いません。

メモ

- 電波発射をOFFに設定すると、本機からの登録操作やパスキーの変更はできません。

携帯電話接続確認案内を設定する

本機を起動してから、所定時間内に本機と携帯電話の接続がされない場合、接続案内をするかしないかの設定を行います。

メモ

- ハンズフリー 1とハンズフリー 2との両方を登録しているとき、どちらかの機器が接続されていないと音声案内を行います。
- ハンズフリー 1とハンズフリー 2が両方ともハンズフリー接続が完了しているときには、音声案内を行いません。

1 **携帯電話接続確認案内** **にタッチする** **（→H-9）**

2 **ON** **または** **OFF** **にタッチする**

ON	携帯電話接続確認案内を行います。
OFF	携帯電話接続確認案内を行いません。

ナビゲーションの音量を設定する

ナビゲーションの案内音量、ハンズフリー時の受話・着信音量の調整と、オーディオの消音設定、案内音声や受話音を出力するスピーカー設定を行います。

音量設定をする

ナビゲーションの案内音量／操作音量および通話の受話音量／着信音量／送話音量の設定を行います。

メモ

- イージーセットアップ(→H-17)やユーザー設定(→Z-6)で設定することもできます。
- 設定された音量は、ユーザーごとに保存されます。
- 受話音量、着信音量は、その音声が出力されている間は音量調整ボタンで音量調整ができます。

1 **メニュー を押し、設定・編集 – ナビゲーション にタッチする**

2 **音量設定 にタッチする**

3 **設定したい項目にタッチする**

ナビゲーションタブの設定画面

案内音量

＋	案内音量が大きくなります。
−	案内音量が小さくなります。

操作音量

＋	操作音量が大きくなります。
−	操作音量が小さくなります。

電話タブの設定画面

受話音量

＋	受話音量が大きくなります。
−	受話音量が小さくなります。

着信音量

＋	着信音量が大きくなります。
−	着信音量が小さくなります。

送話音量

＋	送話音量が大きくなります。
−	送話音量が小さくなります。

メモ

- 音量設定は、設定・編集 – 電話・通信 – 音量設定 で表示される画面からも操作できます。
- カスタム設定（→H-29）で「音量設定画面を表示する」を割り当てている場合は、C（カスタムボタン）を押して操作することもできます。

注意

- **案内音量を「0」に設定された場合、SDカード挿入不良などの警告音声も案内されません。ご注意ください。**

音声案内や受話音を出力するスピーカーを設定する

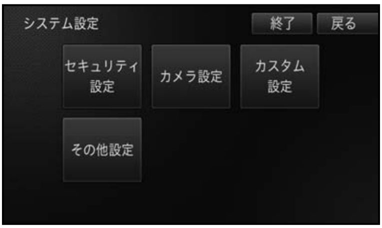
ナビゲーションの音声案内やハンズフリー通話の受話音などを、どのフロントスピーカーから出力するかを設定します。

工場出荷時は「フロントＬ＋フロントＲ」です。

1 **メニュー を押し、設定・編集 − ナビゲーション にタッチする**

2 **システム設定 にタッチする**

3 **その他設定 にタッチする**



4 **案内/電話スピーカー設定 にタッチする**

5 **出力させたいスピーカーにタッチする**

フロントＬ	フロント左側から出力します。
フロントＬ+フロントＲ	フロント左右から出力します。
フロントＲ	フロント右側から出力します。

イージーセットアップをする

イージーセットアップを行う

画面の指示に従って各設定を簡単に行うことができます。本機をはじめてお使いになるときは、自動的にイージーセットアップが起動します。設定した内容は、あとから変更することもできます。
イージーセットアップで設定できる項目と順序は、以下のとおりです。

連続して行う設定項目

音量設定

ナビゲーションの案内音量／操作音量および通話の受話音量／着信音量／送話音量を設定できます。

▼

自宅設定

自宅の登録や変更ができます。

▼

ETC取付状態設定

ETC車載器またはDSRCユニットが車に取り付けられているかどうか設定します。

▼

カスタム設定

C ボタンに割り当てる機能を設定できます。

▼

Bluetooth設定

Bluetooth機器の登録と設定ができます。

▼

Linkwithモード設定

本機にスマートフォン（Android）またはiPhoneを接続し、本機の画面にスマートフォンまたはiPhoneの機能を表示して使用する設定ができます。

▼

車両情報設定

車の有料道路料金区分や駐車制限、長さ、幅、高さを設定できます。

▼

ユーザー設定

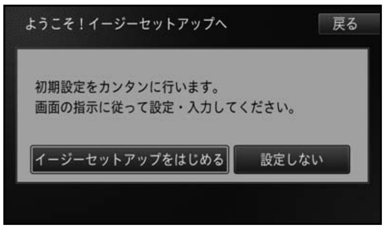
使用中ユーザーのユーザーアイコン、ユーザー名、案内音量、操作音量、地図の表示などを設定できます。

イージーセットアップを開始する

1 **メニュー を押し、設定・編集－共通設定 にタッチする**

2 **イージーセットアップ にタッチする**

3 **イージーセットアップをはじめる にタッチする**



メモ

- イージーセットアップ設定中は、**次へ** にタッチすると次の設定へ、**前へ** にタッチすると前の設定に移ることができます。
- **終了** にタッチすると、その時点までの設定を保存してイージーセットアップ終了画面 (→*H-20*) に移ります。
- ETC取付状態設定以外の設定項目は、設定メニューから個別に設定することができます。

音量の設定

4 **＋** または **－** にタッチして設定する

ナビゲーションタブの設定画面

案内音量	ナビの音声案内の音量を調整します。
操作音量	本機の操作音の音量を調整します。

電話タブの設定画面

受話音量	ハンズフリー通話時の受話音量を調整します。
着信音量	電話の着信音量を調整します。
送話音量	ハンズフリー通話時の送話音量を調整します。

5 **次へ** にタッチする

自宅の設定

6 **自宅登録** にタッチする

メモ

- すでに自宅が登録済みの場合は、**登録変更** が表示されます。タッチすると手順 **7** に進み、自宅の場所を変更して上書きすることができます。

7 場所を探して(→D-1)、**決定** にタッチする

8 **次へ** にタッチする

ETC取付状態の設定

9 状態を選んでタッチする

メモ

- 「車に取り付けている」に設定すると、機能設定*(→H-1)*の「スマートIC考慮ルート探索」が自動的にONになります。また、どちらの設定にした場合でも、機能設定*(→H-1)*の「ETCレーン案内表示」はONに変更されます。
- ルート案内中は、設定できません。

10 次へ にタッチする

カスタムボタンの設定

11 機能を選んでタッチする

12 次へ にタッチする

Bluetoothの設定

13 機器登録 にタッチする

14 接続する機器名にタッチする

メモ

- 接続する機器がリストにない場合は、**相手機器から登録する** にタッチしてBluetooth機器より登録してください。詳しくは*「Bluetooth機器を登録する」(→H-9)*をご覧ください。
- Bluetoothの設定の詳細については、*「Bluetoothの設定を行う」(→H-8)*をご覧ください。

15 次へ にタッチする

Linkwithモードの設定

16 AndroidまたはiPhoneを選択する

17 iPhoneを設定した場合は、本機とiPhoneの接続方法を設定する

18 次へ にタッチする

車両情報の設定

19 各項目を選んで内容を設定する

メモ

- 設定された駐車制限（車種・車両寸法）は、駐車場や有料道路料金の案内に反映されます。
- ルート案内中や、ハイウェイモード中の場合は、「有料道路料金区分」の設定はできません。

20 次へ にタッチする

ユーザー設定

現在使用中のユーザー専用の設定を行います。

21 各項目を選んで内容を設定する

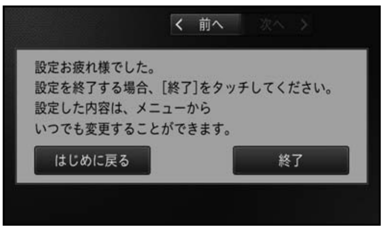
メモ

- ユーザー設定項目の詳細については、*「パーソナライズ機能を利用する」（→Z-4）*をご覧ください。

22 次へ にタッチする

イージーセットアップを終了する

23 終了 にタッチする



前へ	ひとつ前の画面に戻ります。
はじめに戻る	イージーセットアップ開始画面*（→H-17）*に戻ります。

車両情報を設定する

車両の有料道路料金区分や駐車制限、長さ、幅、高さを設定します。
ここで設定された内容が駐車場および有料道路の料金案内に反映されます。

メモ

- イージーセットアップ*(→H-17)*で設定することもできます。

1 **メニュー を押し、設定・編集 − ナビゲーション にタッチする**

2 **車両情報設定 にタッチする**

3 **各項目を選んで内容を設定する**

項目	説明
有料道路料金区分	有料道路走行時の料金区分を設定します。*(→H-21)*
駐車制限(車種)	駐車場利用時の車種制限を設定します。*(→H-21)*
駐車制限(車両寸法)	駐車場利用時の車両寸法制限を設定します。*(→H-22)*
車両重量	車両の重量を設定します。*(→H-22)*
総排気量	車両の総排気量を設定します。*(→H-22)*
燃料単価	車両が使用する燃料の単価を設定します。*(→H-23)*

メモ

- ルート案内中や有料道路走行中の場合は、有料道路料金区分の設定はできません。

有料道路料金区分の設定

1 **有料道路料金区分 にタッチする（→H-21）**

2 **該当する区分を選んでタッチする**

駐車制限（車種）の設定

1 **駐車制限（車種） にタッチする（→H-21）**

2 **該当する車種を選んでタッチする**

選ばれた車種のインジケーターが点灯し、引き続き選ぶことができます。

> **メモ**
> • 該当する車種が無い場合は、何も設定しないでください。

3 **戻る** にタッチする

駐車制限（車両寸法）の設定

1 **駐車制限（車両寸法）** にタッチする（→H-21）

2 入力する項目を選んでタッチする

3 車検証などを参考に寸法を入力し、**入力終了** にタッチする

引き続き他の項目を入力することができます。入力を終了する場合は **戻る** にタッチしてください。

> **メモ**
> • 一度設定した値をクリアするには、それぞれの入力画面で **設定解除** にタッチします。

車両重量の設定

1 **車両重量** にタッチする（→H-21）

2 車両の重量を入力し、**入力終了** にタッチする

> **メモ**
> • 一度設定した値をクリアするには、入力画面で **設定解除** にタッチします。

総排気量の設定

1 **総排気量** にタッチする（→H-21）

2 車両の総排気量を入力し、**入力終了** にタッチする

> **メモ**
> • 一度設定した値をクリアするには、入力画面で **設定解除** にタッチします。

燃料単価の設定

1 燃料単価 にタッチする **（→H-21）**

2 燃料単価を入力し、入力終了 にタッチする

メモ

- 一度設定した値をクリアするには、入力画面で 設定解除 にタッチします。

その他の設定をする

自車位置のずれを修正する

自車位置がずれた場合は、修正することができます。自車位置修正は必ず停車した状態で行ってください。

1 **メニュー を押し、設定・編集 – ナビゲーション にタッチする**

2 **自車位置補正 にタッチする**

3 **自車位置修正 にタッチする**

4 **8方向矢印キーにタッチして十字カーソルを現在地に合わせる**

メモ

- 微調整 にタッチすると、8方向矢印キーの表示／非表示を切り換えることができます。
- 8方向矢印キー表示中に走行を開始した場合は、微調整 にタッチして8方向矢印キーを消すことが、一度だけできます。

5 **決定 にタッチする**

6 **左右の回転矢印にタッチして自車の向きを調整する**

7 **決定 にタッチする**

▼

自車位置が修正されます。

走行中の道路を切り換える

一般道路と有料道路が並行している場所を走行中、自車位置が実際と異なる種別の道路に乗ってしまった場合に、自車位置を一般道路または有料道路へ切り換えることができます。

1 **メニュー を押し、設定・編集 – ナビゲーション にタッチする**

2 **自車位置補正** にタッチする

3 **別道路切換** にタッチする

▼

異なる種別の道路へ自車位置が修正されます。

メモ

- 自車位置が修正できない場合もあります。
- ルート案内中は、自車位置を修正後ルートを探索し直します。

セキュリティ設定をする

セキュリティ設定をすることで、盗難抑止効果や盗難予防効果が期待できます。
本機が一度バッテリーから外された場合、パスワードが一致しない限り、本機が使えないように設定することができます。

セキュリティロックの設定は、専用サーバーに接続して行います。あらかじめ通信機器を接続してから操作してください。また、事前にユーザー登録 *(→A-17)* も必要となります。

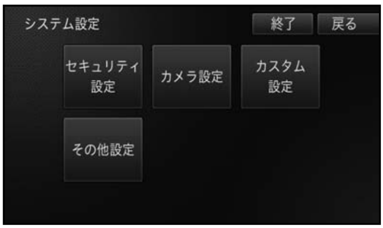
注意

- **本機能をご利用いただくことが、必ずしも盗難防止につながるわけではありません。車から離れるときは必ずキーを抜いてドアをロックするなど、基本的な対策はお客様ご自身で注意していただきますようお願いします。**

1 メニュー を押し、**設定・編集** － **ナビゲーション** にタッチする

2 **システム設定** にタッチする

3 **セキュリティ設定** にタッチする



▼

セキュリティ設定画面が表示されます。

セキュリティロック	本機が一度バッテリーから外された場合、パスワードが一致しない限り、本機が使えないように設定することができます。
セキュリティLED点滅設定	本機の電源をOFF（エンジンスイッチをOFF）にすると盗難抑止としてのLEDを点滅させるように設定することができます。（→H-27）

セキュリティロックを設定する

1 セキュリティロック にタッチする

▼

通信が開始され専用サーバーに接続されます。

メモ

- 回線接続する必要がある場合は、メッセージが表示されます。[はい] にタッチしてください。

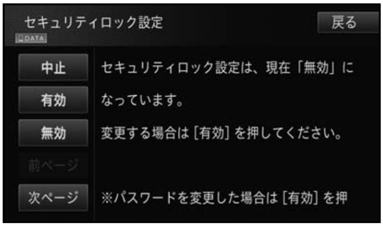
2 確認 にタッチする

3 ユーザー登録（→A-17）時に設定したニックネームとパスワードを入力し、入力終了 にタッチする

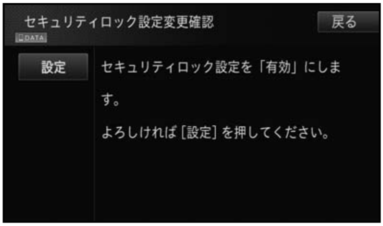
▼

現在のセキュリティ設定状態が表示されます。

4 現在の状態に合わせて、有効 または 無効 にタッチする



5 設定 にタッチする



6 確認 にタッチする

▼

セキュリティが有効または無効になります。

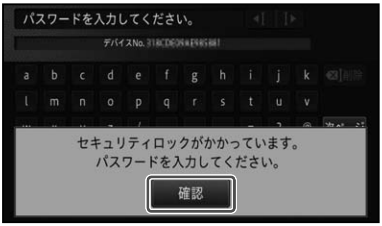
注意

- セキュリティロックを有効に設定後、通信に使用した携帯電話を機種変更する際は、BluetoothのDUNプロファイルの搭載有無を確認してください。非搭載の携帯電話に機種変更すると、セキュリティロックを無効に設定できません。
- セキュリティロックを解除すると、設定済みのパスワードが消去されます。再度パスワードの設定が必要となります。

セキュリティロックが働いた場合の操作

セキュリティロックを有効に設定した状態で、バッテリー交換などを行った場合、本機の電源をON（エンジンスイッチをON）にすると、以下の画面が表示されます。

1 確認 にタッチする



2 セキュリティロック設定時に設定したパスワードを入力し、入力終了 にタッチする

メモ

- 万が一、パスワードを忘れた場合は、裏表紙に記載のパイオニア相談窓口へお問い合わせください。

3 確認 にタッチする

▼

ナビゲーションが起動します。

セキュリティ LED点滅を設定する

1 セキュリティ LED点滅設定 にタッチする（→H-26）

2 ON または OFF にタッチする

ON	LED点滅します。
OFF	LED点滅しません。

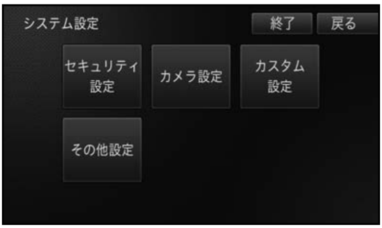
カメラの入力設定をする

別売カメラの入力設定を行います。本機に接続されたカメラの種類に合わせて設定してください。

1 **メニュー を押し、設定・編集 − ナビゲーション にタッチする**

2 **システム設定 にタッチする**

3 **カメラ設定 にタッチする**



4 **設定したいカメラ入力にタッチする**

5 **ON または OFF にタッチする**

フロントカメラ

ON	本機に別売のフロントカメラを接続した場合にONに設定します。
OFF	本機に別売のフロントカメラを接続していない場合、または一時的にフロントカメラを使用しない場合はOFFに設定します。

サイドカメラ

ON	本機に別売のサイドカメラを接続した場合にONに設定します。
OFF	本機に別売のサイドカメラを接続していない場合、または一時的にサイドカメラを使用しない場合はOFFに設定します。

バックカメラ

ON	本機に別売のバックカメラを接続した場合にONに設定します。
OFF	本機に別売のバックカメラを接続していない場合、または一時的にバックカメラを使用しない場合はOFFに設定します。

擬似バンパーライン表示設定

ON	バックカメラの映像表示中に擬似バンパーラインを表示させたい場合はONに設定します。
OFF	バックカメラの映像表示中に擬似バンパーラインを表示させたくない場合はOFFに設定します。

カスタムボタンを設定する

本体の C （カスタムボタン）に割り当てる機能を設定します。
工場出荷時は「オーディオソースを切り換える」です。

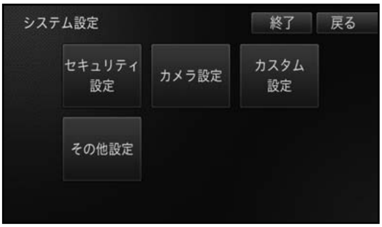
メモ

- イージーセットアップ*(→H-17)*で設定することもできます。

1 メニュー を押し、設定・編集－ナビゲーションにタッチする

2 システム設定にタッチする

3 カスタム設定にタッチする



▼

カスタム設定リストが表示されます。

4 設定したい機能（コマンド）にタッチする

▼

選んだ機能が、C （カスタムボタン）に割り当てられます。

C （カスタムボタン）を押すと、割り当てた機能を使うことができます。

設定できる機能（コマンド）について

VICS図形情報画面を表示する	VICS図形情報画面*(→G-5)*を表示します。
エコ表示設定をON/OFFする	エコ表示の設定をON/OFFします。
音量設定画面を表示する	音量設定画面*(→H-15)*を表示します。
自宅へ帰る	自宅までのルート（1本）を探索します。*(→C-21)*
リダイヤル	ハンズフリー電話で、リダイヤルを行います。*(→H-11)*
ルート編集画面を表示する	ルート編集画面*(→E-17)*を表示します。
ロゴマーク表示をON/OFFする	ボタンを押すたびにロゴマークの表示／非表示を切り換えます。*(→C-10)*
TVに切り換える	AVソースのTV*(→K-1)*をONにします。
MUTEをON/OFFする	一時的にAVソースの音量を0にする機能をON/OFFします。
オーディオソースをOFFにする	AVソースをOFFにします。*(→K-2)*
オーディオソースを切り換える	ボタンを押すたびにAVソースを切り換えます。*(→K-1)*

Linkwithモードに切り換える	Linkwithモードを表示します。
音声MixをON/OFFする	AVソースの音声とLinkwithの音声のMixをON/OFFします。

メモ

- 下記の機能は現在地画面*(→C-5)*またはショートカットメニュー*(→C-4)*表示中のみ有効になります。
  - VICS図形情報画面を表示する
  - エコ表示設定をON/OFFする
  - 音量設定画面を表示する
  - 自宅へ帰る
  - リダイヤル
  - ルート編集画面を表示する
  - ロゴマーク表示をON/OFFする

フロントカメラ/サイドカメラを使う場合

本機に別売のフロントカメラ/サイドカメラを接続し、カメラの入力設定*(→H-28)*をONに設定した場合は、カスタム設定に関わらず、C（カスタムボタン）を押すと、フロントカメラまたはサイドカメラの映像を表示します。カメラの入力設定をOFFに設定すると、カスタム設定で割り当てた機能を再び使うことができます。

メモ

- フロントカメラ/サイドカメラ設定をONにした場合でも、カスタム設定を行うことができます。ただし、割り当てた機能が有効になるのはカメラの入力設定をOFFにした時点からとなります。

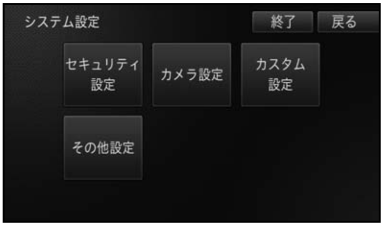
ワイプ枠を表示する

ワイプ操作可能なエリアに、ワイプ枠を表示することができます。

1 メニュー を押し、**設定・編集**−**ナビゲーション** にタッチする

2 **システム設定** にタッチする

3 **その他設定** にタッチする



4 **ワイプ枠表示設定** にタッチする

5 **ON**または**OFF**にタッチする

ON	ワイプ枠を表示します。
OFF	ワイプ枠を表示しません。

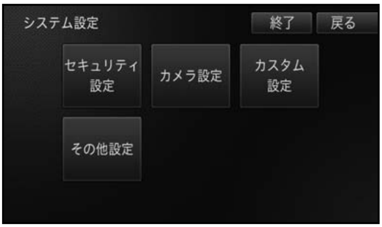
地図更新案内を設定する

新しい地図への更新を促す案内をするかどうかを設定します。

1 **メニュー を押し、設定・編集－ナビゲーション にタッチする**

2 **システム設定 にタッチする**

3 **その他設定 にタッチする**



4 **地図更新案内設定 にタッチする**

5 **ON または OFF にタッチする**

ON	本機の起動時に、メッセージ表示と音声案内を行います。
OFF	メッセージ表示と音声案内を行いません。

メモ

- 地図更新案内は、本機を購入してから全データ更新を１回以上行ったかどうかを判断して通知します。
- ご購入後、全データ更新を行っていただいた場合は、地図更新の案内は行いません。
- 無償地図更新期間は、2017年４月配信データが最終データです。（2017年10月末迄はデータダウンロードは可能です）

ステアリングリモコンタイプを設定する

ステアリングリモコンのタイプを設定します。この設定は販売店で行います。お客様は設定を変更しないでください。

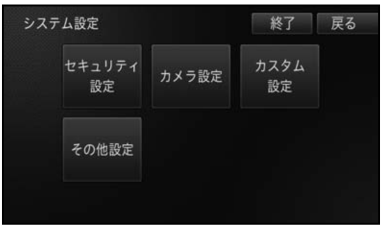
メモ

- AVソースがOFF(→K-2)で、LinkwithモードがOFF(→T-1)の場合に設定変更ができます。

1 メニュー を押し、設定・編集－ナビゲーションにタッチする

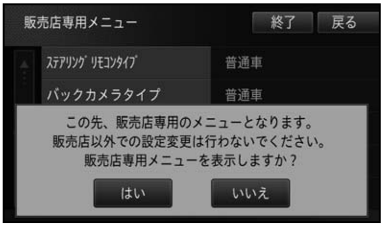
2 システム設定 にタッチする

3 その他設定 にタッチする



4 販売店専用メニュー にタッチする

5 はい にタッチする



6 ステアリングリモコンタイプ にタッチする

7 設定するステアリングリモコンタイプにタッチする

▼

選んだタイプに設定されます。

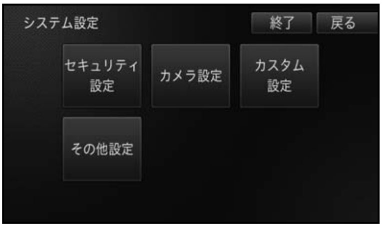
バックカメラタイプを設定する

バックカメラのタイプを設定します。
この設定は販売店で行います。お客様は設定を変更しないでください。

1 **メニュー** を押し、**設定・編集**–**ナビゲーション**にタッチする

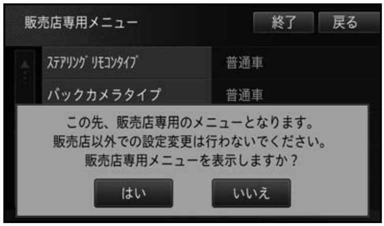
2 **システム設定**にタッチする

3 **その他設定**にタッチする



4 **販売店専用メニュー**にタッチする

5 **はい**にタッチする



6 **バックカメラタイプ**にタッチする

7 **設定するバックカメラタイプにタッチする**

Bose®サウンドシステム設定をする

Bose®サウンドシステム設定をONにします。この設定は販売店で行います。お客様は設定を変更しないでください。

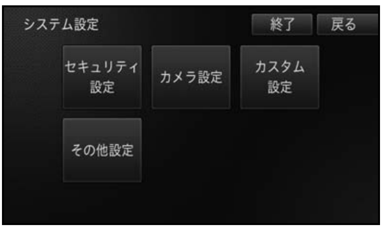
メモ

- Bose®サウンドシステムは、AVソースがOFF *(→K-2)* で、LinkwithモードがOFF *(→T-1)* の場合に設定変更ができます。
- Bose®サウンドシステムの設定を変更すると、オーディオ設定 *(→ V-1)* が工場出荷時の状態に戻ります。
- 「Bose®サウンドシステム設定」は、お車にマツダ純正Bose®サウンドシステムが装備されている場合のみ正しく作動します。お持ちのお車が Bose®仕様かどうかは、お近くの販売店にお問い合わせください。

1 メニュー を押し、**ナビゲーション** にタッチする

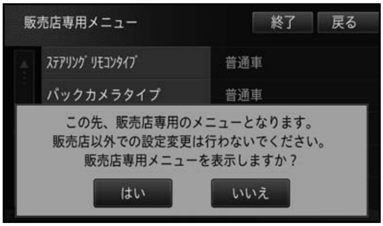
2 **システム設定** にタッチする

3 **その他設定** にタッチする



4 **販売店専用メニュー** にタッチする

5 **はい** にタッチする



6 **Bose®サウンドシステム設定** にタッチする

7 **ON** または **OFF** にタッチする

H
ナビゲーションの設定

AUX/USB UNIT設定をする

USBボックス装着車では、設定をONにします。この設定は販売店で行います。お客様は設定を変更しないでください。

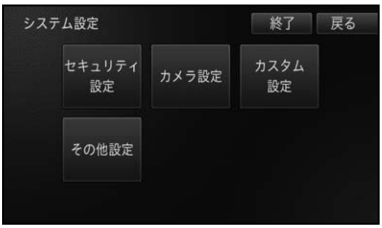
メモ

- AVソースがOFF *(→K-2)*で、LinkwithモードがOFF *(→T-1)*の場合に設定変更ができます。

1 メニュー を押し、設定・編集 – ナビゲーション にタッチする

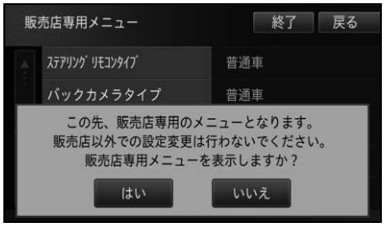
2 システム設定 にタッチする

3 その他設定 にタッチする



4 販売店専用メニュー にタッチする

5 はい にタッチする



6 AUX/USB UNIT設定 にタッチする

7 ON または OFF にタッチする

メモ

- ONに設定すると、iPodソースのVideoには切り換わりません。また、iPhone 4/4SでLinkwithモードは使用できません。

パーソナライズ設定をする

本機を家族間など複数人でお使いになる場合に、使用者ごとに設定を切り換えて使用できます（パーソナライズ機能）。パーソナライズ機能について詳しくは、*「パーソナライズ機能を利用する」（→Z-4）*をご覧ください。

1 **メニュー** **を押し、設定・編集－共通設定にタッチする**

2 **パーソナライズ設定にタッチする**

▼

パーソナライズ設定画面が表示されます。

ユーザー切換	使用者の新規登録や切り換えをします。
ユーザー設定	使用者ごとの設定をします。

設定を初期状態に戻す

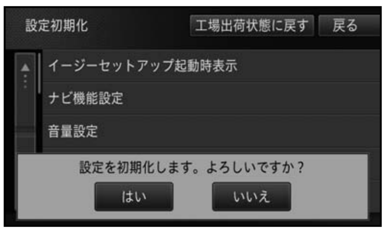
設定された機能を工場出荷時の状態に戻すことができます。

1 **メニュー** **を押し、設定・編集－共通設定にタッチする**

2 **設定初期化にタッチする**

3 **初期化したい項目にタッチする**

4 **はいにタッチする**



▼

選んだ項目が初期化されます。

一括で工場出荷状態に戻す

工場出荷状態に戻す にタッチすると、お客様がご購入後に設定した内容や記録したデータを一括で工場出荷時の状態に戻すことができます。

注意

- **一度消去したデータは元に戻せません。十分注意してから操作してください。**
- **必要な情報は、事前に控えておいてください。**

消去される項目は、以下のとおりです。

消去される項目

機能設定、カスタム設定、音量設定、車両情報設定、地図のビューとスケールの設定、走行軌跡、自車位置情報、VICS FM レベル3データ、VICS放送局 受信モード設定・受信周波数、メモリダイヤル、Bluetooth設定、ロゴマーク表示設定、案内中のルート、学習ルートデータ、登録地、検索履歴、天気予報データ、カメラガイド線調整結果、エコ情報、エコプライズなど

消去されない項目

センサー学習、セキュリティロックなど

メモ

- センサー学習を初期化するには、センサー学習のオールリセットを行ってください。（→ *G-12*）

天気予報を利用する

天気予報を地図画面に表示することができます。

メモ

- 本機にBluetooth（DUNプロファイル）に対応した携帯電話を接続する必要があります。
- 通信コンテンツの内容はサーバー側で管理されており、予告無く変更・中止する場合があります。

1 メニュー を押し、**情報** にタッチする

2 **天気予報**－**はい**にタッチする

▼

専用サーバーとの通信が開始されます。

▼

データの取得が完了すると、地図画面下部に天気予報アイコンが表示されます。

現在地画面の場合は、現在地の天気予報を表示します。地図をスクロールした場合は、スクロールした地点の天気予報を表示します。

地図の表示方法がスカイビュー、ドライバーズビュー、ツインビューのときは、天気予報に応じて空の色が変化します。

メモ

- 表示される情報は、（株）ライフビジネスウェザーの天気予報に基づいています（ただし、専用サーバー上のデータが更新されていない場合があります）。

- （株）ライフビジネスウェザーが天気予報を発表する時刻は、予告なく変更される場合があります。
- 取得した天気予報のデータは、発表時刻から35時間経過すると本機から削除されます。もう一度表示させるには、再度専用サーバーから天気予報のデータを取得してください。
- 天気予報のデータが取得できないときは、表示されません。
- サーバー側からの緊急メッセージがあるときは、メッセージが表示され、気象情報の取得処理は中止されます。
- サーバー側からメンテナンスなどの事前予告情報があるときは、メッセージが表示されますが、気象情報の取得処理は継続されます。

天気予報アイコンの見かた

天気マーク　予報時刻表示

	晴れ（昼）		大雨
	晴れ（夜）		雪
	曇り		大雪
	雨		不明

メモ

- 天気予報のデータが取得できなかったときは、天気予報アイコンは表示されません。

お好みワード検索

専用サーバーの情報を利用して、お好みワード検索を行うことができます。

メモ

- 本機にBluetooth（DUNプロファイル）に対応した携帯電話を接続する必要があります。
- 通信コンテンツの内容はサーバー側で管理されており、予告無く変更・中止する場合があります。

1 メニュー を押し、目的地 にタッチする

2 通信コンテンツ – はい にタッチする

▼

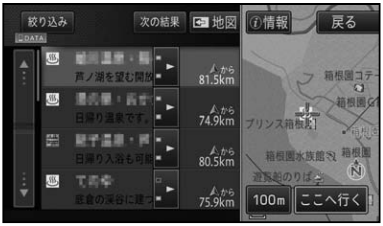
専用サーバーとの通信が開始されます。

3 お好みワード検索 にタッチする

4 キーワードを入力し、入力終了 にタッチする

複数のキーワードを使って検索する場合は、キーワード間をスペースで区切って入力してください。

5 目的の施設を選んで 情報 にタッチする



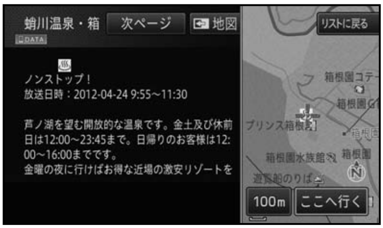
メモ

- 絞り込み にタッチすると、エリアまたはジャンルで絞り込むことができます。
- 前の結果 、次の結果 にタッチすると、リストに表示されていない情報を取得できます。

▼

選んだ施設の詳細情報画面が表示されます。

6 地図 にタッチする



▼

該当する地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作（→C-4）を参照してください。

ガススタ価格情報を利用する

専用サーバーからガソリンの価格情報を取得して販売価格の安いガソリンスタンドを探し、目的地とすることができます。

メモ

- 本機にBluetooth（DUNプロファイル）に対応した携帯電話を接続する必要があります。
- 通信コンテンツの内容はサーバー側で管理されており、予告無く変更・中止する場合があります。

1 **メニュー を押し、目的地 にタッチする**

2 **通信コンテンツ – はい にタッチする**

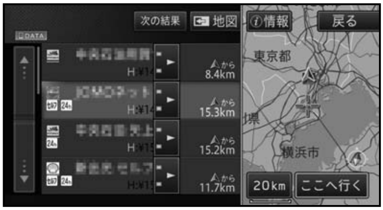
▼

専用サーバーとの通信が開始されます。

3 **ガススタ価格情報 にタッチする**

4 **探したいガソリンスタンドを選んでタッチする**

5 **目的の施設を選んで 情報 にタッチする**



メモ

- 前の結果 または 次の結果 にタッチすると、リストに表示されていない情報を取得できます。

▼

選んだ施設の詳細情報画面が表示されます。

6 **地図 にタッチする**

▼

該当する地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作*(→C-4)*を参照してください。

メモ

- 「ガススタ価格情報」は、個人からの口コミによる情報のため、情報内容に関する保証は行いません。
- 専用サーバーへ情報が保持されてからの経過時間に応じて価格情報を色で区別しています。
  - 橙色 ： 24時間以内
  - 青色 ： 7日以内
  - 黒色 ： 8日以上

駐車場満空情報を利用する

専用サーバーから駐車場満空情報を取得して空いている駐車場を探し、目的地とすることができます。

メモ

- 本機にBluetooth（DUNプロファイル）に対応した携帯電話を接続する必要があります。
- 通信コンテンツの内容はサーバー側で管理されており、予告無く変更・中止する場合があります。

1 メニュー を押し、目的地 にタッチする

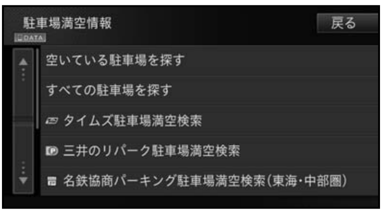
2 通信コンテンツ – はい にタッチする

▼

専用サーバーとの通信が開始されます。

3 駐車場満空情報 にタッチする

4 探したい駐車場を選んで絞り込む



5 目的の施設を選んで 情報 にタッチする

メモ

- 前の結果 または 次の結果 にタッチすると、リストに表示されていない情報を取得できます。

▼

選んだ施設の詳細情報画面が表示されます。

6 地図 にタッチする

▼

該当する地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作 *(→C-4)* を参照してください。

メモ

- 駐車場は、*「車両情報を設定する」(→H-21)* の「駐車制限」を考慮して検索されます。利用できない駐車場は（⃠）と表示されます。（実際の車両設定と異なる場合があります）

テレビdeみ〜た

専用サーバーからテレビで紹介されたスポット情報を探し、目的地とすることができます。

メモ

- 本機にBluetooth（DUNプロファイル）に対応した携帯電話を接続する必要があります。
- 通信コンテンツの内容はサーバー側で管理されており、予告無く変更・中止する場合があります。

1 **メニュー を押し、目的地 にタッチする**

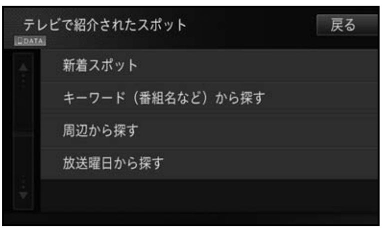
2 **通信コンテンツ – はい にタッチする**

▼

専用サーバーとの通信が開始されます。

3 **テレビdeみ〜た にタッチする**

4 **探したい項目にタッチする**



▼

選んだ項目に該当する施設のリストとその周辺地図が表示されます。

5 **目的の施設を選んで 情報 にタッチする**

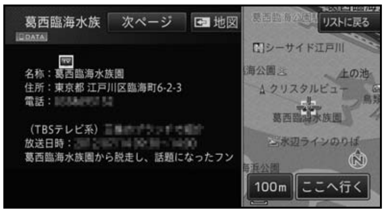
メモ

- 前の結果 または 次の結果 にタッチすると、リストに表示されていない情報を取得できます。

▼

選んだ施設の詳細情報画面が表示されます。

6 **地図 にタッチする**



▼

該当する地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作*(→C-4)*を参照してください。

オンデマンドVICS情報・リアルタイムプローブ渋滞情報を利用する

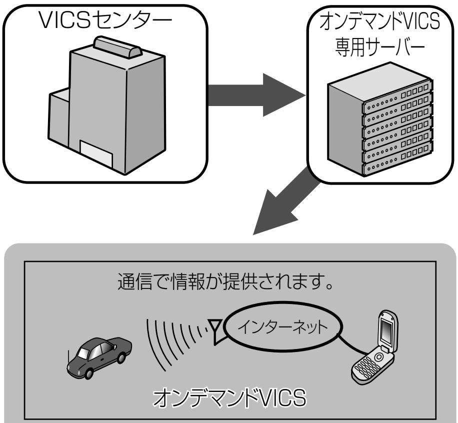
オンデマンドVICS情報（オンデマンドVICS専用サーバーより提供）、リアルタイムプローブ渋滞情報（リアルタイムプローブサーバーより提供）を取得し、渋滞情報や規制情報などを確認することができます。

メモ

- 取得できる情報は、オンデマンドVICSまたはリアルタイムプローブ情報のどちらかになります。リアルタイムプローブの利用準備ができていない場合は、自動的にオンデマンドVICS情報のみの取得となります。

オンデマンドVICSについて

オンデマンドVICSとは、本機に接続されたBluetooth機器（Bluetooth対応の携帯電話など）からオンデマンドVICS専用サーバーに接続し、VICSセンターからの自車位置付近またはスクロール先のVICS情報（事象・規制情報、渋滞旅行時間リンク情報、SA・PA情報、駐車場情報）を取得する機能です。取得した情報は、地図に表示したり、ルート探索、到着予想時間などに反映することができます。



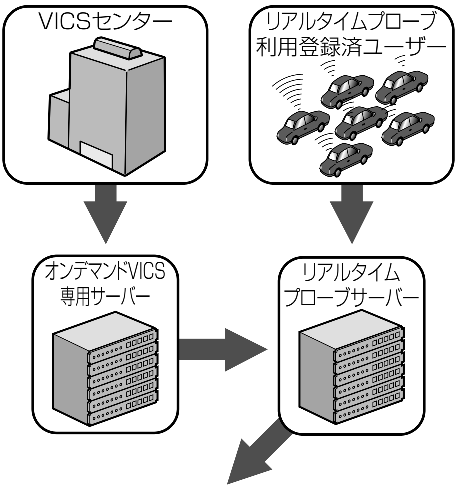
専用サーバー経由で全国のVICS情報を通信により取得できます。

メモ

- あらかじめ、Bluetooth設定*(→H-7)*を行ってください。
- 本機に保存できる取得情報は、3回分までです。4回目の取得操作を行うと、1回目の取得情報が消去されます。
- オンデマンドVICSの情報は、インクリメントP株式会社から提供されます。
- 道路交通情報データは、公益財団法人　日本道路交通情報センターから提供されます。また、データ作成には、一般財団法人　道路交通情報通信システムセンター（VICSセンター）の技術が用いられています。

リアルタイムプローブとリアルタイムプローブ渋滞情報について

リアルタイムプローブとは、ご利用登録いただいた各お客様から提供される情報（走行履歴）を、リアルタイムプローブサーバーで蓄積管理し、走行履歴データを考慮して作成された最新のプローブ渋滞情報を、VICS情報とあわせてお客様にご提供するシステムです。「リアルタイムプローブ渋滞情報」として取得できる情報は、VICSの情報（渋滞、規制、駐車場、SA/PA情報）と、リアルタイムプローブサーバーからのプローブ渋滞情報（現況渋滞情報・過去3カ月の走行履歴から生成した渋滞情報）で、ルート探索、到着予想時間などに反映することができます。



専用サーバー経由で全国のリアルタイムプローブ参加者からの渋滞情報を通信により取得できます。

※リアルタイムプローブはパイオニア株式会社が提供するサービスです。

メモ

- リアルタイムプローブをご利用いただくには、あらかじめBluetooth設定 *(→H-7)* およびリアルタイムプローブ設定 *(→ J-4)* が必要となります。

渋滞情報の取得のしかた

通信による渋滞情報の取得のしかたは、手動で取得する方法と自動で取得する方法の2通りあります。

手動で取得する

現在地付近以外の情報を取得したい場合は、情報を取得したい場所の地図を表示させてから、以下の操作を行います。

1 渋滞 に2秒以上タッチする

専用サーバーに接続し、オンデマンドVICS情報またはリアルタイムプローブ渋滞情報を受信します。

▼

メモ

- 情報の受信が完了すると、自動的に通信の接続は切れます。
- メニュー を押し、情報 ー 渋滞情報 ー リアルタイムプローブ情報取得 にタッチしても、通信によるオンデマンドVICS情報またはリアルタイムプローブ渋滞情報の取得を行うことができます。
- オンデマンドVICS情報またはリアルタイムプローブ渋滞情報とFM多重放送によるVICS情報を両方取得した場合は、提供時刻が新しい情報を優先して画面に表示します。

自動で取得する

リアルタイムプローブ設定 *(→J-4)* で、「渋滞情報取得開始設定」を「オート」に設定しておくと、本機が起動後、本機がはじめてBluetooth機器との接続を確認した時点で、自動的に情報を取得し、ルート案内に反映することができます。
また「渋滞情報連続取得設定」を「ON」に設定しておくと、通信可能な状態にあるときは、一定間隔で情報を取得します。

メモ

- リアルタイムプローブ渋滞情報受信の際には、走行履歴などのお客様の情報が、リアルタイムプローブサーバーに送信されます。
- 連続受信設定がONの場合、ルート案内中は10分間隔、ルート案内中でない場合は20分間隔でプローブ情報の送信および受信を行います。

地図上でオンデマンドVICS ／リアルタイムプローブ渋滞情報を見る

プローブ渋滞情報の地図表示は、VICS情報の地図表示(→G-3)と区別され表示されます。

有料道路への表示

渋滞	赤色の点線(青い縁取り)
混雑	橙色の点線(青い縁取り)
順調	空色の点線(青い縁取り)

一般道路への表示

渋滞	赤色の点線(白い縁取り)
混雑	橙色の点線(白い縁取り)
順調	空色の点線(白い縁取り)

情報提供時刻表示

O	オンデマンドVICSによる渋滞情報提供時刻
R	リアルタイムプローブによる渋滞情報提供時刻
橙色	情報を受信してから5分未満の状態
青色	情報を受信してから5分以上30分未満の状態

リアルタイムプローブ設定をする

リアルタイムプローブを利用するために必要な設定を行います。

リアルタイムプローブ設定を行う

1 **メニュー を押し、設定・編集 ー 電話・通信 にタッチする**

2 **リアルタイムプローブ設定 にタッチする**

3 **設定する項目を選んでタッチする**

リアルタイムプローブ初期登録	リアルタイムプローブを利用するための初期登録を行います。(→J-4)
プローブ情報送信設定	プローブ情報送信の有無（ON/OFF）を設定します。(→J-4)
渋滞情報取得開始設定	渋滞情報を自動で取得するか手動で取得するか（オート/マニュアル）を設定します。(→J-5)
渋滞情報連続取得設定	渋滞情報の連続取得の有無（ON/OFF）を設定します。(→J-6)

初期登録

メモ

- あらかじめBluetooth設定 *(→H-7)* を行ってください。

1 **リアルタイムプローブ初期登録 ー 登録する にタッチする**

▼

通信が開始され、専用サーバーに接続されます。

メモ

- 回線接続する必要がある場合は、メッセージが表示されます。はい にタッチしてください。

2 **ユーザー登録時（→A-17）に設定したニックネームとパスワードを入力し、入力終了 にタッチする**

▼

初期登録が完了します。

プローブ情報送信の設定

工場出荷時は「OFF」です。

1 **プローブ情報送信設定 にタッチする（→J-4）**

2 **ON または OFF にタッチする**

ON	プローブ情報を送信します。（リアルタイムプローブ渋滞情報が使用可能になります。）

OFF	プローブ情報は送信しません。（リアルタイムプローブ渋滞情報は利用できません。）

メモ

- 「OFF」に設定した状態では、リアルタイムプローブ渋滞情報の取得は行われません。

データ取得開始タイミングの設定

工場出荷時は「マニュアル」です。

1 渋滞情報取得開始設定 にタッチする（→ J-4）

2 オート または マニュアル にタッチする

オート	本機が起動後、本機がはじめてBluetooth機器との接続を確認した時点で、1度だけ自動的に情報の取得を行います。
マニュアル	渋滞 に長くタッチするか 情報 – 渋滞情報 – リアルタイムプローブ情報取得 にタッチすると、渋滞情報を取得します。

メモ

- オート を選ぶと、確認メッセージが表示されます。設定を実行する場合は はい、キャンセルする場合は いいえ にタッチしてください。
- 通信費および接続料金はお客様負担となります。

データ受信方法の設定

工場出荷時は「OFF」です。

1 渋滞情報連続取得設定 にタッチする（→ J-4）

2 ON または OFF にタッチする

ON	情報の取得を一定間隔で行います。
OFF	連続取得は行いません。

メモ

- ON を選ぶと、確認メッセージが表示されます。設定を実行する場合は はい、キャンセルする場合は いいえ にタッチしてください。
- 連続取得をONに設定した場合、取得間隔は以下のようになります。
  - ルートあり時：10分間隔
  - ルートなし時：20分間隔
- 専用サーバーの状態によっては、取得時間間隔どおりに動作しない場合があります。
- 通信費および接続料金はお客様負担となります。

取得タイミングと連続取得の取得動作について

取得タイミングと連続取得の関係は、以下の表のようになります。

		渋滞情報取得開始設定	
		オート	マニュアル
渋滞情報連続取得設定	ON	本機が起動後、本機がはじめてBluetooth機器との接続を確認した時点で1度だけ自動的に情報の取得を行い、以降一定間隔で連続取得します。	手動取得操作 *(→J-2)*を行った時点で取得し、以降一定間隔で連続取得します。
	OFF	本機が起動後、本機がはじめてBluetooth機器との接続を確認した時点で1度だけ自動的に情報の取得を行い、以降は手動取得操作 *(→J-2)*を行った時点で取得します。	手動取得操作 *(→J-2)*を行った時点のみ取得します。

オーディオの基本操作

AVソースを切り換える

AVソースの切り換えは、AUDIOメニューを表示させて行います。

1 メニュー を押し、AUDIOにタッチする

メモ

- ナビゲーション画面でソースがOFFのとき、またはAVソース画面では、AV を押してもAUDIOメニューを表示できます。また、AV を長く押すとAVソースをON/OFFすることができます。

2 お好みのAVソースアイコンにタッチする

▼

選んだAVソースに切り換わります。

メモ

- カスタム設定(→H-29)で「オーディオソースを切り換える」を割り当てている場合、C(カスタムボタン)を押すごとにAVソースを切り換えることができます。切り換わる順序は以下のとおりです。
  DISC→MSV→FM→AM→TV→SD→Bluetooth Audio→iPod→WALKMAN®→USB→HDMI→VTR→AUX(USBボックス装着車のみ)→DISCに戻る
- ナビゲーション画面表示中は音声のみが切り換わり、AV を押すと、AVソース画面が表示されます。
- 機器を接続していないソースや、再生の準備、設定ができていないソースには切り換わりません。

AUDIOメニュー

AVソースを選択するメニューです。

設定・編集	オーディオの設定・編集メニューを表示します。
DISC (CD/ROM/DVD)	音楽CDやDVDビデオなどを再生したいときに選びます。(→M-1,N-1)
MSV	MSVソースを再生したいときに選びます。(→O-5)
FM	FMラジオ放送を聞きたいときに選びます。(→L-1)
AM	AMラジオ放送を聞きたいときに選びます。(→L-1)
TV	地上デジタルテレビ放送を見たいときに選びます。(→L-5)
SD	SDカードに保存した音楽ファイルや映像ファイルを再生したいときに選びます。(→P-1)
Bluetooth Audio	Bluetooth Audioを使いたいときに選びます。(→R-1)
iPod	iPodを使いたいときに選びます。(→Q-1)
WALKMAN®	WALKMAN®を使いたいときに選びます。(→S-1)
USB	USBメモリーに保存した音楽ファイルや映像ファイルを再生したいときに選びます。(→P-1)
HDMI	本機にHDMI接続した外部機器を再生したいときに選びます。(→U-2)
VTR	ポータブルビデオなどを使いたいときに選びます。(→U-4)

AUX（USBボックス装着車のみ）	AUX端子に接続した外部オーディオ機器などを使いたいときに選びます。(→U-1)
交通情報	幹線道路などで放送されている交通情報を受信したいときに選びます。(→L-4)
OFF	選択中のAVソースをOFFにしたいときに選びます。

メモ

- 各ソースアイコンは、再生の準備ができているソースのみ明るく表示されます。
- ソースによっては、設定や接続が必要です。詳しくは、各ソースの説明ページをご覧ください。

AVソースをOFFにする

AVソースの再生や受信をやめる場合は、AVソースをOFFにします。

1 OFF にタッチする

▼

AVソースがOFFになります。

メモ

- DVDビデオなど、再生停止ボタンが操作タッチキーに用意されているAVソースでは、OFFにしなくても再生を停止することができます。
- カスタム設定 *(→H-29)* で「オーディオソースをOFFにする」を割り当てている場合は、C（カスタムボタン）を押して操作することもできます。
- AV を長く押しても、AVソースをOFFにすることができます。

AVソース画面を表示する

1 ナビゲーション画面のときに AV を押す

▼

AVソース画面が表示されます。

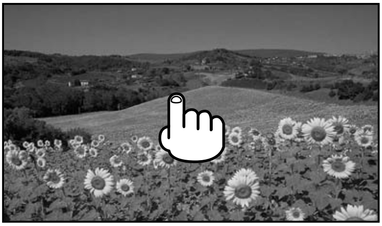
ナビゲーション画面に戻るには、現在地を押します。

メモ

- AVソースがOFFのときは、AUDIOメニュー *(→K-1)* が表示されます。
- AVソースがONの状態で現在地を押したときは、AVソースの音声はそのままにナビゲーション画面に戻ります。

映像系AVソースについて

DVDやTVなどの映像系AVソースの場合は、画面を切り換えるとはじめに映像のみ表示します。操作タッチキーなどを表示させたい場合は、一度画面にタッチしてください。



▼

メモ

- 操作タッチキーは、**閉じる** にタッチするか８秒間何も操作しないと消えます。

AVソースプレートの表示について

地図画面のまま、**C**（カスタムボタン）によるＡＶソースの切り換え *(→K-1)* や本体のボタンによる選局・選曲操作などを行った場合は、地図画面上部にAVソースプレートが表示されます。ＡＶソースプレートは、表示されてから約４秒間何も操作が行われないと消えます。

AVソースプレートには、現在再生中のAVソースの状態が表示されます。

映像画面時計表示設定

映像系AVソース表示中の画面上で、時計表示するかしないかを設定します。

工場出荷時は「OFF」です。

1 **メニュー** **を押し、** **設定・編集** **－** **オーディオ** **にタッチする**

2 **映像画面時計表示** **にタッチする**

3 **ON** **または** **OFF** **にタッチする**

ON	時計を表示します。
OFF	時計を表示しません。

ワイドモードを設定する

通常の映像をワイド映像に拡大する方法を選択することができます。

工場出荷時は「FULL」です。

メモ

- 通常映像は横縦比４：３、ワイド映像は横縦比16：９です。

1 地上デジタルTVメニュー画面2の ワイドモード にタッチする **（→L-6）**

2 お好みの表示方法を選んでタッチする

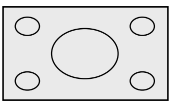
メモ

- 通常のテレビ放送の番組でZOOM、NORMAL以外の映像の横縦比が異なるモードを選ぶと本来の映像と見えかたに差が出ます。
- CINEMA、ZOOM で映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると（FULL、ZOOMなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

ワイドモードの種類

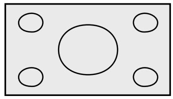
FULL（フル）

４：３の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



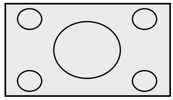
JUST（ジャスト）

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



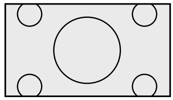
CINEMA（シネマ）

フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



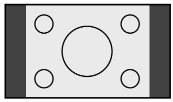
ZOOM（ズーム）

４：３の映像の上下だけを拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかぶって表示されるものに適しています。



NORMAL（ノーマル）

４：３の映像をそのまま表示します。テレビの通常の映像と同じです。



本機で再生可能なメディアとファイルの種類

本機で再生可能なメディアとファイル形式の組み合わせには制限があります。以下の表をご覧いただき、対応の可（○）否（×）をご確認のうえ、ご利用ください。
なお、ファイル形式や拡張子が対応可の場合でも、ファイルの作成方法などによっては再生できない場合もあります。また、以下の表に記載されている以外のファイル形式は再生できません。

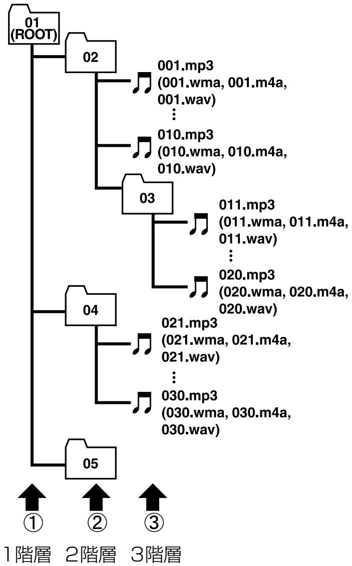
	ファイル形式	拡張子	CD-R/RW	DVD-R/RW	USBメモリー	SDカード
	WMA	.wma	○	○	○	○
	MP3	.mp3	○	○	○	○
	AAC	.m4a	○	○	○	○
	WAV	.wav	×	×	○	○
	MPEG-4	.avi/.mp4/.m4v	×	×	○	○
	WMV	.wmv	×	×	○	○
	H.264	.mp4	×	×	○	○

メモ

- WMAファイルの対応サンプリング周波数は8 kHz ～ 48 kHzです。対応ビットレートは5 kbps ～ 320 kbpsです。VBRに対応しています。
- MP3ファイルの対応サンプリング周波数は8 kHz ～ 48 kHzです。エンファシスに対応しています。対応ビットレートは8 kbps ～ 320 kbpsです。VBRに対応しています。
- AACファイルの対応サンプリング周波数は8 kHz ～ 48 kHzです。対応ステレオビットレートは8 kbps ～ 320 kbps です。
- WAVファイルの対応サンプリング周波数は16 kHz ～ 48 kHz です。LPCM形式でエンコードされた8/16 bitのファイルに対応しています。
- 各映像ファイルの対応解像度はWQVGA（400×240ピクセル）以下で、かつ4の倍数、80× 80以上（例:320×160 → 可、320×150 → 不可）となります。最大ファイルサイズは4 GB です。ビットレートが高すぎるファイルなどは本機で再生できない場合があります。 ビットレートの上限値は以下のとおりです。
  - MPEG4：2.5 Mbps
  - H.264：1.5 Mbps
  - WMV：768kbps
- デジタル著作権管理（DRM）で保護されたファイルは再生できません。

フォルダーやファイル番号の表示順について

- メディア内のフォルダーやファイルの階層イメージは下図のようになります。



メモ

- フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てることはできません。
- WMA/MP3/AAC/WAVファイルを含まないフォルダーは認識しません（フォルダー番号の表示をせず、スキップします）。
- 多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。フォルダー作成時には、階層を2つ以下にすることをおすすめします。

ラジオを聞く

ラジオの受信のしかたを説明します。

ラジオの放送を受信する

1 AVソースを FM または AM にする(→K-1)

▼

ラジオ受信画面が表示され、前回受信していた放送局を受信します。

表示切換	プリセットされた周波数や放送局をリストで表示します。リスト表示中にタッチすると、ラジオ受信画面に切り換わります。*(→L-2)*
AUTO.P	2秒以上タッチすると、受信状態の良い放送局を自動的にユーザープリセットへ登録します。*(→L-3)*
◀ SEEK または SEEK ▶	周波数を順に送ります。 長くタッチすると、受信できる放送局を自動的に探し、放送を受信すると止まります。(SEEK)
FM1⇔FM2 (FMの場合) AM1⇔AM2 (AMの場合)	バンドを切り換えます。*(→L-2)*
プリセット切換	プリセットの種類 *(→L-2)* を切り換えます。

本体のボタンで操作する場合：

⏮または⏭を押す	プリセットチャンネルを順に送る
⏮または⏭を長く押す	受信できる放送局を自動的に探す(SEEK)
⏮または⏭を押し続ける	周波数を連続で送る(NON STOP SEEK)

ワイプで操作する場合：

ラジオ受信中には、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、*「ワイプ操作」(→B-7)*をご覧ください。

→ワイプ	チャンネルをアップします。
←ワイプ	チャンネルをダウンします。
↑ワイプ	ミュートを解除します。
↓ワイプ	ミュート(消音)にします。

メモ

- トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がさえぎられやすい場所、電波の弱い地域では、受信状態が悪くなる場合があります。
- ステレオ放送を受信した場合は［STEREO］が表示されます。

プリセットの種類を選ぶ

ユーザーが登録した放送局（ユーザープリセット）を呼び出すか、あらかじめ本機に登録されている自車位置付近の放送局（エリアプリセット）を呼び出すかを選びます。

1 プリセット切換 にタッチする（→L-1）

▼

タッチするごとに、**「ユーザープリセット」**⟷**「エリアプリセット」**が切り換わります。

メモ

- エリアプリセットに設定しておくと、自車周辺の放送局がリスト表示され、簡単に放送局を選ぶことができます。
- エリアプリセットでは、放送局の周波数変更が行われた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

バンドを切り換える

本機ではFM ／ AMそれぞれに2つのバンドがあり、バンドごとにプリセットメモリー（P1 ～ P6）を使い分けることができます。

1 FM1⇔FM2 または AM1⇔AM2 にタッチする（→L-1）

▼

タッチするごとに、以下のように切り換わります。

FM1↔FM2
AM1↔AM2

メモ

- ふだんはFM1やAM1を使用し、旅行先ではFM2やAM2を使用するなど、用途によって使い分けると便利です。

リストから受信したい放送局を選ぶ

1 表示切換 にタッチする（→L-1）

2 受信したい放送局にタッチする

メモ

- 表示切換 に再度タッチすると、ラジオ受信画面に切り換わります。
- 放送局がリスト表示されていても、現在地の環境や電波状況によっては、受信できない場合があります。

放送局を手動で登録する

ユーザープリセットに、FM1、FM2、AM1、AM2に各6局まで、手動で登録することができます（マニュアルプリセット）。

1 「ユーザープリセット」に切り換える（→L-2）

2 ◀ SEEK / SEEK ▶ にタッチして登録したい放送局（周波数）を選ぶ（→L-1）

3 表示切換 にタッチし、登録したいプリセットの枠に2秒以上タッチする

▼

現在受信中の周波数が、選んだプリセットに登録されます。

放送局の自動登録

受信状態の良い放送局をユーザープリセットに自動的に登録することができます。

1 AUTO.P に2秒以上タッチする（→L-1）

▼

中止 にタッチすると、自動登録を中止します。

▼

自動登録が完了すると、ユーザープリセットに放送局が登録されます。

メモ

- 受信状態の良い放送局が登録可能数より少ない場合は、以前に登録した放送局が残る場合があります。

交通情報を聞く

幹線道路などで放送されている交通情報の受信のしかたを説明します。

交通情報を受信する

1 AVソースを 交通情報 にする (→K-1)

▼

交通情報画面が表示され、前回聞いた周波数の交通情報を受信します。

1620kHz	1 620kHzにします。
1629kHz	1 629kHzにします。

本体のボタンで操作する場合：

⏮を押す	1 620kHzにします。
⏭を押す	1 629kHzにします。

ワイプで操作する場合：

交通情報受信中には、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、*「ワイプ操作」(→B-7)*をご覧ください。

→ワイプ	1 629kHzを受信します。
←ワイプ	1 620kHzを受信します。
↑ワイプ	ミュートを解除します。
↓ワイプ	ミュート（消音）にします。

メモ

- 交通情報を受信しているときに、音量を調整すると、交通情報用の音量として設定することができます。他のAVソースに切り換えて音量を調整しても、次に交通情報を受信したときは、前回設定した音量で聞くことができます。

地上デジタルテレビ放送を見る

地上デジタルテレビ放送を視聴することができます。

メモ

- TVソースをはじめて使用するときやバッテリーを外したとき、視聴者設定クリア*（→L-15）*をしたとき、別のエリアに移動したときは、チャンネルスキャンをしてください。*→「放送局を自動で登録する（チャンネルスキャン）」（L-11）*

注意

- **停車中に、モニターで映像を見ることができます。走行中は安全のため、モニターに映像は表示されません。**

地上デジタルテレビ放送を受信する

1 AVソースを TV にする（→K-1）

▼

AVソース画面が表示され、前回受信していた放送局を受信します。

メモ

- カスタム設定*（→H-29）*で「TVに切り換える」を割り当てている場合は、C（カスタムボタン）を押して操作することもできます。

2 画面にタッチする

▼

シンプルモード画面が表示されます。

1 ～ 12	プリセットチャンネルを選局します。
番組表	番組表を表示します。*（→L-8）*
番組内容	番組内容を表示します。*（→L-9）*
d	データ放送画面に切り換えます。*（→L-9）*
操作	パネルタッチキーを表示します。*（→L-9）*
詳細	地上デジタルTVメニュー画面1を表示します。
閉じる	シンプルモード画面から映像画面に戻ります。

地上デジタル TV メニュー画面 1

リスト項目

リスト項目	タッチした放送局を受信します。
◀CH または CH▶	3桁チャンネルを順に送ります。長くタッチすると、物理チャンネルを自動的に探し、放送を受信すると止まります。（SEEK）
プリセット切換	プリセットの種類を切り換えます。*（→L-7）*
サービス切換	同じ放送局内のサービスを切り換えます。*（→L-8）*

字幕切換	字幕がある場合、字幕を切り換えます。*(→L-10)*
音声切換	複数の音声がある場合、音声を切り換えます。*(→L-11)*
映像切換	番組に複数の映像(マルチビュー)がある場合、映像を切り換えます。*(→L-10)*
音声多重	音声出力を切り換えます。*(→L-11)*
TV1⇔TV2	バンドを切り換えます。*(→L-11)*
スキャン	2秒以上タッチすると、受信可能な放送局を自動的に登録します。*(→L-11)*
次ページ	地上デジタルTVメニュー画面2に切り換えます。
閉じる	映像画面に切り換えます。

地上デジタル TV メニュー画面 2

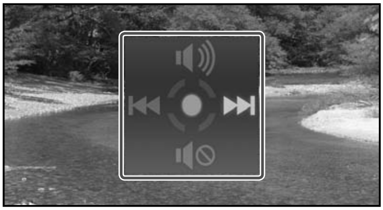
お知らせメッセージ	本機に送られてきたメッセージを表示します。*(→L-12)*
バージョン情報	本機のソフトウェアのバージョンや、miniB-CASカードなどの情報を表示します。*(→L-12)*
予約済み番組	予約済み番組の確認や編集、削除ができます。*(→L-13)*
番組情報取得	番組情報を取得します。*(→L-12)*
サービスリスト	サービスリストを表示します。*(→L-13)*
ワイドモード	表示画面を設定します。*(→K-4)*
前ページ	地上デジタルTVメニュー画面1に切り換えます。
閉じる	映像画面に切り換えます。

本体のボタンで操作する場合：

⏮または⏭を押す	プリセットチャンネルを順に送る
⏮または⏭を長く押す	受信できる物理チャンネルを自動的に探す（SEEK）

ワイプで操作する場合：

地デジ受信中には、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、*「ワイプ操作」(→B-7)*をご覧ください。



→ワイプ	チャンネルをアップします。
←ワイプ	チャンネルをダウンします。
↑ワイプ	ミュートを解除します。
↓ワイプ	ミュート（消音）にします。

メモ

- TVの音量は、他のAVソースより低いため、他のAVソースからTVに切り換えると、音が小さく感じられる場合があります。ソースレベルアジャスターでAVソースごとの音量の違いをそろえることができます。*(→V-4)*

アイコン一覧

放送内容により、次のアイコンがAVソースプレートに表示されます。

	2カ国語放送
	ワンセグから通常放送へ切り換え可能
	データ連動放送
	マルチビュー放送
	HDTV（ハイビジョン放送）
	SDTV（標準画質放送）
	ワンセグ（1セグメント放送）
	サラウンド放送
	ステレオ放送
	マルチ編成
	複数の音声あり
	字幕あり
	アンテナの受信感度
	未読のお知らせメッセージあり

プリセットの種類を切り換える

ユーザーが登録した放送局（ユーザープリセット）を呼び出すか、あらかじめ本機に登録されている自車周辺の放送局（エリアプリセット）を呼び出すかを選びます。

1 地上デジタルTVメニュー画面1の プリセット切換 にタッチする（→L-5）

▼

タッチするごとに、**「ユーザープリセット」**↔**「エリアプリセット」**が切り換わります。

メモ

- エリアプリセットに設定しておくと、自車周辺の放送局がリストに表示され、簡単に放送局を選ぶことができます。
- エリアプリセットでは、放送局の周波数（チャンネル）変更が行われた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

放送局を手動で登録する

ユーザープリセットにバンドごとに12局まで手動で登録することができます（マニュアルプリセット）。

1 「ユーザープリセット」にする

2 ◀ CH / CH ▶ にタッチして登録したい放送局を選ぶ（→L-5）

3 登録したいリストのプリセットの枠に2秒以上タッチする

▼

現在受信中の放送局が、選んだプリセットに登録されます。

サービスを切り換える

現在受信中のチャンネルで複数のサービスやワンセグが提供されている場合、サービスを切り換えることができます。

1 地上デジタルTVメニュー画面1の サービス切換 にタッチする（→L-5）

▼

別のサービスが表示されます。

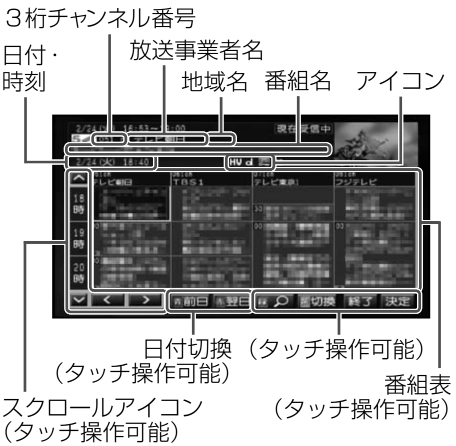
番組表を表示する

本機が取得したチャンネルの、最大1週間先までの電子番組表（EPG）を表示できます。

1 シンプルモード画面の 番組表 にタッチする（→L-5）

▼

番組表が表示されます。



前日	前日の番組表を表示します。
翌日	翌日の番組表を表示します。
🔍	ジャンル検索画面が表示されます。ジャンルを選んで、見たい番組を検索し、視聴します。
切換	タッチするごとに、以下のように表示方法が切り換わります。 **4チャンネル分 →7チャンネル分 → 1チャンネル分** →4チャンネル分に戻る
終了	通常の視聴画面に戻ります。
決定 または 番組表	現在放送中の番組であれば、選んだ番組を視聴します。 現在放送中の番組でなければ、選択された番組の番組内容画面を表示します。

メモ

- 画面の項目に直接タッチして操作できます。
- 終了 にタッチすると、通常の放送画面に戻ります。
- 番組情報取得の操作 *（→L-12）* または4チューナー設定で、*「番組表取得／サーチ優先」（→L-16）* を行っていない場合、現在受信中のチャンネル以外は空欄となります。空欄部分にタッチするか、∧ ∨ ＜ ＞ で空欄を選んで 決定 にタッチすると、そのチャンネルの番組情報が取得され、番組表に表示されます。

ジャンル検索で見たい番組を選ぶ

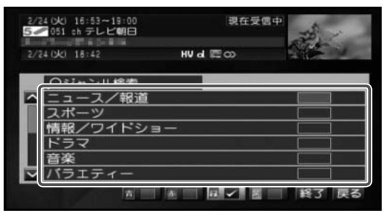
ジャンルから見たい番組を検索することができます。

メモ

- 検索結果は最大で30番組までです。また、検索対象は24時間以内に開始される番組となります。

1 番組表が表示されているときに 🔍 にタッチする（→L-8）

2 見たい番組のジャンルを選んでタッチする



L 放送を受信する

メモ

- ジャンル検索画面表示中に **∧** **∨** でジャンルを選び、カラーボタン（**青■**、**赤■**、**緑■**、**黄■**）にタッチすると、その選んだジャンルの番組がカラーボタンの色で番組表に表示されます。

3 見たい番組を選んでタッチする

▼

現在放送している番組であれば、その番組に切り換わります。

これから放送する番組であれば、その番組の情報が表示されます。

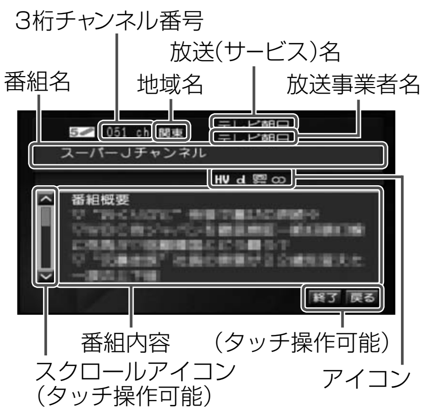
番組内容を表示する

視聴している番組の番組内容を表示します。

1 **番組内容** にタッチする（→L-5）

▼

番組内容が表示されます。



メモ

- 画面の項目に直接タッチして操作できます。
- **予約** にタッチすると、番組の視聴予約ができます。*（→L-13）*
- **終了** にタッチすると、通常の放送画面に戻ります。

データ放送を見る

視聴中の番組にデータ放送がある場合は、データ放送に切り換えることができます。

メモ

- 地域を対象としたサービス（設定した地域の天気予報や選挙速報など）を行っている場合は、郵便番号設定*（→L-15）*で設定した地域の情報を受信します。工場出荷時は、「オート」に設定されています。

1 **d** にタッチする（→L-5）

▼

データ放送の画面に切り換わります。

メモ

- データ放送画面は、画面の項目に直接タッチして操作することはできません。パネルタッチキーで項目を選んで操作します。*→「データ放送画面の操作のしかた」（L-9）*
- データ放送画面から、通常の放送画面に戻るには、画面にタッチしてから **d** にタッチします。

データ放送画面の操作のしかた

データ放送画面では、パネルタッチキーを表示して操作します。

1 データ放送画面で、**操作** にタッチする（→L-5）

▼

パネルタッチキーが表示されます。パネルタッチキーには十字パネルタッチキーと数字パネルタッチキーがあります。

十字パネルタッチキーの操作

カーソル操作や項目の決定、各機能ボタンの操作ができます。

決定	項目を決定します。
∧／**∨**／**<**／**>**	カーソルを操作します。
戻る	1つ前の操作に戻ります。
d	データ放送画面と通常の放送画面を切り換えます。
青	青ボタンとして使います。
赤	赤ボタンとして使います。
緑	緑ボタンとして使います。
黄	黄ボタンとして使います。
ESC	ESCボタンとして、全解除などに使います。
ボタン消し	パネルタッチキーを消します。
数字	数字パネルタッチキーを表示します。
位置←	パネルタッチキーの表示位置を切り換えます。

数字パネルタッチキーの操作

プリセットメモリーの操作や数字の入力などができます。

数字キー（**1** ～ **12/#**）	数字を入力します。数字入力画面以外では、プリセットメモリーキーとして動作します。
決定	項目を決定します。
戻る	1つ前の操作に戻ります。
ボタン消し	パネルタッチキーを消します。
✥	十字パネルタッチキーに戻ります。
位置←	パネルタッチキーの表示位置を切り換えます。

字幕を切り換える

番組に字幕があるときに、字幕の言語と表示のON/OFFを切り換えます。

1 地上デジタルTVメニュー画面1の 字幕切換 にタッチする
（→L-6）

▼

タッチするごとに次のように切り換わります。

複数の字幕がある場合：

字幕１ → 字幕２ → 字幕OFF →
字幕１ に戻る

映像を切り換える

マルチビューなど、複数の映像がある番組のときに、映像を切り換えます。

1 地上デジタルTVメニュー画面1の 映像切換 にタッチする
（→L-6）

▼

タッチするごとに次のように切り換わります。

複数の映像がある場合：

映像１ → 映像２ → 映像３ →
映像１ に戻る

音声を切り換える

番組に複数の音声があるときに、音声を切り換えます。

1 地上デジタルTVメニュー画面1の 音声切換 にタッチする（→L-6）

▼

タッチするごとに次のように切り換わります。

複数の音声がある場合：

第1音声 → 第2音声 → 第3音声 → 第1音声 に戻る

音声多重に切り換える

番組に複数の音声があるときに、音声多重に切り換えます。

1 地上デジタルTVメニュー画面1の 音声多重 にタッチする（→L-6）

▼

タッチするごとに次のように切り換わります。

MAIN（主音声）→ SUB（副音声）→ MAIN＋SUB（主音声＋副音声）→ MAIN（主音声）に戻る

MAIN	左右のスピーカーから主音声のみを出力します。
SUB	左右のスピーカーから副音声のみを出力します。
MAIN+SUB	左側スピーカーから主音声、右側スピーカーから副音声を出力します。

バンドを切り換える

本機では2つのバンドがあり、バンドごとにプリセットメモリー（P1～P12）を使い分けることができます。

1 地上デジタルTVメニュー画面1の TV1⇔TV2 にタッチする（→L-6）

▼

タッチするごとに TV1 ⟷ TV2 が切り換わります。

メモ

- ふだんはTV1を使用し、旅行先ではTV2を使用するなど、用途によって使い分けると便利です。

放送局を自動で登録する（チャンネルスキャン）

バンドごとに受信可能な放送局をユーザープリセットとサービスリストに自動的に登録することができます。

1 地上デジタルTVメニュー画面1の スキャン に2秒以上タッチする（→L-6）

▼

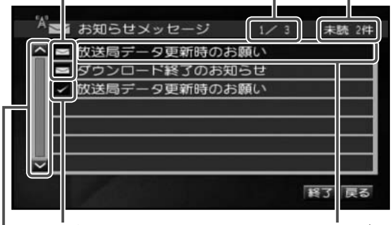
中止 にタッチすると、スキャンを中止します。

お知らせメッセージを表示する

本機に送られてきたメッセージを表示します。

1 地上デジタルTVメニュー画面2の お知らせメッセージ にタッチする（→L-6）

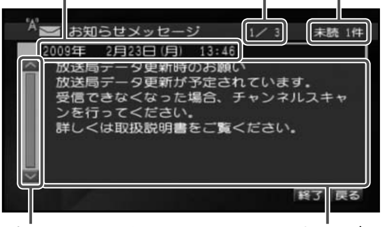
メッセージ一覧画面



2 内容を見たいメッセージにタッチする

▼

選んだメッセージの内容が表示されます。

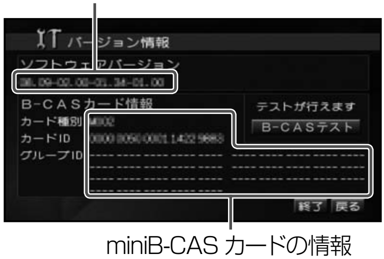


メモ

- 戻る または 終了 にタッチすると、放送画面（視聴画面）に戻ります。
- 未読メッセージがあると、画面に ✉ *(→L-7)* が表示されます。

バージョン情報を表示する

1 地上デジタルTVメニュー画面2の バージョン情報 にタッチする（→L-6）



番組情報を取得する

番組情報を取得して、番組表や番組内容を最新の状態にします。

1 地上デジタルTVメニュー画面2の 番組情報取得 にタッチする（→L-6）

▼

中止 にタッチすると、取得を中止します。

サービスリストからチャンネルを選ぶ

1 地上デジタルTVメニュー画面2の サービスリスト にタッチする(→L-6)

2 受信したいサービスチャンネルにタッチする

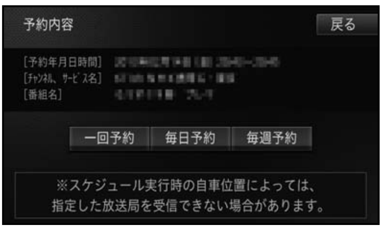
番組の視聴予約をする

番組表から番組を選択し、視聴予約を設定します。予約した番組の放送開始時刻になると、視聴予約を知らせるメッセージが表示されます。

1 番組表 にタッチして番組表を表示し、予約したい番組にタッチする(→L-5)

2 予約 にタッチする

3 予約の種類にタッチする



一回予約	1回のみ予約します。
毎日予約	毎日同じ時間、チャンネルの番組を予約します。
毎週予約	毎週同じ曜日、時間、チャンネルの番組を予約します。

メモ
- 視聴予約は100件まで設定できます。
- 視聴予約済みの番組と放送時刻が重複する番組を予約することはできません。

予約済み番組を確認/編集する

1 地上デジタルTVメニュー画面2の 予約済み番組 にタッチする(→L-6)

2 確認/編集 にタッチする

▼

予約済み番組の一覧が表示されます。
リスト項目にタッチすると、視聴予約の編集ができます。

予約済み番組を消去する

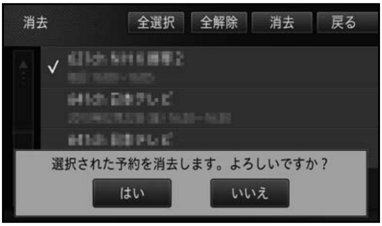
1 地上デジタルTVメニュー画面2の 予約済み番組 にタッチする(→L-6)

2 **消去** にタッチする

▼

予約済み番組の一覧が表示されます。

3 消去したい予約にタッチし、**消去** ー **はい** にタッチする



メモ

- **全選択** にタッチすると、予約をすべて選択できます。**全解除** にタッチすると、すべての選択が解除されます。

地上デジタルテレビの機能設定をする

地上デジタルテレビ放送を受信する際の機能を設定します。

メモ

- TVソースがONのときのみ設定できます。

1 メニュー を押し、**設定・編集** ー **オーディオ** にタッチする

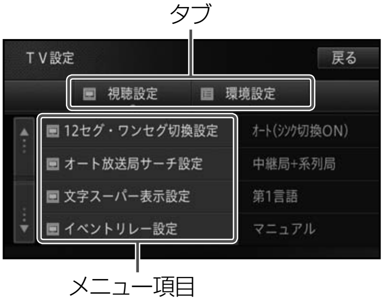
2 **ソース別設定** にタッチする

3 **TV設定** にタッチする

▼

地上デジタルテレビ放送の機能設定メニューが表示されます。

4 メニューの種類（タブ）を選んでメニュー項目にタッチする



視聴設定	［視聴設定］メニューが表示されます。
環境設定	［環境設定］メニューが表示されます。

メモ

- 各設定項目の設定内容は、右側に表示されます。

設定内容の詳細

［視聴設定］メニュー

＊は工場出荷時の設定です。

12セグ・ワンセグ切換設定

視聴している番組の受信レベルが低くなった場合に、通常の放送とワンセグを自動的に切り換えるか手動で切り換えるかを設定します。シンク切換をONにすることで、自動切換をスムーズに行います。

切換設定

「オート」＊　受信感度に応じて12セグ⇔ワンセグを自動で切り換えます。
「マニュアル」　12セグ⇔ワンセグを自動で切り換えません。

シンク切換

「ON」＊　12セグ⇔ワンセグ自動切り換え時に、画像および音声を途切れがないようにスムーズにつなげます。
「OFF」　スムーズにつなげる機能はOFFにします。

オート放送局サーチ設定

受信状態が悪くなったとき、他の受信状態の良い中継局または系列局を自動で探すかを設定します。

「中継局＋系列局」＊　自動で中継局・系列局を探します。
「中継局」　自動で中継局を探します。
「OFF」　中継局・系列局は探しません。

文字スーパー表示設定

文字スーパーの言語や表示を設定します。

「第1言語」＊　第1言語で表示します。
「第2言語」　第2言語で表示します。
「非表示」　文字スーパーを表示しません。

イベントリレー設定

別のチャンネルで延長番組が放送されるときに、自動的にチャンネルを切り換えるか、手動で切り換えるかを設定します。

「オート」　自動でチャンネルを切り換えます。
「マニュアル」＊　手動でチャンネルを切り換えます。

［環境設定］メニュー

＊は工場出荷時の設定です。

地域設定

本機をお使いの地域を設定します。設定した内容は、エリアプリセットで使用され、それぞれのバンドごとに保存されます。

「オート」＊　自車位置情報をもとに自動的に設定されます。
「マニュアル」　手動で地域を設定します。

郵便番号設定

本機をお使いの地域を設定します。設定した内容は、データ放送の地域を対象にしたサービスで使用され、それぞれのバンドごとに保存されます。

「オート」＊　自車位置情報をもとに自動的に設定されます。
「マニュアル」　手動で使用する地域を郵便番号で入力します。

視聴者設定クリア

廃棄や譲渡などで本機を手放すときに、本機に記録されている視聴者設定を消去するための設定です。

※チャンネルおよび番組表、機能設定（視聴設定、環境設定）、データ連動放送のブックマークが消去されます。

「はい」　設定をクリアします。
「いいえ」　設定をクリアしません。

番組表表示設定

表示する番組表を、主要サービスのメインチャンネルにするか、全チャンネルにするかを設定します。

「メインチャンネル」＊　メインチャンネルの番組表を表示します。
「全チャンネル」　全チャンネルの番組表を表示します。

４チューナー設定

４つのチューナーをすべて受信性能優先とするか、2チューナーで受信を行い、残りの2チューナーで他の放送局の番組表取得などの機能に振り分けるかを設定します。

「受信性能優先」*	４つのチューナーをすべて受信性能優先として設定します。
「番組表取得／サーチ優先」	必要に応じて2チューナーで放送を受信し、残りの2チューナーで機能を実行します。

音楽CDを聴く

音楽CDの基本的な再生のしかたを説明します。

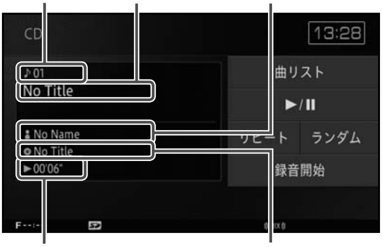
再生する

1 ディスクを挿入する(→B-12)

▼

自動的に再生が始まります。

トラックNo.　トラックタイトル　アーティスト名



再生中トラックの経過時間　アルバムタイトル

曲リスト	トラックリストを表示します。
▶/II	再生中は一時停止します。 一時停止中は再生を再開します。
リピート	リピート再生を行います。 *(→M-2)*
ランダム	ランダム再生を行います。 *(→M-2)*
録音開始	挿入された音楽CDのトラックをMSV用SDカードに録音します。*(→M-2)*

本体のボタンで操作する場合：

⏮または⏭を押す	トラックのダウン／アップ
⏮または⏭を長く押す	早戻し／早送り

ワイプで操作する場合：

CD再生中には、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、*「ワイプ操作」(→B-7)*をご覧ください。

→ワイプ	トラックをアップします。
←ワイプ	トラックをダウンします。
↑ワイプ	ミュートを解除します。
↓ワイプ	ミュート(消音)にします。

メモ

- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、AVソースをCDに切り換えてください。*(→K-1)*
- ディスクの判別などを行うため、再生までに時間がかかります。
- 再生できるディスクについては*「再生できるディスクの種類」(→付-4)*を参照してください。
- アルバムタイトル、トラックタイトル、アーティスト名は、Gracenoteデータベースから情報が取得できた場合のみ表示されます。それ以外では、以下のように表示されます。
  - アルバムタイトル：No Title
  - トラックタイトル：No Title
  - アーティスト名：No Name
- 音楽データ(CD)とWMA/MP3/AACデータ(ROM)のデータが混在しているディスクを再生した場合、音楽データ(CD)のみの再生となります。
- SDカードスロットに書き込み可能なSDカードが挿入されている状態で、自動的にMSV(ミュージックサーバー)への録音を開始します。*(→O-1)*

リストから選んで再生する

リストを表示して、再生したい曲を直接選ぶことができます。

1 曲リスト にタッチする
（→M-1）

2 聴きたい曲（トラック）にタッチする

メモ

- 通常再生画面に戻るには、終了 または 戻る にタッチします。

リピート再生

指定したディスク、トラックを繰り返して再生することができます。例えば、リピート再生の範囲をTRACK REPEATに指定すると、再生中のトラックを繰り返し聴くことができます。

1 リピート にタッチする
（→M-1）

▼

タッチするごとに、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

DISC REPEAT ↔ TRACK REPEAT

DISC REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
TRACK REPEAT	再生中のトラック（曲）を繰り返します。

メモ

- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作（TRACK REPEAT中の選曲操作など）を行うと、リピート再生の範囲が変更される場合があります。
- 選んだリピート再生範囲は画面に表示されますが、通常再生であるDISC REPEATは、画面に表示されません。

ランダム再生

曲順を変えて再生することができます。

1 ランダム にタッチする
（→M-1）

▼

タッチするごとに、ランダム再生のON/OFFが切り換わります。

メモ

- リピート再生の範囲がTRACK REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピート再生の範囲はDISC REPEATに自動的に切り換わります。
- ランダム再生中にTRACK REPEATに設定すると、ランダム再生はOFFになります。

音楽CDを録音する

音楽CDをSDカードに録音できます。CDから録音したトラックは、MSVソースとして再生できます。

1 録音開始 にタッチする
（→M-1）

▼

ROM（WMA/MP3/AAC）を聴く

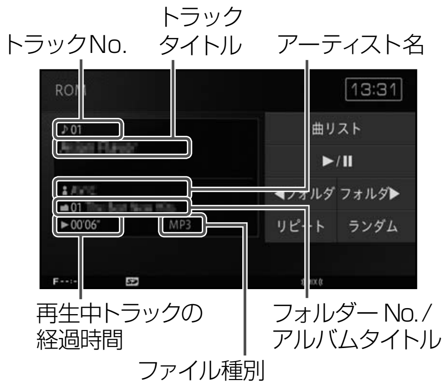
ROM（WMA/ MP3/ AAC）の基本的な再生のしかたを説明します。

再生する

1 ディスクを挿入する（→B-12）

▼

自動的に再生が始まります。



曲リスト	トラックリストを表示します。（→M-4）
▶/II	再生中は一時停止します。 一時停止中は再生を再開します。
◀フォルダ フォルダ▶	◀フォルダ で現在のファイルの再生を中断し、前フォルダの先頭ファイルを再生します。 フォルダ▶ で現在のファイルの再生を中断し、次フォルダの先頭ファイルを再生します。
リピート	リピート再生を行います。（→M-4）
ランダム	ランダム再生を行います。（→M-4）

本体のボタンで操作する場合：

⏮または⏭を押す	トラックのダウン／アップ
⏮または⏭を長く押す	早戻し／早送り

ワイプで操作する場合：

ROM再生中には、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、*「ワイプ操作」（→B-7）*をご覧ください。

→ワイプ	トラックをアップします。
←ワイプ	トラックをダウンします。
↑ワイプ	ミュートを解除します。
↓ワイプ	ミュート（消音）にします。

メモ

- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、AVソースをROMに切り換えてください。*（→K-1）*
- ディスクの判別などを行うため、再生までに時間がかかります。
- 再生できるディスクについては*「再生できるディスクの種類」（→付-4）*を参照してください。
- ID3 Tag/ WMA Tag/AAC Tagからタイトル情報を取得できた場合は、タイトルやアーティスト名が表示されます。
- タイトル情報を取得できなかった場合は以下のように表示されます。
  - アルバムタイトル：フォルダー名
  - トラックタイトル：ファイル名
  - アーティスト名：No Name
- WMAのときにTagのAuthor情報があった場合、アーティスト名として表示します。
- DRM（デジタル著作権管理）が設定されたファイルは再生できません。
- 音楽データ（CD）とWMA/MP3/AACデータ（ROM）のデータが混在しているディスクを再生した場合、音楽データ（CD）のみ再生されます。

リストから選んで再生する

リストを表示して、再生したい曲を直接選ぶことができます。

1 曲リスト にタッチする
（→M-3）

メモ

- 曲リスト に長くタッチすると、ルートフォルダー内のリストを表示します。

2 聴きたい曲（トラック）にタッチする

メモ

- [戻る上位アイコン] にタッチすると上位階層フォルダーの内容をリスト表示します。
- フォルダーリスト表示中にフォルダー名にタッチすると、そのフォルダーの内容をリスト表示します。
- リストに表示されるフォルダー数はCD-R、DVD-R共通で最大700、ファイル数はCD-R最大999、DVD-R最大3 500です。

リピート再生

指定したディスク、フォルダー、トラックを繰り返して再生することができます。例えば、リピート再生の範囲をTRACK REPEATに指定すると、再生中のトラックを繰り返し聴くことができます。

1 リピート にタッチする
（→M-3）

▼

タッチするごとに、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

DISC REPEAT→TRACK REPEAT→FOLDER REPEAT → DISC REPEATに戻る

DISC REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
TRACK REPEAT	再生中のトラック（曲）を繰り返します。
FOLDER REPEAT	再生中のフォルダーを繰り返します。

メモ

- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作（TRACK REPEAT中の選曲操作など）を行うと、リピート再生の範囲が変更される場合があります。
- 選んだリピート再生範囲は画面に表示されますが、通常再生であるDISC REPEATは、画面に表示されません。

ランダム再生

曲順を変えて再生することができます。

1 ランダム にタッチする
（→M-3）

▼

タッチするごとに、ランダム再生のON/OFFが切り換わります。

メモ

- リピート再生の範囲がTRACK REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピート再生の範囲はFOLDER REPEATに自動的に切り換わります。
- FOLDER REPEATとランダム再生中に他のフォルダーの曲を再生した場合、リピート再生の範囲はDISC REPEATに自動的に切り換わります。

DVDビデオを見る

DVDビデオの基本的な再生のしかたについて説明します。

注意

- 停車中に、モニターで映像を見ることができます。安全のため、走行中はモニターに映像が表示されません。

再生する

メモ

- 本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生することができます。

1 ディスクを挿入する(→B-12)

▼

自動的に再生が始まります。

2 画面にタッチする

▼

DVD基本画面１が表示されます。

DVD 基本画面 1

トップメニュー/メニュー	ディスクに記録されたメニューがある場合、メニュー画面を表示します。*(→N-2)*
▶/II	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
■	再生を停止します。停止した場所を記憶し、次回同じディスクを再生すると、続きから再生されます。(ディスクによっては続きから再生されない場合があります。)
リピート	リピート再生を行います。*(→N-3)*
II▶	コマ送り再生／スロー再生を行います。*(→N-3,4)*
◆	ディスクメニュー操作キーを表示して、ディスクメニューの操作を行います。*(→N-2)*
次ページ	DVD基本画面２に切り換えます。
閉じる	映像画面に切り換えます。

DVD 基本画面 2

字幕切換	再生中に字幕を切り換えます。(マルチ字幕)*(→N-4)*
音声切換	再生中に音声を切り換えます。(マルチ音声)*(→N-4)*
L/R切換	音声出力を切り換えます。*(→N-4)*
アングル	再生中にカメラアングルを切り換えます。(マルチアングル)*(→N-5)*
リターン	戻る位置が指定されたディスクの場合、再生中に指定された位置まで戻って再生します。*(→N-5)*
10キーサーチ	ダイレクトサーチを行います。*(→N-5)*
ワイドモード	ワイドモードを設定します。*(→K-4)*
前ページ	DVD基本画面１に切り換えます。
閉じる	映像画面に切り換えます。

本体のボタンで操作する場合：

⏮または⏭を押す	チャプターのダウン／アップ
⏮または⏭を長く押す	早戻し/早送り
⏮または⏭を５秒以上押し続ける	キーを離してからも早戻し/早送りを続けます。もう一度押すと通常再生に戻ります。

ワイプで操作する場合：

DVDビデオ再生中には、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、*「ワイプ操作」(→B-7)*をご覧ください。

→ワイプ	チャプターをアップします。
←ワイプ	チャプターの先頭から再生します。
↑ワイプ	ミュートを解除します。
↓ワイプ	ミュート（消音）にします。

メモ

- 操作タッチキー以外の画面にタッチすると操作タッチキーは消えます。また、一定時間を経過すると操作タッチキーは消えます。
- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、AVソースをDVDに切り換えてください。*(→K-1)*
- DVDによっては、ディスクメニューが表示されて自動的に再生が開始されない場合があります。その場合は、ディスクメニューを操作して再生してください。*→「ディスクメニューの操作(ダイレクトタッチ)」(N-2)*
- オートエンターをONにすると、走行中にDVD再生が可能になったとき、自動的にDVD再生を開始できます。*→「オートエンター」(N-13)*
- DVDの録音レベルは他のAVソースより低いため、他のAVソースからDVDに切り換えると、音が小さく感じられる場合があります。ソースレベルアジャスターでAVソースごとの音量の違いをそろえることができます。*(→V-4)*

- 再生できるディスクについては*「再生できるディスクの種類」(→付-4)*を参照してください。

ディスクメニューの操作（ダイレクトタッチ）

ディスクメニューは、ディスクにあらかじめ記録されているメニューのことで、表示されるメニューや操作方法は、再生するディスクによって異なります。
本機は、画面に表示されるディスクメニューに直接タッチして操作することができます。

1 DVD基本画面1の トップメニュー または メニュー にタッチする(→N-1)

2 画面にタッチして操作する

メモ

- ✥にタッチするとディスクメニュー操作キーを表示して操作することができます。

ディスクメニュー操作キーで操作する

ディスクメニューの文字列が小さくてタッチしにくいときや、文字列の一部がタッチキーなどに隠れてしまっている場合などは、ディスクメニュー操作キーを表示して操作することができます。

1 DVD基本画面1またはディスクメニュー表示中に ✥ にタッチする(→N-1)

2 **ディスクメニュー画面（タッチパネル）の ∧ ＜ ＞ ∨ にタッチして項目を選び、決定 にタッチする**

メモ

- ←位置 にタッチすると、ディスクメニュー操作キーの表示位置を画面右側から画面左側へ変更することができます。表示位置を画面右側へ戻す場合は 位置→ にタッチしてください。
- 戻る にタッチすると、DVD基本画面1に戻ります。
- 閉じる にタッチすると、ディスクメニュー画面（ダイレクトタッチ）に切り換わります。

リピート再生

指定したディスク、チャプター、タイトルを繰り返して再生することができます。例えば、リピート再生の範囲をCHAPTER REPEATに指定すると、再生中のチャプターを繰り返し見ることができます。

1 **DVD基本画面1の リピート にタッチする（→N-1）**

▼

タッチするごとに、リピート再生の範囲が次のように切り換わります。

DISC REPEAT → CHAPTER REPEAT → TITLE REPEAT → DISC REPEAT に戻る

DISC REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
CHAPTER REPEAT	再生中のチャプターを繰り返します。
TITLE REPEAT	再生中のタイトルを繰り返します。

メモ

- 選んだリピート再生範囲は、画面に表示されますが、通常再生であるDISC REPEATは画面に表示されません。
- ディスクまたは再生位置によっては、⃠（禁止マーク）が表示され、リピート再生できない場合があります。
- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作（CHAPTER REPEAT中のチャプターの切り換えなど）を行うと、リピート再生が中止される場合があります。

コマ送り再生

再生中の映像を1コマずつ止めながら、進めて見ることができます。

1 **DVD基本画面1の II▶ にタッチする（→N-1）**

▼

再生が一時停止し、II▶ にタッチするごとに、映像が1コマずつ送られます。

メモ

- ▶/II にタッチすると通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、コマ送り再生時に映像が乱れる場合があります。
- ディスクや再生位置によって、⃠（禁止マーク）が表示され、操作できない場合があります。

スロー再生

再生スピードを遅くして見ることができます。

1 DVD基本画面1の II▶ に2秒以上タッチする（→N-1）

▼

スロー再生されます。

スロー再生中に II▶ にタッチするごとに、スロー再生の速度が以下のように切り換わります。

1/16 → 1/8 → 1/4 → 1/2

メモ

- ▶/II にタッチすると通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、スロー再生中に映像が乱れる場合があります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。
- ディスクや再生位置によって、⊘（禁止マーク）が表示され、操作できない場合があります。

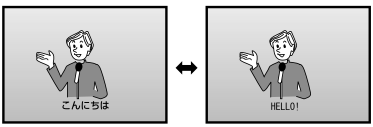
字幕言語の切り換え

字幕が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕を切り換えることができます（マルチ字幕）。

1 DVD基本画面2の 字幕切換 にタッチする（→N-1）

▼

タッチするごとに、字幕言語が切り換わります。



メモ

- パッケージについている 2 マークの数字が、字幕の収録数です。
- DVDによっては、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。

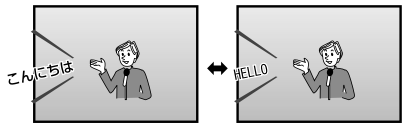
音声言語の切り換え

音声が複数収録されているディスクの場合、再生中に音声を切り換えることができます（マルチ音声）。

1 DVD基本画面2の 音声切換 にタッチする（→N-1）

▼

タッチするごとに、音声言語が切り換わります。



メモ

- パッケージについている ②)) マークの数字が、音声の収録数です。
- DVDによっては、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。
- DTS音声は再生できません。
- ［Dolby D］や［5.1ch］などの表示は、ディスクに収録されている音声の内容を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

音声出力の切り換え

音声がリニアPCMのディスクの場合、収録された左右のチャンネルのうち、どちらをスピーカーから出力するかを切り換えます。

1 DVD基本画面2の L/R切換 にタッチする(→N-1)

▼

タッチするごとに、音声出力のチャンネルが以下のように切り換わります。

L＋R → L → R → Mix → L＋Rに戻る

L+R	左右両方の音声を出力します。
L	左の音声を出力します。
R	右の音声を出力します。
Mix	左右の音声をミックスして出力します。

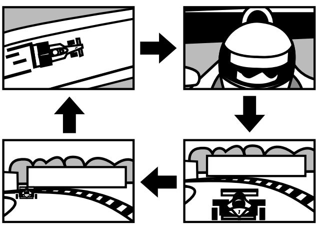
アングルの切り換え

複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、再生中にカメラアングルを切り換えることができます(マルチアングル)。

1 DVD基本画面2の アングル にタッチする(→N-1)

▼

タッチするごとに、アングルが切り換わります。



メモ

- マルチアングルが収録されている場面で操作します。マルチアングルが収録されている場面を再生すると、アングル選択マークとアングル番号が表示されます。
- パッケージについている マークの数字が、アングルの収録数です。
- アングル選択マークの表示/非表示は、DVD機能設定メニューの「マルチアングル」で行います。→「マルチアングル」(N-12)

リターン再生

戻る位置の指定が収録されているディスクの場合、指定された位置まで戻って再生することができます。

1 DVD基本画面2の リターン にタッチする(→N-1)

▼

ディスクの指定された位置まで戻り、再生を始めます。

ダイレクトサーチ

見たい場面を数字で指定して再生することができます。

1 DVD基本画面2の 10キーサーチ にタッチする(→N-1)

2 指定する方法(サーチの種類)にタッチする

TITLE 、CHAPTER 、TIME 、10キーモード が選べます。

数字キー

3 見たい場面の番号を入力し、決定 にタッチする

TITLE	タイトル番号を入力します。
CHAPTER	チャプター番号を入力します。
TIME	時間を分・秒で入力します。 分・秒 にタッチすると分と秒を確定します。
10キーモード	数字のコマンドを入力します。

▼

指定した場面から再生を始めます。

DVD-VRを見る

DVD-VRの基本的な再生のしかたについて説明します。

注意

- 停車中に、モニターで映像を見ることができます。安全のため、走行中はモニターに映像が表示されません。

再生する

1 ディスクを挿入する(→B-12)

▼

自動的に再生が始まります。

2 画面にタッチする

▼

DVD-VR基本画面１が表示されます。

DVD-VR 基本画面 1

動画リスト	タイトルリストを表示します。(→N-7)
▶/II	再生中は一時停止します。 一時停止中は再生を再開します。
■	再生を停止します。停止した場所を記憶し、次回同じディスクを再生すると、続きから再生されます。(ディスクによっては続きから再生されない場合があります。)
リピート	リピート再生を行います。(→N-7)
II▶	コマ送り再生／スロー再生を行います。(→N-8)
CMバック／CMスキップ	一定の秒数だけ早戻し／早送りを行います。(→N-8)
次ページ	DVD-VR基本画面２に切り換えます。
閉じる	映像画面に切り換えます。

DVD-VR 基本画面 2

字幕切換	再生中に字幕を切り換えます。(マルチ字幕)(→N-9)
音声切換	再生中に音声を切り換えます。(マルチ音声)(→N-9)
音声多重	音声出力を切り換えます。(→N-9)
10キーサーチ	ダイレクトサーチを行います。(→N-10)
ワイドモード	ワイドモードを設定します。(→K-4)
前ページ	DVD-VR基本画面１に切り換えます。
閉じる	映像画面に切り換えます。

本体のボタンで操作する場合：

I◀◀または▶▶Iを押す	チャプターのダウン／アップ
I◀◀または▶▶Iを長く押す	早戻し／早送り
I◀◀または▶▶Iを５秒以上押し続ける	キーを離してからも早戻し／早送りを続けます。もう一度押すと通常再生に戻ります。

ワイプで操作する場合：

DVD-VR再生中には、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、*「ワイプ操作」(→B-7)*をご覧ください。

→ワイプ	チャプターをアップします。
←ワイプ	チャプターをダウンします。
↑ワイプ	ミュートを解除します。
↓ワイプ	ミュート(消音)にします。

メモ

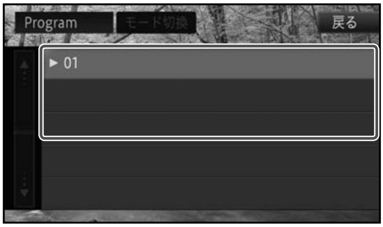
- 操作タッチキー以外の画面にタッチすると操作タッチキーは消えます。また、一定時間を経過すると操作タッチキーは消えます。
- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、AVソースをDVDに切り換えてください。*(→K-1)*
- DVD-VRの録音レベルは他のAVソースより低いため、他のAVソースからDVD-VRに切り換えると、音が小さく感じられる場合があります。ソースレベルアジャスターでAVソースごとの音量の違いをそろえることができます。*(→V-4)*
- 再生できるディスクについては*「再生できるディスクの種類」(→付-4)*を参照してください。

リストからタイトルを選んで再生する

リストから見たいタイトルを選んで再生することができます。

1 DVD-VR基本画面1の 動画リスト にタッチする(→N-6)

2 見たいタイトルにタッチする



▼

選んだタイトルが再生されます。

メモ

- モード切換 にタッチするごとに、リスト表示をProgram再生（ディスクに記録された順番に再生）とPlayList再生（ユーザーが任意で指定して記録された順番に再生）に切り換えることができます。
- PlayListがない場合は、通常再生であるProgram再生のみとなり、モード切換 は選択できません。
- モード切換を行うと、必ずそれぞれの先頭のタイトルから再生されます。

リピート再生

指定したディスク、チャプター、タイトルを繰り返して再生することができます。例えば、リピート再生の範囲をCHAPTER REPEAT に指定すると、再生中のチャプターを繰り返し見ることができます。

1 DVD-VR基本画面1の リピート にタッチする(→N-6)

▼

タッチするごとに、リピート再生の範囲が次のように切り換わります。

DISC REPEAT → CHAPTER REPEAT → TITLE REPEAT → DISC REPEAT に戻る

DISC REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
CHAPTER REPEAT	再生中のチャプターを繰り返します。
TITLE REPEAT	再生中のタイトルを繰り返します。

メモ

- 選んだリピート再生範囲は、画面に表示されますが、通常再生であるDISC REPEATは画面に表示されません。
- ディスクまたは再生位置によっては、⃠（禁止マーク）が表示され、リピート再生できない場合があります。
- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作（CHAPTER REPEAT中のチャプターの切り換えなど）を行うと、リピート再生が中止される場合があります。

コマ送り再生

再生中の映像を１コマずつ止めながら、進めて見ることができます。

1 DVD-VR基本画面１の ❙❙▶ にタッチする（→N-6）

▼

再生が一時停止し、❙❙▶ にタッチするごとに、映像が１コマずつ送られます。

メモ

- ▶/❙❙ にタッチすると通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、コマ送り再生時に映像が乱れる場合があります。
- ディスクや再生位置によって、⃠（禁止マーク）が表示され、操作できない場合があります。
- 静止画コンテンツを再生された場合は、タッチするごとに静止画が順に送られます。

スロー再生

再生スピードを遅くして見ることができます。

1 DVD-VR基本画面１の ❙❙▶ に2秒以上タッチする（→N-6）

▼

スロー再生されます。

スロー再生中に ❙❙▶ にタッチするごとに、スロー再生の速度が以下のように切り換わります。

1/16 → 1/8 → 1/4 → 1/2

メモ

- ▶/❙❙ にタッチすると通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、スロー再生中に映像が乱れる場合があります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。
- スロー再生速度を逆方向に切り換えることはできません。元に戻したい場合（1/2から1/4など）は、▶/❙❙ にタッチしてスロー再生を解除してから操作し直してください。

CMバック/スキップ

再生中の映像を、一定の秒数だけ早戻し/早送りします。CMなどを飛ばして再生するときなどに使うと便利です。

1 DVD-VR基本画面１の CMバック または CMスキップ にタッチする（→N-6）

▼

タッチするごとに、以下のような秒数で早戻し/早送りされます。

CMバック（早戻し）	**「5秒」→「15秒」→「30秒」→「1分」→「2分」→「3分」→「0秒」**→「5秒」に戻る
CMスキップ（早送り）	**「30秒」→「 1分」→「 1分30秒」→「2分」→「3分」→「5分」→「10分」→「0秒」**→「30秒」に戻る

N 映像ディスクを使う

メモ

- ディスクや再生位置によって、⦸(禁止マーク)が表示され、操作できない場合があります。

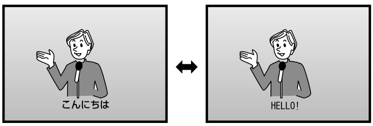
字幕言語の切り換え

字幕が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕を切り換えることができます(マルチ字幕)。

1 DVD-VR基本画面2の字幕切換にタッチする(→N-6)

▼

タッチするごとに、字幕言語が切り換わります。



メモ

- ディスクによっては、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。

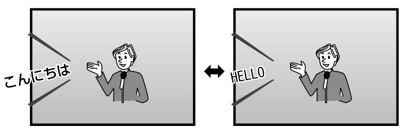
音声言語の切り換え

音声が複数収録されているディスクの場合、再生中に音声を切り換えることができます(マルチ音声)。

1 DVD-VR基本画面2の音声切換にタッチする(→N-6)

▼

タッチするごとに、音声言語が切り換わります。



メモ

- DTS音声は再生できません。
- [Dolby D] や [5.1ch] などの表示は、ディスクに収録されている音声の内容を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

音声多重の切り換え

ディスクに2カ国語放送が収録されているときは、主音声と副音声を切り換えることができます。

1 DVD-VR基本画面2の音声多重にタッチする(→N-6)

▼

タッチするごとに、以下のように切り換わります。

MAIN+SUB → MAIN → SUB → MIX → MAIN+SUBに戻る

MAIN+SUB	左側スピーカーから主音声、右側スピーカーから副音声を出力します。
MAIN	左右のスピーカーから主音声のみを出力します。
SUB	左右のスピーカーから副音声のみを出力します。
MIX	左右のスピーカーから主音声と副音声を一緒に出力します。

ダイレクトサーチ

見たい場面を数字で指定して再生することができます。

1 DVD-VR基本画面2の 10キーサーチ にタッチする
（→N-6）

2 指定する方法(サーチの種類)にタッチする

TITLE、CHAPTER、TIMEが選べます。

数字キー

TITLE	タイトル番号を入力します。
CHAPTER	チャプター番号を入力します。
TIME	時間を分・秒で入力します。分・秒にタッチすると分と秒を確定します。

3 見たい場面の番号を入力し、決定 にタッチする

▼

指定した場面から再生を始めます。

DVDの機能設定

DVDビデオの再生条件を、あらかじめ使用する環境に合わせて設定することができます。

メモ

- DVDソースのときのみ設定できます。

1 メニュー を押し、設定・編集 − オーディオ − ソース別設定 にタッチする

2 DVDビデオ設定 にタッチする

3 各項目にタッチして設定する

各設定項目の設定内容は、右側に表示されます。

基本字幕言語

優先して表示させたい字幕の言語を設定することができます（マルチ言語字幕）。

1 基本字幕言語 にタッチする

2 それぞれの言語を設定する

日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国語、その他 から選んでタッチします。

工場出荷時は「日本語」です。

メモ

- その他 にタッチしたときは、*「言語コード表」（→N-14）*より、4桁の言語コードを数字で入力します。
- 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている言語が選ばれます。
- ディスクによっては設定した言語が優先されない場合があります。

基本音声言語

優先して聞きたい音声の言語を設定することができます（マルチ音声）。

設定項目は基本字幕言語と同じです。

メニュー言語

ディスクに収録されているメニュー画面の表示言語について、優先して表示させたい言語を設定することができます。
設定項目は基本字幕言語と同じです。

マルチアングル

マルチアングルの場面を再生しているときに表示される、アングル選択マークの表示/非表示を設定することができます。
工場出荷時は「表示」です。

1 **マルチアングル** にタッチする

2 **表示** または **非表示** にタッチする

表示	アングルマークを表示します。
非表示	アングルマークを表示しません。

メモ

- この設定は、複数のカメラで同時に撮影された映像（マルチアングル）が収録されているディスクに対して有効です。

テレビアスペクト

接続したテレビのアスペクト（画面の横縦比）を設定します。
工場出荷時は「16：9」です。

1 **テレビアスペクト** にタッチする

2 アスペクトを設定する

16：9	ワイドモニター（16：9）使用時に選びます。16：9で収録された画像が16：9で表示されます。
レターボックス	ノーマルモニター（4：3）使用時に選びます。16：9で収録された画像の横幅を4：3モニターの横幅に合わせて16：9の比率で表示します。
パンスキャン	ノーマルモニター（4：3）使用時に選びます。16：9で収録された画像の縦幅を4：3モニターの縦幅に合わせて16：9の比率で表示します（左右にはみ出た映像は表示されません）。

メモ

- 通常は16：9に設定してお使いください。リアモニターにノーマルモニターを接続した場合でアスペクト比をリアモニターに合わせたい場合のみ設定を変えてください。
- パンスキャン指定されていないディスクを再生したときは、**パンスキャン** に設定してもレターボックスで再生されます。ディスクのパッケージなどで 16：9 PS マークを確認してください。
- ディスクによっては、テレビアスペクトの変更ができないものもあります。詳しくは、ディスクの説明書を参照してください。

視聴制限

視聴制限レベルが設定されているディスクでは、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面にパスワードを設定して視聴制限をかけることができます（パレンタルロック）。

1 視聴制限 にタッチする

2 4桁の暗証番号を入力し、入力終了 にタッチする

メモ

- はじめて操作する場合は、希望の暗証番号を登録してください。以後、視聴制限されたディスクを再生するときや制限レベルを変更するときは、登録した暗証番号の入力が必要になります。

3 制限レベルを設定する

設定レベル	内容
8	ディスクをすべて再生します。
7～2	成人向けディスクの再生を禁止します（子供向けや一般向けディスクを再生します）。
1	子供向けのディスクのみ再生します。

暗証番号を忘れたときは

暗証番号入力画面で 削除 に10回連続でタッチすると、暗証番号が解除されます。

オートエンター

走行中にDVDメニューになったとき、またはDVDメニューのまま走行を開始したときに自動的にDVD再生を開始するかどうかを設定します。
工場出荷時は「ON」です。

1 オートエンター にタッチする

2 ON または OFF にタッチする

ON	自動再生します。
OFF	自動再生しません。

言語コード表

言語名（言語コード）	入力コード
日本語（ja）	1001
英語（en）	0514
フランス語（fr）	0618
スペイン語（es）	0519
ドイツ語（de）	0405
イタリア語（it）	0920
中国語（zh）	2608
オランダ語（nl）	1412
ポルトガル語（pt）	1620
スウェーデン語（sv）	1922
ロシア語（ru）	1821
韓国語（ko）	1115
ギリシャ語（el）	0512
アファル語（aa）	0101
アブハジア語（ab）	0102
アフリカーンス語（af）	0106
アムハラ語（am）	0113
アラビア語（ar）	0118
アッサム語（as）	0119
アイマラ語（ay）	0125
アゼルバイジャン語（az）	0126
バシキール語（ba）	0201
ベラルーシ語（be）	0205
ブルガリア語（bg）	0207
ビハーリー語（bh）	0208
ビスラマ語（bi）	0209
ベンガル語（bn）	0214
チベット語（bo）	0215
ブルトン語（br）	0218
カタロニア語（ca）	0301
コルシカ語（co）	0315
チェコ語（cs）	0319
ウェールズ語（cy）	0325
デンマーク語（da）	0401
ブータン語（dz）	0426
エスペラント語（eo）	0515
エストニア語（et）	0520
バスク語（eu）	0521
ペルシア語（fa）	0601
フィンランド語（fi）	0609
フィジー語（fj）	0610
フェロー語（fo）	0615
フリジア語（fy）	0625
アイルランド語（ga）	0701
スコットランドゲール語（gd）	0704
ガルシア語（gl）	0712

言語名（言語コード）	入力コード
グアラニ語（gn）	0714
グジャラート語（gu）	0721
ハウサ語（ha）	0801
ヒンディー語（hi）	0809
クロアチア語（hr）	0818
ハンガリー語（hu）	0821
アルメニア語（hy）	0825
国際語（ia）	0901
interlingue（ie）	0905
イヌピアック語（ik）	0911
インドネシア語（in）	0914
アイスランド語（is）	0919
ヘブライ語（iw）	0923
イディッシュ語（ji）	1009
ジャワ語（jw）	1023
グルジア語（ka）	1101
カザフ語（kk）	1111
グリーンランド語（kl）	1112
カンボジア語（km）	1113
カンナダ語（kn）	1114
カシミール語（ks）	1119
クルド語（ku）	1121
キルギス語（ky）	1125
ラテン語（la）	1201
リンガラ語（ln）	1214
ラオス語（lo）	1215
リトアニア語（lt）	1220
ラトビア語（lv）	1222
マダガスカル語（mg）	1307
マオリ語（mi）	1309
マケドニア語（mk）	1311
マラヤーラム語（ml）	1312
モンゴル語（mn）	1314
モルダビア語（mo）	1315
マラータ語（mr）	1318
マライ語（ms）	1319
マルタ語（mt）	1320
ビルマ語（my）	1325
ナウル語（na）	1401
ネパール語（ne）	1405
ノルウェー語（no）	1415
プロバンス語（oc）	1503
オロモ語（om）	1513
オリヤー語（or）	1518
パンジャブ語（pa）	1601
ポーランド語（pl）	1612

言語名（言語コード）	入力コード
アフガニスタン語（ps）	1619
ケチュア語（qu）	1721
レートロマン語（rm）	1813
キルンディ語（rn）	1814
ローマ語（ro）	1815
キニヤルワンダ語（rw）	1823
サンスクリット語（sa）	1901
シンド語（sd）	1904
サンド語（sg）	1907
セルボクロアチア語（sh）	1908
セイロン語（si）	1909
スロバック語（sk）	1911
スロベニア語（sl）	1912
サモア語（sm）	1913
ショナ語（sn）	1914
ソマリ語（so）	1915
アルバニア語（sq）	1917
セルビア語（sr）	1918
シスワティ語（ss）	1919
セストゥ語（st）	1920
スンダ語（su）	1921
スワヒリ語（sw）	1923
タミル語（ta）	2001
テルグ語（te）	2005
タジル語（tg）	2007
タイ語（th）	2008
チグリス語（ti）	2009
ツルキ語（tk）	2011
タガログ語（tl）	2012
セツワナ語（tn）	2014
トンガ語（to）	2015
トルコ語（tr）	2018
ツォンガ語（ts）	2019
タタール語（tt）	2020
トウィ語（tw）	2023
ウクライナ語（uk）	2111
ウルドゥー語（ur）	2118
ウズベク語（uz）	2126
ベトナム語（vi）	2209
ボラピュク語（vo）	2215
ウォルフ語（wo）	2315
コーサ語（xh）	2408
ユルバ語（yo）	2515
ズールー語（zu）	2621

音楽用CDを録音する

本機にセットしたMSV（ミュージックサーバー）用のSDカードに、音楽用CD（以降CD）の楽曲を録音することができます。

以下のSDカードをMSV用のSDカードとしてご準備ください。

SDカードの種類	ファイルシステム	最大容量
SDカード	FAT16	2GB
SDHCカード	FAT32	32GB

録音について

録音する前にお読みください。

注意

- **録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に録音操作の確認や録音後に録音内容の確認を行ってください。**
- **本製品の故障、誤動作または不具合により、録音されなかった場合の録音内容、および消失した録音データの補償については、ご容赦ください。**
- **お客様が録音したものは、個人として楽しむ他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。**
- **録音音質が標準に設定されている場合、高効率の圧縮方式を採用しているため、音源によっては原音と異なって聞こえる場合があります。またノイズが発生する可能性があります。ご容赦ください。**

メモ

- MSV用SDカードは、ロックを解除してから本機にセットしてください。
- 録音済みのCDの場合、録音は開始しません。
- すべての曲の録音が終わると、再生中だった曲の次の曲からCDソースに切り換わり通常再生が開始されます。
- 録音中に、他のAVソースに切り換えても録音は継続しています。
- 録音音質は、「標準」と「高音質」を選ぶことができます。出荷時は「標準」に設定されています。設定の変更は録音前に行ってください。→*「MSVの録音設定をする」(O-3)*
- CD以外のAVソース（ラジオやDVDなど）は録音できません。
- WMA/MP3/AACなどの楽曲データを記録した媒体（CD-Rなど）から、MSVに直接録音することはできません。
- CDを1枚録音すると、オリジナルプレイリストが1つ作成されます。
- SDカードに録音済みのトラックがある場合は、未録音のトラックから録音を開始します。
- 録音中は実際にMSVに録音されたトラックが再生されます。
- 録音中はトラックの操作などはできません。操作したいときは録音を停止してください。

自動で録音する

CDを挿入すると、自動で録音を開始します。

メモ

- 自動録音をするには、あらかじめオート録音モード設定を「ON」に設定してください。→*「MSVの録音設定をする」(O-3)*

1 MSV用のSDカードを本機にセットする

2 CDを挿入する

▼

自動的にMSVへの録音が始まり、録音中の画面が表示されます。

手動で録音する

再生中のCDを手動で録音することができます。

1 MSV用のSDカードを本機にセットする

2 CD再生中の画面で 録音開始 にタッチする

▼

録音が始まり、録音中の画面が表示されます。

録音を停止する

1 録音中の画面で 録音停止 にタッチする

▼

録音が停止します。

録音を再開する場合は、録音開始 にタッチします。

メモ

- すべての曲の録音が完了するまで、選曲操作や特殊再生（ランダム再生など）、早戻し/早送りはできません。操作が必要な場合は、録音停止 にタッチして録音を中止してください。

CD録音の制限について

- 標準的なCD（44.1 kHz、16ビットステレオのPCMデジタル音声データ）以外のCDからは録音できません。
- コピーコントロールCD等のCD-DAの規格であるREDBOOKに準拠していないDISCの録音については保証しません。
- CDなどをデジタル録音した記録媒体（CD-Rなど）から、MSVに録音（コピー）することはできません。
- 録音中は本機の操作に時間がかかることがあります。CD録音の制限（最大数）は以下のとおりです。制限を超えて録音することはできません。
  - －オリジナルプレイリスト数：300枚（CDは最大300枚まで）
  - －1オリジナルプレイリストあたりのトラック数：99曲（CD1枚あたりの曲数は最大99曲（トラック））
  - －総トラック数：最大5000曲
- ライブCDなどの曲間で音が途切れないCDを録音したときは、再生時に曲間で音が途切れます。

タイトル表示について

本機は、Gracenoteデータベースのタイトル情報（曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンルなど）をデータベースとして内蔵しています。挿入した音楽CDに記録されている情報が、データベースに登録されている情報と合致すると、タイトル情報が表示されます。

メモ

- タイトル情報に複数の候補があった場合や、タイトル情報が収録されていなかった場合は、「No Title」と表示されます。その場合は、タイトル情報を取得しなおすと、正しいタイトルを表示させることができます。タイトル情報の取得については、*「タイトル情報の取得」(→O-12)*を参照してください。
- CD再生中画面やCDからMSV録音中画面に表示されるタイトル情報は、MSVと共通のタイトル情報を使用しています。MSVでタイトル情報を編集すると、それぞれの画面のタイトルにも反映されます。
- タイトル情報は、そのディスクの曲が1曲以上MSVに録音されていないと編集できません。アルバムやトラックの編集については、*「アルバム/トラック/マイミックスの編集」(→O-8)* を参照してください。

MSVの録音設定をする

未録音のCDを再生したときに録音を行うかどうか、および録音音質の設定を行います。

メモ

- 録音中は設定できません。

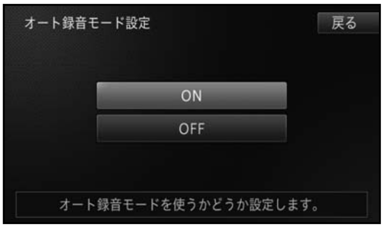
オート録音モードを設定する

録音していないCDを再生すると、自動的にMSVに録音を開始します。
工場出荷時は「ON」です。

1 メニュー を押し、設定・編集 – オーディオ – ソース別設定 にタッチする

2 MSV設定 – オート録音モード設定 にタッチする

3 ON または OFF にタッチする



ON	自動で録音します。
OFF	自動で録音しません。

メモ

- 「OFF」に設定した場合は、CD再生中画面で録音開始にタッチすることで録音を開始することができます。

録音音質を設定する

録音音質を「標準」または「高音質」に設定できます。「高音質」は、「標準」に比べて録音できる曲数は少なくなります。
工場出荷時は「標準」です。

1 **メニュー を押し、設定・編集 – オーディオ – ソース別設定 にタッチする**

2 **MSV設定 – CD録音音質設定 にタッチする**

3 **標準 または 高音質 にタッチする**

標準	標準音質で録音します（ビットレート128kbps）。
高音質	高音質で録音します（ビットレート192kbps）。

メモ

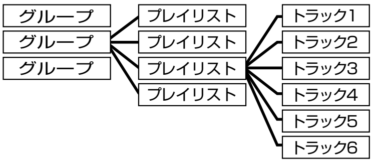
- どちらの録音音質の場合も、録音速度は最大４倍速です。

MSV（ミュージックサーバー）を聴く

MSVに録音した楽曲の再生のしかたを説明します。

グループ、プレイリスト、トラックについて

MSVは、次のようにグループ、プレイリスト、トラックの3つの階層で構成されています。



グループの種類について

グループ（第一階層）は、3つのカテゴリに分類されます。

オリジナルグループ

録音した曲データそのものが格納されているグループです。CDを1枚録音するとアルバム単位で1つのプレイリストが作成されます。

アーティストグループ

CDのアルバム情報のアーティスト名別に自動分類されたプレイリストが格納されているグループです。

マイミックス

お好みに応じて集めた楽曲が格納されているグループです。

メモ

- マイミックスのみ、2つの階層（グループ<トラック1～）で構成されます。

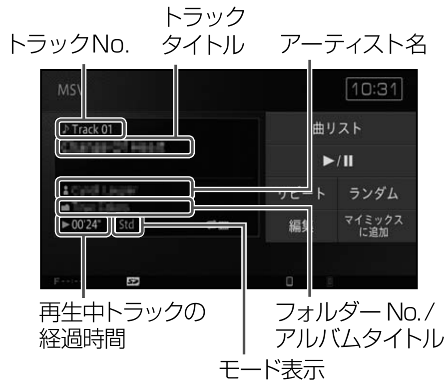
再生する

MSVに録音した曲を再生します。

1 AVソースをMSVにする（→K-1）

▼

MSVが再生されます。



曲リスト	トップリストを表示します。
▶/II	再生中は一時停止します。 一時停止中は再生を再開します。
リピート	リピート再生を行います。 *（→O-7）*
ランダム	ランダム再生を行います。 *（→O-7）*
編集	楽曲情報の取得や編集を行います。*（→O-8）*
マイミックスに追加	曲をマイミックスに追加します。 *（→O-9）*

本体のボタンで操作する場合：

⏮または⏭を押す	トラックのダウン／アップ
⏮または⏭を長く押す	早戻し／早送り

ワイプで操作する場合：

MSV再生中には、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、*「ワイプ操作」(→B-7)*をご覧ください。

→ワイプ	トラックをアップします。
←ワイプ	トラックをダウンします。
↑ワイプ	ミュートを解除します。
↓ワイプ	ミュート（消音）にします。

メモ

- 再生を中止するには、AVソースをOFFにします。

リストから選んで再生する

リストを表示して、再生したい曲を直接選ぶことができます。

1 **曲リスト**にタッチする（→O-5）

2 グループにタッチする

3 プレイリストにタッチする

4 聴きたい曲（トラック）にタッチする

▼

選んだトラックが再生されます。

メモ

- グループリストでマイミックスを選んだ場合は、プレイリストの一覧は表示されず、トラックリストが表示されます。
- 通常再生画面に戻るには、**戻る**にタッチします。
- **⮌**にタッチすると上位階層フォルダーの内容をリスト表示します。

リピート再生

指定したグループ、プレイリスト、トラックを繰り返して再生することができます。例えば、リピート再生の範囲をTRACK REPEATに指定すると、再生中のトラックを繰り返し聴くことができます。

1 **リピート** にタッチする（→O-5）

▼

タッチするごとに、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

ALL REPEATまたは**PLAYLIST REPEAT ←→TRACK REPEAT**

ALL REPEAT	通常の再生状態です。再生中のグループを繰り返します。
PLAYLIST REPEAT	再生中のプレイリストを繰り返します。
TRACK REPEAT	再生中のトラック（曲）を繰り返します。

メモ

- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作を行うと、リピートの範囲が変更される場合があります。

ランダム再生

曲順を換えて再生することができます。

1 **ランダム** にタッチする（→O-5）

▼

タッチするごとに、ランダム再生のON/OFFが切り換わります。

メモ

- リピート再生の範囲がTRACK REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピート再生の範囲はPLAYLIST REPEATに自動的に切り換わります。
- ランダム再生中にその他の再生操作（リピート再生など）やリピート再生の範囲を超える操作（プレイリストの切り換えなど）を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。
- 通常の再生リストから、グループやプレイリストを選んで再生している場合のランダム再生は、選んだグループまたはプレイリスト内で行われます。
- アーティストグループを選んで再生している場合、1アーティストごとにランダム再生の対象となる範囲は、録音した順番に500曲までです。

アルバム/トラック/マイミックスの編集

MSVに録音したアルバムやトラックの編集・削除をすることができます。また、マイミックスにトラックを登録したり解除したりすることもできます。

アルバムやトラックを編集する

アルバムやトラックの消去、タイトルの編集などが行えます。

トラックを消去する

グループリストのオリジナルで、再生中のアルバムに登録されているトラックを選択して消去します。

1 再生中画面で 編集 にタッチする

2 消去 にタッチする

3 トラック消去 にタッチする

4 消去するトラックにタッチする

メモ

- 選択したトラックにはチェックマークが表示されます。
- 複数のトラックを選択できます。
- 選択したトラックにタッチすると、選択を解除します。
- 全選択 にタッチすると、すべてのトラックを選択できます。
- 全解除 にタッチすると、すべての選択を解除します。

5 消去 にタッチする

▼

確認メッセージが表示されます。

6 はい にタッチする

▼

選択したトラックが消去されます。

メモ

- トラックを消去すると、録音した曲そのものが消去されますのでご注意ください。

アルバムを消去する

アルバムを選択して消去します。

1 再生中画面で編集にタッチする

2 消去 にタッチする

3 アルバム消去 にタッチする

4 消去するアルバムにタッチする

▼

確認メッセージが表示されます。

5 はい にタッチする

▼

選択したアルバムが消去されます。

タイトルを編集する

アルバム、アーティスト、トラックのタイトルを編集することができます。

メモ

- パソコンリンクソフト「NAVI OFFICE 2」のMSVタイトルエディターで編集することもできます。→*「MSVタイトルエディターの主な機能」(Y-3)*

1 再生中画面で編集にタッチする

2 タイトル編集にタッチする

3 アルバム、アーティスト、またはトラックにタッチする

4 タイトルを入力し、入力終了にタッチする

▼

入力したタイトルが設定されます。

マイミックスを編集する

マイミックスにトラックを追加したり、追加したトラックを解除したりすることができます。

マイミックスにトラックを追加する

再生中に、気に入った曲（トラック）をマイミックスというグループに登録することができます。

1 再生中画面で**マイミックスに追加**に2秒以上タッチする

▼

メッセージが表示され、再生中の曲（トラック）がマイミックスに登録されます。

メモ

- マイミックスには、999トラックまで登録できます。
- グループリストからマイミックスを選択すると、お気に入りの曲を集めたマイミックスを再生することができます。

マイミックスのトラックを消去する

マイミックスのトラックを選んで登録を解除することができます。

1 再生中画面で**編集**にタッチする

2 **消去**にタッチする

3 **マイミックス登録曲消去**にタッチする

4 登録を解除するトラックにタッチする

メモ

- 選択したトラックにはチェックマークが表示されます。
- 複数のトラックを選択できます。
- 選択したトラックにタッチすると、選択を解除します。
- **全選択**にタッチすると、すべてのトラックを選択できます。
- **全解除**にタッチすると、すべての選択を解除します。

5 **消去**にタッチする

▼

確認メッセージが表示されます。

6 **はい**にタッチする

▼

選択したトラックの登録が解除されます。

メモ

- マイミックスの登録が解除されますが、録音データは残ります。

録音データをすべて消去する

録音されているすべてのデータを消去することができます。

1 再生中画面で 編集 にタッチする

2 消去 にタッチする

3 録音データ全消去 にタッチする

▼

確認メッセージが表示されます。

4 はい にタッチする

▼

すべての録音データが消去されます。

タイトル情報の取得

本機内蔵のGracenoteデータベースでタイトル情報を取得できなかったときや、タイトル候補が複数見つかったためタイトル表示されなかったときは、録音完了後、タイトル情報の再取得操作を行うことで、タイトルを表示させることができます。

タイトル情報について

取得したタイトル情報は、CDやMSVの再生画面などに表示されます。

取得できる情報

取得できる情報は以下のとおりです。

- アルバムタイトル
- アルバムのアーティスト
- トラックタイトル

メモ

- CDまたは曲によっては取得できない情報もあります。

No Title表示について

CDの再生画面に「No Title」と表示されたときは、次のことが考えられます。

- タイトル情報が見つからなかった
- タイトル情報が複数候補あった

タイトル情報が複数候補あった場合は、複数のタイトルの中から選択することができます。

メモ

- 対象となるのは、本機で録音した楽曲データのみです。

タイトル情報を取得する

タイトル候補が複数見つかったためタイトル表示できなかった場合は、再度本機内蔵のGracenoteデータベースを検索し、タイトル候補を表示させて選ぶことができます。また、本操作でタイトル候補が見つからなかった場合は、手動または自動で通信による検索を行います。通信機能の利用準備が整っていない場合はメッセージが表示され、処理は中断されます。あらかじめ、Bluetooth（DUNプロファイル）対応の携帯電話など、Bluetooth機器とのBluetooth設定(→*H-7*)が必要です。

1 再生中画面で 編集 にタッチする

2 タイトル情報を取得 にタッチする

3 タイトルを取得するアルバムにタッチする

4 設定したいタイトル情報にタッチする

▼

選択したタイトル情報がアルバムに設定されます。

メモ

- **該当無し** にタッチすると、タイトルを設定せずに編集画面に戻ります。
- **通信で取得** にタッチすると、専用サーバーのGracenoteデータベースからタイトルを取得することができます。
- パソコンリンクソフト「NAVI OFFICE 2」のMSVタイトルエディターを使って取得することもできます。→*「MSVタイトルエディターの主な機能」（Y-3）*

No Titleリストのタイトル情報を取得する

No Titleリストに登録されたアルバムのタイトル情報を専用サーバーのGracenoteデータベースから一括取得します。

メモ

- パソコンリンクソフト「NAVI OFFICE 2」のMSVタイトルエディターを使って取得することもできます。→*「MSVタイトルエディターの主な機能」（Y-3）*

1 再生中画面で 編集 にタッチする

2 No Titleリスト にタッチする

3 通信で一括取得 – はい にタッチする

▼

専用サーバーとの通信が開始され、Gracenoteデータベースからタイトルを一括取得し再生画面に戻ります。

SD ／ USBの操作のしかた

本機に接続したSDカード／ USBメモリー内の音楽ファイル（WMA/MP3/AAC/WAV）や映像ファイル（MPEG4/H.264/WMV）の操作について説明します。

注意

- **SDカードの出し入れは、決められた手順で行ってください。**→*「SDカードの出し入れ」(B-13)*
  異なる手順で出し入れを行うと、SDカードに保存したデータが破損する場合があります。

メモ

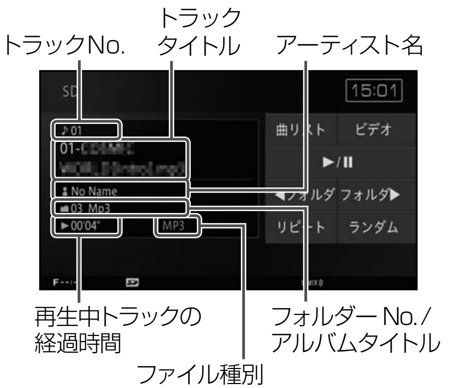
- 本機は、以下のメディアに対応しています。
  - SDカード：最大容量 32GB、ファイルシステムFAT 32/16、SDHC対応
  - USBメモリー：最大容量 16GB、ファイルシステムFAT 32/16
- 映像ファイルの操作に関しては*「映像ファイルを再生する」(→P-2)*をご覧ください。
- CD録音中は、SDカード／ USBメモリー内の映像ファイルの再生はできません。
- 再生可能なファイルに関しては*「本機で再生可能なメディアとファイルの種類」(→K-5)*をご覧ください。

音楽ファイルを再生する

1 AVソースをSDまたはUSBにする（→K-1）

▼

前回再生していたファイルから再生されます。



ボタン	説明
曲リスト	ファイルリストを表示します。*(→P-3)*
ビデオ	映像ファイルの再生に切り換わります。*(→P-3)*
▶/II	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
◀フォルダ フォルダ▶	フォルダーを切り換えます。
リピート	リピート再生します。*(→P-3)*
ランダム	ランダム再生します。*(→P-3)*

メモ

- 再生中のWMA/MP3/AACファイルにタグ情報が存在する場合は、タイトルやアーティスト名が表示されます。
- タグ情報を取得できなかった場合やWAVファイルの場合は以下のように表示されます。
  - アルバムタイトル：フォルダー名
  - ファイルタイトル：ファイル名
  - アーティスト名：No Name
- WMAのときにタグのAuthor情報があった場合、アーティスト名として表示します。
- フォルダー No.は、階層の深いフォルダーを優先にファイルシステムから見つかった順に割り振られます。
- ファイルNo.は、同一フォルダー内でファイルシステムから見つかった順に割り振られます。また、再生順は接続したメディア内のファイル構成に依存します。
- DRM（デジタル著作権管理）が設定されたファイルは再生できません。

映像ファイルを再生する

1 AVソースをSDまたはUSBにする(→K-1)

▼

前回再生していたファイルから再生されます。

画面にタッチすると、操作タッチキーが表示されます。

動画リスト	ファイルリストを表示します。*(→P-3)*
ミュージック	音楽ファイルの再生に切り換わります。*(→P-3)*
►/II	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
■	再生を停止します。
◄フォルダ **フォルダ►**	フォルダーを切り換えます。
リピート	リピート再生します。*(→P-3)*
10キーサーチ	ダイレクトサーチを行います。*(→P-4)*

注意

- **停車中に、モニターで映像を見ることができます。走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。**

メモ

- **閉じる** にタッチすると、操作タッチキーは消えます。
- 本機で再生する映像ファイルの解像度は、WQVGA（400×240ピクセル）以下で、かつ4の倍数、80×80以上（例：320×160→可、320×150→不可）となります。また、ビットレートが高すぎるファイルなどは、本機で再生できない場合があります。ビットレートの上限値は以下のとおりです。
  - MPEG4 ： 2.5Mbps
  - H.264 ： 1.5Mbps
  - WMV ： 768kbps
- 再生時間の長い映像ファイルは、再生開始まで時間がかかる場合があります。
- ナビゲーションの動作状況や映像ファイルの構造によって、再生開始までの時間が異なる場合があります。
- 本機に対応していないコーデックを用いた映像ファイルを再生する場合、音声の音量調整ができないことを示すマークが表示されます。

本体のボタンで操作する場合：

◄◄または►►を押す	ファイルのダウン／アップ
◄◄または►►を長く押す	早戻し／早送り

ワイプで操作する場合：

SD/USBのファイル再生中には、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、*「ワイプ操作」(→B-7)* をご覧ください。

→ワイプ	ファイルをアップします。
←ワイプ	ファイルをダウンします。
↑ワイプ	ミュートを解除します。
↓ワイプ	ミュート（消音）にします。

音楽ファイルと映像ファイルを切り換える

1 現在の再生状況に応じて、ビデオ または ミュージック にタッチする(→P-1,2)

▼

音楽ファイル再生中は映像ファイルに切り換わります。

映像ファイル再生中は音楽ファイルに切り換わります。

聴きたい曲や見たい映像を探す

1 現在の再生状況に応じて、曲リストまたは動画リストにタッチする(→P-1,2)

メモ

- 曲リストまたは動画リストに長くタッチすると、ルートフォルダー内のリストを表示します。

2 聴きたい曲や見たい映像にタッチする

メモ

- 映像ファイルのリスト画面では、戻る にタッチすると操作タッチキー画面に戻ります。終了にタッチすると映像画面に戻ります。
- にタッチすると上位階層フォルダーの内容をリスト表示します。
- フォルダー名にタッチした場合は、そのフォルダーの内容をリスト表示します。
- リストに表示されるフォルダー数は最大300、ファイル数は最大5 000です。

リピート再生

指定した範囲を繰り返し再生することができます。

1 リピート にタッチする(→P-1,2)

▼

タッチするごとに、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

OFF → FILE REPEAT →
FOLDER REPEAT→ OFFに戻る

FILE REPEAT	再生中のファイルを繰り返します。
FOLDER REPEAT	再生中のフォルダーを繰り返します。

メモ

- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作（FILE REPEAT中の選曲操作など）を行うと、リピート再生の範囲が変更される場合があります。
- 選んだリピート再生範囲は画面に表示されますが、通常再生であるOFFは、画面に表示されません。

ランダム再生（音楽ファイルのみ）

音楽ファイル再生中に、指定した範囲を繰り返し再生することができます。

1 ランダム にタッチする(→P-1)

▼

タッチするごとに、ランダム再生のON/OFFが切り換わります。

メモ

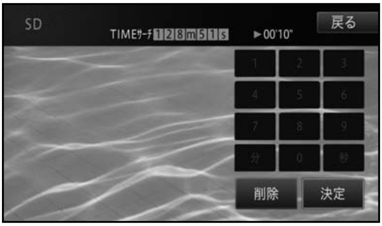
- リピート再生の範囲がFILE REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピート再生の範囲はFOLDER REPEATに自動的に切り換わります。

ダイレクトサーチ

映像ファイル再生中は、見たい場面を数字で指定して再生することができます。

1 **10キーサーチ** にタッチする （→P-2）

2 **見たい場面の時間（分・秒）を入力し、決定 にタッチする**



▼

指定した場面から再生を始めます。

映像ファイルの機能を設定する

映像ファイルの画面サイズを設定します。

1 **メニュー を押し、設定・編集 － オーディオ － ソース別設定 にタッチする**

2 **SD/USB映像出力設定 にタッチする**

3 **フル または アスペクト比固定 にタッチする**

フル	アスペクト比を変え、上下左右を引き伸ばして、画面いっぱいに表示します。
アスペクト比固定	アスペクト比はそのままで、長辺を画面に合わせて表示します。

iPodの操作のしかた

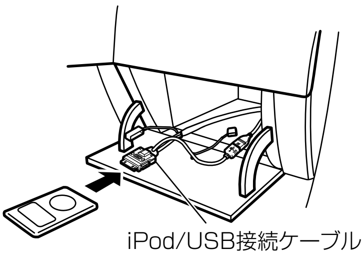
本機に接続したiPodの操作のしかたを説明します。

メモ

- 本書では便宜上、iPod、iPhoneをiPodと表記しています。
- ビデオ機能に関しては、ビデオに対応したiPodが必要となります。
- iPod利用中にiPodが停止状態となることがあります。(映像再生中にiPodを一度外して再度着けた場合など)
- 絞り込み操作中、リストに表示される内容と再生される曲は異なることがあります。
- 絞り込み操作中、動作が不安定となることがあります。
- ご使用前に、お持ちのiPodのソフトウェアを最新バージョンにしてください。
- 対応iPodおよび制限事項については、*「対応iPod一覧表」(→Q-7)*をご覧ください。なお、最新情報などについては販売店にご相談ください。
- USBボックス装着車にiPodを接続するには、iPodに付属のDock - USBケーブルが必要です。その場合、iPodビデオは使用できません。また、iPhone 4/4Sの場合、Linkwithモードは使用できません。
- iPodを本機にHDMI接続した場合、iPodソースは使用できません。Linkwithモードの「Linkwithメディアプレーヤー」でお楽しみください。*→「アプリケーションを使う」(T-1)*

再生する

1 グローブボックスなどからiPod/USB接続ケーブルを引き出し、iPodを接続する



▼

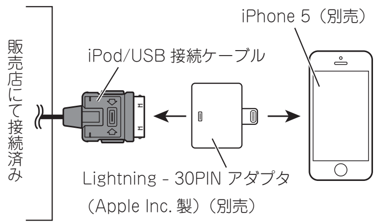
AVソースが自動的にiPodに切り換わります。

メモ

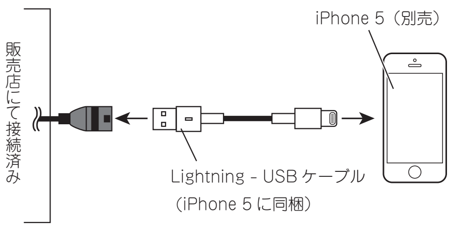
- iPodがすでに接続されていて、別のAVソース選択中の場合は、AVソースをiPodに切り換えてください。*(→K-1)*
- iPod/Linkwithコネクタ選択がHDMI接続に設定されている場合は、AVソースをiPodに切り換えることはできません。USB接続に設定を変更してください。*→「iPod/Linkwithコネクタを選択する」(Q-5)*

- iPod/USB接続ケーブルの位置は、車によって異なります。詳しくは販売店にご確認ください。

USB接続でLightning - 30ピンアダプタをお使いの場合

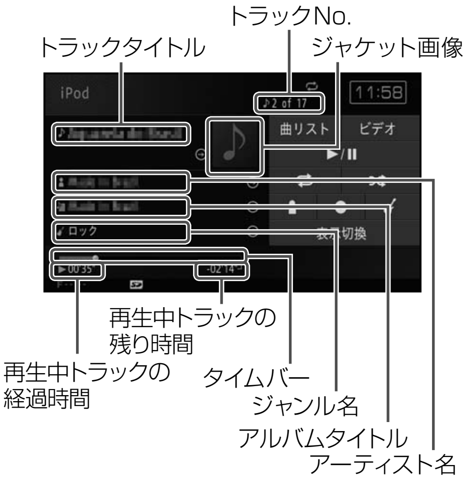


USB接続でLightning - USB ケーブルをお使いの場合



iPodミュージック

基本操作画面 1（ジャケット表示）



曲リスト	iPodミュージックの直前のリスト画面を表示します。長くタッチすると、トップリスト画面（一番上の階層）を表示します。*(→Q-2)*
ビデオ	iPodビデオのトップリスト画面を表示します。*(→Q-3)*
▶/II	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
🔁	リピート再生を行います。*(→Q-5)*
🔀	シャッフル再生を行います。*(→Q-5)*
👤	アーティストリストを表示します。*(→Q-2)*
💿	アルバムリストを表示します。*(→Q-3)*
🎸	ジャンルリストを表示します。*(→Q-3)*
表示切換	リスト表示 *(→Q-2)* に切り換わります。

基本操作画面 2（リスト表示）

現在再生中の曲を含むアルバムの内容をリスト表示します。同一アルバム内での選曲が可能です。別のアルバムから選曲したいときは、*「聴きたい曲や見たい映像を探す」(→Q-4)*をご覧ください。

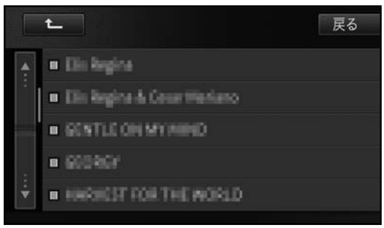
リスト項目	選んだ曲を再生します。
表示切換	ジャケット表示 *(→Q-2)* に切り換わります。

アーティストリストを表示する

1 アーティスト名または 👤 にタッチする

▼

アーティストリストが表示されます。

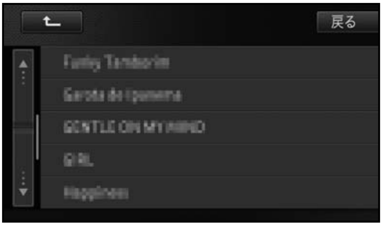


トラックリストを表示する

1 トラックタイトルにタッチする

▼

トラックリストが表示されます。



アルバムリストを表示する

1 アルバムタイトルまたは にタッチする

▼

アルバムリストが表示されます。

ジャンルリストを表示する

1 ジャンル名または にタッチする

▼

ジャンルリストが表示されます。

iPodビデオ

基本操作画面

画面にタッチすると、基本操作画面が表示されます。

リスト項目	選んだ映像を再生します。
動画リスト	iPodビデオの直前のリスト画面を表示します。長くタッチすると、トップリスト画面（一番上の階層）を表示します。*(→Q-3)*
ミュージック	iPodミュージックのトップリスト画面を表示します。*(→Q-2)*

▶/II	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
（リピート）	リピート再生を行います。(→Q-5)
（シャッフル）	シャッフル再生を行います。(→Q-5)
ワイドモード	ワイドモードを設定します。(→K-4)
閉じる	映像画面に切り換わります。

注意

- **停車中に、モニターで映像を見ることができます。走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。**

共通操作

本体のボタンで操作する場合：

⏮または⏭を押す	チャプターまたはトラックのダウン／アップ
⏮または⏭を長く押す	早戻し／早送り
⏮または⏭を押し続ける	キーを離してからも早戻し／早送りを続けます。もう一度押すと通常再生に戻ります。(ビデオファイル再生中のみ)

ワイプで操作する場合：

iPodの再生中には、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、*「ワイプ操作」(→B-7)*をご覧ください。

→ワイプ	チャプターまたはトラックをアップします。
←ワイプ	チャプターまたはトラックをダウンします。
↑ワイプ	ミュートを解除します。
↓ワイプ	ミュート(消音)にします。

タイムバーで操作する場合：

タイムバーの任意の位置をタッチすることで、再生位置をスキップすることができます。

iPodミュージックとiPodビデオを切り換える

1 現在の再生状況に応じて、ビデオ または ミュージック にタッチする(→Q-2,3)

▼

iPodミュージック再生中はiPodビデオのリスト画面に切り換わります。
iPodビデオ再生中はiPodミュージックのリスト画面に切り換わります。

メモ

- iPodソースを再生しているときに音量を調整すると、iPodの音量として設定することができます。他のAVソースに切り換えて音量を調整しても、次回iPodを使用したときは、前回設定した音量で聴くことができます。
- USBボックス装着車では、iPodビデオは再生できません。

聴きたい曲や見たい映像を探す

1 曲リスト または 動画リスト にタッチする(→Q-2,3)

メモ

- アーティスト、アルバム、ジャンルにタッチすると、対応するリストが表示され、絞り込みができます。

Q iPodを使う

2 曲または映像を絞り込む

メモ

- それぞれのカテゴリで絞り込むことができます。
- ポッドキャストとオーディオブックは、対応したiPodを接続した場合に、操作することができます。

3 聴きたい曲または見たい映像にタッチする

メモ

- iPodビデオのリスト画面では、戻るにタッチすると操作タッチキー画面に戻ります。終了にタッチすると映像画面に戻ります。
- ⮤ にタッチすると上位階層のリストを表示します。

リピート再生

指定した範囲を繰り返し再生することができます。

1 [リピート]にタッチする（→Q-2,3）

▼

タッチするごとに、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

REPEAT ONE ↔ REPEAT ALL

シャッフル再生

再生順を変えて再生することができます。

1 [シャッフル]にタッチする（→Q-2,3）

▼

タッチするごとに、シャッフルの範囲が以下のように切り換わります。

OFF → SHUFFLE SONGS → SHUFFLE ALBUMS → OFFに戻る

iPod/Linkwithコネクタを選択する

本機とiPodの接続方法を切り換えます。iPodソースを使用するときは、iPodがUSB接続されている必要があります。

1 メニュー を押し、設定・編集－オーディオ－ソース別設定にタッチする

2 iPod/Linkwithコネクタ選択 にタッチする

3 USB接続 にタッチする

USB接続	iPod（Dockコネクタ）で接続した場合に選択します。（Lightning - USB ケーブルまたはLightning - 30ピンアダプタ経由で接続した場合も含みます。）
HDMI接続	Lightning - Digital AVアダプタ経由で接続した場合に選択します。ただし、iPodソース（→Q-1）は使用できません。Linkwithモードの「Linkwithメディアプレーヤー」でお楽しみください。

メモ

- Lightningコネクタを搭載したiPodを本機にUSB接続した場合、映像ファイルは再生できません。

対応iPod一覧表

メモ

- ご使用のiPodの設定やソフトウェアバージョンなどにより、動作しない場合があります。
- iPod利用中にiPodがSTOP状態となることがあります。(映像再生中に接続解除→再接続(電源OFF/ON)をした際には、ミュージックの再生で再開します。)
- 絞り込み操作中、リストに表示される内容と再生される曲は異なることがあります。

2013年2月時点　調査結果

iPod / iPhone 機種			VIDEO再生	AUDIO再生	対応確認Ver.
iPod	第1世代	2001年〜	／	×	–
	第2世代	2002年〜	／	×	–
	第3世代	2003年〜	／	×	–
	第4世代	2004年〜	／	×	–
iPod photo		2004年〜	／	×	–
iPod classic		2007年〜	○	○	1.1.2
		2008年〜	○	○	2.0.1
		2009年〜	○	○	2.0.4
iPod touch	第1世代	2007年〜	○注1	○注1	3.1.3
	第2世代	2008年〜	○注2	○	4.2.1
	第3世代	2009年〜	○注2	○	5.1.1
	第4世代	2010年〜	○注2	○注2	6.1.2
	第5世代	2012年〜	×	○注2	6.1.2
iPod mini	第1世代	2004年〜	／	×	–
	第2世代	2005年〜	／	×	–
iPod nano	第3世代	2007年〜	○	○	1.1.3
	第4世代	2008年〜	○	○	1.0.4
	第5世代	2009年〜	○	○	1.0.2
	第6世代	2010年〜	／	○	1.0
	第7世代	2012年〜	×	○	1.0.2
iPod shuffle	第1世代	2005年〜	／	×	–
	第2世代	2006年〜	／	×	–
	第3世代	2009年〜	／	×	–
	第4世代	2010年〜	／	×	–
iPhone	3G	2008年〜	○注2注3	○注2注3	4.2.1
	3GS	2009年〜	○注2注3	○注2注3	6.1.2
	4	2010年〜	○注2注3	○注2注3	6.1.2
	4S	2011年〜	○注2注3	○注2注3	6.1.2
	5	2012年〜	×注4	○注2注3	6.1.2

○　：本機でタイトル表示が可能です。また選曲や絞り込みなどiPodと同じ感覚で操作が可能
×　：非対応
／　：iPodに機能無し
注1：ソフトウェアバージョン2.0以降にアップデートした場合、ビデオ再生に対応いたします。
注2：OSのバージョンにより、iPhone/iPod touchの電源を立ち上げた後の初回接続が失敗することがあります。その場合は、一度接続を解除し、再度接続をお願いします。
注3：車両のスピーカーからノイズが発生する場合があります。また、iPhoneが送受信する携帯電話の電波に障害が出る場合があります。
注4：iPhone 5で動画を楽しむには、Linkwithモードでお使いください(→*T-11*)。

Bluetooth Audioの操作のしかた

AVプロファイルに対応したBluetooth機器と本機をワイヤレス接続することで、Bluetooth Audio機器内の音楽データを本機で再生することができます。AVプロファイルの種類やバージョンによって、操作できる機能や表示される内容は異なります。

接続プロファイル	音声伝送	選曲操作	特殊再生操作	情報表示
A2DP Ver1.0	○	×	×	×
A2DP+AVRCP Ver1.0	○	△	×	×
A2DP+AVRCP Ver1.3	○	△	△	△
A2DP+AVRCP Ver1.4	○	△	△	△

○：できます。　△：Bluetooth Audio機器により異なります。　×：できません。

A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）とは、音声をワイヤレスで伝送するためのプロファイルです。

AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）とは、楽曲の選曲操作や情報表示するためのプロファイルです。

Bluetooth Audio機器の登録

Bluetooth Audio機器をお使いになるには、あらかじめ本機にBluetooth Audio機器を登録する必要があります。→*「Bluetoothの設定を行う」（H-8）*

登録が行われ、使用用途として「Bluetooth Audio」が設定されたBluetooth Audio機器は、AVソースがBluetooth Audioに切り換えられた時点で自動的に本機と接続され再生が始まります。接続された機器によっては、再生が始まる場合と始まらない場合があります。

メモ

- 本機に登録されていないBluetooth Audio機器は、接続することができません。
- 優先接続するBluetooth Audio機器を変更したい場合は、Bluetooth設定で行ってください。→*「Bluetooth機器の切り換えと、使用する機能を設定する」（H-11）*
- 本機の電源をOFF/ON（エンジンスイッチをOFF/ON）した場合、電源をOFFする前に接続していたBluetooth Audio機器とは、異なるBluetooth Audio機器と接続することがあります。
- Bluetooth Audio機器が別のプロファイルで接続中は、接続できない場合があります。その場合は、Bluetooth Audio機器の全てのプロファイルを切断してから接続してください。

再生する

1 ソースをBluetooth Audioに切り換える（→K-1）

▼

自動的にBluetooth Audio機器と接続を行い、再生が始まります。

ボタン	説明
リスト表示	リストを表示します。*（→R-3）*
表示切換	プレイリスト画面に切り換わります。
▶	再生します。一時停止中は、再生を再開します。
II	一時停止します。

◀グループ グループ▶	グループを切り換えます。
リピート	リピート範囲を切り換えます。*(→R-3)*
ランダム	ランダム再生をON/OFFします。*(→R-4)*
接続解除	本機とBluetooth Audio機器の接続を解除します。Bluetooth Audio機器と未接続の場合は、機器接続が表示されます。タッチすることでナビ側から接続を行います。*(→R-4)*
Bluetooth設定	Bluetooth設定画面が表示されます。*(→H-8)*

プレイリスト画面

現在再生中の曲を含むプレイリストを表示します。同一プレイリスト内での選曲が可能です。別のプレイリストから選曲したいときは、*「聴きたい曲を探す」(→R-3)* をご覧ください。

プレイリスト項目
選んだ曲を再生します。

本体のボタンで操作する場合：

⏮または⏭を押す	トラックのダウン／アップ
⏮または⏭を長く押す	早戻し／早送り

ワイプで操作する場合：

Bluetooth Audio再生中には、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、*「ワイプ操作」(→B-7)*をご覧ください。

→ワイプ	トラックをアップします。
←ワイプ	トラックをダウンします。
↑ワイプ	ミュートを解除します。
↓ワイプ	ミュート（消音）にします。

メモ

- 自動的に再生が始まらない場合は、▶にタッチしてください。
- お使いのBluetooth Audio機器によっては、▶にタッチしても再生が開始されない場合があります。その場合は、Bluetooth Audio機器側で再生を開始させてください。
- Bluetooth Audio機器によっては、早戻し/早送り中に音が出る場合と出ない場合があります。
- A2DP接続のみの場合は▶や⏸などの操作タッチキーは選択できません。その場合は、Bluetooth Audio機器側で操作してください。
- Bluetooth Audio使用中に、ハンズフリー機能や通信機能、電話帳転送機能を使用すると、一時的にBluetooth Audioの機能は停止します。
- お使いのBluetooth Audio機器の種類やBluetooth機能ごとの接続方法によっては、ハンズフリー通話や通信、電話帳転送が終了しても自動的に再生が始まらない場合があります。このような場合は、▶にタッチしてください。
- A2DP＋AVRCP接続の場合でも、機種によっては操作できない場合や本書に記載された説明とは異なる動作をする場合があります。

- A2DP+AVRCP Ver1.3またはA2DP+AVRCP Ver1.4で接続した場合は、トラックタイトルやアーティスト名などの情報が表示されます。（Bluetooth Audio機器によっては表示されない場合もあります。）
  また、何らかの理由により再生が始まらない場合や接続が切断された場合は、一時的にそれらの情報が表示されなくなりますが、再生が始まると再表示されます。
- Linkwithモードのときは、Bluetooth Audioの再生はできません。「Linkwithモードで使用している機器を取り外してください。」と表示された場合には、下記のどちらかの処置を行うことで、BluetoothAudioの再生ができます。
  - HDMI入力ケーブルに接続されているドコモスマートフォン（Android）やその他の機器を外す、または、iPod/USB接続ケーブルに接続されているiPhoneやiPodを外す。
  - Linkwithモード使用機器の設定を切り換える。*(→T-2、T-3)*
- お使いになるBluetooth Audio機器によっては使用できない機能や制限事項があります。詳しくは、販売店にご確認ください。

聴きたい曲を探す

リストから聴きたい曲を選んで再生することができます。

1 リスト表示 にタッチする (→R-1)

2 聴きたい曲にタッチする

▼

選んだファイルが再生されます。

メモ

- にタッチすると上位階層フォルダーの内容をリスト表示します。Bluetooth Audio機器によってはルートフォルダーより下の階層をトップ階層にしている場合があるため、トップ階層では操作できない場合があります。
- フォルダー名にタッチした場合は、そのフォルダーの内容をリスト表示します。

リピート再生

指定した範囲内を繰り返し再生することができます。

1 リピート にタッチする (→R-2)

▼

タッチするごとに、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

OFF → TRACK REPEAT →
GROUP REPEAT → ALL REPEAT
→ OFFに戻る

TRACK REPEAT	再生中のトラック（曲）を繰り返します。
GROUP REPEAT	再生中のグループを繰り返します。
ALL REPEAT	最後のトラックの再生が終了すると、先頭のトラックから繰り返します。

メモ

- 接続した機器により、操作や再生範囲が異なる場合があります。
- 「OFF」は通常の再生状態です。AVソースプレートやBluetooth Audioの画面には表示されません。
- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作（TRACK REPEAT中の選曲操作など）を行うと、リピート再生範囲が変更される場合があります。

ランダム再生

選んだリピート再生の範囲で、曲順を変えて再生することができます。

1 ランダム にタッチする (→R-1)

▼

タッチするごとに、ランダム再生の範囲が以下のように切り換わります。

OFF → GROUP RANDOM → ALL RANDOM → OFFに戻る

GROUP RANDOM	再生中のグループ内をランダムに再生します。
ALL RANDOM	すべての曲をランダムに再生します。

メモ

- 接続した機器により、操作や再生範囲が異なる場合があります。
- 「OFF」は通常の再生状態です。AVソースプレートやBluetooth Audioの画面には表示されません。

Bluetooth Audio機器の接続について

一時的に接続が切断された場合

本機との接続が成功したBluetooth Audio機器は、以下のような理由により一時的にBluetooth接続が切断された場合、自動的に再接続を行います。

- AVソースを切り換えた場合
- 本機の電源をOFF/ON(エンジンスイッチをOFF/ON)した場合
- データ通信を行った場合
- 電話帳転送を行った場合
- 電波発射 をOFF/ONした場合

メモ

- 以下の場合は、自動接続の対象外となります。Bluetooth Audio機器側から再接続してください。*(→R-4)*
  - 本機で接続解除を行ったとき
  - Bluetooth Audio機器側の操作でBluetooth接続を切断した場合
  - Bluetooth Audio再生中にBluetooth Audio機器が本機から離れ、強制的にBluetooth接続が切断された場合
  - その他、何らかの理由により再接続が失敗した場合
- ハンズフリー通話を行ったときは接続は切断され、再生が一時停止します。ハンズフリー通話の終了後に再度接続されます。接続しているBluetooth Audio機器、Bluetooth機能ごとの接続方法によっては停止した箇所から自動的に再生を開始することができません。このような場合は、▶ をタッチしてください。
- お使いになる携帯電話によっては、Bluetooth Audioを使用中はデータ通信を行えない場合があります。このような場合は、いったんBluetooth AudioをOFF*(→K-2)*にし、携帯電話の音楽再生ソフトを終了させてからデータ通信を行ってください。

Bluetooth Audio機器が自動的に接続されない場合

お使いになるBluetooth Audio機器によっては、Bluetooth Audio機器の登録が行われていても自動的に接続できないことがあります。その場合は、以下の手順で接続してください。

1 機器接続 にタッチ、またはBluetooth Audio機器を操作して本機と接続する（→R-2）

▼

Bluetooth Audio機器との接続を開始します。

メモ

- Bluetooth Audio機器側の接続操作は、Bluetooth Audio機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 自動接続中など何らかの処理を行っているときに 機器接続 にタッチしても、現在行っている処理が終わるまでは本機能が使用できない場合があります。

WALKMAN®の操作のしかた

本機に接続したWALKMAN®の操作のしかたを説明します。

メモ

- 対応WALKMAN®については、*「対応WALKMAN®一覧」(→S-4)*を参照してください。
- インテリジェント機能に対応していないWALKMAN®は使用できません。

再生できるファイルについて

WALKMAN®ソースで再生できるファイルは、x-アプリで転送したミュージックデータのみです。それ以外のファイルは、USBソース*(→P-1)*に切り換えて再生してください。

WALKMAN®への転送方法	データ	
	ミュージック	ビデオ
x-アプリ	WALKMAN®ソースにて再生できます。	USBソースにて再生できます。
上記以外(エクスプローラ等)	USBソースにて再生できます。	USBソースにて再生できます。

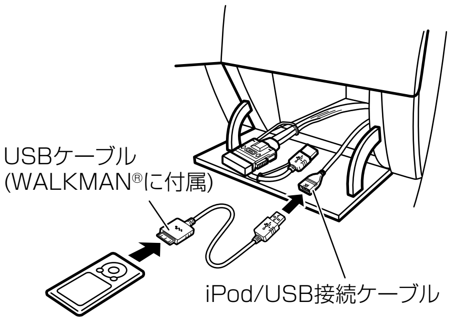
メモ

- 以下のファイルは再生できません。
  - ATRAC Advanced Lossless
  - WAV
  - 著作権保護ファイル

再生する

1 WALKMAN®本体に付属のUSBケーブルをWALKMAN®に接続する

2 グローブボックスなどからiPod/USB接続ケーブルを引き出し、WALKMAN®本体に付属のUSBケーブルのUSB端子を接続する



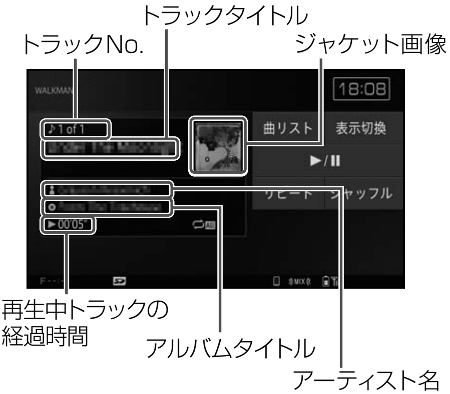
▼

AVソースが自動的にWALKMAN®に切り換わり、基本操作画面が表示されます。

メモ

- WALKMAN®がすでに接続されていて、別のAVソースを選択中の場合は、AVソースをWALKMAN®に切り換えてください。*(→K-1)*
- iPod/USB接続ケーブルの位置は、車によって異なります。詳しくは販売店にご確認ください。
- USBハブを経由して接続した場合の動作は保証できません。

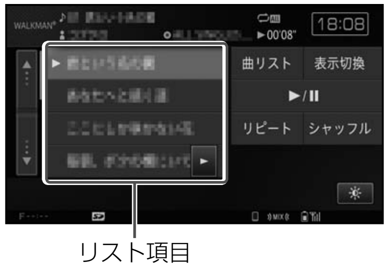
基本操作画面１（ジャケット表示）



曲リスト	直前に絞り込んだミュージックリストの画面を表示します。長くタッチすると、トップリスト画面（一番上の階層）を表示します。*（→S-3）*
▶/II	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
リピート	リピート再生を行います。*（→S-3）*
シャッフル	シャッフル再生を行います。*（→S-3）*
表示切換	リスト表示 *（→S-2）* に切り換わります。

基本操作画面２（リスト表示）

現在再生中の曲を含むアルバムの内容をリスト表示します。同一アルバム内での選曲が可能です。別のアルバムから選曲したいときは、*「聴きたい曲や見たい映像を探す」（→P-3）*を参照してください。



リスト項目	選んだ曲を再生します。
表示切換	ジャケット表示 *（→S-2）* に切り換わります。

共通操作

本体のボタンで操作する場合：

⏮または⏭を押す	トラックのダウン／アップ
⏮または⏭を長く押す	早戻し／早送り

ワイプで操作する場合：

→ワイプ	トラックをアップします。
←ワイプ	トラックをダウンします。
↑ワイプ	ミュートを解除します。
↓ワイプ	ミュート（消音）にします。

聴きたい曲を探す

1 曲リストにタッチする (→S-2)

メモ

- 曲リストに長くタッチすると、WALKMAN® ミュージックのトップリストを表示します。

2 曲を絞り込む

メモ

- それぞれのカテゴリで絞り込むことができます。

3 聴きたい曲にタッチする

メモ

- 戻るにタッチすると、基本操作画面に戻ります。
- [↰] にタッチすると、上位階層のリストを表示します。

リピート再生

絞り込んだカテゴリ内の曲を繰り返し再生することができます。

1 リピートにタッチする (→S-2)

▼

タッチするごとに、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

REPEAT ONE ←→ REPEAT ALL

シャッフル再生

絞り込んだカテゴリ内でランダムに曲が選択されて再生されます。

1 シャッフルにタッチする (→S-2)

▼

シャッフル再生が始まります。

メモ

- シャッフル再生中にシャッフルにタッチすると通常再生に戻ります。

対応WALKMAN®一覧

本機に対応しているWALKMAN®を示します。

- NW-Z1000シリーズ（16GB/32GB/64GB）
- NW-F800シリーズ（16GB/32GB/64GB）
- NW-S740シリーズ/NW-S750シリーズ/NW-S760シリーズ（8GB/16GB/32GB）
  NW-S770シリーズ（8GB/16GB）
- NW-E050シリーズ/NW-E060シリーズ（2GB/4GB）
- NW-A840シリーズ/NW-A850シリーズ/NW-A860シリーズ（16GB/32GB/64GB）
- NW-X1000シリーズ（16GB/32GB）

アプリケーションを使う

本機にiPhoneまたはスマートフォン（Android）を接続することにより、iPhoneまたはスマートフォン（Android）にインストールされているアプリケーションを本機の画面に表示したり、NaviConと連携したりすることができます。
また、本機対応のアプリケーションの場合は、本機でアプリケーションを操作することもできます。

Linkwithを使うための準備

Linkwith対応のアプリケーションを使うためには、お使いのiPhoneまたはドコモスマートフォン（Android）に応じた準備が必要です。

メモ

- iPhoneまたはスマートフォンやアプリケーションの仕様によっては、本機の画面に表示できない場合があります。
- 本機は、ドコモスマートフォン（Android）とiPhone（ソフトバンク/au）に対応しています。
- ナビアプリや音楽系アプリなどのLinkwith対応アプリケーションについて詳しくは、アプリケーションの提供元にご確認ください。
- iPhone/スマートフォンを本機に接続して音楽や映像を楽しむための設定は、ご使用の機器によって異なります。*「音楽と動画を楽しむ際のiPhone、スマートフォンの接続設定一覧」(→T-11)*を参照してください。

iPhone 5をお使いの場合

メモ

- iPhone 5をお使いの場合、Linkwith対応のアプリケーションを使うためには、HDMI接続する必要があります。
- HDMI接続した場合、iPodソース*(→Q-1)*は使用できません。Linkwithモードの「Linkwithメディアプレーヤー」でお楽しみください。

1 接続ケーブルを用意する

別売の「HDMI接続ケーブル」および「HDMI接続ケーブル（iPhone 5用）」および別売のApple Inc.製のLightning - Digital AVアダプタおよびLightning - USBケーブル（iPhone 5に付属）

2 メニュー を押し、設定・編集 － 電話・通信 － NaviCon連携/Linkwith設定 にタッチする

3 Linkwithモード接続機器 にタッチする

4 iPhone にタッチする

メモ

- AVソースがOFFのときのみ設定できます。
- Linkwithモード接続機器は、本機に以下の機器を接続しているときは設定できません。
  - iPod
  - USBメモリー/WALKMAN®
  - iPhoneまたはドコモスマートフォン（Android）

5 HDMI接続 にタッチする

6 NaviCon/Linkwith接続 にタッチする

メモ

- Bluetooth設定の機器変更メニューでプロファイルがNaviCon連携に設定されている機器がない場合は選択できません。

7 オート切換 または Linkwith にタッチする

オート切換	LinkwithとNaviConアプリを自動的に切り換えて接続します。
Linkwith	常にLinkwithと接続します。

8 App Storeから本機専用アプリケーションLinkwithAutomakerをダウンロードし、iPhoneにインストールする

メモ

- LinkwithAutomaker以外のLinkwithはダウンロードしないでください。誤作動の原因となります。
- iPhoneにLinkwithAutomakerアプリケーションがインストールされていることを確認してください。「LinkwithAM」というアイコンが表示されます。

9 iPhoneを操作してLinkwithAutomakerを起動する

10 Bluetooth設定を行う

本機から行う場合

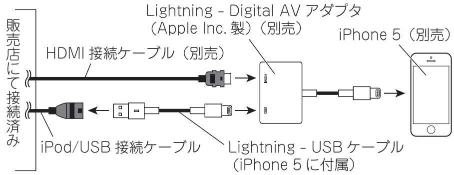
*「Bluetooth設定をする」（→H-7）*を参照してください。

iPhoneから行う場合

Bluetooth設定をONにし、本機が検出されたらタップしてペアリングをします。ペアリングが成功すると、自動的にiPhoneと本機間でBluetooth接続が行われます。

*「Bluetooth設定をする」（→H-7）*を参照してください。

11 iPhoneを接続する



本機との通信許可を求めるメッセージがiPhoneの画面に表示された場合は、「許可」をタップしてください。

メモ

- iPhoneにLinkwithAutomakerアプリケーションがインストールされていることを確認してください。「LinkwithAM」というアイコンが表示されます。
- iPhoneがロックされている場合は、車を停めてロックを解除しBluetoothの再接続をしてください。

iPhone 4/iPhone 4Sをお使いの場合

1 メニュー を押し、設定・編集 － 電話・通信 － NaviCon連携/Linkwith設定 にタッチする

2 Linkwithモード接続機器 にタッチする

3 iPhone にタッチする

メモ

- AVソースがOFFのときのみ設定できます。
- Linkwithモード接続機器は、本機に以下の機器を接続しているときは設定できません。
  - iPod
  - USBメモリー /WALKMAN®
  - iPhoneまたはドコモスマートフォン（Android）

4 USB接続 にタッチする

5 App Storeから本機専用アプリケーションLinkwithAutomakerをダウンロードし、iPhoneにインストールする

メモ

- LinkwithAutomaker以外のLinkwithはダウンロードしないでください。誤作動の原因となります。
- iPhoneにLinkwithAutomakerアプリケーションがインストールされていることを確認してください。「LinkwithAM」というアイコンが表示されます。

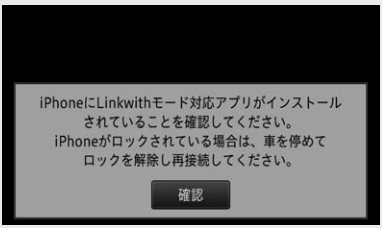
6 iPhoneを操作してLinkwithAutomakerを起動する

7 グローブボックスなどからiPod/USB接続ケーブルを引き出し、iPhoneを接続する

本機との通信許可を求めるメッセージがiPhoneの画面に表示された場合は、「許可」をタップしてください。

メモ

- LinkwithAutomakerがインストールされていないiPhoneやロック状態のiPhoneを接続した場合は、以下の画面が表示されます。



LinkwithAutomakerのインストールまたはロック解除を行ってから再接続してください。

ドコモスマートフォン（Android）をお使いの場合

1 接続ケーブルを用意する

HDMI接続の場合

別売の「HDMI接続ケーブル」および「HDMI接続ケーブル（HDMI対応Android端末用）」

MHL接続の場合

別売の「HDMI接続ケーブル」および「HDMI接続ケーブル（MHL対応Android端末用）」

Galaxy S Ⅲを接続する場合

別売の「HDMI接続ケーブル」および「HDMI接続ケーブル（HDMI対応Android端末用）」およびNTTドコモ製別売オプション品「HDMI変換ケーブルSC03」

2 メニュー を押し、設定・編集 – 電話・通信 – NaviCon連携/Linkwith設定 にタッチする

3 Linkwithモード接続機器 にタッチする

4 Android にタッチする

メモ

- AVソースがOFFのときのみ設定できます。
- Linkwithモード接続機器は、本機に以下の機器を接続しているときは設定できません。
  - iPod
  - USBメモリー/WALKMAN®
  - iPhoneまたはドコモスマートフォン（Android）

5 NaviCon/Linkwith接続 にタッチする

メモ

- Bluetooth設定の機器変更メニューでプロファイルがNaviCon連携に設定されている機器がない場合は選択できません。

6 オート切換 または Linkwith にタッチする

オート切換	LinkwithとNaviConアプリを自動的に切り換えて接続します。
Linkwith	常にLinkwithと接続します。

7 Google Playから本機専用アプリケーションLinkwithAutomakerをダウンロードし、Androidにインストールする

メモ

- LinkwithAutomaker以外のLinkwithはダウンロードしないでください。誤作動の原因となります。
- iPhoneにLinkwithAutomakerアプリケーションがインストールされていることを確認してください。「LinkwithAM」というアイコンが表示されます。
- Linkwith対応アプリケーションで文字入力を行うには、Linkwithキーボードpowered by ATOKもインストールしてください。

8 Androidを操作してLinkwithAutomakerを起動する

9 Bluetooth設定を行う

本機から行う場合

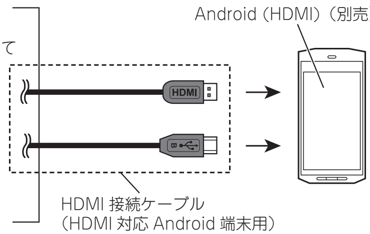
「Bluetooth設定をする」(→H-7) を参照してください。

Androidから行う場合

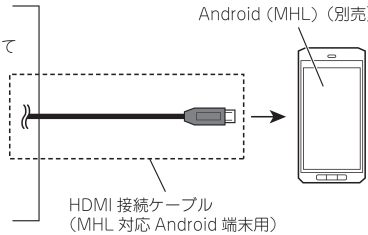
Bluetooth設定をONにし、本機が検出されたらタップしてペアリングをします。
ペアリングが成功すると、自動的にAndroidと本機間でBluetooth接続が行われます。
「Bluetooth設定をする」(→H-7) を参照してください。

10 Androidを接続する

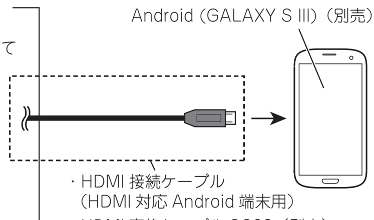
HDMI接続の場合



MHL接続の場合

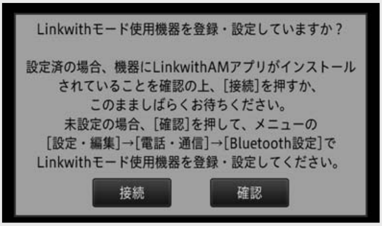


Galaxy S Ⅲを接続する場合



メモ

- Galaxy S Ⅲとの接続にはNTTドコモ製別売オプション品「HDMI変換ケーブル SC03」が必要となります。
- LinkwithAutomakerがインストールされていないAndroidやBluetooth設定を行っていないAndroidを接続した場合は、以下の画面が表示されます。



接続 にタッチするとBluetooth設定を開始します。

Linkwithのアプリケーションを使う

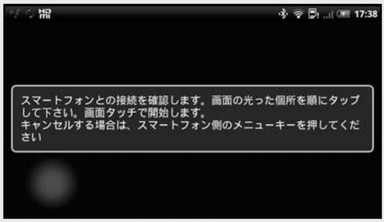
1 メニュー を押し、Linkwith にタッチする

▼

Linkwithのアプリケーションが表示されます。

メモ

- iPhone 5またはAndroidをHDMIで接続してアプリケーションを使う場合は、Bluetooth接続はHDMI接続されたiPhone 5またはAndroidに対して正しく行ってください。指定以外の接続を行った場合、機能が正しく動作しません。
- Bluetooth接続完了後、はじめて本機に接続するAndroidの場合は、**Linkwith** にタッチした後、本機との認証操作が必要になります。以下の画面が表示されたら、白丸部分を順番にタッチしてください。



認証が完了するとメッセージが表示され、アプリケーションをお使いいただくことができます。
この認証操作は、一度だけ必要になります。
一度行った後は、Androidの登録を削除・再接続しても表示されません。ただし、Linkwithをインストールし直した状態で本機に接続した場合は、再表示されます。

2 使いたいアプリケーションにタッチする

アプリケーションが起動します。

以降は、各アプリケーションに応じて操作してください。操作の詳細はアプリケーションの取扱説明書をご確認いただくか、製造元にご確認ください。

メモ

- Androidをお使いの場合、アプリケーション（プレーヤー等）の音量はAndroidおよび本機のどちらからでも調整できます。ただし、Androidで調整を行った場合は、本機との接続を解除した後も調整結果が残るため、意図せず音量が上がっている場合があります。ヘッドフォン等で音楽を聴く場合などは、事前にAndroidの音量を確認してください。
- 使いたいアプリケーションを変更する場合は、メニューを押して手順2の画面に戻ってください。手順2の画面で再度メニューを押すと、トップメニューに戻ります。
- アプリケーションによっては、（タッチ操作不可マーク）が表示され、タッチ操作ができない場合があります。
- 本機対応アプリケーション以外については、iPhoneまたはAndroidに表示された内容が本機の画面に映し出されるだけで、本機から操作することはできません。
- 本機を使い始める時点で、iPhoneまたはAndroidのアプリ（LinkwithAutomakerなど本機専用アプリケーション）が起動状態の場合は、自動的に「アプリ」が動作します。iPhoneまたはAndroidのアプリが起動中でない場合は、最後に使用していた機能（iPodやFM/AMなど）が動作します。

アプリケーションの操作（Androidのみ）

Androidをお使いの場合、アプリケーションによっては、メニューを押すと本機の画面に操作メニューが表示されます。

閉じる	アプリケーションを終了し、Linkwithメニューに戻ります。
戻る	一つ前の画面に戻ります。スマートフォンで戻るボタンを押した場合と同じ操作となります。
ホーム	ホーム画面を表示します。スマートフォンでホームボタンを押した場合と同じ操作となります。
メニュー	メニューを表示します。スマートフォンでメニューボタンを押した場合と同じ操作となります。

入力方法を設定する（Androidのみ）

Androidをお使いの場合、Linkwith対応アプリケーションで文字入力を行うには、Linkwithキーボードpowered by ATOKのインストールと入力切り換え操作が必要です。

1 Google PlayからLinkwithキーボードpowered by ATOKをダウンロードし、Androidにインストールする

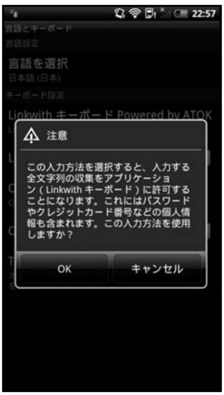
2 Androidの入力方法設定画面を開き、Linkwithキーボードpowered by ATOKをタップする

Linkwithキーボードpowered by ATOKにチェックマークが表示されたことを確認してください。

3 メニュー を押し、Linkwith にタッチする

4 キーボード設定 をタップする

5 キーボード切り替え － OK にタッチする



6 Androidを操作して、Linkwithキーボードpowered by ATOKをタップする

メモ

- Androidを本機に接続していない場合は、LinkwithAutomakerの 設定／ヘルプ － キーボード切り替え からも入力切り換え操作ができます。
- 一度入力切り換えを行うと、本機とAndroidの接続を解除しても入力方法は変更されません。この場合、Android単体の操作(メール作成など）においては、文字入力ができません。Androidを操作して、元の入力方法に戻してください。

NaviConを使う

NaviConに対応したiPhoneまたはAndroidをBluetooth接続すると、iPhoneまたはAndroidの操作で目的地を設定することができます。

メモ

- NaviConおよびiPhoneまたはAndroidの操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
- NaviConのバージョンアップにより、実際の機能が取扱説明書と異なる場合があります。
- AndroidまたはiPhone 5をお使いの場合は、LinkwithモードでNaviConを使うことはできません。

1 iPhoneをお使いの場合はApp Store、Androidをお使いの場合はGoogle PlayからNaviConをダウンロードし、インストールする

2 Bluetooth設定を行う

「Bluetooth設定をする」(→H-7) を参照してください。

3 NaviCon連携/Linkwith設定を行う

「NaviCon/Linkwith接続を設定する」(→T-9) を参照してください。

4 iPhoneまたはAndroidを操作してNaviConを起動し、地図画面を表示する

▼

本機との接続が自動で行われ、NaviConで表示される地図と同じ位置の地図が、本機に表示されます。

スマートフォンの画面

本機の画面

メモ

- はじめてNaviConを起動したときは接続先設定画面が表示されます。本機を選択してください。
- 地図スクロール、スケールの変更も連動します。
- Androidでは、NaviConの自動接続設定が無効に設定されている場合は、自動接続されません。自動接続されなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。

5 NaviConで、目的地や立寄地の設定操作をする

▼

本機に目的地や立寄地が送信され、ルートが自動的に探索されます。

メモ

- iPhoneまたはAndroidから新たに目的地を送信すると、表示されている探索結果はキャンセルされ、新たにルート探索されます。
- NaviConで複数の目的地を設定した場合、本機では地点1が目的地に、地点2以降が立寄地として設定されます。立寄地は地点2からの昇順に目的地に近い立寄地として設定されます。

NaviCon連携/Linkwith設定を行う

LinkwithやNaviConアプリを使うときの接続方法や、スマートフォンでLinkwith対応のアプリケーションを使うときの画像サイズを設定できます。

NaviCon/Linkwith接続を設定する

1 メニュー を押し、**設定・編集**－**電話・通信**－**NaviCon連携/Linkwith設定** にタッチする

2 **NaviCon/Linkwith接続** にタッチする

メモ

- Bluetooth設定の機器変更メニューでプロファイルがNaviCon連携に設定されている機器がない場合は表示されません。

3 **オート切換**、**NaviCon連携** または **Linkwith** にタッチする

オート切換	LinkwithとNaviConアプリを自動的に切り換えて接続します。
NaviCon連携	常にNaviConアプリと接続します。
Linkwith	常にLinkwithと接続します。

メモ

- NaviCon/Linkwith接続で、**オート切換**を、**Linkwith**に変更すると下記の症状を回避することができますが、NaviConをご利用いただくことができなくなりますので、ご注意ください。
  - Linkwithモード表示に切り換わるごとに、「アプリを起動しています。」等のメッセージが表示される。
  - 交差点案内等の割り込みや現在地等の画面から、Linkwithモード表示に復帰しても、Linkwithのアプリケーションの再生が再開されない。

Linkwith（Android）映像サイズを設定する

1 メニュー を押し、**設定・編集**－**電話・通信**－**NaviCon連携/Linkwith設定** にタッチする

2 **Linkwith（Android）映像サイズ** にタッチする

メモ

- Bluetooth設定の機器変更メニューでプロファイルがNaviCon連携に設定されている機器がない場合は表示されません。

3 お好みの画像サイズにタッチする

OFF	そのままのサイズで画像が表示されます。
Type1	Type1のサイズで画像が表示されます。
Type2	Type2のサイズで画像が表示されます。
Type3	Type3のサイズで画像が表示されます。
Type4	Type4のサイズで画像が表示されます。
Type5	Type5のサイズで画像が表示されます。

メモ

- ナビゲーションの画面全体にスマートフォンの映像が表示されている状態で画像サイズを選択してください。スマートフォンからの映像が縦向きで表示されている場合は、スマートフォンの画面回転を有効にし、横向きにしてから画像サイズを選択してください。

音楽と動画を楽しむ際のiPhone、スマートフォンの接続設定一覧

接続機器	接続方法	視聴したい／使いたいもの	選択すべきソース	設定方法： メニュー - 設定・編集 - 電話・通信 - NaviCon連携/Linkwith設定		
				Linkwithモード接続機器	iPod/Linkwithコネクタ選択	NaviCon/Linkwith接続
iPhone 4 iPhone 4S	Dock コネクタ接続	音楽	iPod	iPhone	USB接続	−
		動画 注5	iPod			
		Linkwithアプリ 注5	Linkwith			
iPhone 5	HDMI接続 注2	音楽 注1	Linkwith	iPhone	HDMI接続	オート切換または Linkwith
		動画 注1				
		Linkwithアプリ				
ドコモ スマートフォン（Android）	HDMI接続 注3 または MHL接続 注4	音楽 注1	Linkwith	Android	−	オート切換または Linkwith
		動画 注1				
		Linkwithアプリ				

−　：設定不要

注１：Linkwith アプリ "Media Player" を使用します。

注２：別売の接続ケーブルが必要になります。
- HDMI 接続ケーブルおよび HDMI 接続ケーブル（iPhone 5 用）（販売店にてお買い求めください）
- Apple Inc. 製の Lightning - Digital AV アダプタおよび Lightning - USB ケーブル（アップルストアや家電店でお買い求めください、Lightning - USB ケーブルは iPhone 5 に付属のケーブルも使用できます。）

注３：別売の接続ケーブルが必要になります。
- HDMI 接続ケーブル（販売店にてお買い求めください）
- HDMI 接続ケーブル（HDMI 対応 Android 端末用）（販売店にてお買い求めください）

注４：別売の接続ケーブルが必要になります。
- HDMI 接続ケーブル（販売店にてお買い求めください）
- HDMI 接続ケーブル（MHL 対応 Android 端末用）（販売店にてお買い求めください）

注５：USB ボックス装着車に接続時には動画、Linkwith アプリは使用できません。
- USB ボックスに iPhone 4(または 4S) を接続するには iPhone 4(または 4S) に付属の Dock - USB ケーブルが必要になります。

AUXを使う(USBボックス装着車)

USB ボックス装着車では、USB ボックスのAUX 端子にポータブルオーディオプレーヤーなどの外部音声機器を接続すると、その音声を本機のAV ソース(AUX)として聞くことができます。

外部機器の音声を聞く

1 AVソースをAUXにする(→K-1)

▼

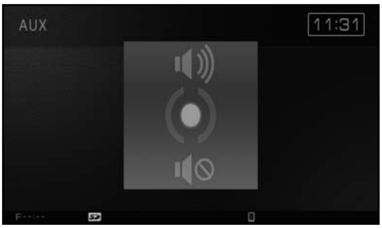
外部機器の音声が出力されます。

メモ

- AUDIOメニューに AUX が表示されていない場合は、AUX/USB UNIT設定*(→H-35)*をONにする必要があります。詳しくは、販売店へお問い合わせください。

ワイプで操作する場合：

外部機器音声再生中には、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、*「ワイプ操作」(→B-7)*をご覧ください。



↑ワイプ	ミュートを解除します。
↓ワイプ	ミュート(消音)にします。

HDMI機器を使う

本機にポータブルビデオなどの外部映像機器を接続すると、その映像を本機のAVソース（HDMI）として見ることができます。

メモ

- 本機に外部映像機器を接続するには、別売のHDMI接続ケーブルと市販のHDMIケーブルが必要です。

映像入力の設定をする

1 **メニュー を押し、設定・編集 − オーディオ − ソース別設定 にタッチする**

2 **HDMI設定 にタッチする**

3 **ON または OFF にタッチする**

ON	HDMI機器を接続したとき
OFF	何も接続されていないとき

ビデオを見る

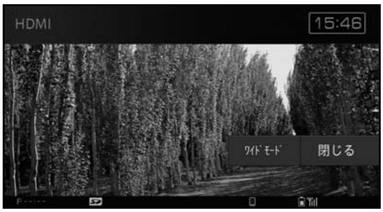
注意

- 停車中に、モニターで映像を見ることができます。安全のため走行中は、モニターに映像が表示されません。

1 **AVソースをHDMIにする（→K-1）**

▼

ビデオなどの映像が表示されます。
画面にタッチすると、基本操作画面が表示されます。



ワイドモード	ワイドモードを設定します。*(→K-4)*

メモ

- 閉じる にタッチすると、操作タッチキーは消えます。
- 接続する機器により、別売の各種変換コードが必要になります。
- 接続した機器により、映像が正常に表示されない場合があります。

ワイプで操作する場合：

HDMI機器再生中には、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、「*ワイプ操作*」(*→B-7*)をご覧ください。

↑ワイプ	ミュートを解除します。
↓ワイプ	ミュート（消音）にします。

メモ

- HDMI機器を使用しているときに、音量を調整すると、HDMI機器用の音量として設定することができます。他のAVソースに切り換えて音量を調整しても、次回HDMI機器を使用したときは、前回設定した音量で聞くことができます。

VTRを使う

本機にポータブルビデオなどの外部映像機器を接続すると、その映像を本機のAVソース（VTR）として見ることができます。

映像入力の設定をする

1 **［メニュー］を押し、設定・編集－オーディオ－ソース別設定にタッチする**

2 **VTR設定にタッチする**

3 **ONまたはOFFにタッチする**

ON	VTR機器を接続したとき
OFF	何も接続されていないとき

ビデオを見る

注意

- 停車中に、モニターで映像を見ることができます。安全のため走行中は、モニターに映像が表示されません。

1 **AVソースをVTRにする（→K-1）**

▼

ビデオなどの映像が表示されます。
画面にタッチすると、基本操作画面が表示されます。

ワイドモード	ワイドモードを設定します。*（→K-4）*

メモ

- 閉じるにタッチすると、操作タッチキーは消えます。
- 接続する機器により、別売の各種変換コードが必要になります。
- ビデオ機器からの入力信号が大きい場合、音が歪む場合があります。この場合、接続した機器側で音量を調整してください。
- 接続した機器により、映像が正常に表示されない場合があります。
- USBボックス装着車では、外部映像機器は接続できません。

ワイプで操作する場合：

VTR再生中には、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、*「ワイプ操作」（→B-7）*をご覧ください。

↑ワイプ	ミュートを解除します。
↓ワイプ	ミュート（消音）にします。

ETCユニット

別売のETCユニットを接続すると、ETCサービスを利用することができます。
また、本機ではETCに関連する情報案内やETC利用履歴の表示ができます。

メモ

- 別売のDSRCユニットを接続して、ETCサービスを利用することもできます。→「DSRCユニット」(U-9)

ETC関連の情報案内について

次のような情報案内がされるようになります。

ETCカード・エラー関連音声案内

“ETCカードを確認してください。”

“ETC車載器に異常が検出されました。”

“ETCが登録されていません。”

“ETCカードを認証しました。”

“ETCカードを入れてください。”

ETCカード有効期限切れ関連音声案内

“ETCカードの有効期限は今月末です。ETCカードを確認してください。”

“ETCカードの有効期限が切れています。”

予告ビーコン通過時音声案内

“ETCが利用可能です。”

“ETCが利用できません。”

“ETCが利用可能です。速度を落としてお進みください。”

“ETCが利用できません。徐行してください。”

ETCレーン通過時音声案内

“ETCが利用できません。停車してください。”

料金所通過時音声

“料金は○○円でした。”

“ETC利用料金が○○円割引されました。”

“料金は登録されていません。”

メモ

- ETCカードが挿入（認証）されているときは、画面下部にETCアイコンが表示されます。
- 料金所通過時は、現在地画面にETC利用料金が表示されます。

ETC利用履歴を確認する

ETCカードに記録された利用履歴データを表示することができます。履歴は、新しいものから最大100件まで表示することができます。

1 **メニュー を押し、情報 にタッチする**

U その他の機器を使う

2 ETC利用履歴 にタッチする

▼

ETC利用履歴画面が表示されます。

メモ

- ETC車載器（別売）が接続されていても、ETCカードが未挿入の場合は、操作できません。
- 乗降したインターチェンジ名が不明の場合は、インターチェンジ番号が表示されます。
- ETC利用履歴画面に表示されるインターチェンジやランプなどの施設名称は正しく表示されなかったり、インターチェンジ番号で表示されることがあります。
- ETC利用履歴はICカードのデータを読んでいるので消去することはできません。

ETC起動時音声案内を設定する

ETC起動時の音声案内のON/OFFを設定することができます。

1 メニュー を押し、設定・編集 – ナビゲーション – システム設定 にタッチする

2 ETC/DSRC設定 にタッチする

3 ETC起動時音声案内 にタッチする

4 ON または OFF にタッチする

ON	ETC車載器の電源をONにしたとき、音声案内を行います。
OFF	お知らせしません。

ETCカード有効期限切れ通知について

本機に接続した別売のETCユニット、または、DSRCユニットにETCカードが挿入された場合、ETCのカード情報により、メッセージ表示と音声案内が行われます。

メモ

- 接続したETC車載器が有効期限通知機能に対応していない場合、案内は行いません。

通常時の例

メッセージ	ETCカードを認証しました。ETCカード有効期限：20○○年○○月
音声案内	ETCカードを認証しました。

有効期限切れが当月の場合の例

メッセージ	ETCカードの有効期限は今月末です。カードを確認してください。
音声案内	ETCカードの有効期限は今月末です。カードを確認してください。

有効期限がすでに切れている場合の例

メッセージ	ETCカードの有効期限が切れています。
音声案内	ETCカードの有効期限が切れています。

DSRCユニット

別売のDSRCユニットを接続すると、ETC機能に加え、ITSスポットサービスの利用および取得した情報の案内などが可能になります。

メモ

- DSRCの概要やITSスポットサービスの詳細については、DSRCユニットの取扱説明書を参照してください。
- 本機は、料金決済サービス（ICクレジットカード決済）、インターネット接続には対応しておりません。
- DSRCユニットとETCユニットは同時に接続できません。
- DSRCユニットとVICS用ビーコンユニットは、同時に接続して利用できます。
- ETCカードが挿入（認証）されているときは、画面下部にETCアイコンが表示されます。
- 期限切れのETCカードが挿入されているときは、画面下部にETCアイコンが表示されます。
- DSRCユニットにETCカードを挿入した場合は、以下のようなメッセージが案内されます。
  – ETCカードを認証しました。

5.8GHz VICSサービスについて

5.8GHz VICSサービスでは、従来のレベル1からレベル3に加えて、静止画像や音声によっても情報が提供されます。ドライバーは次のような情報を利用できます。

安全運転支援情報

- 前方障害物情報
- 渋滞末尾情報
- 前方状況情報（画像/音声）

など

道路交通情報（ダイナミックルートガイダンス）

- 道路交通情報
- 前方情報（ハイウェイラジオ）
- カーナビゲーションのルート探索に利用する渋滞情報

など

メモ

- 5.8GHz VICS情報を即時表示するには、ビーコン即時表示設定を「文字・図形・音声」にしてください。→*「機能設定をする」(H-1)*
- 5.8GHz VICSサービスはITSスポットサービスの主要なサービスの一つで、主に高速道路上において提供されます。また道路交通情報の提供では、従来のVICS情報よりも広域の情報が提供され、高速道路を使った遠距離走行での走行ルート選択がしやすくなります（ダイナミックルートガイダンス）。

5.8GHz VICS情報を受信したとき

5.8GHz VICS情報を受信すると、次のような動作を行います。

案内情報を受信したとき

案内情報（一般情報/優先情報/最優先情報）を受信すると、自動的に画面や音声で案内されます。

表示例：

メモ

- ビーコン即時表示が「文字・図形・音声」に設定されていない場合は、自動表示されません。
  →*「機能設定をする」(H-1)*
- 緊急の即時情報は設定に関係なく自動表示されます。
- 受信した情報に再生条件(走行方位、サービス速度、有効距離など)が設定されている場合、再生条件を満たしていないと即時案内されない場合もあります。また、指定された場所まで移動すると表示される情報もあります。またナビゲーションの他の機能が優先され即時案内されない場合や案内を中断する場合もあります。
- 受信する情報は、図形情報または静止画像、文字情報、音声情報があります。2種類以上の情報を受信した場合、図形情報→文字情報→音声情報の優先順位で表示されます。音声情報を含む図形情報または静止画像、文字情報の場合には、図形情報または静止画像、文字情報を表示しながら音声も再生します。
- 受信した情報(即時案内で表示されなかった情報を含む)は、後から確認することができます。
  →*「ビーコン情報を表示・再生する」(G-6)*

渋滞情報を受信したとき

受信した渋滞情報は、VICSレベル3表示、渋滞考慮オートリルート、ルートアドバイザーなどに使用されます。

メモ

- 渋滞情報提供時刻表示は、Bマークで表示されます。

ETCサービスの利用について

ETCカードまたはETC一体型クレジットカードを挿入すると、ETCサービスを利用することができます。ETCサービスについては、*「ETCユニット」(→U-6)*を参照してください。

アップリンク機能を設定する

5.8GHz VICSサービスにおいて提供される情報の作成や道路管理などの目的で、個人情報にはあたらない範囲で、本機やDSRCユニット、車両の情報が通信で路側機に送信され、道路事業者などの道路管理者に提供されることがあります。この機能が活用されることにより、より充実した道路交通情報や安全運転支援情報の提供などサービス向上が期待されています。なお、走行履歴や挙動履歴など一部の情報については本機能をONすることにより送信されます。提供される情報および本機能をONにすることにより送信される情報については、DSRCユニットの取扱説明書の道路管理者からのお知らせとお願いをご覧ください。

工場出荷時は「ON」です。

1 **メニュー を押し、設定・編集 – ナビゲーション – システム設定 にタッチする**

2 **ETC/DSRC設定 にタッチする**

3 **DSRCアップリンク機能設定** **にタッチする**

4 **ON** **または** **OFF** **にタッチする**

ON	アップリンクします。
OFF	アップリンクしません。

オーディオの設定をする

お好みに合わせてオーディオの音や機能などを設定することができます。

1 メニュー を押し、**設定・編集**－**オーディオ** にタッチする

2 **オーディオ設定** にタッチする

▼

オーディオ設定メニュー画面が表示されます。

フェーダー／バランス	前後左右の音量バランスを設定することができます。（→V-2）
イコライザー	あらかじめ用意された5つの設定（ファクトリーカーブ）とお好みで調節した設定（Custom）からイコライザーカーブを選ぶことができます。（→V-2）
車形選択	本機を搭載する車種の車形を設定します。（→V-3）
ソースレベルアジャスター	AVソースを切り換えたときに音量の違いが出ないように、FMの音量を基準にして各AVソースの音量の差をそろえることができます。（→V-4）

消音設定	ナビゲーションの音声案内時に、オーディオ音量を下げるタイミングと音量レベルを設定します。（→V-5）
車速連動ボリューム	車の走行速度に合わせて、音量を自動で調整することができます。（→V-5）
Dolby Pro Logic Ⅱ	CDなどのステレオ音声やドルビーサラウンドエンコードされたステレオ音声をサラウンド化して再生する機能（Dolby Pro Logic Ⅱ）を設定します。（→V-5）
ダイナミックレンジコントロール	ダイナミックレンジを圧縮して小さな音でも聞き取りやすくすることができます。（→ V-6）
サウンドフィールドコントロール	車室内にリアルな音場を再現することができ、3つの音場空間を再現するプログラムから設定します。（→V-7）
サウンドレトリバー	圧縮音楽の音質補正機能を設定することができます。（→V-7）
リスニングポジション	乗車位置や乗車人数に合わせて、聴く位置を設定します。（→V-8）
タイムアライメント	各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調整します。（→V-8）
オートレベルコントロール	音楽ファイルやAVソースごとに異なる音量差を補正します。（→V-9）
スピーカー設定	スピーカー接続の有無や接続したスピーカーのサイズ（低音域再生能力）を設定します。（→V-9）
スピーカー出力レベル	各スピーカーからの出力レベルを調整することができます。（→V-9）

カットオフ	スピーカー設定 *(→V-9)* で「SMALL」が選択されているスピーカーから出力される周波数帯域を設定します。*(→V-10)*
ノイズアッテネーター	イコライザーカーブなどの調整による音の歪みを低減します。*(→V-11)*

メモ

- 走行中は操作できない設定項目があります。
- オーディオ設定メニュー画面を操作中に、音声案内、ハンズフリー通話などがあった場合は、オーディオ設定の各種設定はできません。
- 消音タイミングがOFFの場合は、音声案内中であるかどうかにかかわらずオーディオ設定の操作ができます。
- AVソースがOFFで、LinkwithモードがOFFのとき、車形選択とノイズアッテネーターの設定ができます。
- 交通情報受信中は、ソースレベルアジャスター、消音設定のみ設定できます。
- Linkwithの音声を対象に設定を変更する場合は、音声MixをOFFにしてから操作してください。音声MixがONの場合、Linkwithの音声に対してはオーディオ設定が無効になります。

Bose® サウンドシステムのオーディオ設定

Bose® サウンドシステム搭載車のオーディオ設定は、「フェーダー／バランス」「イコライザー」「ソースレベルアジャスター」「消音設定」の4項目になります。

メモ

- Bose®用オーディオ設定画面はBose®サウンドシステム搭載車で、Bose®サウンドシステム設定が **ON** の場合に表示されます。

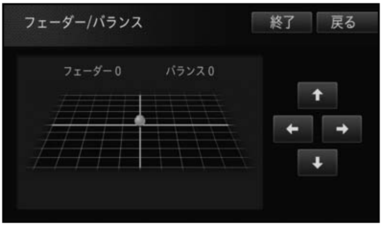
フェーダー / バランス

工場出荷時は以下のとおりです。

フェーダー：「0」
バランス：「0」

1 **フェーダー / バランス** **にタッチする(→V-1)**

2 **↑、↓、←、→にタッチして前後左右のバランスを調節する**



カーソルの位置で前後左右の音のバランスを確認できます。図の上が前を示します。

イコライザー

工場出荷時は「Flat」です。

1 **イコライザー** **にタッチする(→V-1)**

2 **お好みの設定にタッチする**

▼

タッチするごとにイコライザーカーブが切り換わります。

ファクトリーカーブ	**Flat**	音の補正をしません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えて、イコライザーの効果を確認するときにご使用ください。
	Powerful	低音と高音が厚みを持ち、アップテンポな曲がメリハリよく聞こえます。
	Natural	自然なバランスで、聞き疲れしない心地良い音を再生します。
	Vocal	中高音域が厚みを持ち、伸びやかなボーカルを際立たせます。
	Superbass	低音が厚みを持ち、迫力のある重低音が響きます。
Custom		Customメモリーに登録した調整値を呼び出します。
詳細設定		選んだファクトリーカーブを補正します。

メモ

- Bose®サウンドシステム搭載車では、イコライザーのプリセットの内設定可能な項目は **Flat**、**Custom**、**詳細設定** のみです。また、**詳細設定** で調整できるレベルは、－6 dB ～＋6 dBの範囲となります。

イコライザーを補正する

選んだファクトリーカーブを、各周波数でさらに細かくレベルを補正することができます。補正した値は、Customに登録されます。

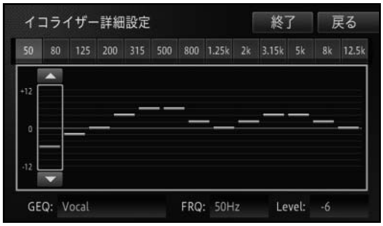
メモ

- すでにイコライザー設定（→V-2）で、Customに補正値を登録済みの場合、ここで補正した値が上書きされます。

1 ファクトリーカーブを選ぶ **（→V-3）**

2 詳細設定 にタッチする

3 補正する周波数を選び、▲ または ▼ にタッチしてレベルを補正する



50Hz～12.5kHzから周波数を選べます。－12dB ～ ＋12dBの間で2dBごとに調整できます。

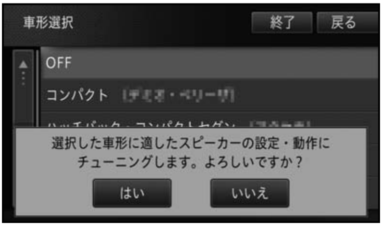
車形選択

車形を選択して車形ごとに調整済みのオーディオ設定に切り換えることができます。

1 車形選択 にタッチする **（→V-1）**

2 本機を搭載する車形にタッチする

3 はいにタッチする



メモ

- 車形を選択するとリスニングポジションが変化し、イコライザーのファクトリーカーブが工場出荷時の設定に戻ります。
- 車形を選択すると、その車形に対応して以下の項目が変化します。
  - タイムアライメント設定
  - スピーカー設定
  - スピーカー出力レベル設定
  - カットオフ
- OFFを選択すると、上記のオーディオ設定の各項目は工場出荷時の設定に戻ります。

ソースレベルアジャスター

工場出荷時は「±0dB」です。

メモ

- FMの音量を基準に他のAVソースとの音量を調節するため、FMを聞いているときは、ソースレベルアジャスターを設定することはできません。
- AVソースごとに登録されますが、同じ設定になるものは以下のとおりです。
  - ･CD、ROM
  - ･AM、交通情報
  - ･VTR、AUX
  - ･SD、USB
  - ･DVD-V、DVD-VR
  - ･iPod（ミュージック／ビデオ）、Linkwith（iPhone）
  - ･HDMI、Linkwith（Android）

1 ソースレベルアジャスターにタッチする（→V-1）

2 ＋または－にタッチする

－８dB ～＋８dBの範囲で2dBごとに調節できます。

消音設定

ナビゲーションの音声案内やハンズフリー通話の着信などの場合に、一時的にオーディオの音量を絞ったり、消したりして音声を聞き取りやすくすることができます。
工場出荷時は以下のとおりです。
消音タイミング：「ON」
消音レベル：「-20dB」

1 消音設定 にタッチする (→V-1)

2 お好みの設定にタッチする

消音タイミング

ON	音声案内利用時にオーディオの音量を下げます。
OFF	オーディオの音量を下げません。

消音レベル

-10dB	音量が1/3になります。
-20dB	音量が1/10になります。
MUTE	音量が0になります。

車速連動ボリューム

車速連動ボリュームは、走行速度に応じて音量をリアルタイムに補正し、快適な聴き心地を保ちます。
工場出荷時は「OFF」です。

1 車速連動ボリューム にタッチする(→V-1)

2 お好みの感度にタッチする

OFF、LOW、MID LOW、MID、MID HIGH、HIGHから選んでタッチします。
感度にタッチすると色が変わり、選択（ON）されたことを示します。

メモ

- 本機能が働いて音量が上がりすぎたとき、音が歪むことがあります。その場合は、音量を調整するか、感度を下げてください。
- 車速連動ボリュームに連動して案内音量・操作音量・受話音量・着信音量の音量も変化します。

Dolby Pro Logic Ⅱ

Dolby Pro Logic Ⅱとは、ドルビーラボラトリーズ社独自のマトリックスデコーダーで、CDなどのステレオ音声やドルビーサラウンドエンコードされたステレオ音声をサラウンド化して再生する技術です。

工場出荷時は「OFF」です。

メモ

- サウンドフィールドコントロール、サウンドレトリバー、および、オートレベルコントロールのすべてがOFFのときに設定できます。

1 Dolby Pro Logic Ⅱ にタッチする(→V-1)

2 お好みの設定にタッチする

MUSIC ADJUST	MUSIC ADJUSTの設定画面に切り換わります。MUSIC 選択時に設定できます。→*「MUSIC ADJUSTの設定」(V-6)*
OFF	設定を解除します。
MOVIE	映画やテレビドラマなどのステレオ音声をサラウンド録音に迫る立体的な音で楽しめます。
MUSIC	広く深い音場を再現し、音楽などを臨場感豊かに楽しめます。またパラメーターを調整することで、お好みに合わせた空間を再現することができます。
MATRIX	方向性強調回路がオフになるため、シンプルなサウンド再生になります。FMやテレビなどのステレオ放送で受信状態が不安定な場合に向いています。

MUSIC ADJUSTの設定

音楽の再生に適したサラウンド効果を得ることができます。

1 MUSIC ADJUST にタッチする

2 お好みの設定にタッチする

PANORAMA	ON/OFFにタッチして選択します。シームレスで包み込まれるようなサラウンド効果を生み出すことができます。
DIMENSION	－/＋にタッチして操作します。音場の位置をフロント側、リア側に、－３～＋3の間で調整します。＋はフロント側(＋)に、－はリア（サラウンド）側(－)に音を移動します。

ダイナミックレンジコントロール

ダイナミックレンジとは、一番大きな音と一番小さな音の幅です。この幅を圧縮することで、音量を下げて楽しむ場合に小さな音も聞き取りやすくすることができます。工場出荷時は「OFF」です。

1 ダイナミックレンジコントロールにタッチする(→V-1)

2 ON または OFF にタッチする

ON	ダイナミックレンジコントロールを有効にします。
OFF	ダイナミックレンジコントロールを無効にします。

サウンドフィールドコントロール

車室内にリアルな音場を再現することができ、3つの音場空間を再現するプログラムが用意されています。

工場出荷時は「OFF」です。

メモ

- Dolby Pro Logic Ⅱとサウンドレトリバーが OFFのときに設定できます。

1 サウンドフィールドコントロール にタッチする（→V-1）

2 設定したい音場を選んでタッチする

OFF	音場設定をOFFにします。
JAZZ	ジャズクラブの音場を再現します。ライブ録音の音声に最適です。
STUDIO	演奏者を前にして聴くように、音が前方から聞こえるような音場を設定します。音楽ソフトを楽しむときに適しています。
CLUB	クラブの音場を再現します。残響音の響きが少ないので、ビートの効いた音楽などに最適です。

サウンドレトリバー

圧縮音楽の音質補正機能です。MSV、SD、USB、iPod、ROM-Audioなどに記録された圧縮音楽およびBluetooth Audioを再生するときに効果的です。圧縮音楽は、人の耳では聴こえにくい音の成分がカットされてしまいます。「サウンドレトリバー」はデジタル信号処理により残されたデータから圧縮時に失われた音を補完して、音楽の持つ余韻や躍動感、広がり感のある音を復元して再生することができます。

工場出荷時は「OFF」です。

メモ

- Dolby Pro Logic Ⅱ、サウンドフィールドコントロール、および、オートレベルコントロールのすべてがOFFのときに設定できます。

1 サウンドレトリバー にタッチする（→V-1）

2 MODE1 または MODE2 にタッチする

OFF	音質補正設定を解除します。
MODE1	圧縮率の低い圧縮音楽に適しています。
MODE2	圧縮率の高い圧縮音楽に適しています。

メモ

- 地上デジタルテレビ、FM、AM、交通情報受信中の場合は効果がありません。

リスニングポジション

乗車位置や乗車人数に合わせて、聴く位置を選択することができます。

工場出荷時は「OFF」です。

1 リスニングポジション にタッチする（→V-1）

2 お好みのポジションにタッチする

OFF	設定を解除します。
オール	同乗者が後部座席にいるときの設定です。
フロント	同乗者が助手席にいるときの設定です。
フロントL	助手席を中心とした設定です。
フロントR	運転席を中心とした設定です。

タイムアライメント

タイムアライメントは、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調整することで、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調整する機能です。

メモ

- リスニングポジションをフロントLまたはフロントRに設定しているときのみ設定できます。
- 通常は車形選択にて適用された設定で使用することを推奨します。

1 タイムアライメント にタッチする（→V-1）

2 各スピーカーの < または > にタッチして設定する

▼

タッチするごとに、スピーカーからの距離が0cm ～ 500.0cmの間で2.5cm単位で切り換わります。

初期値に戻す	車形選択にて適用された規定値に戻します。
TA OFF/ TA OFF解除	TA OFFにタッチするとタイムアライメント設定を無効にします。TA OFF解除にタッチするとタイムアライメント設定を有効にします。

オーディオの設定 V

オートレベルコントロール

音楽ファイルやAVソースごとに異なる音量差を補正します。
工場出荷時は「OFF」です。

メモ

- Dolby Pro Logic Ⅱとサウンドレトリバーの両方がOFFのときに設定できます。

1 オートレベルコントロール にタッチする（→V-1）

2 お好みのモードにタッチする

OFF	設定を解除します。
MODE1	音質を優先して音量差を補正します。
MODE2	音量を一定にすることを優先して音量差を補正します。

スピーカー設定

スピーカー接続の有無や接続したスピーカーのサイズ（低音域再生能力）を設定することができます。この設定により、スピーカーを接続していないために再生できないチャンネルの音を他のスピーカーから出力させることができます。

工場出荷時の値は、フロント／リアともに「LARGE」です。

1 スピーカー設定 にタッチする（→V-2）

2 各スピーカーの < または > にタッチして設定する

▼

タッチするごとに、以下のように切り換わります。

フロント	SMALL←→LARGE
リア	LARGE←→SMALL←→OFF

メモ

- リアスピーカーを接続していないときは、リアを「OFF」にしてください。
- フロントまたはリアスピーカーに低音再生能力がある限り、スピーカー設定は「LARGE」を選んでください。フロントとリア両方のスピーカー設定を「SMALL」にすると、低音が不足した感じになることがあります。

スピーカーサイズについて

スピーカーのサイズは、100Hz以下の周波数帯域を再生可能かどうかが目安になります。再生可能な場合は「LARGE」に、再生不可能な場合は「SMALL」に設定してください。

スピーカー出力レベル

各スピーカーからの出力レベルを調整することができます。工場出荷時は「0dB」です。

また、テストトーンを聴きながら出力レベルを調整することができます。*「テストトーン」（→V-10）*

メモ

- *スピーカー設定（→V-9）*でOFFにしたスピーカーは操作できません。

1 **スピーカー出力レベル にタッチする(→V-1)**

2 **設定したいスピーカーの、< または > にタッチして設定する**

▼

タッチするごとに、スピーカーの出力が－24dB ～＋ 10dBの間で切り換わります。

テストトーン

テストトーンを聴きながら各スピーカーからの出力レベルを調整し、全体のバランスを整えます。

1 **テストトーン にタッチする(→V-10)**

2 **開始 にタッチする**

▼

約2秒間ずつ､以下の順番で各スピーカーからテストトーンが出力されます。

フロントL→フロントR→リアR→リアL→フロントLに戻る

テストトーン出力中のスピーカーには、<、>が表示され、調整が可能になります。

3 **< または > にタッチする**

▼

タッチするごとに、スピーカーの出力が－24dB ～＋ 10dBの間で切り換わります。このモードで調整した出力レベルは、スピーカー出力レベル設定で調整したレベルと同じ値になります。

メモ

- スピーカー設定で「OFF」にしたスピーカーは飛び越されます。
- 停止 にタッチすると、テストトーンの出力を停止することができます。
- 戻る にタッチすると、スピーカー出力レベル設定画面に戻ります。

カットオフ

スピーカー設定(→V-9)で「SMALL」が選択されているスピーカーから出力される周波数帯域を設定することができます。

工場出荷時の設定は、フロント／リアともに以下のとおりです。

周波数	100Hz
スロープ	-12dB
ミュート	OFF

1 **カットオフ にタッチする(→V-2)**

2 設定したいスピーカーの（フロント、または、リア）にタッチし、< または > にタッチして設定する

▼

タッチするごとに、以下のように切り換わります。

周波数	50Hz⇔63Hz⇔80Hz⇔100Hz⇔125Hz⇔160Hz⇔200Hz
スロープ	-18dB⇔-12dB⇔-6dB
ミュート	OFF⇔ON

メモ

- スピーカー設定で「OFF」を設定したスピーカーは設定できません。また、スピーカー設定で「LARGE」を設定したスピーカーは、周波数とスロープの設定ができません。
- ミュートがOFFのとき、周波数は「THROUGH」スロープは「PASS」になります。

ノイズアッテネーター

イコライザーカーブなどの調整による音の歪みを低減します。通常はHIGHで使用することを推奨します。ノイズが気になる場合はLOWにします。

メモ

- AVソースがOFFのときのみ、ノイズアッテネーターの設定ができます。
- Linkwithが有効な場合、ノイズアッテネーターの設定はできません。

1 ノイズアッテネーター にタッチする（→V-2）

2 HIGH または LOW にタッチし、設定を切り換える

カメラを使う

別売のバックカメラ／フロントカメラ／サイドカメラを接続すると、車の後方／前方両側／左前方の映像を本機のモニター画面で確認することができます。
また、複数のカメラを組み合わせてお使いになる場合は、カメラの映像を切り換えて使用することができます。
カメラをお使いになる場合は、あらかじめカメラの入力設定を行ってください。
→「カメラの入力設定をする」（H-28）

バックカメラの映像を表示する

後退中は、バックカメラの映像が表示されます。

注意

- **バックカメラの映像だけを見ての後退は絶対に行わないでください。後退するときには、直接目で後方を確認しながら後退を開始してください。バックカメラの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。**

1 シフトレバーをR（リバース）の位置にする

▼

バックカメラの映像が表示されます。

擬似バンパーライン

メモ

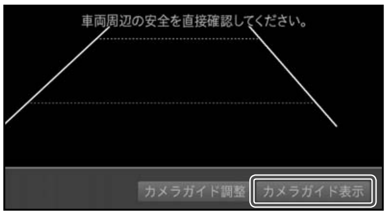
- バックカメラの映像を表示している間は、車両周辺確認のメッセージが表示されます。
- バックカメラの映像を表示中に［メニュー］を長く押すと、画質調整画面（*→Z-11*）が表示され、画質を調整することができます。
- 擬似バンパーライン表示（*→H-28*）をONに設定している場合は、バックカメラの映像表示中に擬似バンパーラインが表示されます。

バックカメラ映像のガイド線の表示／非表示を設定する

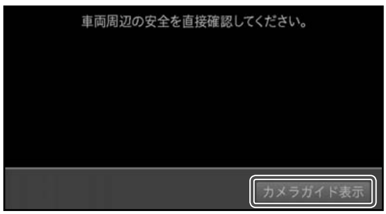
1 バックカメラの映像表示中に画面にタッチする

2 **カメラガイド表示** にタッチする

タッチするごとにカメラガイド線の表示／非表示が切り換わります。



▲
▼



メモ

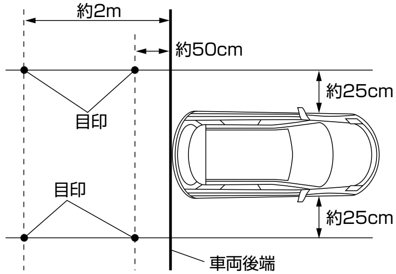
- **カメラガイド表示** と **カメラガイド調整** は、何も操作しないと約4秒で消えます。画面にタッチすると再表示します。

バックカメラ映像のガイド線を調整する

注意

- ガイド線調整をする際には、車を安全な場所に停車して行ってください。
- 車を降りて目印を付ける際には、必ず車のキースイッチを OFF にしてエンジンを停止してください。

1 車両の幅＋両側約25 cm、車両後端から後ろ側へ＋約50 cmと＋約2 mの位置にガムテープなどで目印をつける

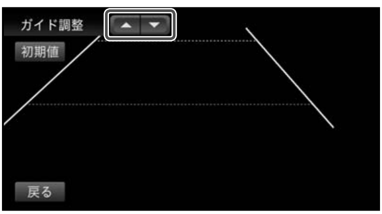


2 パーキングブレーキを引いて カメラガイド調整 にタッチする

メモ

- あらかじめガイド線を表示しておいてください。(→W-1)

3 ▲ または ▼ にタッチする

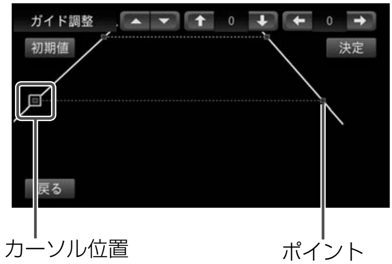


初期値	工場出荷時の状態に戻します。
戻る	ガイド調整を終了します。

▼

調整ポイント選択画面が表示されます。

4 カーソル位置を選択してポイントを調整する



初期値	ポイントを調整前(前回保存した状態)の位置へ戻します。
決定	設定を保存して、手順 3 の画面に戻ります。
戻る	設定を破棄して、手順 3 の画面に戻ります。
▲／▼	現在のカーソル位置の調整結果を保存し、赤 (L) ↔ 赤 (R) ↔ 緑 (L) ↔ 緑 (R) の順にカーソル位置を変更します。
⬆／⬇／⬅／➡	選んだカーソル位置のポイントを上下左右に動かします。

注意

- バックカメラが映し出す範囲には限界があります。またバックカメラの画面上に表示される車幅・距離ガイド線は、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります。(ガイド線は直線となります。)
- 夜間や暗い場所など、使用状況により画質が低下する場合があります。

バックカメラとサイドカメラの映像を切り換える

1 バックカメラ映像表示中に C (カスタムボタン)を押す

▼

C (カスタムボタン) を押すごとに、次のように映像が切り換わります。
バックカメラ映像⇔サイドカメラ映像

メモ

- フロントカメラの映像に切り換えることはできません。

バックカメラの映像を解除する

1 シフトレバーをR (リバース) 以外の位置にする

▼

バックカメラの映像が解除されます。

メモ

- サイドカメラの映像のときに手順 1 の操作をしても、サイドカメラの映像は解除されません。
- サイドカメラの映像を解除したい場合や、シフトレバーがR (リバース) 位置のときにバックカメラの映像を解除したい場合は、現在地／AV／メニュー／⏏を押します。

フロントカメラ／サイドカメラの映像を表示する

前進・停車中は、フロントカメラ映像およびサイドカメラ映像を切り換えて表示できます。

注意

- **フロントカメラ／サイドカメラの映像だけを見ながらの運転は、絶対に行わないでください。前進、右左折するときは、直接目で周囲の安全を確認し、ゆっくりした速度で運転してください。**

1 C (カスタムボタン)を押す

▼

C (カスタムボタン) を押すごとに、次のように映像が切り換わります。
フロントカメラ映像⇔サイドカメラ映像

メモ

- フロントカメラ／サイドカメラの映像を表示している間は、車両周辺確認のメッセージが表示されます。
- フロントカメラ／サイドカメラの映像を表示中にメニューを長く押すと、画質調整画面 (→ Z-11) が表示され、映像を調整することができます。
- サイドカメラの映像は法規上ナビゲーションのモニターに表示できない車両があります。

フロントカメラ／サイドカメラの映像を解除する

1 現在地／AV／メニュー／⏏を押す

▼

フロントカメラ／サイドカメラの映像が解除されます。

携帯電話を使う

本機と携帯電話をBluetooth接続すると、本機の電話機能を使うことができます。

ハンズフリー通話をする

本機に携帯電話をBluetooth接続すると、ハンズフリー通話を行うことができます。

メモ

- 通話相手の音声が聞き取りやすいように、受話音量を調整してください。*(→H-15)*

注意

- **安全運転のため、運転中の通話はできるだけ避けてください。やむを得ず走行中に通話をする場合は、周りの安全を十分に確認して通話は手短かに終了するようにしてください。**

ハンズフリー通話をするには

Bluetoothに対応した携帯電話が必要です。また、事前に携帯電話を本機に登録しておく必要があります。詳しくは *「Bluetooth設定をする」(→H-7)* をご覧ください。

メモ

- Bluetooth対応の携帯電話をお使いになるときは、必ず *「Blurtooth機器使用上のご注意」(→H-8)* をよくお読みください。
- 本機は、インターネット電話、割込通話および三者通話サービスには対応していませんので、携帯電話側で操作してください。なお、割込通話や三者通話サービスのご利用中に本機を操作すると、通話が切れることがあります。
- ハンズフリー機器として登録した携帯電話を2台接続している場合は、1台が使用中（発信中、着信中、通話中）で、もう1台が使用（発信、着信、通話）しようとすると、その動作を自動的に切断します。

ハンズフリー通話でエコー（残響音）が気になるときは

エコーは相手の声が車両スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生します。スピーカーからの声がマイクに入らないようにすることでエコーを軽減できます。また、電話回線状況、使用する携帯電話、通話相手の環境によりエコーが発生する場合もあります。
以下のような方法でエコーを軽減できる場合があります。

- 受話音量を小さくする *(→「ナビゲーションの音量を設定する」(H-15))*
- お互いに一呼吸おいて話す

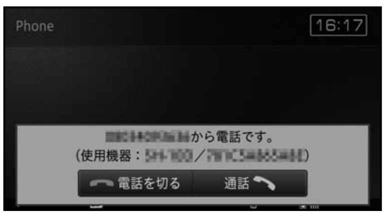
ただし、ナビ本体内部のエコーキャンセラーのしくみ上、完全にエコーをなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で話すとさらに聞き取りにくくなります。

メモ

- 通話中メニューで受話音量を調整することもできます。*(→X-5)*
- 携帯電話によっては、一部機能が制限される場合があります。詳しくは、販売店へお問い合わせください。

電話の受けかた

電話がかかってくると、以下のような電話の着信を案内するメッセージが表示され、着信案内の音が流れます。



［通話］にタッチすると電話がつながり、通話することができます。

メモ

- 電話が着信すると“トゥルルルルル”という音が一度鳴って、着信を知らせます。
- 一部の携帯電話では、着信音がスピーカーから出力されないことがあります。
- 登録地に登録されている電話番号と一致すると、その地点の名称が表示されます。
- メモリダイヤル *(→X-2)* に登録されている電話番号と一致すると、メモリダイヤルで登録された名称が表示されます（登録地とメモリダイヤルの電話番号が同一の場合は、登録地の名称が表示されます）。
- 発信者番号通知サービスの利用状況によっては、かけてきた相手の電話番号や名前は表示されません。
- 携帯電話のボタンを押して電話に出ることもできます。
- 携帯電話側で応答保留にしても、 通話 にタッチすることで応答保留を解除できます。
- **電話を切る** にタッチすると、かかってきた電話を切ることができます。

ワイプで操作する場合：

電話着信中は、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、*「ワイプ操作」(→B-7)*をご覧ください。

→ワイプ	通話することができます。
←ワイプ	電話を切ります。

電話のかけかた

いろいろな方法で電話をかけることができます。

1 **メニュー を押し、 携帯電話 にタッチする**

2 **電話をかける方法にタッチする**

ダイヤル発信	電話番号を入力して電話をかけます。*(→X-3)*
メモリダイヤル	本機に読み込まれた携帯電話のメモリダイヤルリストを呼び出して電話をかけます。*(→X-3)*
発着信履歴	本機と携帯電話を接続時に発信、着信（不在着信含む）した履歴を表示し、電話をかけることができます。*(→X-3)*
リダイヤル	直前にかけた電話番号へリダイヤルします。*(→X-4)*
販売店	メンテナンス情報に登録した販売店 *(→X-4)* に電話をかけることができます。
自宅	自宅の電話番号に電話をかけることができます。*(→X-4)*

メモ

- 携帯電話のメモリダイヤルを本機に読み込んでいない場合は、**メモリダイヤル**は選択できません。
- Bluetooth Audio再生中に電話をかけるまたはメモリダイヤルを読み込む場合は、Bluetooth Audioの再生中止確認画面が表示されますので、**はい**にタッチしてください。
- 発信中、通話中は、画面左上に電話機のマークまたは通話中メニュー *(→X-5)* が表示されます。
- 販売店の電話番号を登録していない場合は、**販売店**は選択できません。
- 自宅の電話番号を登録していない場合は、**自宅**は選択できません。

電話番号を入力して電話をかける

1 ダイヤル発信 にタッチする (→X-2)

2 電話番号を入力し、発信 にタッチする

▼

相手先に電話が発信されます。

メモ

- 携帯電話でダイヤルすることもできます。（携帯電話によっては、ハンズフリーにならない場合があります。）

メモリダイヤルを呼び出して電話をかける

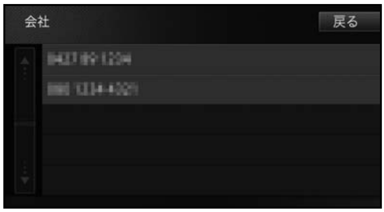
メモ

- メモリダイヤルは、本機に登録された携帯電話ごとに読み込まれます。接続する携帯電話を切り換える *(→X-10)* と、表示されるメモリダイヤルの内容も切り換わります。

1 メモリダイヤル にタッチする (→X-2)

2 相手先を選んでタッチする

3 選んだ相手先に含まれる電話番号を選んでタッチする



4 はい にタッチする

▼

相手先に電話が発信されます。

発着信履歴から電話をかける

1 発着信履歴 にタッチする (→X-2)

2 表示したい履歴を選んでタッチする

▼

選んだ履歴がリスト表示されます。

3 相手先を選んでタッチする

▼

相手先に電話が発信されます。

リダイヤルで電話をかける

1 リダイヤル にタッチする (→X-2)

▼

発信確認のメッセージが表示されます。

2 はい にタッチする

▼

相手先に電話が発信されます。

メモ

- カスタム設定 *(→H-29)* で「リダイヤル」を割り当てている場合は、C（カスタムボタン）を押して操作することもできます。

地図に登録された電話番号にかける

検索した施設情報に収録されている電話番号や登録地に登録されている電話番号に電話をかけることができます。

1 場所を探して(→D-1)施設の詳細情報(→D-8)を表示させる

2 発信 にタッチする

▼

登録されている電話番号にダイヤルします。

登録した販売店に電話をかける

メンテナンス情報に登録した販売店に電話をかけることができます。

1 販売店 にタッチする (→X-2)

▼

発信確認のメッセージが表示されます。

2 はい にタッチする

▼

登録した販売店に電話が発信されます。

自宅に電話をかける

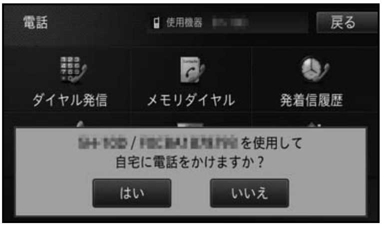
自宅の情報に登録した電話番号に電話をかけることができます。

1 自宅 にタッチする(→X-2)

▼

発信確認のメッセージが表示されます。

2 はい にタッチする



▼

自宅に電話が発信されます。

通話中メニューの操作

通話中は、通話中メニューが自動的に表示され、受話音量の調整やハンズフリー機能のON/OFF、電話を切る操作を行うことができます。

電話を切る	電話を切ります。
閉じる	通話中メニューを閉じます。
ハンズフリー	タッチするごとにハンズフリー機能をON/OFFします。ONのときはランプが点灯します。OFFのときはランプが消灯します。
ミュート	タッチするごとに送話のミュート機能をON/OFFします。ONのときはランプが点灯します。OFFのときはランプが消灯します。
トーン入力	ダイヤルトーン画面が表示されます。数字、＊、＃を入力できます。
送話音量	送話音量画面が表示されます。1～9の範囲で送話音量を設定できます。工場出荷時の値は「3」です。－にタッチすると送話音量を下げます。＋にタッチすると送話音量を上げます。
受話音量	受話音量を0～31の範囲で設定できます。工場出荷時の値は「17」です。－にタッチすると受話音量を下げます。＋にタッチすると受話音量を上げます。

メモ

- ハンズフリー機能をOFFにすると、本機と携帯電話とのワイヤレス接続が切断される場合があります。
- 閉じる にタッチして通話中メニューを閉じた場合、画面左上の［　］にタッチすると通話中メニューを再表示することができます。
- 携帯電話で電話を切ることもできます。

携帯電話情報を編集する

メモリダイヤルの読み込みや消去、各履歴の消去を行うことができます。

1 メニュー を押し、携帯電話 にタッチする

2 編集・消去 にタッチする

▼

編集・消去メニューが表示されます。

メモリダイヤル	メモリダイヤルの読み込みや消去を行います。(→X-6)
発信履歴消去	発信履歴を消去します。(→X-7)
着信履歴消去	着信履歴を消去します。(→X-7)
不在着信履歴消去	不在着信履歴を消去します。(→X-7)
メモリダイヤル転送設定	メモリダイヤルと発着信履歴を自動的に本機に転送できます。(→X-8)

メモリダイヤルを読み込む

メモリダイヤル機能を使用するには、事前に携帯電話に登録されているメモリダイヤルを本機に読み込んでおいてください。
携帯電話から最大1 000件のデータを本機に読み込むことができます。

メモ

- Bluetooth Audio再生中に携帯電話からメモリダイヤルを読み込む場合は、Bluetooth Audioの再生中止確認画面が表示されますので、はいにタッチしてください。
- メモリダイヤル自動転送設定がONの場合は、メモリダイヤルを読み込むことはできません。(→X-9)
- お使いの携帯電話によっては、メモリダイヤル転送に対応していない場合があります。
- 名前、電話番号のデータを読み込むことができます。
- メモリダイヤルは、本機に登録された携帯電話ごとに読み込まれます。接続する携帯電話を切り換える(→X-10)と、表示されるメモリダイヤルの内容も切り換わります。
- 読み込んだデータは本機内蔵のメモリーに保存されます。
- 読み込んだメモリダイヤルを編集することはできません。
- メモリダイヤルの消去方法は、「メモリダイヤルを消去する」(→X-7)を参照してください。
- 電話番号の登録状態や機種によって、全データを読み出せない場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

1 メモリダイヤル にタッチする (→X-6)

2 読み込み にタッチする

メモ

- すでに読み込んだデータがある場合は、上書き読み込み または 追加読み込み を選んでください。

3 携帯電話を操作して、メモリダイヤルを転送する

▼

メモリダイヤルが本機に読み込まれます。
読み込みが完了するとメモリダイヤルリスト画面に戻り、読み込んだデータをメモリダイヤルとして使用することができるようになります。

メモ

- メモリダイヤルと発着信履歴を自動的に本機に転送することもできます。(→X-9)
- メモリダイヤル読み込みを行う際は、接続されている携帯電話からメモリダイヤル転送の操作(携帯電話により異なりますが、全件転送、1件転送などがあります)が必要です。
- PBAP接続(→H-8)に対応した携帯電話の場合、読み込みにタッチした時点で、携帯電話側の操作なしで本機にメモリダイヤルが読み込まれます。お使いの携帯電話によってはアクセス許可を認めるかの表示が携帯電話側に表示されます。またPBAP接続の場合には自動で上書き読み込みされます。追加読み込みはできません。

- メモリダイヤルの転送が終了すると、追加読み込みを行うかどうかのメッセージが表示されます。追加で読み込む場合は、**はい** にタッチしてください。
- 保存される情報の種類や文字数、メモリー件数は、携帯電話によって異なります。
- お使いの携帯電話によっては携帯電話のシークレット機能により登録されたメモリダイヤルも読み込まれます。
- 携帯電話の自局番号もメモリダイヤルと同時に読み込まれる場合があります。

メモリダイヤルを消去する

不要になったメモリダイヤルを消去することができます。

メモ

- 本機に記録されているメモリダイヤルが消去されます。接続した携帯電話側のメモリダイヤルおよび履歴情報は消去されません。
- 消去可能なメモリダイヤルは、現在本機に接続中の携帯電話から読み込んだもののみです。接続する携帯電話を切り換える（→X-10）と、消去可能なメモリダイヤルの内容も切り換わります。
- メモリダイヤルの消去中は、メモリダイヤル機能（→X-6）が使用できません。
- メモリダイヤル自動転送設定がONの場合は、メモリダイヤルを消去することはできません。（→X-9）

1 **メモリダイヤル** にタッチする （→X-6）

2 **消去** にタッチする

3 消去したい電話番号にタッチする

▼

選んだ電話番号には、✓（チェックマーク）が付き、引き続き選ぶことができます。

メモ

- **全選択** にタッチするとすべての電話番号が選択されます。**全解除** にタッチすると、選択されている電話番号すべてを解除します。

4 **消去** にタッチする

▼

確認メッセージが表示されます。

5 **はい** にタッチする

▼

選んだ電話番号が消去されます。

メモ

- メモリダイヤルの消去には、数分かかる場合があります。
- メモリダイヤルの消去中は、本機の電源をOFF（エンジンスイッチをOFF）にしないでください。選択したデータが消去されない場合があります。

履歴情報を消去する

発信履歴、着信履歴、不在着信履歴情報を消去することができます。

メモ

- 接続する携帯電話を切り換えると、その携帯電話を使用したときの発着信履歴を消去することができます。
- 携帯電話の登録が削除された場合は、その携帯電話を使用したときの発着信の履歴も、自動的に削除されます。

- メモリダイヤル自動転送設定がONの場合は、履歴情報を消去することはできません。*(→X-9)*

1 消去したい履歴項目を選んでタッチする(→X-6)

2 消去したい履歴情報にタッチする

▼

選んだ履歴情報には、✓(チェックマーク)が付き、引き続き選ぶことができます。

メモ

- **全選択**にタッチするとすべての履歴情報が選択されます。**全解除**にタッチすると、選択されている履歴情報すべてを解除します。

3 消去 にタッチする

▼

確認メッセージが表示されます。

4 はい にタッチする

▼

選んだ履歴情報が消去されます。

メモリダイヤルと発着信履歴の自動転送を設定する

携帯電話に登録されているメモリダイヤルと発着信履歴を自動的に本機に転送することができます。

メモ

- 自動転送をONに設定した場合、手動でのメモリダイヤルの読み込みや消去、履歴情報の消去はできません。*(→X-7)*
- PBAP接続に対応していない携帯電話をお使いの場合は、自動転送はできません。
- 自動転送をONに設定した場合、本機の電源ON(ACC-ON)後の次回HFP接続から電話帳/履歴の自動転送を開始します。
- 自動転送開始時、携帯電話側で電話機へのアクセス許可要求を表示する機種があります。その場合、電話機操作しないとBluetooth Audioや他のプロファイルも接続されません。アクセス許可を要求された場合には「常に許可する」に設定してください。

メモリダイヤルと発着信履歴を自動転送する

1 メニュー を押し、携帯電話 にタッチする

2 編集・消去 にタッチする

携帯電話を使う X

3 **メモリダイヤル転送設定** にタッチする

4 **メモリダイヤル自動転送設定** にタッチする

▼

メモリダイヤル自動転送設定画面が表示されます。

ON	メモリダイヤルと発着信履歴を自動で転送します。
OFF	メモリダイヤルと発着信履歴を自動で転送しません。工場出荷時の値はOFFです。

メモリダイヤルと発着信履歴の自動転送完了表示を設定する

1 **メニュー** を押し、**携帯電話** にタッチする

2 **編集・消去** にタッチする

3 **メモリダイヤル転送設定** にタッチする

4 **メモリダイヤル自動転送完了表示** にタッチする

▼

メモリダイヤル自動転送完了表示設定画面が表示されます。

ON	メモリダイヤルと発着信履歴の自動転送が完了したときにメッセージを表示します。工場出荷時の値はONです。
OFF	メモリダイヤルと発着信履歴の自動転送が完了したときのメッセージを表示しません。

他の携帯電話に切り換える

ハンズフリー機器として登録した携帯電話を2台接続している場合、ハンズフリー通話に使用する携帯電話を切り換えることができます。

1 **メニュー を押し、携帯電話 にタッチする**

2 **使用機器切換 にタッチする**

▼

他の携帯電話に切り換わり、「使用機器」の表示が切り換わった携帯電話の名称になります。

メモ

- **使用機器切換** にタッチするたびに携帯電話を切り換えることができます。
- 切り換えられる携帯電話は、Bluetoothの設定(→H-7)で「ハンズフリー 1」「ハンズフリー 2」に登録した携帯電話です。
- **Bluetooth設定** にタッチするとBluetooth設定画面(→H-8)が表示されます。
- ハンズフリー機器として登録した携帯電話を2台接続している場合、使用機器に設定されていない携帯電話でも発信以外の着信および通話ができます。

パソコンリンクソフトを使う

パソコンリンクソフト「NAVI OFFICE 2」には、次の２つの機能があります。

MSVタイトルエディター

　MSV内の楽曲の情報をパソコン上で編集したり、楽曲情報を取得したりすることができます。

アップデートマネージャー

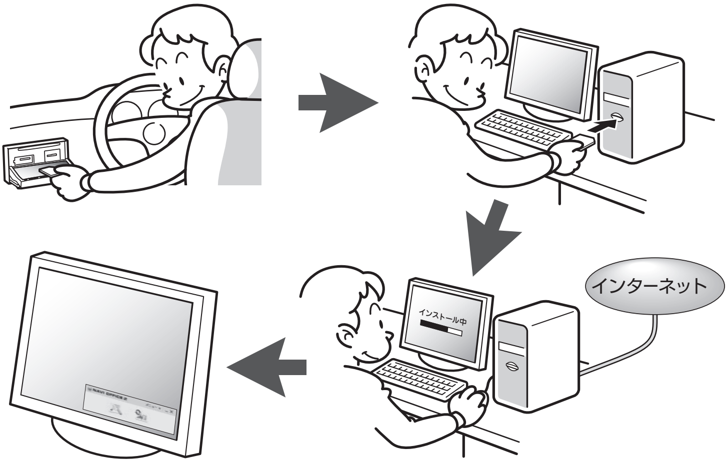
　最新の地図情報や更新プログラムをダウンロードして本機に反映することができます。

メモ

- お使いいただいているパソコンがSDHCカードに対応していない場合には、市販のUSBアダプタなどをご使用ください。

NAVI OFFICE 2のご利用について

NAVI OFFICE 2をご利用いただくには、本機およびインターネット接続が可能なパソコンを使ってセットアップ作業が必要となります。



NAVI OFFICE 2をパソコンにセットアップする

下記のURLにアクセスしてNAVI OFFICE 2のインストーラーをダウンロードし、パソコンにセットアップします。

http://entry.air-agent.jp/navioffice2/

NAVI OFFICE 2は、Microsoft® Windows® OSのみに対応しています。動作環境に関しては、上記ダウンロードページをご覧ください。

メモ

- あらかじめ、お使いのパソコンがインターネットに接続していることをご確認ください。
- セットアップの方法については、ダウンロードページにあるセットアップマニュアルをご覧ください。
- NAVI OFFICE 2の使い方については、NAVI OFFICE 2のヘルプをご覧ください。

NAVI OFFICE 2のランチャー画面

NAVI OFFICE 2を起動するとランチャー画面が表示されます。

メニュー▼	NAVI OFFICE 2のランチャーメニューが表示されます。
	MSVタイトルエディターを起動します。MSVタイトルエディターについては、*「MSVタイトルエディターの主な機能」(→Y-3)*を参照してください。
	アップデートマネージャーを起動します。アップデートマネージャーについては、*「アップデートマネージャーの主な機能」(→Y-3)*を参照してください。

MSVタイトルエディターの主な機能

本機でMSVに取り込んだアルバムや楽曲の情報を編集する機能です。ここでは、機能の概要を説明します。機能の詳細や操作方法は、MSVタイトルエディターのヘルプを参照してください。
MSVタイトルエディターが起動すると、メイン画面が表示されます。

メニュー▼	MSVタイトルエディターの操作メニューが表示されます。
編集	選択したアルバムや楽曲の情報を編集します。
削除	選択した楽曲を削除します。
取り消し	編集や削除の指示を取り消します。
楽曲情報取得	選択した楽曲の情報をインターネット経由でGracenoteデータベースから取得します。
デバイス	セットされているSDカードのドライブが表示されます。複数のSDカードをセットしている場合、ドロップダウンリストでドライブを選択できます。
Notitle楽曲情報の一括取得	楽曲情報が登録されていない楽曲の情報をインターネット経由でGracenoteデータベースから一括取得します。
SDカードへ反映	編集した情報や取得した情報をSDカードに反映します。

アップデートマネージャーの主な機能

更新データ取得関連の操作ができます。
アップデートマネージャーが起動すると、メイン画面が表示されます。

メニュー▼	ユーザー登録やアップデートマネージャーの操作メニューが表示されます。
開始▶ダウンロード▶SDカードへ転送▶完了	ダウンロードの進捗状況を示します。
ダウンロードデータサイズ	ダウンロードされる更新データのサイズを表示します。
ダウンロード所要総時間	ダウンロードに必要な時間の目安を表示します。
SDカード転送所要総時間	ダウンロードした更新データのSDカードへの転送に必要な時間の目安を表示します。
開始	更新データのダウンロードを開始します。

メモ

- 地図データの更新手順については、*「パソコンリンクソフトで地図データの更新を行う」（→ Y-6）*を参照してください。
- 地図SDをパソコンに挿入してから、アップデートマネージャーを利用してください。

お客様登録確認を行う

地図更新に関するサポートのため、ユーザー登録（→A-17）後は、取得したニックネームとパスワードを入力してお客様登録確認を行ってください。

メモ

- ユーザー登録を行っていない場合は、手順3の画面で「登録」をクリックしてユーザー登録を行ってください。
- 既に、ナビゲーション本体で「リアルタイイムプローブ初期登録」を行っている場合は、お客様登録確認は必要ありません。

1 地図SDをパソコンにセットする

2 「メニュー▼」－「お客様登録」をクリックする

3 ニックネームとパスワードを入力し、「OK」をクリックする

▼

お客様登録確認が完了します。

パソコンリンクソフトでMSVのタイトルを編集する

NAVI OFFICE 2のMSVタイトルエディターを使って、本機でMSVに取り込んだアルバムや楽曲の情報を編集します。

MSVのタイトルを編集する

1. **MSVを録音したSDカードを本機から取り出す（→B-14）**
2. **MSVを録音したSDカードをパソコンにセットする**
3. **MSVタイトルエディターを使ってタイトルを編集する**
4. **編集内容をSDカードに保存し、SDカードをパソコンから取り出す**
5. **編集内容を保存したSDカードを本機に挿入する（→B-13）**

パソコンリンクソフトで地図データの更新を行う

NAVI OFFICE 2のアップデートマネージャーを使って、地図SDカードに収録された地図データを最新の状態に更新することができます。

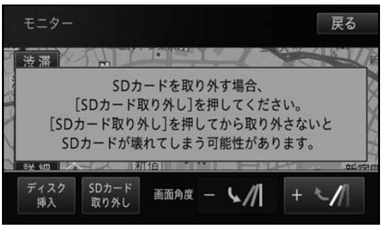
地図SDカードの更新を行う

メモ

- 本機に内蔵されている地図SDカード以外の市販SDカードでは、地図データは更新できません。
- 地図SDカードはSDHCカードです。お使いいただいているパソコンがSDHCカードに対応していない場合には、市販のUSBアダプタなどをご使用ください。

1 本機の［⏏］（オープン/イジェクトボタン）を押す

2 SDカード挿入 または SDカード取り外し にタッチする

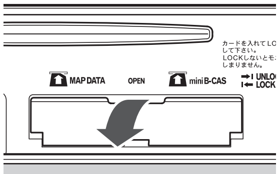


▼

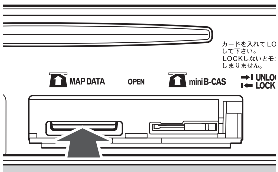
画面モニターが開きます。

3 本機の電源をOFF（エンジンスイッチをOFF）にする

4 スロットカバーを開ける

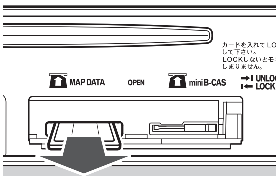


5 “カチッ” と音がするまで地図SDカードを押し込んで離す



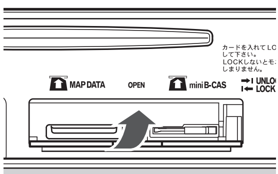
▼

地図SDカードが押し出されます。



6 地図SDカードをまっすぐ引き抜く

7 スロットカバーを閉じる



8 **本機の電源をON（エンジンスイッチをON）にする**

9 **[⏏]（オープン/イジェクトボタン）を押す**

▼

画面モニターが閉じます。

注意

- 画面モニターを開いたまま走行しないでください。

メモ

- 地図SDカードを完全に取り出していない状態またはスロットカバーを閉じていない状態で[⏏]（オープン/イジェクトボタン）を押さないでください。カードや本機を破損させるおそれがあります。また、地図SDカードは中央部をゆっくりと押して、まっすぐ取り出してください。

10 **地図SDカードをパソコンにセットする**

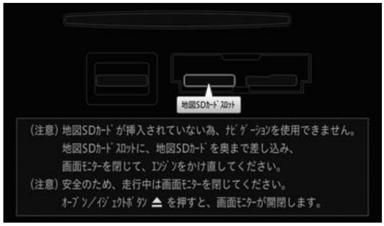
11 **アップデートマネージャーを使って地図データを更新する**

注意

- データ更新中に強制的に地図SDカードを抜かないでください。地図SDカードが使用できなくなる可能性があります。

12 **更新された地図SDカードをパソコンから取り出す**

13 **本機の電源がON（エンジンスイッチがON）の状態で本機の[⏏]（オープン/イジェクトボタン）を押す**

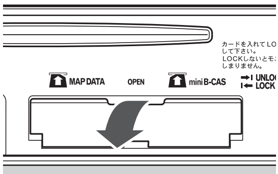


▼

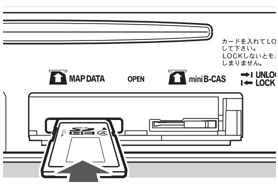
画面モニターが開きます。

14 **本機の電源をOFF（エンジンスイッチをOFF）にする**

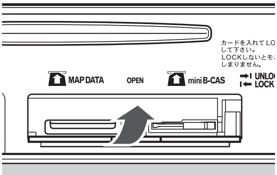
15 **スロットカバーを開ける**



16 **“カチッ”と音がするまで地図SDカードを差し込む**



17 スロットカバーを閉じる



18 本機の電源をON（エンジンスイッチをON）にする

19 ⏏（オープン/イジェクトボタン）を押す

▼

画面モニターが閉じます。

メモ

- 更新データによっては、メッセージが表示されます。画面に従って操作してください。
- 新しい地図SDに交換した際は、更新中アイコン *(→C-6)* が表示される場合があります。更新中は一部のAV機能がお使いになれません。更新作業が終了するまでお待ちください。

エコマネージャーを使う

エコマネージャーは、エコゲージやエコスコア（エコ情報）の履歴確認を行うメニューです。また、エコ運転の貢献度に応じて、いろいろな動物の画像を獲得（エコプライズ）することができます。

メモ

- エコゲージは「車速」「加速度」「勾配情報」から、エコスコアは「車速」「エコゲージ」から計算されます。センサー初期学習中の場合など、車速が算出されない状態ではエコゲージとエコスコアが正しく計算できない場合があります。

1 メニュー を押し、情報 ー エコマネージャー にタッチする

2 項目を選んでタッチする

エコスコア履歴	これまでにリセットした過去9件分と最新のエコスコア履歴を表示します。
平均エコゲージ履歴	これまでにリセットした過去9件分と最新のエコゲージ履歴を表示します。
エコプライズ	エコプライズのサムネイル画面を表示します。*(→Z-3)*

エコゲージについて

エコ情報表示画面では、使用中ユーザーのエコ運転をチェックできます。*(→C-8)*
エコゲージをバーの伸び縮みで表示します。エコな運転であるほど、メーターがHIGHに伸びます。
エコゲージを参考にして運転することで、エコ運転の向上が期待できます。

瞬間	瞬間のエコゲージを示しています。
平均	リセットしてから次にリセットをするまでの平均エコゲージを示しています。
エコスコア	画面表示をエコスコアに切り換えます。
リセット	エコスコアとエコゲージをリセットします。→ *「データのリセットについて」(Z-2)*
履歴	これまでにリセットした過去9件分と最新のエコ運転度履歴を表示します。

注意

- **エコゲージを参考にして運転する場合は、ナビ画面を注視せず、安全に十分注意して運転してください。**

メモ

- リセットを行うと、最新のエコゲージが履歴に追加保存されます。すでに履歴が9件ある場合には、一番古い履歴は削除されます。履歴を確認するには **履歴** にタッチしてください。
- 以下の場合、エコゲージは表示されません。
  - 交差点案内表示中 *(→E-10)*
  - レーン情報、方面看板表示中 *(→E-9)*
  - センサー初期学習中 *(→G-11)*

エコスコアについて

エコスコア画面では、走行シーン別に、ユーザーがエコ運転度を確認できます。
走行全体の評価は、100点満点のエコスコアで表現されます。
リセットしてから次にリセットをするまでの運転を評価します。*(→Z-2* **リセット** *)*

エコゲージ	画面表示をエコゲージに切り換えます。
リセット	エコスコアとエコゲージをリセットします。→ *「データのリセットについて」(Z-2)*
履歴	これまでにリセットした過去９件分と最新のエコスコア履歴を表示します。

注意

- **エコスコアを参考にして運転する場合は、ナビ画面を注視せず、安全に十分注意して運転してください。**

メモ

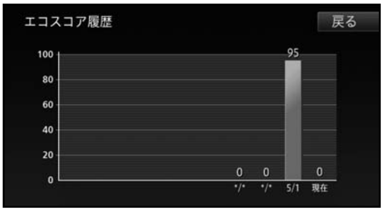
- 急な坂道など走行環境によりエコスコアが低く評価される場合がありますので、ご了承ください。
- エコスコアの点数に応じてポイントが加算され、エコプライズの獲得レベルが決まります。詳しくは *「エコプライズについて」(→Z-3)* をご覧ください。
- リセットを行うと、最新のエコスコアが履歴に追加保存されます。すでに履歴が９件ある場合には、一番古い履歴は削除されます。履歴を確認するには **履歴** にタッチしてください。
- 以下の場合、エコスコアは表示されません。
  - 交差点案内表示中 *(→E-10)*
  - レーン情報、方面看板表示中 *(→E-9)*
  - センサー初期学習中 *(→G-11)*

データのリセットについて

エコゲージ表示画面、エコスコア表示画面の **リセット** – **はい** にタッチすると、データをリセットできます。

エコスコア履歴について

車速とエコゲージから評価されたエコスコア履歴を表示します。

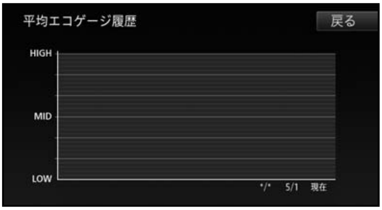


注意

- **エコスコア履歴を参考にして運転する場合は、ナビ画面を注視せず、安全に十分注意して運転してください。**

平均エコゲージ履歴について

エコ運転の平均を履歴表示してチェックすることができます。



注意

- **平均エコゲージ履歴を参考にして運転する場合は、ナビ画面を注視せず、安全に十分注意して運転してください。**

メモ

- 以下の場合、平均エコゲージ履歴は表示されません。
  - 交差点案内表示中 *(→E-10)*
  - レーン情報、方面看板表示中 *(→E-9)*
  - センサー初期学習中 *(→G-11)*

エコプライズについて

前日までのエコスコアの累積結果をポイント換算し、ポイントに応じたレベルの画像を表示します。

エコプライズサムネイル画面

サムネイル画像	選んだサムネイル画像の詳細画面を表示します。
◀◀／▶▶	エコプライズサムネイル画像を前ページ／次ページに送ります。

メモ

- エコスコアのポイントがレベルに達していない画像は ? と表示され、タッチするとエコプライズの詳細説明メッセージが表示されます。
- エコプライズで獲得した画像によっては、ユーザー設定の「ユーザーアイコン」、「操作音」、「誘導アイコン」で設定できます。ユーザー設定について詳しくは、*「パーソナライズ機能を利用する」(→Z-4)*をご覧ください。

エコプライズ詳細画面

戻る	エコプライズサムネイル画面に戻ります。

パーソナライズ機能を利用する

パーソナライズ機能とは、本機を家族間など複数人でお使いになる場合に、使用者（オーナー、ユーザー）のお好みによって異なる設定値（地図表示や音量設定など）を別々に登録しておき、使用者を切り換えることで、オリジナルな設定で本機を使用することができる機能です。
使用者は最大４名（オーナー１名、ユーザー３名）まで登録できます。（オーナーはあらかじめ登録されています。）
現在の使用者として選択されたオーナーやユーザー（1 〜 3）は、地図画面右下にユーザーアイコンとして表示されます。

メモ

- オーナーを削除することはできません。ただし、オーナー情報を設定・編集することはできます。
- ユーザー 1 〜 3を登録すると、本機の電源をON（エンジンスイッチをON）にした際、登録ユーザー選択画面が表示されるようになります。使用者がお１人だけの場合は、オーナー情報を設定・編集します。

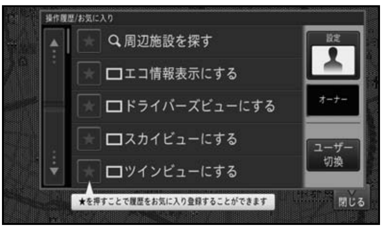
ユーザーの操作履歴／お気に入り画面を表示する

操作履歴／お気に入り画面では、操作履歴の表示および選択、ユーザーの登録や設定・切り換えなどを行うことができます。

1 地図画面でユーザーアイコンにタッチする

▼

操作履歴／お気に入り画面が表示されます。



★	選択中の操作履歴に★マークが表示され、お気に入りとして登録されます。お気に入りとして登録された操作履歴は、リストの上位に常に表示されます。再度★にタッチすると★マークが消灯し、お気に入り登録が解除されます。
リスト項目	過去30件分の操作履歴が表示されます。選択した操作を実行することができます。
設定ー ユーザー設定	使用者ごとの設定ができます。*(→Z-6)*
設定ー 履歴の消去	操作履歴の全消去ができます。
ユーザー切換	ユーザーの新規登録や切り換え、削除ができます。*(→Z-5)*

メモ

- お気に入りに登録されていない操作履歴は、30件を超えると古い順に上書きされていきます。
- お気に入り登録は、30件まで登録できます。
- 履歴消去を行うと、お気に入りを除いた全ての操作履歴が消去されます。

パーソナライズ設定画面を表示する

1 メニュー を押し、**設定・編集**－**共通設定** にタッチする

2 **パーソナライズ設定** にタッチする

▼

パーソナライズ設定画面が表示されます。

ユーザー切換	使用者の新規登録や切り換え、削除をします。*(→Z-5)*
ユーザー設定	使用者ごとの設定ができます。*(→Z-6)*

ユーザー切り換えメニューを使う

ユーザーを新規登録する

オーナー以外の使用者を、ユーザー１～３に登録することができます。

メモ

- すでにユーザー１～3が登録済みの場合、新規登録ができません。登録済みのユーザーを削除*(→Z-6)*してから操作してください。

1 **ユーザー切換** にタッチする（→Z-5）

2 **新規登録** にタッチする

▼

ユーザー設定画面が表示されます。

3 **ユーザー設定をする（→Z-6）**

4 **戻る** にタッチする

メモ

- 新規登録を行うと、登録完了後はそのまま現在の使用者として選択されます。

ユーザーを切り換える

登録されたユーザーごとの設定値や操作履歴を使うには、ユーザーを切り換えます。

1 **ユーザー切換** **にタッチする（→Z-5）**

2 **切り換えたいユーザーにタッチする**

▼

選んだユーザーに切り換わります。

ユーザーを削除する

オーナー以外の登録ユーザーを削除することができます。

1 **ユーザー切換** **にタッチする（→Z-5）**

2 **ユーザー削除** **にタッチする**

3 **削除したいユーザーにタッチする**

▼

確認メッセージが表示されます。

4 **はい** **にタッチする**

▼

ユーザーが削除されます。

メモ

- オーナーを削除することはできません。**ユーザー削除** でオーナーを選択すると、オーナーの設定を初期設定にすることができます。
- 現在選択中のユーザーを消去した場合、自動的にオーナーが選択状態になります。

ユーザー設定をする

使用者ごとに地図の表示方法の設定やナビゲーションの音量設定などが行えます。

1 **ユーザー設定** **にタッチする（→Z-5）**

▼

ユーザー設定 1/3画面が表示されます。

メモ

- ユーザー設定画面は3つに分かれています。1、2、3にタッチして画面を切り換えることができます。

ユーザー設定 1/3画面

アイコン	ユーザーアイコンを設定します。*(→Z-7)*
ユーザー名	ユーザー名を設定します。*(→Z-7)*
入力キーボード	文字入力時のキーボード設定をします。*(→Z-8)*

ユーザー設定 2/3画面

地図の文字拡大	地図の文字拡大のON/OFFを設定します。*(→Z-8)*
地図ビュー	地図の表示方法を設定します。*(→Z-8)*
ロゴマーク	地図表示するロゴマークを設定します。*(→Z-8)*
誘導アイコン	地図表示する誘導アイコンのパターンを設定します。*(→Z-9)*

ユーザー設定 3/3画面

音量	各音量を設定します。*(→Z-9)*
操作音変更	操作音を設定します。*(→Z-10)*
カスタムキー	C（カスタムボタン）に割り当てられている機能を表示します。タッチするとカスタム設定画面が表示されます。*(→Z-10)*

2 設定が終了したら、戻るにタッチする

ユーザーアイコンを設定する

ユーザーアイコンを20種類のアイコンから設定できます。設定したアイコンは、現在地画面に表示されます。

1 アイコンにタッチする (→Z-7)

2 お好みのアイコンにタッチする

メモ

- エコプライズで獲得したアイコン（最大12種類）を設定することもできます。エコプライズについて、詳しくは*「エコプライズについて」(→Z-3)*をご覧ください。

ユーザー名を設定する

お好みでユーザー名が設定できます。最大入力文字数は全角で7文字です。
工場出荷時は「オーナー」または「ユーザー（1～3）」です。

1 ユーザー名にタッチする (→Z-7)

2 ユーザー名を入力し、入力終了にタッチする

入力キーボードを設定する

2種類の入力パレット（50音入力とケータイ入力）から選んで行うことができます。
工場出荷時は「50音入力」です。

1 入力キーボード にタッチする（→Z-7）

2 50音入力 または ケータイ入力 にタッチする

3 戻る にタッチする

地図の文字情報を拡大する

地図画面上に表示される地名や施設名の文字を拡大表示することができます。
工場出荷時は「OFF」です。

1 地図の文字拡大 にタッチする（→Z-7）

2 ON または OFF にタッチする

3 戻る にタッチする

地図の表示方法を設定する

地図の表示方法を設定できます。表示方法の種類については、*「表示方法の種類」（→C-9）*をご覧ください。
工場出荷時は「ノーマルビュー」です。

1 地図ビュー にタッチする（→Z-7）

2 お好みの表示方法にタッチする

ロゴマークの表示を設定する

施設のロゴマークを地図上に表示させることができます。
工場出荷時は以下のとおりです。
　表示：「ON」
　表示種類：「3種類」

1 ロゴマーク にタッチする（→Z-8）

2 ロゴマークを表示させたいジャンルにタッチする

▼

地図画面に選択したジャンルのロゴマークが表示されます。

メモ

- その他のジャンルから選択するには、**全リスト**にタッチし、ジャンル、施設の順に選択してください。
- 表示設定が**表示：OFF**の場合は、**表示：OFF**にタッチして、表示設定を変更してください。

メモ

- ロゴマークの表示設定操作は、*「ロゴマークの表示設定をする」(→C-10)*と同様です。

誘導アイコンを設定する

目的地や立寄地などの誘導アイコンを設定できます。
工場出荷時は「パターン１」です。

1 誘導アイコンにタッチする(→Z-7)

2 お好みのパターンにタッチする

メモ

- エコプライズで獲得したアイコン（最大３種類）を設定することもできます。エコプライズについて、詳しくは*「エコプライズについて」(→Z-3)*をご覧ください。

音量を設定する

ナビゲーションの案内音量/操作音量/受話音量/着信音量/送話音量を設定できます。

1 音量にタッチする(→Z-7)

2 それぞれの項目を設定する

メモ

- 音量の設定操作は、*「ナビゲーションの音量を設定する」(→H-15)*と同様です。

操作音を変更する

画面や本体のボタンをタッチしたときに鳴る操作音を設定できます。
工場出荷時は「操作音 1」です。

1 操作音変更 にタッチする (→Z-7)

2 お好みの操作音にタッチする

リスト項目にタッチすると音が鳴り、確認することができます。

メモ

- エコプライズで獲得した操作音（最大3種類）を設定することもできます。エコプライズについて、詳しくは*「エコプライズについて」(→Z-3)*をご覧ください。

カスタムキーを設定する

本体の C （カスタムボタン）に割り当てる機能を設定します。
工場出荷時は「オーディオソースを切り換える」です。

1 カスタムキー にタッチする (→Z-7)

2 割り当てる機能にタッチする

メモ

- カメラ装着車は、カメラ画像表示をカスタムボタンで切り換えることができます。*(→W-3)*
- 詳しくは、*「カスタムボタンを設定する」(→H-29)*をご覧ください。

その他の操作 Z

画質を調整する

周囲の明るさや見る角度、映像に合わせて「黒の濃さ」、「コントラスト」、「明るさ」、「色温度」、「色の濃さ」、「色合い」を調整することができます。

メモ

- 車のライトに連動して昼と夜の設定を自動的に切り換えます。
- 「黒の濃さ」、「コントラスト」、「明るさ」、「アクティブコントラスト」の設定は、昼と夜で別々に設定できます。
- 「明るさ」と「色温度」以外の設定内容は、画面の種類ごとに別々に設定できます。
- 「色温度」は、LEDバックライトの経年劣化などの理由で、本機のモニターに表示している映像と実際の映像の色味に誤差が生じた場合などに調整します。
- バックカメラ、フロントカメラ、サイドカメラの映像表示中も、以下の操作を行うことで画質調整することができます。なお、映像の調整は、周囲の安全に十分配慮しながら行ってください。
- 走行中は操作できません。

1 調整したい映像の表示画面で、 メニュー を2秒以上押す

2 左右のタッチキーにタッチして調整する

メモ

- 画質調整画面は2ページに分かれています。 **1ページ** 、 **2ページ** にタッチして画面を切り換えることができます。

画質調整（1/2ページ）画面

黒の濃さ

□（白）	薄くなる
■（黒）	濃くなる

コントラスト（明暗）

低	白黒の差が小さくなる
高	白黒の差が大きくなる

明るさ

暗	暗くなる
明	明るくなる

アクティブコントラスト

ON	コントラストをリアルタイムに補正します。
OFF	リアルタイムでの補正を行いません。

メモ

- アクティブコントラストは、画面によっては表示されません。

画質調整（2/2ページ）画面

色温度

■（赤）	暖色系が強くなる
■（青）	寒色系が強くなる

色の濃さ

淡	薄くなる
濃	濃くなる

メモ

- 色の濃さは画面によっては表示されません。

色合い

■（赤）	赤くなる
■（緑）	緑になる

メモ

- 色合いは画面によっては表示されません。

3 戻る にタッチする

リアモニターを使う

リアモニター（後席専用モニター）装着車では、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。

リアモニター出力設定をする

本機に接続したリアモニターを使用できるように設定します。

メモ

- AVソースがOFFで、LinkwithモードがOFFのときのみ設定できます。
- リアモニター出力設定をONにした場合、本機に入力されるiPodビデオの映像はコンポジット映像となるため、OFF時に比べて本機に表示される映像は不鮮明になります。

1 **メニュー を押し、設定・編集 － ナビゲーション － システム設定 にタッチする**

2 **その他設定 にタッチする**

3 **リアモニター出力設定 にタッチする**

4 **ON にタッチする**

▼

リアモニター出力設定がONになります。

リアモニターに表示される映像について

○：表示します。 ×：表示しません。

TV	○
DVD	○
iPodビデオ	○
VTR	○
SD/USBの映像ファイル	×
Linkwith画面	×
HDMIの映像	×
ナビゲーション	×
バックカメラ	×
フロントカメラ	×
サイドカメラ	×
AVソース画面	×

注意

- **リアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない場所に設置してください。**

メモ

- 本機がLinkwith画面のときは、リアモニターにAVソースの映像は表示されますが、iPodでLinkwith接続をすると、iPodビデオの映像はリアモニターに表示されません。
- リアモニターに表示される映像は、本機のモニターに表示される映像と比べて不鮮明になります。また、その程度は接続されるモニターによっても異なります。
- 本機にハンズフリー接続された携帯電話で発着信中や通話中は、リアモニターに映像は表示されません。

リアモニターの設置場所について

リアモニター出力は、走行中/停車中に関係なく映像が出力されます。リアモニター出力に接続したリアモニターは、運転者が走行中映像を見ることができる位置には、設置しないでください。

著作権保護された番組を視聴する際のご注意

著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画すると、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、著作権保護の機能により、ビデオデッキを介してモニター出力した場合には、再生目的でも画質が劣化することがあります。これらは機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴するときは、ナビゲーションとリアモニターを直接接続してお楽しみください。

タッチパネルのタッチ位置を調整する

画面のタッチキーと実際に反応するタッチ位置にずれを感じたときなどに、調整することができます。(タッチパネルキャリブレーション)
調整には画面の２角と上下左右で行う調整と、画面全体で詳細に行う16点調整があります。

注意

- **必ず綿棒などの先のとがっていない物を使用して画面に軽く触れてください。**

メモ

- タッチパネル調整を途中で終了する場合は、[現在地]または[AV]を押してください。[現在地]を押した場合は、ナビゲーションの画面に戻り、[AV]を押した場合は、AV画面に戻ります。

1 [メニュー]を2秒以上押す

▼

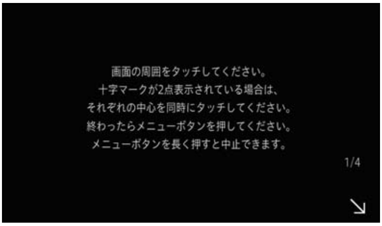
画質調整画面(→Z-11)が表示されます。

2 画質調整画面のまま[メニュー]を2秒以上押す

▼

タッチパネル調整画面が表示されます。

3 画面の右下→左上の順にタッチする



4 画面の上辺中央と下辺中央に表示される+マークの中心に同時にタッチする

5 画面の左辺中央と右辺中央に表示される+マークの中心に同時にタッチする

6 [メニュー]を押す

▼

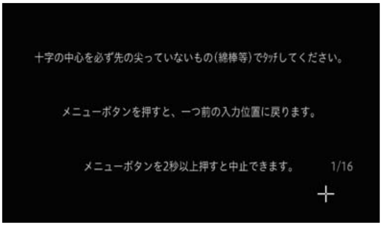
調整結果が保存されます。

7 もう一度[メニュー]を押す

▼

16点調整に進みます。

8 画面に表示される+マークの中心にタッチする



▼

16点タッチ後、画面に表示される+マークにタッチすると、調整結果が保存されます。

メモ

- 保存中はエンジンを切らないでください。
- 1つ前の調整に戻るには、[メニュー]を押してください。

9 [メニュー]を2秒以上押す

▼

調整を終了し、画質調整を行う前に表示していた画面に戻ります。

メモ

- タッチパネル調整が正しく実施できない場合は、販売店にご相談ください。

取り扱い上のご注意

液晶画面の正しい使いかた

取り扱い上のご注意

- 市販の液晶保護フィルムを貼ると、タッチパネルでの操作に支障が出ることがあります。
- 液晶画面は指定温度範囲内でお使いください。*(→付-33)*
- 直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。できる限り直射日光が当たらないようにしてください。
- 液晶画面は、車内での視認性向上のためにむき出しになっています。故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。
- キズや汚れの原因になりますので、液晶画面に触れるときは、必ず指先で触れてください。

液晶画面について

- 液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点（輝点）が出ることがあります。これは、液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。
- 周辺温度が低い状況でお使いになる場合は、液晶の特性上残像が目立ちやすくなり画質が劣化することがあります。周辺温度が高まれば通常画質に戻ります。

LEDバックライトについて

- 真夏の炎天下や、エアコンの温風が直接モニター部に当たってモニター部が高温状態になると、LED保護のため、自動的にバックライトの明るさを絞る場合があります。
- LEDバックライトの寿命は１万時間以上ですが、高温下でお使いになると寿命が短くなる場合があります。
- LEDバックライトが寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店にご連絡ください。

お手入れについて

- 液晶画面に付いたホコリや液晶画面の汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかいきれいな布でから拭きしてください。
- 液晶画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。液晶画面にキズが付くと映像が見づらくなります。
- 濡れたぞうきんや化学ぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

ディスクの正しい使いかた

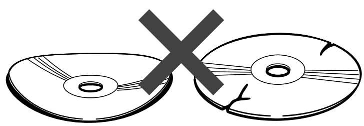
取り扱い上のご注意

- 下記マークのついたディスクをご使用ください。

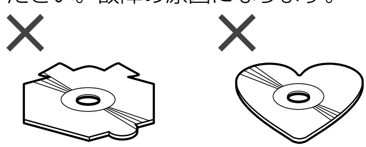
DVDビデオ　　CD

DVD VIDEO　　COMPACT disc DIGITAL AUDIO

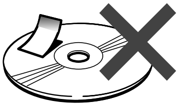
- ひび、キズ、そりのあるディスクを使用しないでください。



- 特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



- レーベル面に印刷ができるディスクを使用するときは、ディスクの説明書や注意書きを確認してください。ディスクによっては、挿入または取り出しができないものがあります。そのようなディスクを使用すると、本機の故障の原因になります。
- ディスクには、市販のラベルなどを貼りつけないでください。ディスクに反りが生じて、再生できなくなる原因になります。また、再生中にラベルがはがれると、ディスクが取り出せなくなり、本機の故障の原因になります。

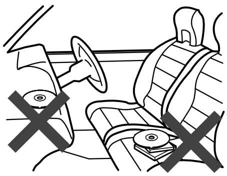


メモ

・製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

保管上のご注意

- ディスクは、直射日光の当たるところや高温になるところに、保管しないでください。



- ディスクがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

ディスク再生の環境について

- 走行中に振動でディスクのデータを正確に読み取れないことがあります。
- 低温時、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、本機内部のレンズやディスクに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然に露が取れるまでお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布で拭いてください。
- 高温になると保護機能が働き、ディスク再生が停止します。

外部再生機器に関するご注意

取り扱い上のご注意

- 外部再生機器を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本機と外部再生機器を組み合わせて使用する場合、外部再生機器は必ず固定してください。外部再生機器が落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。

電波に関するご注意

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また本機は日本国内のみで使用できます。
- 下記の事項を行うと法律に罰せられることがあります。
  - ＊分解 / 改造すること。
  - ＊本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。
- 本機の無線機能は、2.4GHz の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線LAN 機器など）が使用していますので、電波の干渉により、本機の無線機能の音声がとぎれたり聞きとりにくくなることがあります。また、他の機器の動

作や性能に影響を及ぼすことがあります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。

＊無線LAN を利用したAV 機器・防犯機器などを使用している環境で、本機の無線機能を使うと、声がとぎれたり、無線LAN 機器の動作に大きな影響を与えることがあります。

- その他、下記の機器でも、2.4GHz の周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、音声がとぎれたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。

＊火災報知機・ワイヤレスＡＶ機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）

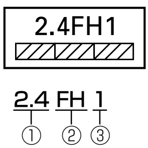
＊工場や倉庫などの物流管理システム・鉄道車両や緊急車両の識別システム

＊マイクロ波治療器・ゲーム機のワイヤレスコントローラー

＊自動ドア・万引き防止システム（書店やCD ショップなど）

＊自動制御機器・その他、Bluetooth® 対応機器やVICS（道路交通網システム）

＊アマチュア無線局など



①「2.4」GHz 帯を使用する無線設備を表します。

②「FH」変調方式を表します。

③「1」想定される与干渉距離（約10m）を表します。

本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、販売店にお問い合わせください。

再生できるディスクの種類

下記マークは、ディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。

本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

DVDビデオ　CD

- DVDオーディオディスクは再生できません。
- DVDビデオディスクでも、リージョン番号が異なるディスクは再生できません。
- DVDビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合や再生できない場合があります。
- DVD-R/RWディスクは、ビデオフォーマット（ビデオモード/VRモード）で記録されファイナライズされたもの、およびWMA/MP3/AACファイルが収録されたものに限り、再生することができます。
- ビデオフォーマット（ビデオモード／VRモード）で記録したDVD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ、露などにより、本機では再生できない場合があります。
- CD-EXTRAは、音楽CDとして再生することができます。
- コピーガード機能付きCD（Copy Control CDなど）は正式なCD規格に準拠していないため、再生できない場合があります。
- 音楽用CDレコーダーで録音したもの以外のCD-R/RWディスクは、正常に再生できない場合があります。
- CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかる場合があります。
- ファイナライズしていないCD-R/RWおよびDVD-R/RW（VRを含む）ディスクは、再生できない場合や再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。
- CD-R/RWおよびDVD-R/RW（VRを含む）ディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- DDCD（Double Density CD）形式で録音されたCD-R/RWディスクは再生できません。
- 音楽用CDレコーダーで録音した音楽用CD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- 直射日光や高温など、車内での保管状況により、再生できなくなる場合があります。
- PC（パソコン）で記録したディスクは、正しいフォーマットで記録されたものは再生できますが、アプリケーションソフトの設定や環境などによっては再生できない場合があります。（詳細についてはアプリケーションソフト発売元にお問い合わせください。）
- 本機は、音楽データ（CD）とWMA/MP3/AACデータ（ROM）のいずれかのデータが混在しているディスクの再生には対応していますが、再生される優先順位は以下の順となり、優先順位の高いもののみ再生されます。再生メディアの切り換えはできません。

  ① CD → ② ROM
- 以下のロゴは、本機がビデオレコーディングフォーマット（VRモード）で記録されたDVD-R/RWディスクの再生に対応していることを示しています。

ハイビジョン画質（AVCHD/AVCREC規格）で記録されたディスクについて

- 本機は、AVCHD/AVCREC規格に非対応のため再生できません。
- ディスクの取り出しができなくなる場合がありますので、AVCHD/AVCREC規格で記録されたディスクは入れないでください。

「DualDisc」の再生について

- 「DualDisc」は、片面にDVD規格準拠の映像やオーディオが、もう片面にCD再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- 「DualDisc」のDVDの面は再生可能です。
- DVD面ではないオーディオ面は、一般的なCDの物理的規格に準拠していないために再生できないことがあります。
- 「DualDisc」を再生機器に挿入をしたり、取り出しをしたりするときに再生面の反対側の面に傷が付く場合があります。傷が付いた面は再生すると不具合が起こる場合があります。
- ディスクを取り出せないといった不具合が起こる可能性がありますので「DualDisc」はご使用にならないでください。
- 「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

故障かな？と思ったら

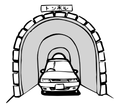
修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは、販売店にご相談ください。

ナビゲーション表示の誤差について

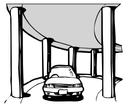
次のような状況のときは、ナビゲーション表示の誤差が大きくなることがあります。

GPS 測位不可による誤差

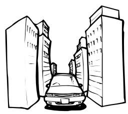
- 次のような場所にいるときは、GPS衛星の電波がさえぎられて受信できないため、GPSによる測位ができないことがあります。



トンネルの中や
ビルの駐車場



2層構造の高速道路
の下



高層ビルの群集地帯

密集した樹木の間

- GPSアンテナの近くで携帯電話を使っている電波障害の影響で、一時的にGPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
- GPSアンテナの上に物を置かないでください。感度が低下し電波を受信できなくなる事があります。

GPS 衛星自体による誤差

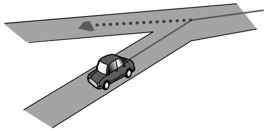
- GPS衛星は米国国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。

低速時の自車位置精度について

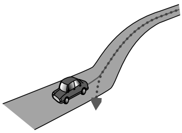
車種によっては数km/h程度の低速時に車速信号が出力されないものがあります。そのような車種では、渋滞中や駐車場（地下駐車場など）で数km/h程度の低速走行が続くと、自車位置が正確に表示されないことがあります。

その他の誤差について

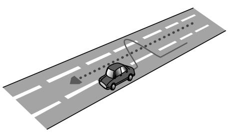
- 角度の小さなY字路を走った場合。



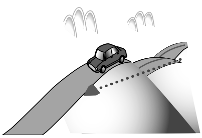
- 直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後。



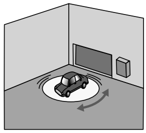
- 蛇行運転をした場合。



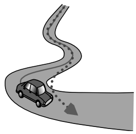
- 勾配の急な山道など、高低差のある道を走った場合。



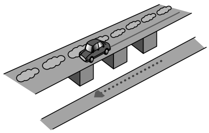
- 駐車場などで、ターンテーブルでの旋回を行った場合。



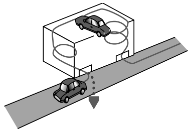
- ヘアピンカーブが続いた場合。



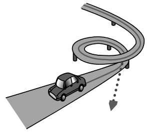
- 道路が近接している場合(有料道路と側道など)。



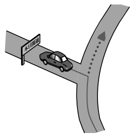
- 立体駐車場などで旋回や切り返しを繰り返した場合。



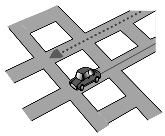
- ループ橋などを通った場合。



- 地図情報にはない新設道路を走った場合。



- 碁盤の目状の道路を走った場合。



- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合。
- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合。
- トンネルの中やビルの駐車場の中を走った場合。
- 2層構造の高速道路の下を走った場合。
- 高層ビルの群集地帯を走った場合。
- 密集した樹木の間を走った場合。
- 砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合。
- チェーンを装着したときや、サイズの違うタイヤに交換した場合。
- 渋滞などで、低速で発進や停止を繰り返した場合。

共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない、動作しない。	ノイズなどが原因で内蔵のマイコンが誤動作している。	販売店にご相談ください。
画面に何も表示されない。	ナビスタンバイ状態になっている。	画面にタッチしてナビスタンバイを解除してください。
液晶画面が暗い・見にくい。	「明るさ」の調整が適切でない。	「明るさ」を調整してください。*(→Z-11)*
E0000011、E000000Aの表示が出て、動作しない。	地図SDカードに異物などが付着し、SDカードのデータなどが読み込めない。	一度、地図SDカードの抜き差しをしてください。
	地図SDカード以外のSDカードが挿入されている。	地図SDカードスロットに挿入されているSDカードを確認して、地図SDカードを挿入してください。

ナビゲーション

症状	原因	処置
自車位置を測位できない。 測位誤差が大きい。	GPSアンテナの上に電波をさえぎる物を置いている。	GPSアンテナの上には何も置かないでください。
	3Dハイブリッドセンサーが正しく学習されていない。	3Dハイブリッドセンサーのメモリーをリセット*(→G-11)*して、学習をやり直してください。
自車位置がずれる。	測位誤差。	測位誤差の発生しやすい場所については、*「ナビゲーション表示の誤差について」(→付-6)*をご覧ください。
		3Dハイブリッドセンサーのメモリーをリセット*(→G-11)*して、学習をやり直してください。
ハンズフリー通話時に、通話相手側で響きが大きく聞こえる。	通話相手側の声（スピーカーからの音声）がマイクに入り込んでいる。エコーは相手の声が車両スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生します。	受話音量を小さくすることで改善できることがあります*(→「ナビゲーションの音量を設定する」(H-15))*。ただし、本機のしくみ上、完全に響き（エコー）をなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で喋るとさらに聞き取りにくくなりますので、普通の大きさの声で通話してください。
Bluetooth機器と接続できない。	本機がBluetooth機器と通信できない状態になっている。	Bluetooth機器の電源を入れ直すか、本機の電源をOFF/ON（エンジンスイッチをOFF/ON）してください。 あとからBluetooth機器の電源を入れたときは、1分ほどお待ちいただくか、*「Bluetooth機器の切り換えと、使用する機能を設定する」(→H-11)*の操作をして、Bluetooth接続するBluetooth機器を選択してください。

症状	原因	処置
踏切案内が遅れる。	道路形状、走行状態により踏切案内が遅れる場合があります。 故障ではありません。	踏切案内はON/OFFできます。→*「機能設定をする」(H-1)*
踏切がない場所で踏切案内がされる。	踏切案内は、ルート設定していない場合では、ナビが予測した進行方向に踏切がある場合に音声案内を行います。そのため、走行中の道路の先に踏切がない場合でも案内されることがあります。 故障ではありません。	踏切案内はON/OFFできます。→*「機能設定をする」(H-1)*

オーディオ

共通項目

症状	原因	処置
音が出ない。	音量が0になっている。	音量を上げてください。
	ミュートになっている。	ミュートを解除してください。
映像が出ない。	ナビスタンバイ状態になっている。	ナビスタンバイを解除してください。→*「画面を一時的に消す（ナビスタンバイ）」(B-9)*
モニターにナビゲーションの画像が映らない。	モニターが、ナビゲーション画面に切り換わっていない。	現在地 で画面を切り換えてください。
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節・設定してください。 →*「フェーダー／バランス」(V-2)*
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	
液晶画面の中に、小さな黒点や輝点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	−
映像がギザギザに表示される。	ワイド画面特有の現象で、故障ではありません。	−
音量が変化してしまう。	車速連動ボリュームが設定されている。	車速連動ボリュームの感度設定を変更してください。*(→V-5)*

FM/AM

症状	原因	処置
ラジオ受信中に"ジージー、ザーザー"という雑音が多い。	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。→*「ラジオの放送を受信する」(L-1)*
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。→*「ラジオの放送を受信する」(L-1)*

DVD

症状	原因	処置
再生できない。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	リージョン番号"2"を含むディスクに交換してください。*(→N-1)*
映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
	ナビゲーションの画面になっている。	AV で画面を切り換えてください。
ディスクを入れても自動的に再生しない。	ディスクによっては、ディスクメニューが表示されて自動的に本編を再生しない場合があります。	ディスクメニューを操作して、再生を開始するか、オートエンターをONに設定してください。→*「オートエンター」(N-13)*
オートエンターが正しく動作しない。	オートエンターが正しく動作できないディスクが入っている。	ご使用されるディスクにより期待どおりの動作ができない場合があります。このような場合はオートエンターをOFFにして再生してください。→*「オートエンター」(N-13)*
音が出ない。	静止画、スロー、コマ送り再生中である。	静止画、スロー、コマ送り再生中に、音声を聞くことはできません。
	DTS音声を再生しようとしている。	DTS音声は再生できません。
視聴制限のメッセージが表示され、再生できない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除、またはレベルの変更をしてください。→*「視聴制限」(N-13)*
音声言語、字幕言語が切り換えられない。	複数の言語が収録されていないDVDを再生している。	複数の言語が収録されていないディスクでは、切り換えられません。
	ディスクのメニューでしか切り換えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り換えてください。
DVD機能設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	DVD機能設定で選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。	DVD機能設定で選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り換わりません。
アングルを切り換えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。	複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り換えられません。
	複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。

症状	原因	処置
ディスク再生中に映像が乱れる。または暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。（ディスクによって入っている場合があります。）	アナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出るものがあります（故障ではありません）。
（禁止マーク）が画面に出て操作できない。	ディスクが禁止している操作です。	この操作はできません。
	ディスクの構造上対応できない操作をしている。	
画面が止まり、操作を受け付けない。	ディスク再生中にデータを読み取れなくなった。	■にタッチしてから、もう一度再生してください。

CD/ROM（WMA/MP3/AAC）

症状	原因	処置
CD-RやCD-RWを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。
WMA/MP3/AACファイルを再生できない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。
	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録されたWMA/MP3/AACファイルにしてください。
CD、WMA/MP3/AACファイル再生中に大きな雑音が出る。	ファイルの形式と拡張子があっていない（WMA/MP3/AACファイル）。	ディスクを交換してください（WMA形式でないファイルに「.wma」、MP3形式でないファイルに「.mp3」、AAC形式でないファイルに「.m4a」の拡張子を付けたCD-ROMを再生しないでください）。
	録音したCDなどの録音レベルが高い。	ノイズアッテネーターをLOWにしてください。*（→V-11）*
聞きたいWMA/MP3/AACファイルが見つからない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。
フォルダー名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
WMA/MP3/AACファイル再生が、記録した順と異なる。	WMA/MP3/AACファイルは、記録したときの順番どおりに再生されない場合があります。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダー名,ファイル名のはじめに数字（01,02など）を付けることにより,再生順を指定できる場合があります。

TV

症状	原因	処置
画面が止まっている。 画面がカクカクして映る、コマ落ちしている。 画面に正方形のノイズが映る。	受信状態が悪くなった場合などは、そのような症状になります。これらは地上デジタル放送特有の現象で、故障ではありません。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。
	ドライブレコーダーなどのTV電波に影響する機器をTVアンテナの近くに取り付けている。	取り付けている機器をTVアンテナから遠ざけてください。
メッセージが表示され、視聴ができない。	本機が対応していない放送を視聴しようとしている。	本機は、以下の放送には対応していません。 • 番組単位で購入できる有料放送（ペイ・パー・ビュー） • 双方向通信を使うデータ放送 対応している放送に切り換えてください。
映像切換、**音声切換**、**字幕切換** のタッチキーが薄く表示されていて切り換わらない。	受信中の番組が、それらの情報を放送していない。	それらの情報を放送している番組で操作してください。
画質が悪くなった。	ワンセグに切り換わっている。	ワンセグを通常放送に手動で切り換えるときは、**サービス切換** にタッチします。*（→L-8）*
受信できない。 「受信できません」というメッセージが表示される。 「スキャンを実行してください」というメッセージが表示される。	チャンネルスキャンをしていない。	はじめて使うときやバッテリーを外したとき、「視聴者設定クリア」*（L-15）*をしたときは、チャンネルスキャンをしてください。
	移動により、受信中のチャンネル電波が弱くなった。	他の中継局（チャンネル）に切り換えてみてください。エリアプリセット以外の方法で受信している場合でも、オート放送局サーチ設定に従って、自動的に受信可能な中継局や系列局に切り換えます。受信可能な中継局や系列局を自動的に探して切り換えることができます。*→「オート放送局サーチ設定」（L-15）*
	放送局（チャンネル）が増えたり、他のエリアに移動して受信環境が変わった。	受信環境が変わったときは、チャンネルスキャンをしてください。 *→「放送局を自動で登録する（チャンネルスキャン）」（L-11）*

症状	原因	処置
受信できない。 「受信できません」というメッセージが表示される。 「スキャンを実行してください」というメッセージが表示される。	受信レベルが低下して、放送が受信できない。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。ワンセグ放送が受信可能な場合は、**サービス切換** で切り換えできます。*→「サービスを切り換える」(L-8)*
	フィルムアンテナが剥がれている。	お買い上げの販売店にご相談ください。

Bluetooth Audio

症状	原因	処置
Bluetooth Audioが使用できない。	Bluetooth Audio機器へのアクセスが許可されていない。	Bluetooth Audio機器として携帯電話やiPhoneまたはスマートフォンをお使いの場合、機種によっては電話帳/履歴自動転送設定をONにしたときにアクセス許可が必要になります。携帯電話またはiPhoneまたはスマートフォンを操作してアクセス許可を許可してください。

SDカード／USBメモリー

症状	原因	処置
WMA/MP3/AAC/WAVファイルを再生できない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」、WAVファイルに「.wav」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」、WAVファイルに拡張子「.wav」を付けてください。
	対応していないビットレートで記録されている。	「本機で再生可能なメディアとファイルの種類」*(→K-5)* をご確認のうえ、本機で再生できるファイルを再生してください。
WMA/MP3/AACファイル再生中に大きな雑音が出る。	録音したCDなどの録音レベルが高い。	ノイズアッテネーターをLOWにしてください。*(→V-11)*
聴きたいWMA/MP3/AAC/WAVファイルが見つからない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」、WAVファイルに「.wav」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」、WAVファイルに拡張子「.wav」を付けてください。
SDカード/USBメモリーに保存した映像ファイルを再生すると、音声は出るが、映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。

症状	原因	処置
SDカード／USBメモリーに保存したファイルを再生中にAVソースがOFFになる。	地図データ（差分情報のみ）の更新中である。	地図データ（差分情報）更新中(→Y-6) は、AVソース（SD／USBのみ）がOFFになります。地図データ（差分情報のみ）の更新完了後、再度AVソース（SD／USB）を選択し、再生を再開してください。
お持ちのパソコンで認識しているSDカードが、本機で認識しない。	SDカードが正しくフォーマットされていない。	専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットしてください。 フォーマットをすると、SDカードに記録されたデータが全て消去されます。必ずデータのバックアップを行ってください。 フォーマットソフトは、SDアソシエーションの、以下のホームページから入手できます。 URL:https://www.sdcard.org/jp/

MSV

症状	原因	処置
再生中に大きな雑音が出る。	録音したCDなどの録音レベルが高い。	ノイズアッテネーターをLOWにしてください。(→V-11)

Linkwithモード

症状	原因	処置
交差点案内等の割り込みや現在地等の画面から、Linkwithモード表示に復帰しても、Linkwithのアプリケーションの再生が再開されない。	Bluetoothの接続が切断されると、再生が停止するアプリケーションであり、故障ではありません。	NaviCon/Linkwith接続を、「オート切換」から「Linkwith」に変更すると、本症状を回避することができますが、NaviConをご利用いただくことができなくなりますので、ご注意ください。(→T-9)
交差点案内等の割り込みや他の画面から、Linkwithモード表示に復帰すると、Linkwithのアプリケーションの映像が表示されず黒い画面が表示される。	Bluetoothの接続が切断され、iPhoneまたはスマートフォン（Android）のロックが自動で起動した。	ドコモスマートフォン（Android）またはiPhoneの自動ロックの設定を「しない」、またはロック起動までの時間を長めに設定する。
起動した際にiPhone 4／4Sを使用してLinkwithモードが再開された場合、1分ほど経過したらアプリケーションの映像が消え、黒い画面が表示される。	Bluetooth設定で、iPhone 4/4Sでは設定不要な「Linkwith (iPhone)」も接続項目にされています。	Bluetooth設定の機器変更にて、「Linkwithモード(iPhone用)」の設定をOFFにしてください。

エラーメッセージと対処方法

共通項目

メッセージ	原因	処置
高温あるいは低温を検出したためシステムを一時停止します。 復帰するまでしばらくお待ちください。	エアコン吹き出し口の近くに設置したことなどが原因で、ナビゲーション本体の内部温度が高くまたは低くなった。	正常に動作する温度になるまでお待ちください。正常な温度に戻ると、[高温あるいは低温状態からシステムが動作可能な状態に復帰しました。]と表示されます。
走行中は操作できません。	走行中に操作できない機能を操作した。	一部の機能は、安全のため走行中に操作できないようになっています。安全な場所に停車してから操作してください。
SDカードが正しく挿入されていること、およびB-CASカード挿入口がロックされていることを確認してください。	SDカードが完全に挿入されていない、もしくはminiB-CASカードのLOCKレバーがLOCK位置になっていない。	SDカードを完全に挿入してください。→*「SDカードの出し入れ」(B-13)* miniB-CASカードのLOCKレバーをLOCK位置にしてください。→*「miniB-CASカードを取り外すときは」(A-24)*
スピーカーの配線、または本機に異常を検出しました。 本機の電源を入れ直しても復帰しない場合は、販売店にご相談ください。	スピーカーの接続状態または本機に異常があり、保護回路が動作した。	スピーカーの接続状態をご確認ください。エンジンスイッチをOFF→ONしてもメッセージが消えない場合は、販売店にご相談ください。

ナビゲーション

ルート探索

メッセージ	原因	処置
行き先が遠すぎるため、探索できませんでした。	出発地から目的地までの距離が適切ではない。	目的地または出発地の位置を変更してください。
行き先が近すぎるため、探索できませんでした。		
通行規制により、通行できない区間があるため探索できませんでした。	規制情報が考慮されたためルート探索ができない。	
時間規制により、通行できない区間があるため探索できませんでした。		
行き先につながる道路が見つからないため探索できませんでした。	目的地または出発地の位置が適切ではない。	
行き先または出発地付近に案内対象道路がないため探索できませんでした。		
探索できませんでした。	何らかの原因でルート探索ができない。	

エコマネージャー

メッセージ	原因	処置
エコ情報のリセットに失敗しました。再度 **リセット** を押してください。	何らかの原因でリセットができない。	何度も失敗してしまうときは、販売店にご相談ください。

ETC

エラー No.	メッセージ	原因	処置
エラー 01	ETCカードの挿入不良です。	ETCカードの挿入不良。料金所にて車両の停止が案内(表示)される場合がある。	ETCカードの挿入状態をご確認のうえ、再度挿入してください。それでもエラーNo.およびメッセージが表示される場合はお買い上げの販売店にご相談ください。
エラー 02	ETCカードのデータが読み出せませんでした。	[ETCカード挿入時] 挿入されたETCカードのデータが読み出せない。	再度挿入してください。それでもエラーNo.およびメッセージが表示される場合はお買い上げの販売店にご相談ください。
エラー 03	挿入されたカードがETCカードであるか確認できませんでした。カードを確認して再度挿入してください。	挿入されたカードがETCカードであるか認識できない。	正しいETCカードであることをご確認のうえ、再度挿入してください。それでもエラーNo.およびメッセージが表示される場合はETCカード発行者(クレジットカード会社など)にご相談ください。
エラー 04	ETC車載器が故障しています。	ETC車載器が故障している。	お買い上げの販売店にご相談ください。
エラー 05	挿入されたカードがETCカードであるか確認できませんでした。カードを確認して再度挿入してください。	挿入されたカードがETCカードであるか認識できない。	正しいETCカードであることをご確認のうえ、再度挿入してください。それでもエラーNo.およびメッセージが表示される場合はお買い上げの販売店にご相談ください。
エラー 06	ETCが登録されていません。	セットアップ(車両情報の登録)が行われていない。	お買い上げの販売店にてセットアップを行ってください。
	料金所とのデータ処理にエラーが発生しました。料金所の係員の指示に従ってください。	ETC車載器と料金所間におけるデータ処理にエラーが発生した。	料金所の係員の指示に従ってください。後日、お買い上げの販売店にご相談ください。
エラー 07	料金所とのデータ処理にエラーが発生しました。料金所の係員の指示に従ってください。	ETC車載器と料金所間におけるデータ処理にエラーが発生した。	料金所の係員の指示に従ってください。後日、お買い上げの販売店にご相談ください。
エラー 09/エラー 10	ETC車載器が故障しています。	ETC車載器の故障です。	お買い上げの販売店にご相談ください。

オーディオ

DISC（CD/ROM（WMA/MP3/AAC）/DVD）

メッセージ	原因	処置
再生できないディスクです。	本機で再生できないディスクを挿入している。	*「再生できるディスクの種類」（→付-4）*をご確認のうえ、本機で再生できるディスクに交換してください。
高温、または低温のため、再生できません。 ディスクを取り出してください。	エアコン吹き出し口の近くに設置したことなどが原因で、ナビゲーション本体の内部温度が高くまたは低くなった。	ディスクを取り出し、正常に動作する温度になるまでお待ちください。改善されない場合は、販売店にご相談ください。
再生できません。ディスクを取り出してください。	ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。
	ディスクにキズやそりがある。	キズやそりの無いディスクに交換してください。
	ディスクの表裏を逆にして挿入している。	ディスクのタイトル面を上にして挿入してください。
	本機で再生できないディスクを挿入している。	*「再生できるディスクの種類」（→付-4）*をご確認のうえ、本機で再生できるディスクに交換してください。
再生できませんでした。	本機で再生できるトラックやファイルではない。	*「再生できるディスクの種類」（→付-4）*をご確認のうえ、本機で再生できるトラックやファイルを再生してください。また、本機ではDRM（デジタル著作権管理）が設定されたファイルは再生できません。
再生できるファイルがありません。再生可能なファイルの詳細は取扱説明書を確認してください。	本機で再生できるトラックやファイルがディスクに含まれていない。	
再生できるトラックはありません。		
リージョンコードが違います。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	リージョン番号“2”を含むディスクに交換してください。*（→N-1）*
走行中は音声のみでお楽しみください。	走行中にテレビなどの映像を再生しようとした。	安全のため、走行中に映像を見ることはできません。安全な場所に停車してからご覧ください。

TV

メッセージ（エラー番号）	原因	処置
HEAT 地上デジタルTVで高温を検出しました。 保護のため停止中です。	地上デジタルテレビの内部温度が高くなった。	正常に動作する温度に下がるまでお待ちください。改善されない場合は販売店にご相談ください。
ANTENNA アンテナ接続エラーの可能性があります。	地上デジタルテレビ用アンテナに不具合がある。	販売店にご相談ください。

メッセージ（エラー番号）	原因	処置
ERROR-11 地上デジタルTVチューナーに不具合が発生した可能性があります。	地上デジタルテレビに不具合がある。	販売店にご相談ください。
受信できません	地上デジタル放送の電波を受信できない。	*「故障かな？と思ったら」*の「TV」の*「受信できない」（→付-12）*をご覧ください。
スキャンを実行してください	選局用サービスリストにチャンネルが登録されていない。	チャンネルスキャンをしてください。*→「放送局を自動で登録する（チャンネルスキャン）」（L-11）*
チャンネルが登録されていません	プリセットチャンネルリストにチャンネルが登録されていない。	
サービスが登録されていません。電波状況の良い場所でスキャンをしてください	サービスが登録されていない。	
このチャンネルは登録できません	ユーザープリセットにメモリーできないチャンネルを登録しようとした。	登録できるチャンネルを探して登録してください。
現在、このサービスは視聴できません	放送（サービス）としては存在するが、放送されていない。	–
映像情報がありません	音声のみの番組です。	–
有料放送につき事業者との契約が必要です	契約が必要な放送を選局している。	有料放送を見るときは、有料放送事業者との契約が必要です。有料放送事業者と契約をしてください。
有料放送です 本機では対応していません	本機が対応していない有料放送（双方向通信を使うデータ連動放送、番組単位で購入できる有料放送（ペイ・パー・ビュー））を受信している。	本機が対応している放送に切り換えてください。
B-CASカードを正しく装着してください	miniB-CASカードが装着されていない。	miniB-CASカードを正しく装着してください。*（→A-24）*
	miniB-CASカードが違う向きで装着されている。	
	miniB-CASカード挿入口やminiB-CASカードにゴミなどが付いている。	乾いた柔らかい布などでふいてください。
このB-CASカードは使用できません	miniB-CAS以外のカードを装着している。	販売店にご相談ください。
	miniB-CASカード挿入口やminiB-CASカードにゴミなどが付いている。	乾いた柔らかい布などで拭いてください。
B-CASカードの交換が必要です	miniB-CASカードが破損している。	カードの不具合と確認された場合には、B-CASカスタマーセンターまでお問い合わせください。 電話：0570-000250 受付時間：10:00～20:00（年中無休）
	miniB-CASカード挿入口やminiB-CASカードにゴミなどが付いている。	乾いた柔らかい布などで拭いてください。

メッセージ（エラー番号）	原因	処置
走行中は音声のみでお楽しみください。	走行中にテレビを見ようとした。	安全のため、走行中に映像を見ることはできません。安全な場所に停車してからご覧ください。

Bluetooth Audio

メッセージ	原因	処置
AV機器との接続に失敗しました。 AV機器から接続を開始してください。	何らかの理由で本機からBluetooth Audio機器への接続が成功しない。	Bluetooth Audio機器側から接続を行ってください。（→ *R-4*）

SDカード／USBメモリー

メッセージ	原因	処置
再生できませんでした。 再生可能なファイルの詳細は取扱説明書をご確認ください。	本機で再生できるファイルではない。	*「本機で再生可能なメディアとファイルの種類」* *(→K-5)* をご確認のうえ、本機で再生できるファイルを再生してください。
再生できるファイルがありません。 再生可能なファイルの詳細は取扱説明書をご確認ください。	本機で再生できるファイルがSDカードまたはUSBメモリーに含まれていない。	
画像が表示できません。	フォルダー名やファイル名が長すぎる。	フォルダー名やファイル名を短くしてください。
メモリーデバイスに表示できる画像データがありません。		
走行中は音声のみでお楽しみください。	走行中にSD/USBの映像を再生しようとした。	安全のため、走行中に映像を見ることはできません。安全な場所に停車してからご覧ください。
このUSBメモリーは本機では使用できません。	本機が対応していないUSBメモリーを接続した。	本機が対応しているUSBメモリーをご確認ください。*(→P-1)*
	USBメモリーに異常がある。	USBメモリーをフォーマットし、再度本機に接続してください。
このSDカードは本機では使用できません。	本機が対応していないSDカードを挿入した。	本機が対応しているSDカードをご確認ください。*(→P-1)*
	SDカードに異常がある。	SDカードのフォーマット *(→A-15)* をして、再度本機に挿入してください。
地図SDカードが挿入されていません。 地図SDカードを挿入してください。 挿入すると、自動的に再起動を行います。 地図SDカードを挿入する前にフラップを閉じた場合は、エンジンをかけ直して、画面の案内に従ってください。	地図SDカードが正しく挿入されていない。	地図SDカードを"カチッ"と音がするまで差し込んでください。
過電流保護のため、USB接続を中止しました。 USB機器やiPodなどを接続している場合は、取り外してください。 エンジンをかけ直してもこのメッセージが繰り返し表示される場合は、販売店にご相談ください。	接続しているUSB機器の消費電流が規定値を越えている。	これらの機器を全て取り外してエンジンをかけ直してください。指定以外のUSB機器（ハードディスクやUSB扇風機など）は接続しないでください。
地図SDカードのライトプロテクトスイッチがかかっています。[確認]を押すと再起動します。再起動した後に、地図SDカードのライトプロテクトスイッチを解除してください。	SDカードのライトプロテクトスイッチがLOCKされている。	LOCKを解除してください。
この地図SDカードはご利用できません。販売店にご相談ください。	メディア用SDカードが挿入されているか、地図SDカードが壊れている。	地図SDカードスロットに挿入されているSDカードを確認し、正しい地図SDカードが挿入されている場合は販売店にご相談ください。

iPod

メッセージ	原因	処置
iPodの接続に失敗しました。 接続し直してください。	何らかの原因で本機とiPod間の認証が成功しない。	本機の電源をOFF/ON（エンジンスイッチをOFF/ON）するか、iPodを本機から取り外し、iPodが問題なく動作していることを確認してから再度接続してください。
接続されたiPodはサポートしていません。 取扱説明書を確認してください。	本機でサポートされていないiPodを接続した。	接続したiPodがサポートされているか *「対応iPod一覧表」（→Q-7）* をご確認ください。
走行中は音声のみでお楽しみください。	走行中にiPodビデオの映像を再生しようとした。	安全のため、走行中に映像を見ることはできません。安全な場所に停車してからご覧ください。

MSV

メッセージ	原因	処置
録音済みの曲を再生できません。	本機で再生できるトラックやファイルがSDカードに含まれていない。	*「本機で再生可能なメディアとファイルの種類」（→K-5）* をご確認のうえ、本機で再生できるトラックやファイルを再生してください。
	本機でCDからMSVに録音したファイルではないファイルが含まれている。	本機でCDからMSVに録音してください。
1000トラック以上は追加できません。	すでに999のトラックがマイミックスに登録されている。	マイミックスに登録されているトラックを解除してください。→ *「マイミックスのトラックを消去する」（O-10）*
マイミックスに追加できませんでした。	何らかの原因でマイミックスにトラックを追加できない。	SDカードを確認し、*「マイミックスにトラックを追加する」（→O-10）* を参照してもう一度操作してください。
SDカードの空き容量が足りないため、操作できません。	SDカードの容量が不足している。	不要なデータを削除してから操作してください。
録音した曲を再生できません。SDカードのライトプロテクトスイッチを解除してください。	SDカードのライトプロテクトスイッチがLOCKされている。	SDカードのライトプロテクトスイッチをUNLOCKにしてください。
情報の取得に失敗しました。	通信ができない。	データ通信機器の接続を確認してください。
タイトル情報を更新できませんでした。 消去できませんでした。	何らかの原因でSDカードにアクセスできなかった。	SDカードを確認してください。または、新しいSDカードをお試しください。

WALKMAN®

メッセージ	原因	処置
WALKMAN®の接続に失敗しました。接続し直して下さい。	何らかの原因で本機とWALKMAN®間の認証が成功しない。	ACCをOFF/ONするか、WALKMAN®を本機から取り外し、WALKMAN®が問題なく動作していることを確認してから再度接続してください。
接続されたWALKMAN®はサポートしていません。取扱説明書を確認してください。	本機でサポートされていないWALKMAN®を接続した。	接続したWALKMAN®がサポートされているか*「対応WALKMAN®一覧」(→S-4)*をご確認ください。
接続されたWALKMAN®は使用できません。インテリジェント機能を有効にしてください。	インテリジェント機能が無効になっている。	WALKMAN®のインテリジェント機能を有効にしてください。

携帯電話

メッセージ	原因	処置
発信できませんでした。携帯電話をご確認ください。	何らかの原因で携帯電話を接続できない。	携帯電話の電源が入っていることを確認し、*「Bluetooth設定をする」(→H-7)*を参照して再接続してください。
読み込みが出来ませんでした。接続を確認してもう一度やり直してください。	何らかの原因でメモリダイヤルが読み込めない。	携帯電話が接続されていることを確認し、*「メモリダイヤルを読み込む」(→X-6)*を参照してもう一度読み込んでください。

Linkwith/NaviCon連携

メッセージ	原因	処置
スマートフォンとの接続に失敗しました。 [メニュー]→[設定·編集]→[Bluetooth接続設定]から行ってください。	何らかの理由でiPhoneまたはスマートフォンが接続できない。	*「NaviConを使う」(→T-8)*を参照し、iPhoneまたはスマートフォンを再接続してください。
設定を変更する場合は、ソースをOFFにして、Linkwithモードで使用中の機器を取り外してください。 USBメモリー/WALKMAN®を接続している場合は取り外して操作してください。	iPodを接続中のため、Linkwithモード接続機器設定を変更できない。	iPodの接続を解除してからLinkwithモード接続機器設定を変更してください。→*「Linkwithを使うための準備」(T-1)*

センサーメモリーのリセットについて

センサー学習状態のリセットが必要な場合

［オールリセット］が必要な場合

- 本体の取り付け位置や角度を変更した場合または別の車両へ載せ換えた場合
- 測位の誤差が大きくなった場合

［距離学習リセット］が必要な場合

- タイヤを交換した後、しばらく経っても距離誤差が補正されない場合

センサー学習状態のリセットのしかた

学習メモリーのリセットは「センサー学習状況」画面で行います。→*「センサー学習状況を見る」（G-11）*

センサー学習とは

本機の3Dハイブリッドセンサーは、走行状況（距離/方位/傾斜（3D））を検知して、その結果を学習しています。したがって、走行を重ねるごとに測位の精度が高くなります。
センサーが学習した結果は、本機に内蔵されているセンサーメモリーに蓄積されます。

その他の情報

検索におけるデータベースについて

場所を探すベースとなっているデータによっては、表示されるポイント（位置）が実際のポイントと離れている場合があります。

タウンページデータについて

- NTTタウンページをもとに位置データを整備していますが、もとのデータそのものが間違っている場合もあります。また、住所番地が広大な場所やもとのデータからは該当施設を特定できない場所では、指定した地区の代表地点が表示されます。
- 正確な位置に表示されない場所を目的地としてルートを設定したときは、その施設から離れた場所が最終の案内地になる場合があります。

自然物に関するデータについて

- 施設を表す検索ポイントではなく、場所そのものや、山や川などの自然物を表す検索データについては、その代表地点が表示されます。

電話番号検索のデータについて

- 電話番号検索のデータとして、タウンページのデータが収録されています。

ロゴマーク表示について

- ロゴマークの表示されるポイントは、実際の場所とは異なっている場合があります。

営業時間考慮周辺検索について

- 営業時間を考慮するのはATM・駐車場・コンビニ・ファミリーレストラン・ファストフード・ガソリンスタンドのみで、隔週休日、不定期休日には対応していません。また、一部の店舗は対応していない場合があります。

ルートに関する注意事項

注意

- **ルート探索をすると、自動的にルート / 音声案内が設定されます。曜日、時刻規制については、ルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると設定されたルートを通れないなどの交通規制に反する場合があります。**
- **運転するときは必ず実際の交通標識に従ってください。**
- **なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。**

- 探索されたルートは道路種別や交通規制などを考慮して、本機が求めた目的地に至る道順の一例です。必ずしも最適になるとは限りません。
- ルート探索は100mスケールの地図に表示される道路を対象としています。シティマップにだけ表示される道路は対象となりません。
- 本州〜北海道、本州〜四国、本州〜九州のルートも設定できます（本州〜北海道などのフェリーが運航されている場合には、航路を使うルートが探索されます）。
- フェリー航路に関してはルート探索の補助手段であるため、長距離航路は対象となりません。
- フェリー航路については、すべてのフェリー航路が収録されているわけではありません。また、フェリー航路を優先しても必ずフェリー航路が使われるわけではありません。
- 冬期通行止めなどにより通行できない道路を探索すると、エラーメッセージが表示されます。
- 設定されているルートで使用されている入口／出口によっては、乗り降りIC（インターチェンジ）指定の操作ができない場合があります。

ルート探索のしかた

- 現在の進行方向と逆向きのルートが設定されることがあります。
- 河川や駅の反対側を案内するルートになることがあります。そのようなときは、目的地を使用したい道路の近くに移動してみてください。
- 渋滞考慮オートリルート、有料道路回避、フェリー航路回避などでは、他の適切なルートがない場合は回避されないことがあります。
- 推奨できるルートが6本に満たない場合、何本かが同じルートになることがあります。
- 場所によってはルート探索できないことがあります。そのようなときは、目的地および出発地付近の「大きな交差点※」付近に立寄地を設定してみてください。

※「大きな交差点」とは、細街路（100mスケールでグレー表示の細い道*（→「記号・マーク一覧」（付-54））*以外の道どうしの交差点です。

ルートの道塗りについて

- 道路形状によっては、道塗りの下から道路がはみ出して見える場合があります。
- 出発地、目的地、立寄地の前後では道塗りされない場合があります。このため、立寄地付近でルートが途切れたように見えることがあります。

音声案内について

- オートリルートの場合、元のルートに復帰する案内地点は案内されません。ただし、その地点が右折などで案内が必要な場合は、通常の案内を行います。
- 有料道路のインターチェンジ出口を目的地として設定すると、「高速出口」と「料金」は音声案内されないことがあります。

交差点拡大図について

- ２Ｄ交差点拡大図は、交差点とその約150m手前の地点を結んだ線が上になるように表示されます。道路形状によっては、ヘディングアップにならない場合があります。
- 第１案内地点の案内地点での交差点拡大図は、表示されないことがあります。

ルート候補選択画面での有料料金について

- 特殊な料金体系の有料道路では、正しい料金が表示されない場合があります。
- 料金非対応路線を含むルートの場合は、「○○円以上」と表示されます。
- 料金計算ができないルートの場合は、「不明」と表示されます。
- 一般有料道路に関しては、一部路線のみ対応しています。
- 有料道路上およびランプ上からルートを探索したときや、有料道路上に目的地や出発地を設定したときは、有料道路を使う区間を判断できないため、料金が正しく計算されません。
- 一部実際と異なる料金が表示されたり、案内されたりすることがあります。このような場合は、実際の料金に従ってください。
- 有料料金は改定される場合がありますので、あくまで目安としてお使いください。

VICSセンターのお問い合わせ先

VICSの概念、計画、またはFM多重放送により提供されるVICS情報に関することは、VICSセンターへお問い合わせください。

電話受付時間：9:30～17:45
（土曜、日曜、祝祭日、年末年始のセンター休日を除く）

電話番号：0570-00-8831
（ナビダイヤルでは全国から市内通話料金でご利用になれます）

FAX受付時間：24時間
FAX番号：03-3562-1719（全国）
また、VICSの最新情報やFM多重放送局の周波数の情報などは下記のホームページでご覧いただけます。
URL：http://www.vics.or.jp/

シティマップ（詳細市街地図）収録エリア

本機には、以下の都市の詳細市街地図が収録されています。

整備面積 95% 以上（466 都市）

田舎館村、塩竈市、多賀城市、亘理町、七ヶ浜町、湯川村、水戸市、土浦市、古河市、石岡市、結城市、龍ケ崎市、下妻市、常総市、取手市、牛久市、つくば市、ひたちなか市、鹿嶋市、潮来市、守谷市、那珂市、筑西市、坂東市、稲敷市、かすみがうら市、神栖市、行方市、鉾田市、つくばみらい市、小美玉市、茨城町、大洗町、東海村、美浦村、阿見町、河内町、八千代町、五霞町、境町、利根町、小山市、真岡市、下野市、上三川町、壬生町、野木町、岩舟町、伊勢崎市、太田市、館林市、玉村町、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町、さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、行田市、所沢市、加須市、東松山市、春日部市、狭山市、羽生市、鴻巣市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、坂戸市、幸手市、鶴ヶ島市、日高市、吉川市、ふじみ野市、白岡市、伊奈町、三芳町、毛呂山町、滑川町、嵐山町、川島町、吉見町、鳩山町、美里町、上里町、宮代町、杉戸町、松伏町、千葉市、銚子市、市川市、船橋市、館山市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、成田市、佐倉市、東金市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鴨川市、鎌ケ谷市、君津市、富津市、浦安市、四街道市、袖ケ浦市、八街市、印西市、白井市、富里市、南房総市、香取市、山武市、酒々井町、栄町、神崎町、多古町、東庄町、大網白里市、九十九里町、芝山町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町、鋸南町、千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、西東京市、瑞穂町、日の出町、横浜市、川崎市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町、新潟市、聖籠町、射水市、舟橋村、川北町、野々市市、内灘町、昭和町、小布施町、岐阜市、多治見市、羽島市、各務原市、瑞穂市、岐南町、笠松町、神戸町、輪之内町、安八町、大野町、北方町、坂祝町、熱海市、三島市、焼津市、袋井市、湖西市、御前崎市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市、函南町、清水町、吉田町、名古屋市、一宮市、半田市、春日井市、豊川市、津島市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、東郷町、長久手市、豊山町、大口町、扶桑町、あま市、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町、幸田町、みよし市、四日市市、木曽岬町、東員町、朝日町、川越町、明和町、彦根市、近江八幡市、草津市、守山市、野洲市、竜王町、豊郷町、甲良町、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、大山崎町、久御山町、精華町、大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、守口市、枚方市、八尾市、富田林市、寝屋川市、松原市、大東市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町、神戸市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、加古川市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、稲美町、播磨町、太子町、大和高田市、大和郡山市、橿原市、生駒市、香芝市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、和歌山市、太地町、境港市、日吉津村、倉敷市、玉野市、浅口市、早島町、里庄町、府中町、海田町、熊野町、坂町、和木町、石井町、松茂町、北島町、藍住町、宇多津町、松前町、北九州市、福岡市、直方市、筑後市、大川市、行橋市、中間市、小郡市、春日市、福津市、志免町、粕屋町、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、大刀洗町、大木町、糸田町、大任町、苅田町、吉富町、時津町、熊本市、合志市、長洲町、菊陽町、嘉島町、那覇市、宜野湾市、浦添市、糸満市、沖縄市、豊見城市、読谷村、嘉手納町、北谷町、北中城村、中城村、西原町、与那原町、南風原町、八重瀬町

整備面積 80% 以上（64 都市）

室蘭市、名取市、東松島市、利府町、鏡石町、泉崎村、矢吹町、桜川市、宇都宮市、栃木市、芳賀町、高根沢町、吉岡町、本庄市、小川町、長瀞町、寄居町、相模原市、燕市、中央市、可児市、養老町、富加町、伊東市、磐田市、豊橋市、桑名市、鈴鹿市、玉城町、愛荘町、泉佐野市、島本町、加西市、福崎町、御所市、葛城市、高取町、大淀町、有田市、岩出市、米子市、笠岡市、広島市、田布施町、小松島市、善通寺市、琴平町、多度津町、久留米市、柳川市、大野城市、宗像市、太宰府市、須惠町、新宮町、福智町、上峰町、みやき町、大町町、江北町、波佐見町、玉東町、東串良町、うるま市

整備面積 50% 以上（161 都市）

北広島市、八戸市、藤崎町、板柳町、鶴田町、矢巾町、仙台市、岩沼市、大河原町、山元町、富谷町、美里町、潟上市、八郎潟町、天童市、中山町、河北町、三川町、桑折町、中島村、笠間市、足利市、益子町、市貝町、前橋市、高崎市、渋川市、富岡市、榛東村、越生町、神川町、匝瑳市、いすみ市、秦野市、松田町、弥彦村、田上町、高岡市、滑川市、砺波市、入善町、羽咋市、かほく市、能美市、鯖江市、あわら市、笛吹市、市川三郷町、西桂町、忍野村、山中湖村、岡谷市、小諸市、千曲市、山形村、美濃加茂市、土岐市、海津市、垂井町、関ケ原町、池田町、沼津市、富士市、掛川市、御殿場市、裾野市、長泉町、小山町、岡崎市、瀬戸市、伊勢市、志摩市、菰野町、大津市、栗東市、湖南市、京都市、宇治市、木津川市、笠置町、高槻市、貝塚市、茨木市、和泉市、箕面市、泉南市、豊能町、能勢町、河南町、姫路市、西脇市、三田市、南あわじ市、淡路市、加東市、たつの市、猪名川町、桜井市、明日香村、海南市、御坊市、湯浅町、美浜町、湯梨浜町、北栄町、岡山市、呉市、福山市、防府市、下松市、光市、山陽小野田市、徳島市、鳴門市、板野町、上板町、高松市、丸亀市、坂出市、観音寺市、さぬき市、高知市、南国市、大牟田市、飯塚市、田川市、筑紫野市、糸島市、古賀市、みやま市、那珂川町、宇美町、桂川町、筑前町、広川町、鳥栖市、小城市、嬉野市、基山町、有田町、白石町、長崎市、島原市、諫早市、長与町、川棚町、佐々町、荒尾市、玉名市、宇土市、氷川町、大分市、日出町、高鍋町、新富町、鹿児島市、南城市、今帰仁村

整備面積 50% 未満（646 都市）

札幌市、函館市、小樽市、旭川市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、岩見沢市、網走市、留萌市、苫小牧市、稚内市、美唄市、芦別市、江別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、恵庭市、伊達市、石狩市、北斗市、当別町、七飯町、鹿部町、森町、八雲町、江差町、上ノ国町、倶知安町、岩内町、仁木町、余市町、南幌町、奈井江町、上砂川町、長沼町、栗山町、新十津川町、鷹栖町、東神楽町、美瑛町、上富良野町、羽幌町、美幌町、斜里町、遠軽町、白老町、洞爺湖町、浦河町、新ひだか町、音更町、清水町、芽室町、広尾町、幕別町、池田町、足寄町、釧路町、弟子屈町、中標津町、青森市、弘前市、黒石市、五所川原市、十和田市、三沢市、むつ市、つがる市、平川市、大鰐町、野辺地町、六戸町、東北町、おいらせ町、五戸町、南部町、階上町、盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、八幡平市、奥州市、雫石町、岩手町、滝沢村、紫波町、金ケ崎町、平泉町、大槌町、山田町、一戸町、石巻市、気仙沼市、白石市、角田市、登米市、栗原市、大崎市、蔵王町、村田町、柴田町、丸森町、松島町、大和町、大郷町、大衡村、加美町、涌谷町、女川町、秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、由利本荘市、大仙市、北秋田市、にかほ市、仙北市、小坂町、五城目町、井川町、美郷町、羽後町、山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、大江町、大石田町、高畠町、川西町、白鷹町、庄内町、福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、田村市、南相馬市、伊達市、本宮市、国見町、川俣町、大玉村、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、会津美里町、西郷村、棚倉町、石川町、玉川村、浅川町、三春町、広野町、楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、新地町、日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、城里町、大子町、佐野市、鹿沼市、日光市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、茂木町、那須町、桐生市、沼田市、藤岡市、安中市、みどり市、下仁田町、甘楽町、中之条町、草津町、東吾妻町、昭和村、みなかみ町、秩父市、飯能市、ときがわ町、横瀬町、皆野町、小鹿野町、東秩父村、檜原村、奥多摩町、山北町、清川村、長岡市、三条市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、村上市、糸魚川市、妙高市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、南魚沼市、胎内市、湯沢町、津南町、富山市、魚津市、氷見市、黒部市、小矢部市、南砺市、上市町、立山町、朝日町、金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、白山市、津幡町、志賀町、宝達志水町、中能登町、能登町、福井市、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、越前市、坂井市、永平寺町、越前町、美浜町、高浜町、おおい町、甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、

大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、上野原市、甲州市、富士川町、身延町、鳴沢村、富士河口湖町、長野市、松本市、上田市、飯田市、諏訪市、須坂市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、東御市、安曇野市、軽井沢町、御代田町、立科町、下諏訪町、富士見町、原村、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村、松川町、高森町、喬木村、豊丘村、池田町、松川村、坂城町、高山村、山ノ内町、木島平村、飯綱町、大垣市、高山市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、恵那市、山県市、飛騨市、本巣市、郡上市、下呂市、揖斐川町、川辺町、八百津町、御嵩町、白川村、静岡市、浜松市、富士宮市、島田市、藤枝市、下田市、伊豆市、東伊豆町、松崎町、西伊豆町、森町、豊田市、新城市、津市、松阪市、名張市、尾鷲市、亀山市、鳥羽市、熊野市、いなべ市、伊賀市、多気町、度会町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町、長浜市、甲賀市、高島市、東近江市、米原市、日野町、多賀町、福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、亀岡市、京丹後市、南丹市、井手町、宇治田原町、和束町、南山城村、伊根町、与謝野町、河内長野市、千早赤阪村、洲本市、相生市、豊岡市、赤穂市、篠山市、養父市、丹波市、宍粟市、多可町、市川町、神河町、上郡町、奈良市、天理市、五條市、宇陀市、吉野町、下市町、黒滝村、橋本市、田辺市、新宮市、紀の川市、紀美野町、かつらぎ町、九度山町、広川町、有田川町、日高町、由良町、印南町、みなべ町、日高川町、白浜町、上富田町、那智勝浦町、串本町、鳥取市、倉吉市、岩美町、八頭町、三朝町、琴浦町、南部町、伯耆町、松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市、雲南市、津山市、井原市、総社市、高梁市、新見市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、美作市、和気町、矢掛町、鏡野町、勝央町、竹原市、三原市、尾道市、府中市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、安芸太田町、下関市、宇部市、山口市、萩市、岩国市、長門市、柳井市、美祢市、周南市、周防大島町、平生町、阿南市、吉野川市、阿波市、美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町、東かがわ市、三豊市、土庄町、小豆島町、三木町、綾川町、まんのう町、松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、西予市、東温市、砥部町、内子町、室戸市、安芸市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、四万十市、香南市、香美市、いの町、佐川町、越知町、八女市、豊前市、うきは市、宮若市、嘉麻市、朝倉市、篠栗町、久山町、香春町、添田町、川崎町、赤村、みやこ町、築上町、佐賀市、唐津市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、神埼市、吉野ヶ里町、佐世保市、大村市、平戸市、松浦市、対馬市、壱岐市、五島市、雲仙市、南島原市、東彼杵町、八代市、人吉市、水俣市、山鹿市、菊池市、上天草市、宇城市、阿蘇市、天草市、大津町、御船町、益城町、甲佐町、芦北町、津奈木町、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、豊後大野市、由布市、国東市、九重町、玖珠町、宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市、三股町、高原町、国富町、綾町、木城町、川南町、都農町、門川町、鹿屋市、枕崎市、阿久根市、出水市、指宿市、西之表市、垂水市、薩摩川内市、日置市、曽於市、霧島市、いちき串木野市、南さつま市、志布志市、奄美市、南九州市、伊佐市、さつま町、姶良市、大崎町、肝付町、石垣市、名護市、宮古島市、恩納村、金武町

阪神高速道路株式会社からのご連絡

阪神高速道路にはネットワークの未整備区間を補完するため、乗継券を受け取り、一般道路を経由した後にその乗継券で再度、通行料金を支払わずに阪神高速道路を利用できる「乗り継ぎ区間」があります。（乗り継ぎ区間ではETCが利用可能）また、「乗り継ぎ区間」の詳細につきましては、以下をご覧ください。

3号神戸線（京橋・摩耶出入口）⇔5号湾岸線（住吉浜出入口）

4号湾岸線（大浜出入口）⇔15号堺線（堺出入口）

3号神戸線（中之島西出口）→1号環状線（堂島入口）

16号大阪港線（波除出口）→1号環状線（堂島入口）

3号神戸線（中之島西出入口）⇔16号大阪港線（波除出入口）

収録データベースについて

地図データについて

- 日本測地系に対応しています。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図の作成にあたっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。（測量法第44条に基づく成果使用承認 09-193 M1）「© 2012一般財団法人日本デジタル道路地図協会」2012年3月発行を使用。
- この地図は小田原市長の承認を得て、同市発行の1/2,500国土基本図を使用したものである。（承認番号）小田原市指令第52号 平成10年4月2日承認
- この地図は、養老町長の承認を得て、同町所管の2500分の1都市計画図を使用したものである。平成12年 養建第1902号
- この地図は、貴志川町長の承認を得て同町発行の1/2,500全図を使用し、調製したものである。(承認番号）平10. 近公. 第34号
- この地図の作成に当たっては、知多市長の承認を得て、同市発行の2,500分の1都市計画基本図を使用したものである。（測量法第44条に基づく成果使用承認 平成12年度 知都発第170号）
- この地図は大木町長の承認を得て、同町発行の5,000分の1の地形図を使用し調製したものです。（承認番号 15大木建第734号）
- この地図は、堀金村長の承認を得て1/2,500の都市計画図を参照して作成したものです。（承認番号 16堀第5417号）
- この地図は東近江市長の承認を得て、同市発行の地形図1/2,500を使用し、調製したものである。（承認番号 東開第111号 平成18年2月28日承認）
- この地図は、伊香保町長の承認を得て平成7年度作成の10,000分の1の白図を使用し、調製したものです。（承認番号 伊建農発229号 平成17年7月14日承認）
- この地形図は、東京都都市整備局および東京デジタルマップの東京都縮尺1/2500地形図を使用して作成したものである。（承認番号:18東デ共041号）
- この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1の地形図を使用して作成したものである。（承認番号）18都市基交 第478号
- この地図は、津山市長の承認を得て、同市所管の測量成果津山市都市計画(1/2,500)を使用して調製したものです。（承認番号 平成17年津山市使用承認第5号）

- この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものである。(承認番号 指令宇部第13号 平成18年5月15日承認)
- この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものである。(承認番号 指令宇部第14号 平成18年5月31日承認)
- この地図は、周防大島町長の承認を得て、周防大島町管内図を使用したものである。(承認番号 周防建設第56号 平成18年5月12日承認)
- この地図は、東かがわ市長の承認を得て、同市所管の測量成果である東かがわ市地形図1/10,000及び東かがわ市都市計画図1/2,500を使用して調製したものである。(承認番号平成18年5月2日18建第107号)
- この測量の成果は、東温市長の承認により、平成17年3月作成の東温市都市計画図を使用して得たものである。(承認番号 H18東温都第174号)
- この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(承認番号 林振第350号 平成18年9月19日承認)
- この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(承認番号 林振第611号 平成19年2月28日承認)
- この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。承認番号平成19年3月7日 指令水緑-1258
- この地図は、山形県の森林基本図を複製したものである。承認番号森第18-10号
- この地図は長岡市長の承認を得て、同市所管の地形図1/10,000を使用して調製したものである。(長都政第477号 平成18年3月28日承認)
- この図面は山梨県が作成した測量成果をもとに作成したものです。使用承認 平成19年3月1日 森整第1561号
- この地図は、長野県知事の承認を得て、長野県森林基本図を使用して作成したものである。(承認番号 18森政第5-5号)
- この地図は島根県が作成した森林基本図1:5,000を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。(承認番号平成18年11月24日付け森第1286号)
- この地図は島根県が作成した森林基本図1:5,000を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。(承認番号平成19年2月27日付け森第1736号)
- この地図は、広島県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(広島県使用承認林振第115号 平成19年2月15日承認)
- この地図は、徳島県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(承認番号 林振第484号 平成19年1月30日承認)
- この地図は、佐賀県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(承認番号 森整第010634号 平成18年10月4日承認)
- この地図は、長崎県知事の承認を得て、長崎県森林基本図(1/5,000)を使用し調製したものである。{承認番号 18林第492号(平成18年10月6日)} この地図は、熊本県知事の承認を得て5,000分の1の森林地形図を複製したものである。(承認番号 森整第993号・平成19年2月14日)
- この地図は、熊本県知事の承認を得て5,000分の1の森林地形図を複製したものである。(承認番号 森整第1079号・平成19年3月7日)
- この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものである(承認番号林18-1 平成18年12月5日)。
- この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものである(承認番号林18-2 平成19年3月7日)。
- この地図は宮崎県知事の承認を得て5000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。(承認番号 使18-1号平成18年12月8日)
- この地図は宮崎県知事の承認を得て5000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。(承認番号 使18-3号平成19年3月8日)

- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。(承認番号 平18 林振第360号)
- この地図は、知覧町長の承認を得て、同町発行の1/5,000全図を使用し、調製したものである。(承認番号)平成18年5月26日知耕第590号
- この地図の作成にあたっては、茨城県林政課作成の5千分の1森林基本図を使用しました。(測量法第44条第3項の規定に基づく成果使用承認　平成19年8月8日付、承認番号 林政19-482号、茨城県林政課長)
- この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。承認番号平成18年11月30日 指令水緑-947
- この地図は、笛吹市長の承認を得て同市発行の10000分の1の全図を使用し、作成したものである。(承認番号 笛まち第12-25号 平成19年12月13日承認)
- この地図は、岐阜県知事の承認を得て、岐阜県共有空間データ(18国地部公発第334号)を使用したものである。(承認番号 情企第590号 平成20年3月24日承認)
- この成果品は、高知県が作成した測量成果を、高知県知事の承認を得て使用し作成したものである。(承認番号 平成19年2月14日付け 18高森推第568号)
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。(承認番号 平19 林振第404号)
- この地図データの一部は、小樽市長の承認を得て、同市が作成した平成19年度臨港道路竣工平面図を複製したものである。(承認番号) 平21樽港事第33号
- この地図は、森林計画室長の承認を得て静岡県作成の5000分の1の森林基本図を複製したものである。(承認番号)平成21年森計第477号
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。(承認番号 平18 林振第497号)
- この地図は、東根市長の承諾を得て同市保管の東根市道路台帳図を使用し、調製したものである。(承認番号 東建収第8号 平成21年5月27日承認)
- この地図は幕別町長の承認を得て、同町発行の2千5百分の1幕別町現況図を使用し、調整したものである。(承認番号) H22　幕都計第185号
- この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1 - No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものである。(承認番号　国地企調第180号　平成22年9月28日)
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。(承認番号 平19　林振第246号)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分の1国土基本図を使用した。(承認番号 平23情使、第43号-10号)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分の1国土基本図を使用した。(承認番号 平23情使、第283号-10号)
- この地図は、田原市長の承認を得て、同市発行の都市計画図を使用して作成したものである。(承認番号)23田街第55号
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の災害復興計画基図を使用した。(承認番号　平24情使、第199号-10号)

道路データについて

- 本製品の道路データは調査時点の情報を収録しています。調査後に開通期日などが変更になることにより、実際の道路と異なる場合がありますのでご注意ください。

交通規制データについて

- 本製品に使用している交通規制データは、2012年9月までの独自調査結果に基づき作成したものを使用しています。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示などに従ってください。

- 本製品に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車などの規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。

有料道路料金データについて

- 本製品に使用している有料道路の料金データは2012年9月までの調査で2013年4月1日時点の軽自動車・中型自動車・普通自動車のものです。
- 首都高速道路・阪神高速道路において2012年1月1日より導入された距離別料金制につきましては、ETC料金には非対応となり、現金車両専用料金のみ対応しております。

VICS サービスエリアについて

- 本製品に収録されているVICSエリアは下記の都道府県が対象となります。
  北海道（北見）（旭川）（札幌）（釧路）（函館）、青森県、秋田県、岩手県、山形県、宮城県、福島県、栃木県、群馬県、茨城県、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、新潟県、長野県、静岡県、愛知県、三重県、岐阜県、石川県、福井県、富山県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
- VICSサービスエリアが拡大されても、本製品では新しく拡大されたサービスエリアでのレベル3（地図表示型）表示はできません。

放送局リストのデータについて

- 放送局名リストは2012年11月調査時点のものです。

その他情報提供元

- NTTタウンページ株式会社（2012年9月現在のタウンページデータ）
- 公益財団法人交通事故総合分析センター（1999年度統計による危険地帯データ）
- （株）アイ・エム・ジェイ（2012年10月現在の駐車場データ）

メモ

- 収録データベースに誤字、脱字、位置ずれなどの表記上または内容上の誤りがあったとしても弊社は補償するものではありません。

仕様

本機

◆共通部

使用電圧.. 14.4 V DC
（10.8 V ～ 15.1 V 使用可能）
アース方式..............................マイナスアース方式
最大消費電流... 15 A
使用温度範囲.......................... − 10 ℃～ +60 ℃

◆ナビゲーション本体（GPS 部）

受信方式.. 12 チャンネル
マルチチャンネル受信方式

◆モニター部

画面サイズ................................7.0 型ワイド VGA
画素数 ....1 152 000 画素
［水平 800 X 垂直 480 X 3（RGB）］
方式 ....TFT アクティブマトリクス方式

◆オーディオ・DSP 部

最大出力...50 W x 4
負荷インピーダンス .... 4 Ω
（4 Ω～ 8 Ω使用可能）
外部映像入出力レベル .... 1 Vp-p/75 Ω
イコライザー：13 バンドグラフィックイコライザー
周波数：50Hz/80Hz/125Hz/200Hz/315Hz/500Hz/800Hz/1.25kHz/2kHz/3.15kHz/5kHz/8kHz/12.5kHz
調整幅：Bose OFF 時：± 12dB（2dB/step）
Bose ON 時：± 6dB（2dB/step）

◆ DVD プレーヤーメカ部

リージョン No. 2
対応ディスク...................................... DVD ビデオ、
DVD-R（VIDEO MODE, VR MODE, ROM-Audio）、
DVD-R DL（VIDEO MODE, VR MODE, ROM-Audio）、
DVD-RW（VIDEO MODE , VR MODE, ROM-Audio）、
CD（CD-DA, ROM-Audio）、
CD-R/RW（CD-DA, ROM-Audio）
デコーディングフォーマット（ROM-Audio）
MP3........... MPEG-1,2,2.5 AUDIO LAYER-3
WMA.............Windows Media Audio ver.9.2
AAC ....iTunes ver.7.3

◆ FM チューナー部

受信周波数帯域.............. 76.0 MHz ～ 90.0 MHz
音声 .... ステレオ

◆ AM チューナー部

受信周波数帯域... 522 kHz ～ 1 629 kHz（9 kHz）
音声 .... モノラル

◆地上デジタル TV チューナー部

放送方式.................. 地上デジタル放送方式（日本）
受信チャンネル............... 470 MHz ～ 710 MHz
（UHF13ch ～ 52ch）
アンテナ入力..50 Ω× 4

◆ SD カード部

最大メモリー容量 .... 32 GB
ファイルシステム FAT16/FAT32
デコーディングフォーマット
MP3........... MPEG-1,2,2.5 AUDIO LAYER-3
WMA（ASF）..............Windows Media Audio ver.7,8,9（2ch audio）
AAC ....iTunes ver. 7.6（AAC-LC）
AVI ....MPEG-4 Video（SP）/ MPEG-1,2,2.5 Audio Layer3, LPCM
MP4.............................MPEG-4 Video（SP）, H.264/AVC（BP）/AAC-LC
WMV（ASF）......VC-1（SP）/Windows Media Audio ver.7,8,9
シグナルフォーマット
WAV ....LPCM

◆ USB 部

対応メディア......................USB2.0 High Speed
最大電流.. 1.0 A
最大メモリー容量 .... 16 GB
ファイルシステム FAT16/FAT32
デコーディングフォーマット
MP3........... MPEG-1,2,2.5 AUDIO LAYER-3
WMA（ASF）..............Windows Media Audio ver.7,8,9（2ch audio）
AAC ....iTunes ver. 7.6（AAC-LC）
AVI ....MPEG-4 Video（SP）/ MPEG-1,2,2.5 Audio Layer3, LPCM
MP4.............................MPEG-4 Video（SP）, H.264/AVC（BP）/AAC-LC
WMV（ASF）......VC-1（SP）/Windows Media Audio ver.7,8,9
シグナルフォーマット
WAV ....LPCM
USB CLASS：MSC（MASS STORAGE CLASS）

◆ Bluetooth 部

Bluetooth バージョン ....Bluetooth 3.0
出力：+4 dBm（Power class2）

◆外形寸法

本体（取付）寸法
178 mm（W）X 100 mm（H）X 165 mm（D）
本体ノーズ寸法
171 mm（W）X 97 mm（H）X 17 mm（D）
GPS アンテナ
33 mm（W）X 15 mm（H）X 36 mm（D）

◆質量

本体 ....2.4 kg

VICS情報有料放送サービス契約約款

第１章　総則

（約款の適用）
第１条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 147 条の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）
第２条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）
第３条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

（1）VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

（2）VICS サービス契約
当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約

（3）加入者
当センターと VICS サービス契約を締結した者

（4）VICS デスクランブラー
FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第２章　サービスの種類等

（VICS サービスの種類）
第４条　VICS サービスには、次の種類があります。

（1）文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

（2）簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

（3）地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICS サービスの提供時間）
第５条　当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

第３章　契約

（契約の単位）
第６条　当センターは、VICS デスクランブラー１台毎に１の VICS サービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）
第７条　VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）
第８条　VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれた FM 受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICS サービスの種類の変更）
第９条　加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第４条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡又は承継）
第 10 条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）
第 11 条　当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。

（1）加入者が VICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき

（2）加入者の所有する VICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）
第 12 条　1　当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。

2　第 11 条又は第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第４章　料金

（料金の支払い義務）
第 13 条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第５章　保守

（当センターの保守管理責任）
第 14 条 当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

（利用の中止）
第 15 条 1 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。
2 当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第６章　雑則

（利用に係る加入者の義務）
第 16 条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

（免責）
第 17 条 1 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。ただし、当センターは当該変更においても変更後 3 年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
2 VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

別表　視聴料金

視聴料金：315 円（うち消費税 15 円）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

Gracenote®について

概要

音楽認識技術と関連情報は Gracenote® 社によって提供されています。Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote® 社のホームページ www.gracenote.com をご覧ください。

特許及び商標

Gracenote, Inc. 提供の CD および音楽関連データ : copyright ©2000 to present Gracenote Gracenote Software, copyright ©2000 to present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenote が所有する 1 つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部の Gracenote 特許の一覧については、Gracenote の Web サイトをご覧ください。Gracenote、CDDB、MusicID、MediaVOCS, Gracenote のロゴとロゴタイプ、および "Powered by Gracenote" ロゴは、米国および / またはその他の国における Gracenote の登録商標または商標です。

Gracenote® エンドユーザー使用許諾契約書

Ja EULA 8-10-2009

本ソフトウエア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」とする) から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウエア製品または本電器製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」とする) を利用し、音楽 CD や楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」とする) などの音楽関連情報をオンライン サーバー或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」とする) から取得するとともに、取得された Gracenote データを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウエア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外に Gracenote データを使用することはできません。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が本契約上の権利を Gracenote として直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシー ポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenote は、将来 Gracenote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの利用により、得る結果について保証しないもとのとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

Gracenote データについて

- 本機内蔵の Gracenote データ、専用サーバーの Gracenote データともに、データの内容を 100%保証するものではありません。
- 専用サーバーの Gracenote データは、メンテナンス等により予告なく停止することがあります。
- 専用サーバーによる Gracenote データの通信サービスは、提供するコンテンツが収集できない場合やその他サービスの提供に支障をきたす事由が生じた場合、お客様の承諾なくその提供を中止することがあります。

商標・著作権など

- 本機は、電気通信事業法および電波法に基づく設計認証を取得しています。

  T D13-0023001
  R 007-AB0009

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic 及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 本機は、ロヴィコーポレーションの米国特許および他の知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- 本製品は、米国 Microsoft Corporation が所有する技術を使用しています。また、米国 Microsoft Licensing Inc. の許可を得ずに使用または頒布できません。
- Intel、Pentiumは、米国Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- MP3 とは「MPEG Audio Layer 3」の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送 * で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送 * で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ http://www.mp3licensing.com をご覧ください。* 営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。
- Android、Google Play は Google Inc. の商標です。
- iTunes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iPod は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- 「Made for iPod」および「Made for iPhone」とは、それぞれ iPod あるいは iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。このアクセサリを iPod あるいは iPhone と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
- iPod/iPhone は、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- “WALKMAN”、“ATRAC”、“ATRAC3”、“ATRAC3plus”、“ATRAC Advanced Lossless”、“x-アプリ”は、ソニー株式会社の登録商標です。
- は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Bluetoothワードマークとロゴは、Bluetooth SIG所有であり、ライセンス取得者パイオニア株式会社のマーク使用は許可を得ています。その他のトレードマークおよびトレードネームは各所有者のものです。
- は DVD フォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。
- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- 本製品は NaviCon® に対応した機種です。
- 「NaviCon®」は株式会社デンソーの商標または登録商標です。
- Bose® は米国 Bose Corporation の登録商標です。
- HDMI と HDMI High-Definition Multimedia Interface という用語、および HDMI ロゴは、HDMI Licensing, LLC の米国その他の国々における商標または登録商標です。

HDMI

- MHL、MHL ロゴおよび Mobile High-Definition Link という用語は、MHL, LLC の米国および他の国々における商標または登録商標です。
- MHL1 対応
- この製品に含まれるブラウザの改変及び複製、この製品から分離させる行為は、行ってはいけません。
- Entier（エンティア）は、株式会社日立製作所の日本国及びその他の国における商標です。
  1. 最終需要家は、特定の１台の装置にのみ添付ソフト複製物を複製できるものとします。
  2. 最終需要家は、添付ソフト複製物の全部又は一部を第三者に対し、有償であると無償であるとを問わず、譲渡、使用許諾その他の方法で使用させてはならないものとします。
  3. 最終需要家は、添付ソフト複製物の全部又は一部を逆アセンブル若しくは逆コンパイル又は改変することはできないものとします。
  4. 最終需要家は、第１項に定める場合を除き、添付ソフト複製物の全部若しくは一部を複製し、又は他のプログラムと結合してはならないものとします。
  5. 最終需要家が添付ソフト複製物の全部若しくは一部を単独で又は他の製品と組み合わせ、直接又は間接に次の各号のいずれかに該当する取扱いをする場合、最終需要家は、「外国為替及び外国貿易法」の規制及び米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規を確認の上、必要な手続をとるものとします。
     (1) 輸出するとき。
     (2) 海外へ持ち出すとき。
     (3) 非居住者へ提供し、又は使用させるとき。
     (4) 前３号に定めるほか、「外国為替及び外国貿易法」又は外国の輸出関連法規に定めがあるとき。

  注１：上記の「最終需要家許諾条項に記載すべき事項」の内容については、第５条第３項及び第４項の場合には本別紙中「添付ソフト複製物」とあるのを「本件装置用組込用ランタイム」に、第６条第２項の場合には本別紙中「添付ソフト複製物」とあるのを「結合添付ソフトウェア」にそれぞれ読み替えるものとします。

  注２：第６条第１項第３号又は同条第２項第２号の規定に基づき添付ソフト改良版に係る最終需要家許諾条項を本別紙に従い甲が作成する場合、本別紙中「添付ソフト複製物」とあるのを「添付ソフト改良版」と読み替えるものとします。
- ここでは、本製品に使われているソフトウェアの利用許諾（ライセンス）について記載しています。正確な内容を保持するため、原文（英語）を記載しています。

• bsdiff

Redistribution and use in source and binary forms, with or without
modification, are permitted providing that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

• bzip2

This program, "bzip2", the associated library "libbzip2", and all documentation, are copyright (C) 1996-2007 Julian R Seward. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions

and the following disclaimer.

2. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.

3. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.

4. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Julian Seward, jseward@bzip.org
bzip2/libbzip2 version 1.0.5 of 10 December 2007

• OpenGLES2.0, EGL1.4

Copyright (C) Silicon Graphics, Inc. All Rights Reserved,
Licensed under SGI FREE SOFTWARE LICENSE B (Version 2.0, Sept. 18, 2008 , http://oss.sgi.com/projects/FreeB/)
Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice including the dates of first publication and either this permission notice or a reference to http://oss.sgi.com/projects/FreeB/ shall be included in all copies or substantial portions of the Software.
THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL SILICON GRAPHICS, INC. BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.
Except as contained in this notice, the name of Silicon Graphics, Inc. shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from Silicon Graphics, Inc.

• freetype

Portions of the software in this product are copyright 1996 - 2009 The FreeType Project (www.freetype.org).
All rights reserved. Licensed under the FreeType Project LICENSE, 2006-Jan-27. (http://www.freetype.org/FTL.TXT)

• giflib

The GIFLIB distribution is Copyright (c) 1997 Eric S. Raymond

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following

conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

• libjpeg

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

• libmng

COPYRIGHT NOTICE:

Copyright (c) 2000-2007 Gerard Juyn (gerard@libmng.com) [You may insert additional notices after this sentence if you modify this source]

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:

Gerard Juyn
Glenn Randers-Pehrson

The MNG Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the MNG Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this source code must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software.

2. Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.

3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the MNG and JNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment would be highly appreciated.

Parts of this software have been adapted from the libpng package.
Although this library supports all features from the PNG specification (as MNG descends from it) it does not require the libpng package.
It does require the zlib library and optionally the IJG jpeg library, and/or the "little-cms" library by Marti Maria (depending on the inclusion of support for JNG and Full-Color-Management respectively.

This library's function is primarily to read and display MNG animations. It is not meant as a full-featured image-editing component! It does however offer creation and editing functionality at the chunk level.
(future modifications may include some more support for creation and or editing)

• libpng

This copy of the libpng notices is provided for your convenience. In case of any discrepancy between this copy and the notices in the file png.h that is included in the libpng distribution, the latter shall prevail.

COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE:

If you modify libpng you may insert additional notices immediately following this sentence.

This code is released under the libpng license.

libpng versions 1.2.6, August 15, 2004, through 1.2.41, December 3, 2009, are Copyright (c) 2004, 2006-2009 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.2.5 with the following individual added to the list of Contributing Authors

Cosmin Truta

libpng versions 1.0.7, July 1, 2000, through 1.2.5 - October 3, 2002, are Copyright (c) 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list of Contributing Authors

Simon-Pierre Cadieux
Eric S. Raymond
Gilles Vollant

and with the following additions to the disclaimer:

There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.

libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are Copyright (c) 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Tom Lane
Glenn Randers-Pehrson
Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are Copyright (c) 1996, 1997 Andreas Dilger Distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

John Bowler
Kevin Bracey
Sam Bushell
Magnus Holmgren
Greg Roelofs
Tom Tanner

libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are Copyright (c) 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:

Andreas Dilger
Dave Martindale
Guy Eric Schalnat
Paul Schmidt
Tim Wegner

The PNG Reference Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors and Group 42, Inc. assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this source code must not be misrepresented.

2. Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.

3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products. If you use this source code in a

product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

A "png_get_copyright" function is available, for convenient use in "about"
boxes and the like:

```
printf("%s",png_get_copyright(NULL));
```

Also, the PNG logo (in PNG format, of course) is supplied in the files "pngbar.png" and "pngbar.jpg (88x31) and "pngnow.png" (98x31).

Libpng is OSI Certified Open Source Software. OSI Certified Open Source is a certification mark of the Open Source Initiative.

Glenn Randers-Pehrson glennrp at users.sourceforge.net
December 3, 2009

• libxml2

Except where otherwise noted in the source code (e.g. the files hash.c, list.c and the trio files, which are covered by a similar licence but with different Copyright notices) all the files are:

Copyright (C) 1998-2003 Daniel Veillard. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE DANIEL VEILLARD BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of Daniel Veillard shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from him.

hash.c: chained hash tables

Reference: Your favorite introductory book on algorithms

Copyright (C) 2000 Bjorn Reese and Daniel Veillard.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTIBILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE AUTHORS AND CONTRIBUTORS ACCEPT NO RESPONSIBILITY IN ANY CONCEIVABLE MANNER.

Author: breese@users.sourceforge.net

list.c: lists handling implementation

Copyright (C) 2000 Gary Pennington and Daniel Veillard.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTIBILITY AND FITNESS FOR

A PARTICULAR PURPOSE. THE AUTHORS AND CONTRIBUTORS ACCEPT NO RESPONSIBILITY IN ANY CONCEIVABLE MANNER.

Author: Gary.Pennington@uk.sun.com

trio files

Copyright (C) 1998 Bjorn Reese and Daniel Stenberg.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTIBILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE AUTHORS AND CONTRIBUTORS ACCEPT NO RESPONSIBILITY IN ANY CONCEIVABLE MANNER.

- **rapidjson**

Copyright (C) 2011 Milo Yip

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

- **SEE: Simple ECMAScript Engine**

The SEE library source is released under what is commonly called a "BSD-style" licence:

Copyright (c) 2003, 2004, 2005, 2006, 2007
David Leonard. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of David Leonard nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The separate 'dtoa.c' file is separately licenced, thus:

The author of this software is David M. Gay.

- 本製品に収録されたデータおよびプログラムの著作権は、弊社および弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータおよびプログラムの全部または一部を複製、改変、解析などすることはできません。
- 弊社は、本製品に収録された地図データなどが完全・正確であること、および本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本機は日本国内専用です。GPSの測位範囲が異なる外国ではご使用いただけません。
- 本製品の仕様および外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。また、取扱説明書の内容と実物が異なることがあります。その場合における本製品の改造、またはお取り換えのご要望には応じかねます。
- その他、製品名などの固有名詞は各社の商標又は登録商標です。

索引

五十音順

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

数字・アルファベット順

数字

A

B

C

D

E

F

G

H

I

J

メモ

記号・マーク一覧

地図関連

- 高速・有料道
- 国道
- 主要地方道
- 都道府県道
- 一般道
- 細街路
- 鉄道
- 都道府県境
- 国道番号
- 都道府県道番号
- 有料道路番号
- 一方通行
- 海・川・湖沼
- 公園･緑地･芝生など
- 施設敷地
- 施設
- 駅舎
- インターチェンジ/ランプ名
- 交差点名
- ランプ入口
- ランプ出口
- 信号機
- 指示点
- 山岳
- 公園
- 工場
- トンネル出入口
- マンション
- サービスエリア
- パーキングエリア
- インターチェンジ
- 料金所･スマートICゲート
- 駐車場
- 道の駅
- 空港
- ヘリポート
- フェリー乗り場
- 観光船乗り場
- タワー
- 灯台
- 墓地
- 公共施設
- 警察署
- 消防署
- 病院
- 郵便局
- NTT
- 高校
- 小学校
- 中学校
- 大学
- 高専
- 自動車関連施設
- 温泉
- 遊園地・その他
- 乗馬クラブ
- キャンプ場
- ボウリング場
- スポーツ施設
- ゴルフ場
- その他スポーツ施設
- 野球場・スタジアム
- 体育館
- スキー場
- 海水浴場
- ヨットハーバー
- モータースポーツ
- テニスコート
- 美術館、博物館
- 動物園
- 植物園
- 水族館
- ホール・劇場
- 神社
- 寺
- 教会
- 城
- 牧場
- 競馬場
- デパート
- DIYショップ
- ホテル

検索・ルート関連

- 駐車場案内ポイント
- その他の案内ポイント
- 目的地
- 立寄地
- 出発地
- 案内地
- 案内中ルート（有料道）
- 案内中ルート（一般道）
- 案内中ルート（細街路）

情報マーク

- マツダグループ販売店

渋滞情報関連

- 渋滞
- 混雑
- 順調

一般道：白枠
有料道：青枠
※リアルタイムプローブ渋滞情報：破線

- 規制区間
- 入口閉鎖･通行止
- 速度規制
- 進入禁止
- 通行止め･閉鎖
- 大型通行止め
- 対面通行
- 片側交互通行
- 徐行
- 車線規制
- チェーン規制
- 凍結
- 故障車
- 工事
- 作業
- 事故
- 障害物･路上障害
- 入口制限
- 入口閉鎖
- 駐車場（空車）
- 駐車場（混雑）
- 駐車場（満車）
- 駐車場（閉鎖）
- 駐車場（不明）
- 区間旅行時間
- 気象
- 行事
- 災害
- 火災
- 原因/事象なし

※記号やマークは、ビューやスケールによって表示されない場合があります。
※実際の色と異なる場合があります。

取扱説明書

C9PA V6 650 / A9PA V6 650

製品のアフターサービスに関するお問い合わせは、

お買い求めの販売店までお願い致します。

製品の操作等に関しましては、下記までお問い合わせください。

パイオニア相談窓口

電話番号：**0120-988-072**

PHS、携帯電話、一部のIP電話などからは下記番号へおかけください。

一般電話：**044-572-8909**（有料）

受付時間　月曜～土曜　9：30～12：00、 13：00～ 17：00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

パイオニア株式会社

〒212-0031
神奈川県川崎市幸区新小倉１番１号

< NVF-0638ZM >

< KAMA13D > < CRA4661-A >